

# 文京区都市マスタープラン 2024

## 別冊 資料編

令和6年9月

文京区



# 目次

## 第1章 まちのデータ ..... P1

- 1 土地利用..... P2
- 2 道路・交通ネットワーク ..... P9
- 3 緑と水..... P14
- 4 住宅・住環境..... P20
- 5 景観..... P26
- 6 防災まちづくり..... P29

## 第2章 アンケート結果 ..... P39

- 1 区民意識調査..... P40
- 2 来訪者アンケート..... P89
- 3 事業者アンケート..... P126
- 4 就業者アンケート..... P162
- 5 大学アンケート..... P196







# 第1章 まちのデータ

---

- 1 土地利用
- 2 道路・交通ネットワーク
- 3 緑と水
- 4 住宅・住環境
- 5 景観
- 6 防災まちづくり

# 1 土地利用

## (1) 都市計画

図 1-1-1 用途地域図

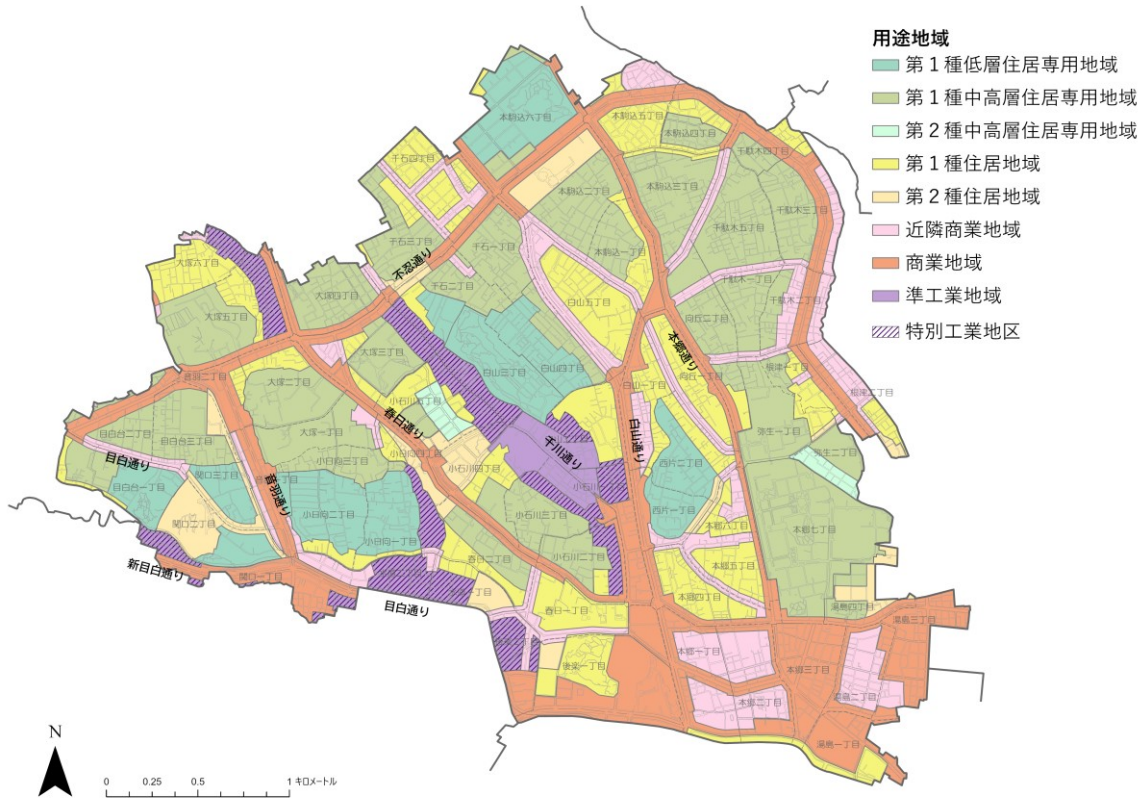
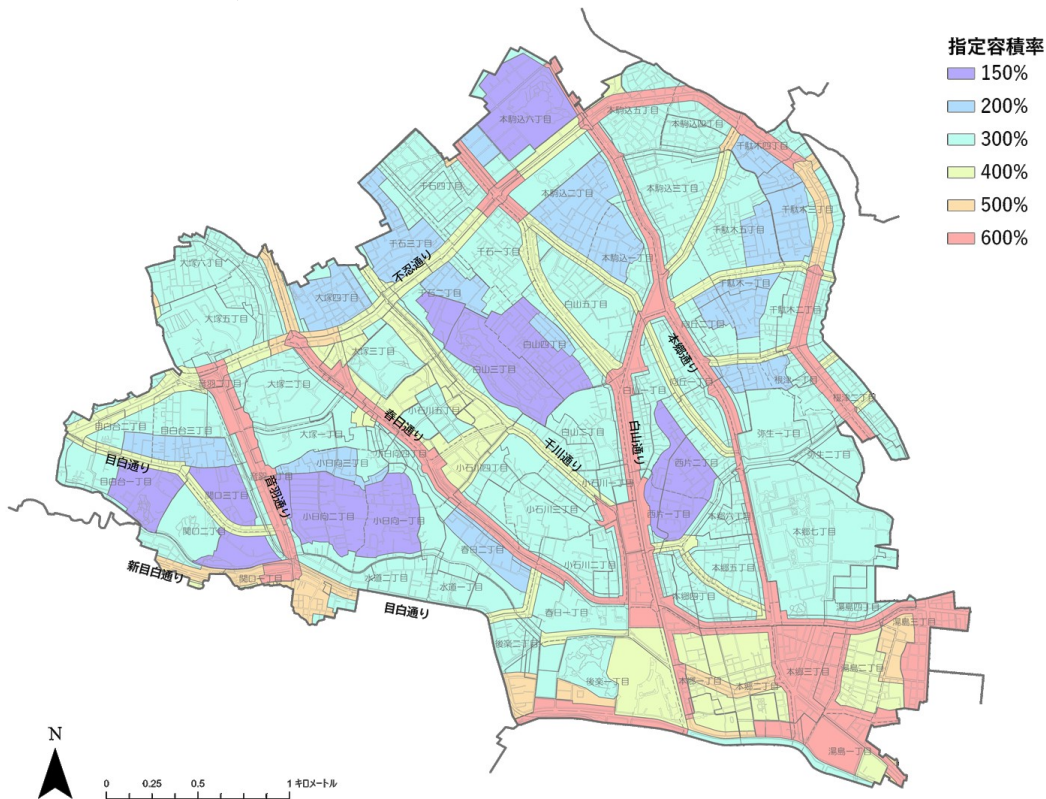


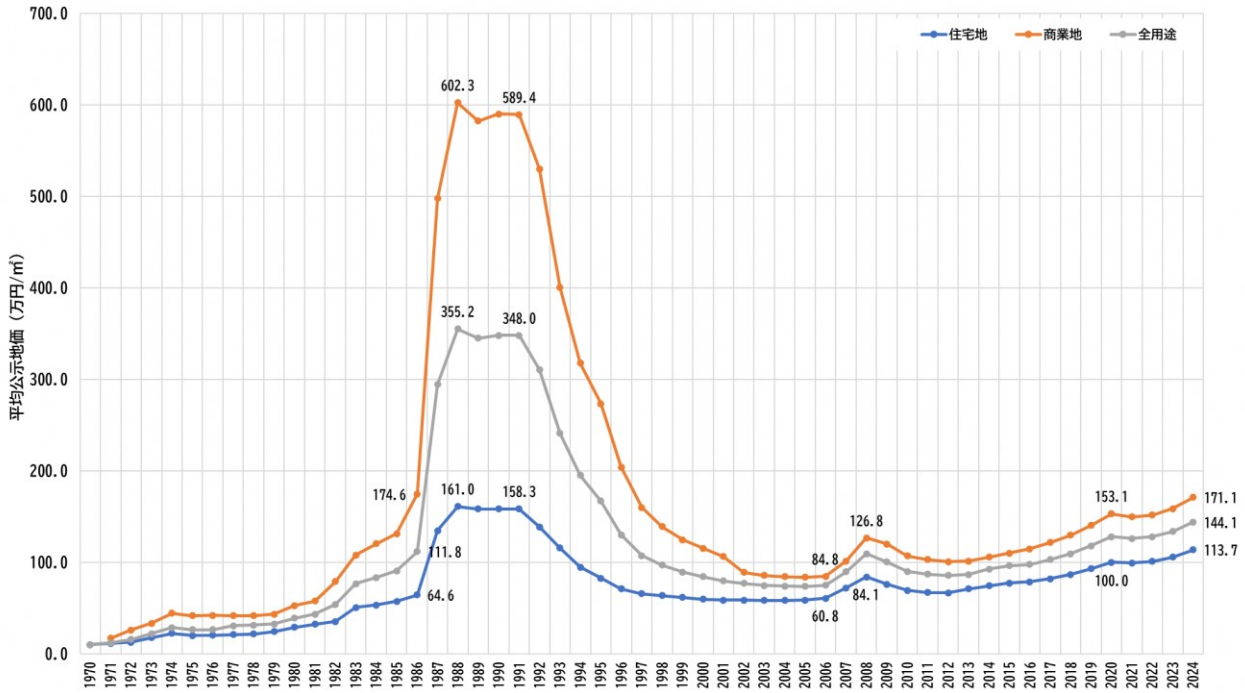
図 1-1-2 指定容積率





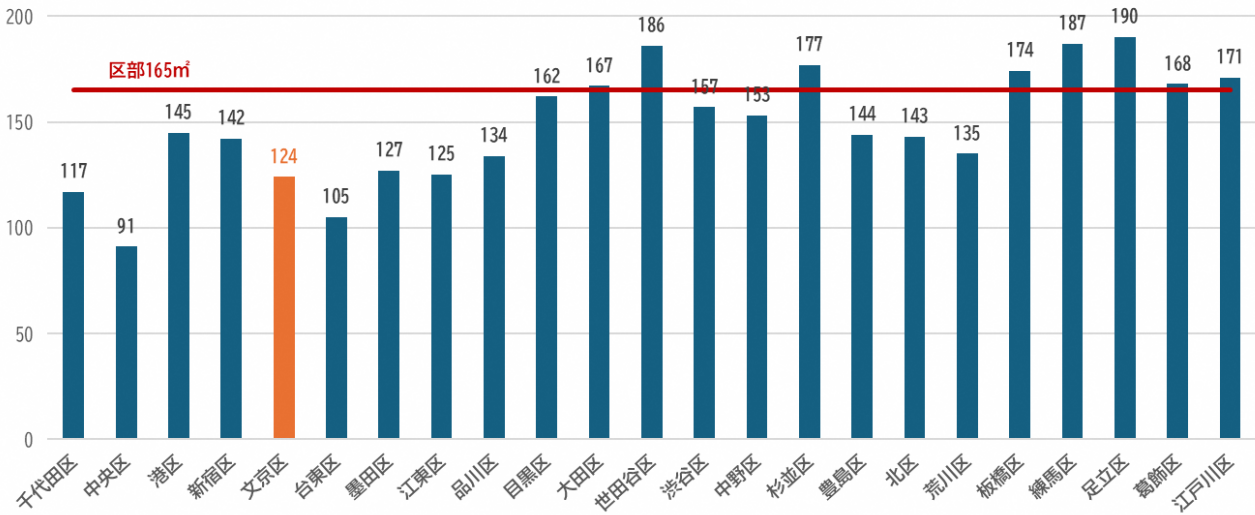
## (2) 土地の現況

図 1-1-3 用途別平均公示地価の推移



出典：国土交通省「地価公示」(各年)

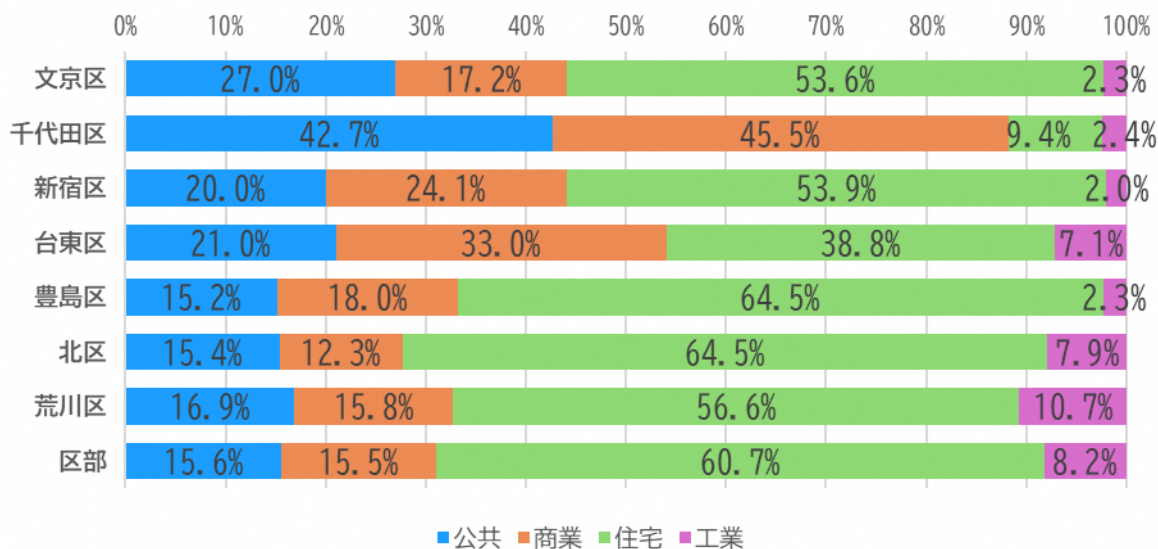
図 1-1-4 個人宅地所有者一人当たり宅地面積 (㎡)



出典：東京都「東京の土地 2022 (土地関係資料集)」

### (3) 土地利用の現況と変化

図 1-1-5 宅土地利用比率の比較



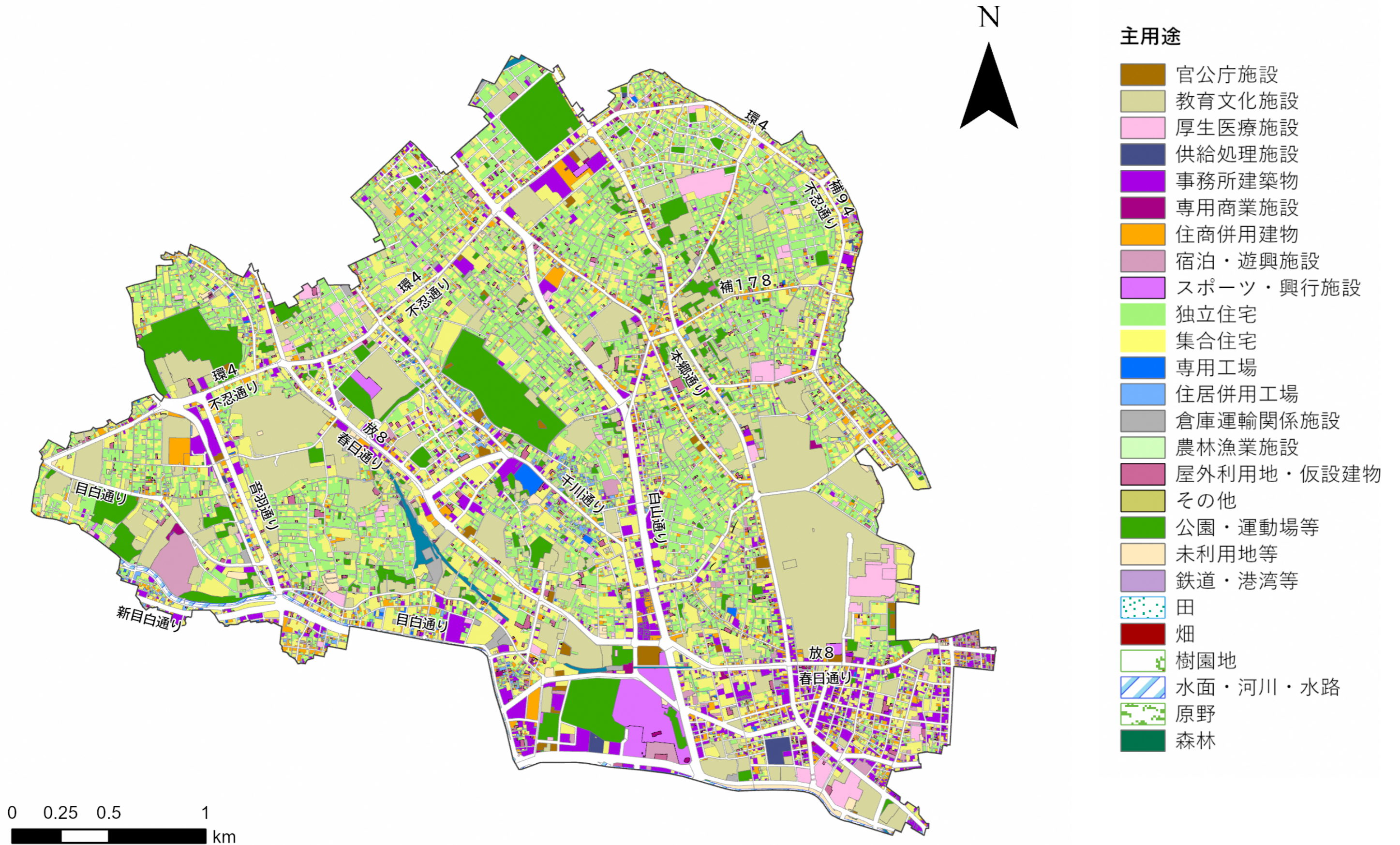
出典：東京都「東京の土地利用 令和3年東京都区部」

表 1-1-1 土地利用比率の変化

	平成18年	平成23年	平成28年	令和3年	令和3年からの増減数			
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	H18~R3	H23~R3	H28~R3	
公共	官公庁施設	7.7	7.8	6.9	6.7	-0.99	-1.15	-0.19
	教育文化施設	182.1	183.3	181.8	182.0	-0.17	-1.29	0.15
	厚生医療施設	17.7	17.1	19.2	21.9	4.24	4.81	2.68
	供給処理施設	2.6	2.6	2.6	2.6	-0.05	-0.07	-0.04
商業	事務所建築物	59.8	59.6	57.7	57.6	-2.22	-2.02	-0.12
	専用商業施設	3.9	4.3	3.8	4.0	0.08	-0.27	0.22
	住商併用建物	54.3	49.6	48.6	51.0	-3.32	1.35	2.37
	宿泊・遊興施設	12.3	12.0	10.4	10.2	-2.08	-1.77	-0.13
	スポーツ・興行施設	12.1	12.4	13.9	12.9	0.78	0.53	-1.03
住宅	独立住宅	232.6	231.0	229.7	222.6	-10.00	-8.36	-7.04
	集合住宅	170.7	184.1	194.6	200.8	30.19	16.80	6.28
工業	専用工場	6.5	5.5	4.6	3.2	-3.29	-2.23	-1.39
	住居併用工場	13.3	11.2	9.7	7.7	-5.58	-3.50	-1.94
	倉庫運輸関係施設	10.9	9.2	7.9	7.1	-3.83	-2.07	-0.85
屋外利用地・仮設建物	20.8	21.6	19.4	18.9	-1.91	-2.64	-0.49	
公園、運動場等	81.2	81.2	81.9	82.4	1.19	1.26	0.48	
未利用地等	17.6	13.7	12.4	12.7	-4.85	-1.01	0.26	
道路	213.8	213.9	214.7	215.3	1.56	1.43	0.60	
鉄道・港湾等	4.1	4.1	4.2	4.2	0.05	0.02	0.01	
水面・河川・水路	5.0	5.0	5.0	5.0	-0.01	-0.01	-0.01	
総計	1129	1129	1129	1129				

出典：土地利用現況調査（各年）GISより算出

図1-1-6 土地利用現況図（令和3（2021）年）



出典：令和3年土地利用現況調査

図1-1-7 土地利用現況図（平成23（2011）年）



出典：平成23年土地利用現況調査

## (4) 開発状況

図 1-1-8 市街地再開発事業の区域



出典：文京区都市計画図閲覧・検索システム（平成 28 年 3 月、一部令和 2 年 3 月修正）より作成

## (5) 建築物の高さ

図 1-1-9 建物階数 (令和3 (2021) 年)

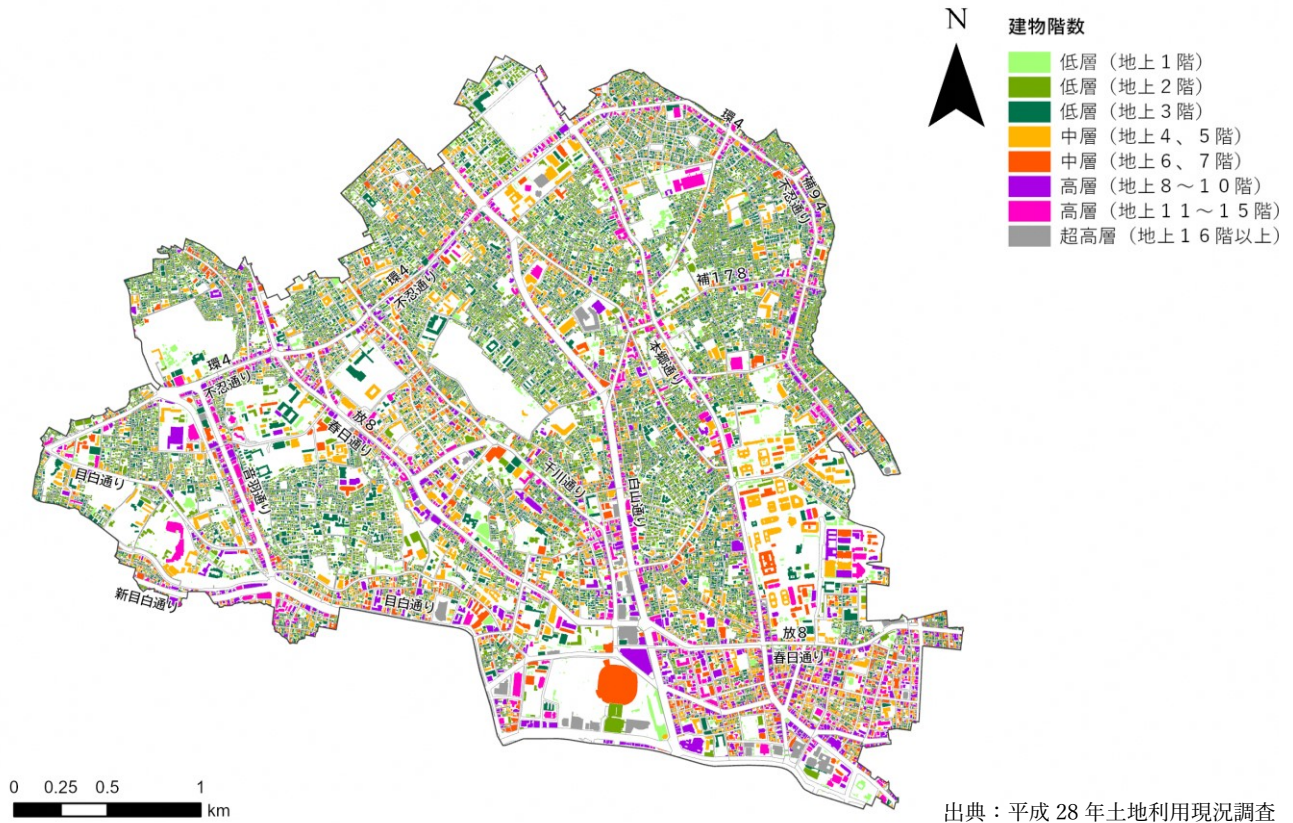


図 1-1-10 建物階数 (平成 23 (2011) 年)



## 2 道路・交通ネットワーク

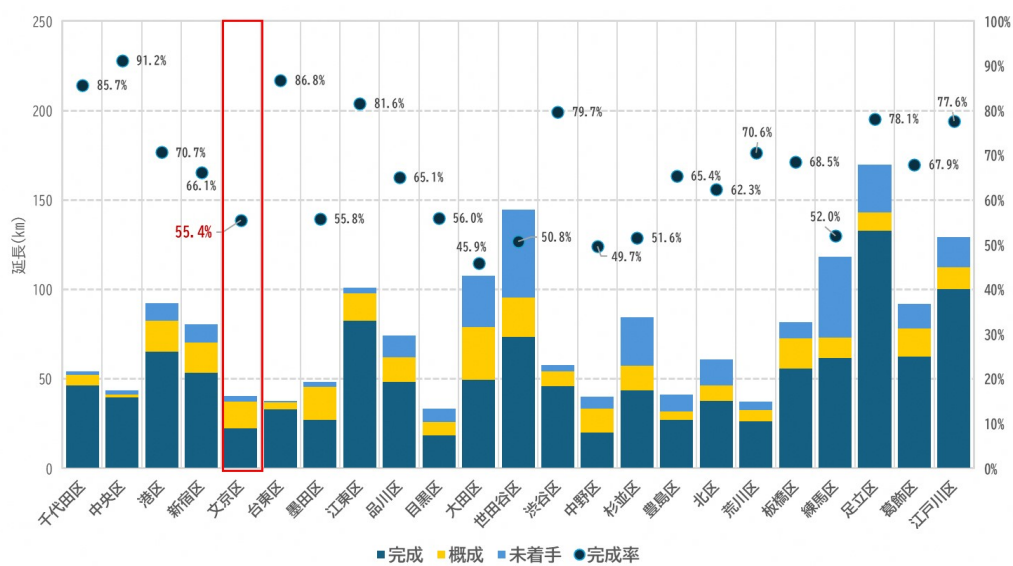
### (1) 道路整備状況

図 1-2-1 都市計画道路整備状況



出典：令和2年文京区都市計画図閲覧・検索システムより作図（令和5年一部更新）

図 1-2-2 特別区別の都市計画道路の整備状況（令和3年度末時点）



出典：国土交通省「令和4年度都市計画現況調査」

## (2) 公共交通等の整備・利用状況

図 1-2-3 文京区内の各駅の乗降客数の5か年推移（令和4年の乗降数が多い順）

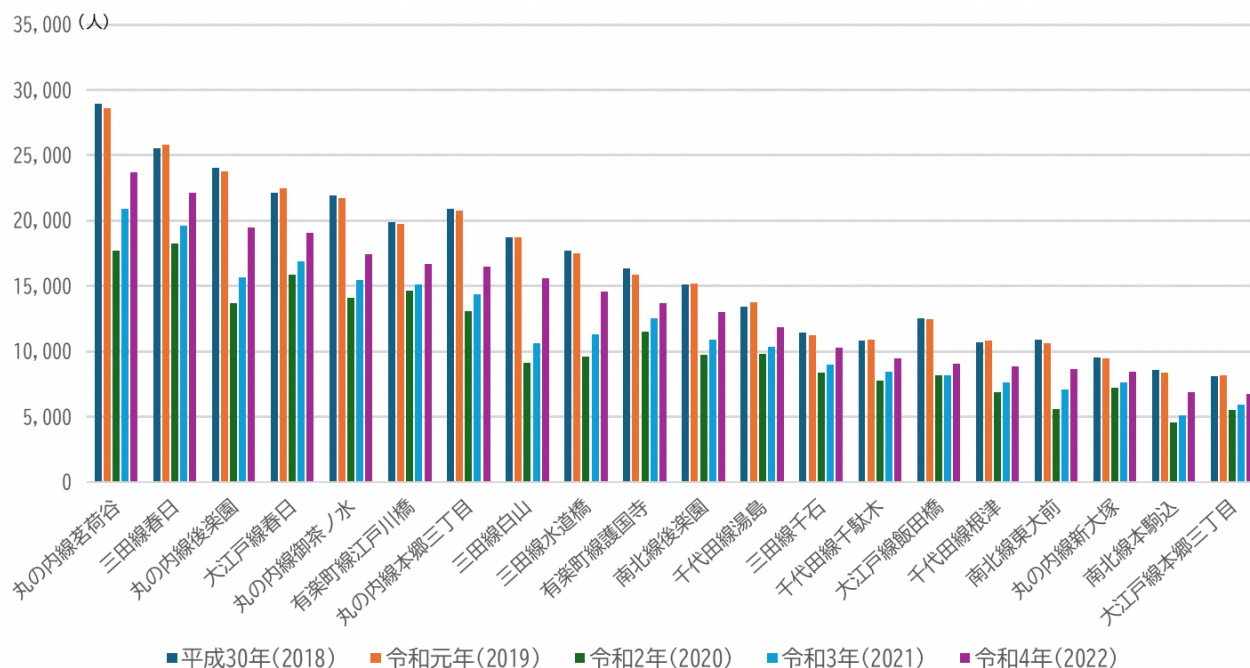


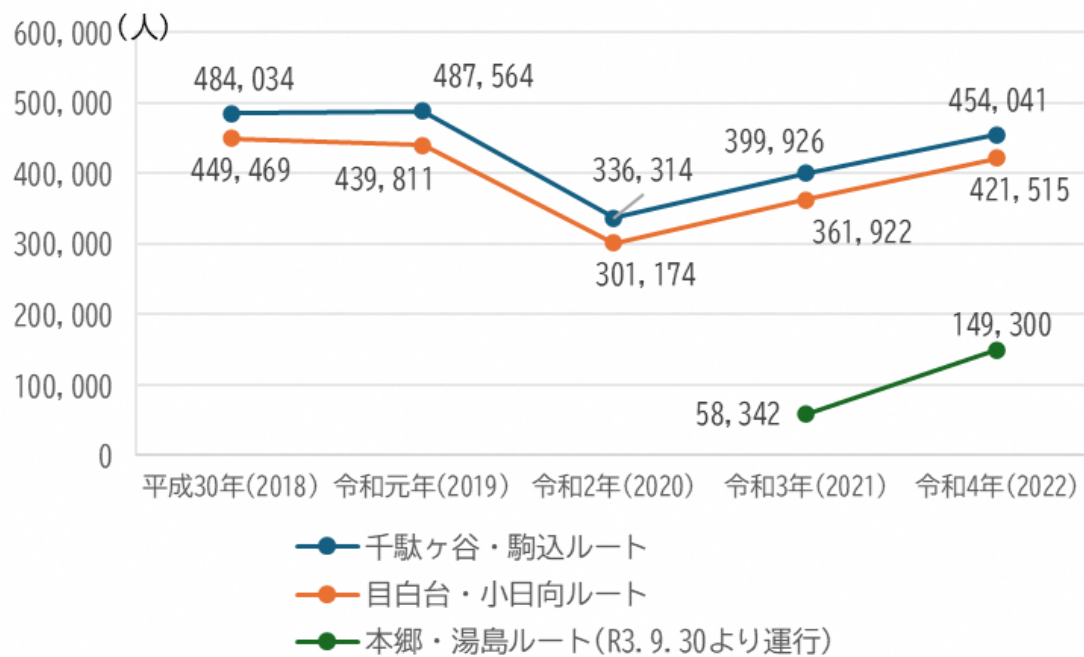
表 1-2-1 文京区内の各駅の乗降客数の5か年推移

駅名	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
丸の内線 茗荷谷駅	28,955	28,613	17,728	20,906	23,666
三田線 春日駅	25,514	25,817	18,234	19,591	22,116
丸の内線 後楽園駅	24,072	23,798	13,701	15,635	19,476
大江戸線 春日駅	22,112	22,444	15,857	16,883	19,088
丸の内線 御茶ノ水駅	21,918	21,697	14,115	15,487	17,425
有楽町線 江戸川橋駅	19,881	19,726	14,665	15,137	16,707
丸の内線 本郷三丁目駅	20,911	20,743	13,059	14,375	16,479
三田線 白山駅	18,744	18,733	9,130	10,638	15,572
三田線 水道橋駅	17,700	17,475	9,591	11,320	14,578
有楽町線 護国寺駅	16,311	15,895	11,478	12,494	13,648
南北線 後楽園駅	15,120	15,173	9,764	10,881	13,027
千代田線 湯島駅	13,426	13,742	9,765	10,361	11,867
三田線 千石駅	11,451	11,246	8,352	9,010	10,271
千代田線 千駄木駅	10,792	10,855	7,781	8,415	9,471
大江戸線 飯田橋駅	12,512	12,464	8,148	8,178	9,032
千代田線 根津駅	10,657	10,825	6,874	7,599	8,836
南北線 東大前駅	10,856	10,632	5,602	7,080	8,608
丸の内線 新大塚駅	9,529	9,467	7,185	7,634	8,420
南北線 本駒込駅	8,588	8,394	4,550	5,127	6,882
大江戸線 本郷三丁目駅	8,109	8,150	5,525	5,946	6,712

出典：第56回文京の統計（令和5年）



図 1-2-4 「B—ぐる」の利用者総数の推移



出典：第 56 回文京の統計（令和 5 年）

図 1-2-5 放置自転車数の推移【都心・下町地域】

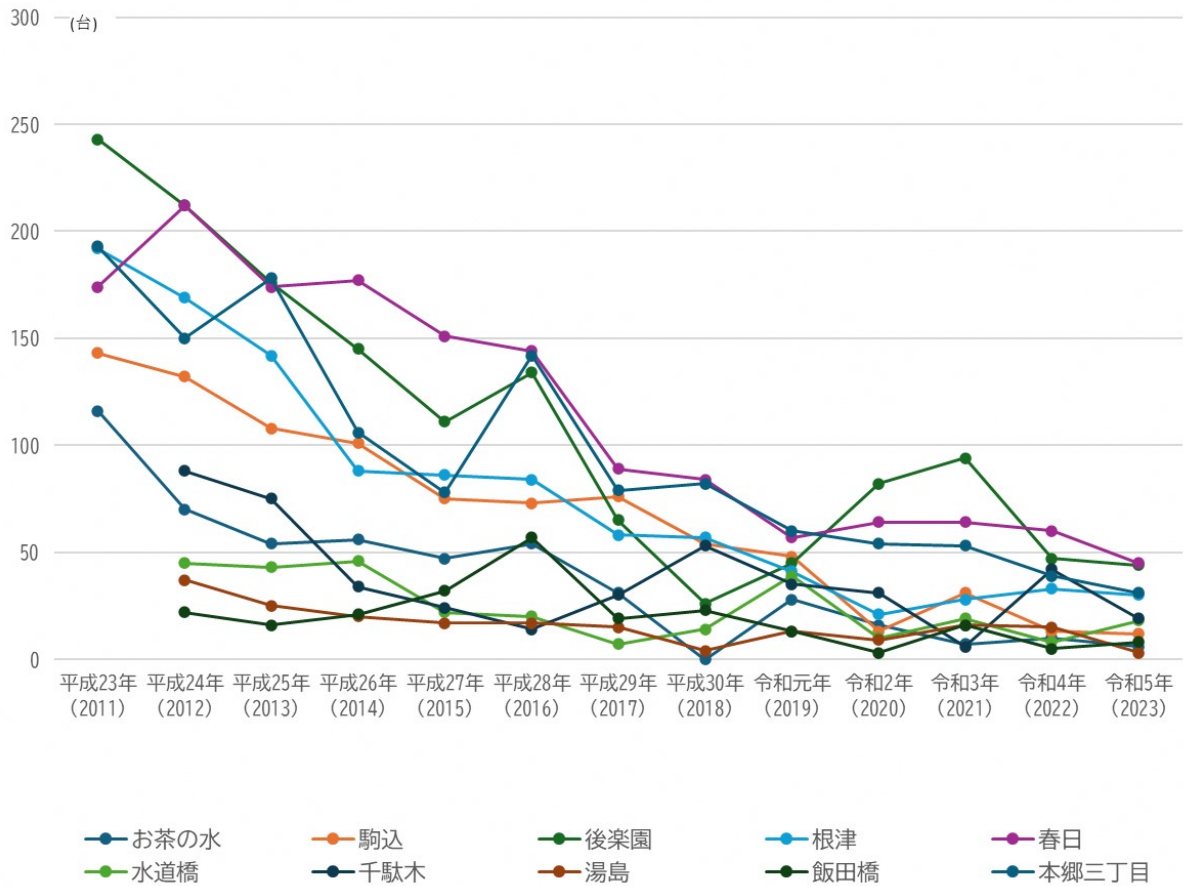


図 1-2-2 放置自転車数の推移【都心・下町地域】

駅名	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)
お茶の水	116	70	54	56	47	54	31	0	28	16	7	10	6
駒込	143	132	108	101	75	73	76	54	48	13	31	13	12
後楽園	243	212	176	145	111	134	65	26	45	82	94	47	44
根津	192	169	142	88	86	84	58	57	41	21	28	33	30
春日	174	212	174	177	151	144	89	84	57	64	64	60	45
水道橋	-	45	43	46	22	20	7	14	39	10	19	8	18
千駄木	-	88	75	34	24	14	30	53	35	31	6	42	19
湯島	-	37	25	20	17	17	15	4	13	9	16	15	3
飯田橋	-	22	16	21	32	57	19	23	13	3	16	5	8
本郷三丁目	193	150	178	106	78	142	79	82	60	54	53	39	31

出典：東京都生活文化スポーツ局 都内における駅前放置自転車の現況（各年）

図 1-2-6 放置自転車数の推移【山の手地域】

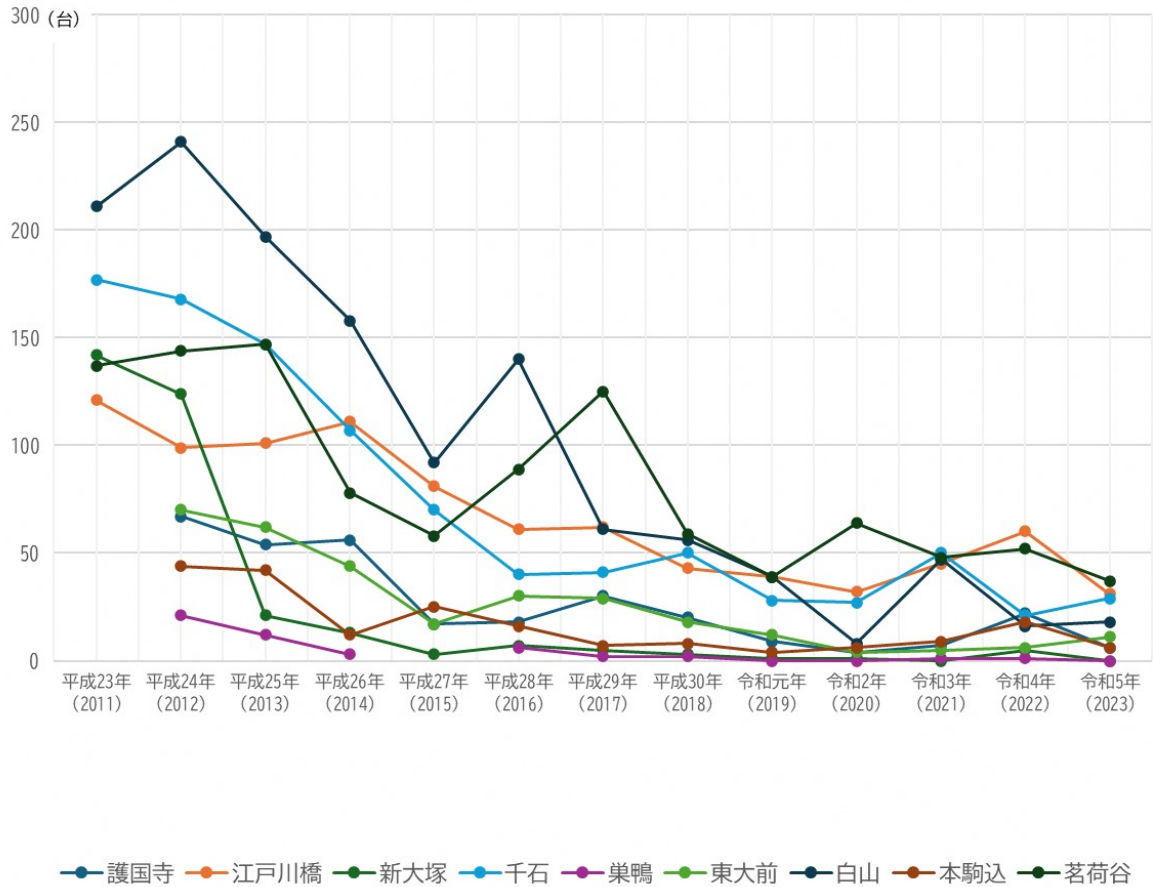


図 1-2-3 放置自転車数の推移【山の手地域】

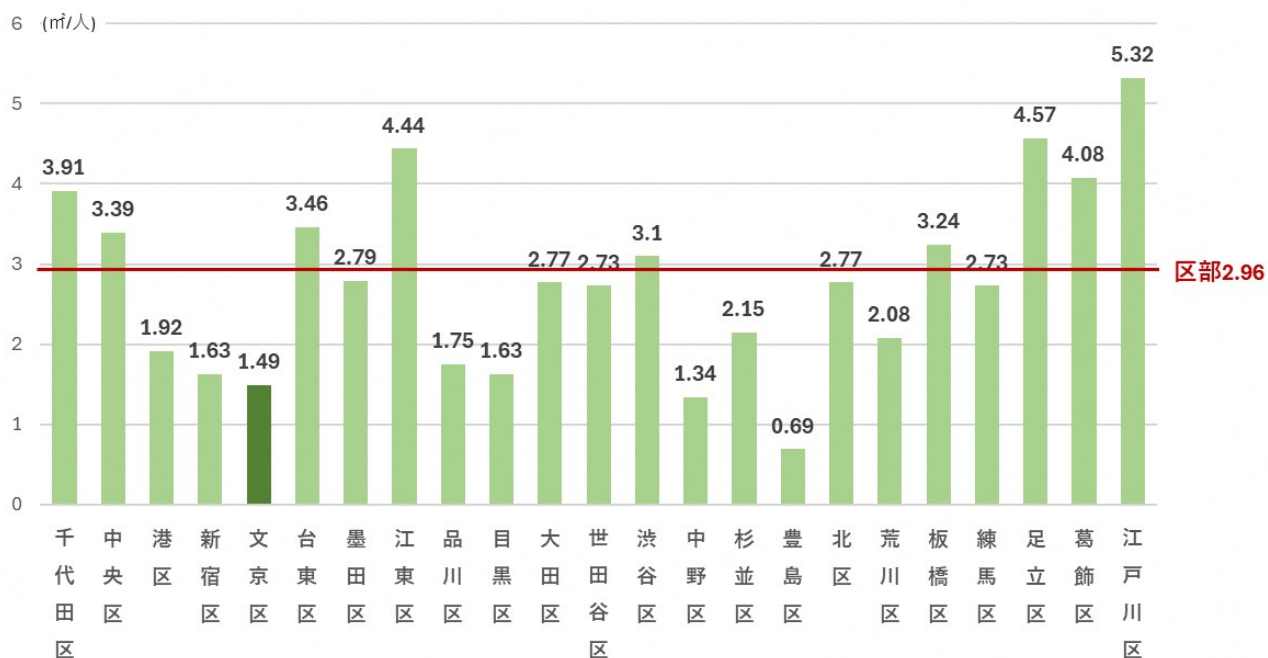
駅名	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)
護国寺	-	67	54	56	17	18	30	20	9	4	7	22	6
江戸川橋	121	99	101	111	81	61	62	43	39	32	45	60	31
新大塚	142	124	21	13	3	7	5	3	1	1	0	5	0
千石	177	168	147	107	70	40	41	50	28	27	50	21	29
巣鴨	-	21	12	3	-	6	2	2	0	0	1	1	0
東大前	-	70	62	44	17	30	29	18	12	4	5	6	11
白山	211	241	197	158	92	140	61	56	39	8	47	16	18
本駒込	-	44	42	12	25	16	7	8	4	6	9	18	6
茗荷谷	137	144	147	78	58	89	125	59	39	64	48	52	37

出典：東京都生活文化スポーツ局 都内における駅前放置自転車の現況（各年）

### 3 緑と水

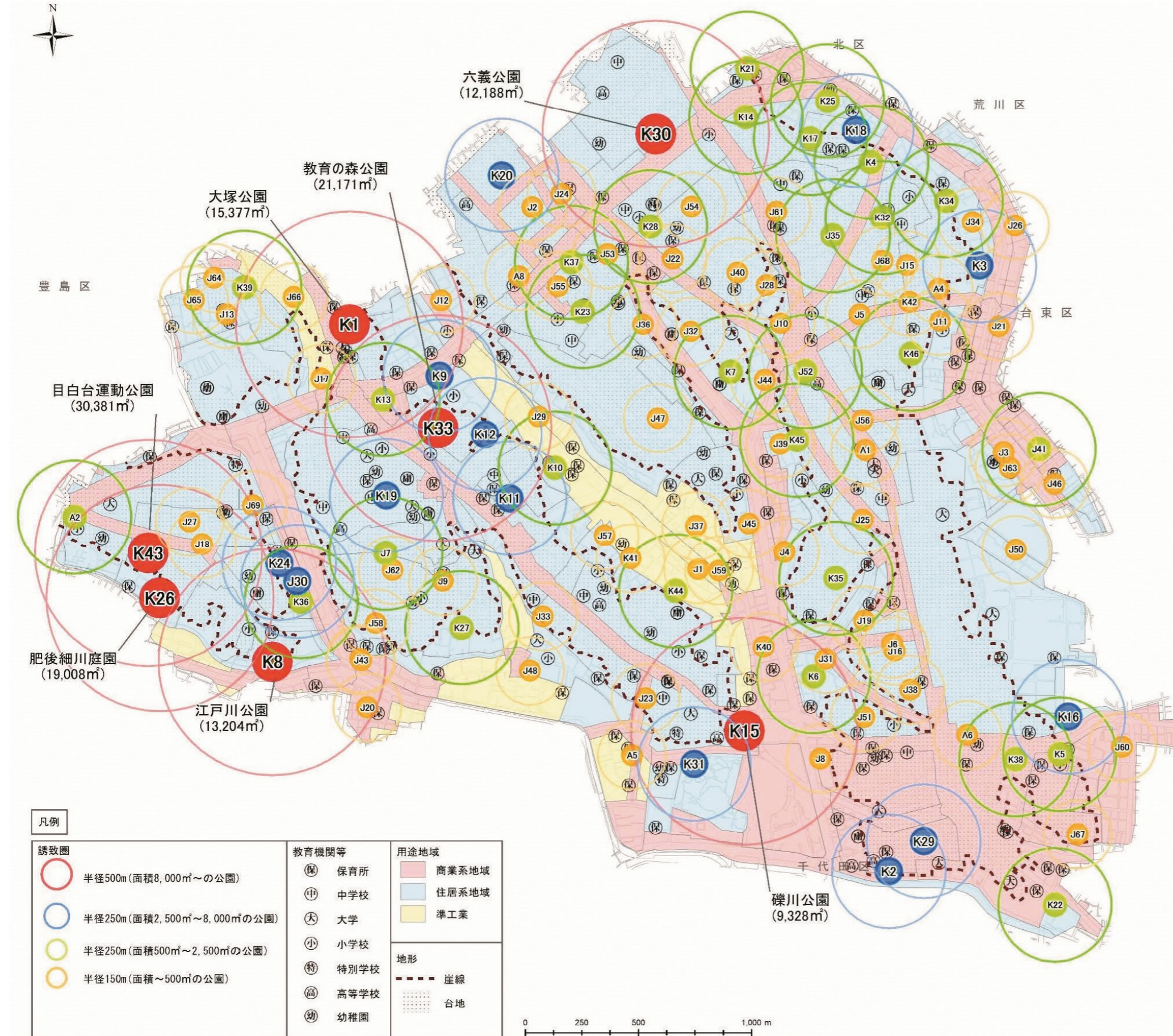
#### (1) 公園・庭園等の状況

図 1-3-1 一人当たりの公園面積



出典：東京都都市公園等区市町村別面積・人口割比率表（令和5年4月1日時点）

図 1-3-2 公園配置図



凡例		
<b>誘致圏</b>	<b>教育機関等</b>	<b>用途地域</b>
半径500m(面積8,000㎡~の公園)	保育所	商業系地域
半径250m(面積2,500㎡~8,000㎡の公園)	中学校	住居系地域
半径250m(面積500㎡~2,500㎡の公園)	大学	準工業
半径150m(面積~500㎡の公園)	小学校	<b>地形</b>
	特別学校	崖線
	高等学校	台地
	幼稚園	

※用途地域は「国土数値情報(用途地域データ令和元年(shape形式版))」(国土交通省) <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A29-v2.1.html>を加工して作成

※教育機関は「国土数値情報(福祉施設データ平成27年(shape形式版))」(国土交通省) <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P14.html>を加工して作成

公園番号	公園名称	公園面積(㎡)	公園番号	公園名称	公園面積(㎡)
K 1	大塚公園	15,377	J 16	台町第二児童遊園	160
K 2	元町公園	3,520	J 17	大塚五丁目児童遊園	388
K 3	須藤公園	4,825	J 18	目白台児童遊園	104
K 4	駒込公園	1,913	J 19	森川町児童遊園	422
K 5	新花公園	1,037	J 20	関口一丁目児童遊園	214
K 6	清和公園	1,445	J 21	千駄木二丁目児童遊園	139
K 7	白山公園	1,590	J 22	本駒込二丁目児童遊園	265
K 8	江戸川公園	13,204	J 23	春日一丁目児童遊園	210
K 9	大塚逢町公園	5,081	J 24	千石四丁目児童遊園	293
K 10	久堅公園	939	J 25	西片二丁目児童遊園	381
K 11	竹早公園	7,525	J 26	千駄木三丁目児童遊園	168
K 12	窪町東公園	7,559	J 27	目白台三丁目児童遊園	379
K 13	大塚仲町公園	1,258	J 28	本駒込一丁目児童遊園	230
K 14	富士前公園	1,965	J 29	白山三丁目児童遊園	387
K 15	礪川公園	9,328	J 30	音羽児童遊園	3,275
K 16	切通公園	2,775	J 31	本郷四丁目児童遊園	223
K 17	神明公園	2,220	J 32	白山五丁目児童遊園	248
K 18	動坂公園	2,771	J 33	春日二丁目児童遊園	376
K 19	新大塚公園	5,728	J 34	千駄木三丁目第二児童遊園	139
K 20	文京宮下公園	3,539	J 35	本駒込三丁目児童遊園	529
K 21	神明北公園	1,049	J 36	白山四丁目児童遊園	208
K 22	お茶の水公園	1,295	J 37	白山二丁目児童遊園	158
K 23	千石公園	803	J 38	本郷五丁目児童遊園	379
K 24	関口公園	5,225	J 39	白山一丁目児童遊園	393
K 25	神明都電庫跡公園	1,905	J 40	本駒込一丁目第二児童遊園	421
K 26	肥後細川庭園	19,008	J 41	根津二丁目児童遊園	505
K 27	小日向公園	805	J 43	水道二丁目児童遊園	167
K 28	駕籠町公園	826	J 44	白山五丁目第二児童遊園	200
K 29	本郷給水所公園	7,880	J 45	白山二丁目第二児童遊園	159
K 30	六義公園	12,188	J 46	根津二丁目第二児童遊園	122
K 31	後染公園	5,769	J 47	白山四丁目第二児童遊園	483
K 32	千駄木公園	770	J 48	水道一丁目児童遊園	282
K 33	教育の森公園	21,171	J 50	弥生児童遊園	302
K 34	駒込林町公園	853	J 51	曹砂児童遊園	250
K 35	西片公園	788	J 52	向丘一丁目児童遊園	623
K 36	関口三丁目公園	875	J 53	千石一丁目児童遊園	471
K 37	千石緑地	1,244	J 54	本駒込二丁目第二児童遊園	152
K 38	春木町公園	667	J 55	林町児童遊園	225
K 39	大塚坂下町公園	1,212	J 56	向丘二丁目児童遊園	262
K 40	はつね広場	104	J 57	小石川四丁目児童遊園	262
K 41	小石川三丁目緑地	255	J 58	小日向二丁目児童遊園	249
K 42	団子坂上広場	188	J 59	小石川一丁目児童遊園	474
K 43	目白台運動公園	30,381	J 60	湯島三丁目児童遊園	224
K 44	井上公園	595	J 61	本駒込児童遊園	186
K 45	丸山新町公園	610	J 62	小日向児童遊園	279
K 46	千駄木ふれあいの杜	1,142	J 63	根津一丁目児童遊園	446
J 1	八千代町児童遊園	317	J 64	えのき広場	139
J 2	西原町児童遊園	386	J 65	ひょうたん広場	168
J 3	八重垣第一児童遊園	154	J 66	ポポー広場	194
J 4	丸山福山児童遊園	298	J 67	清水坂上児童遊園	99
J 5	大観音児童遊園	255	J 68	西林ひろば	156
J 6	台町児童遊園	182	J 69	文京雑司ヶ谷ひろば	351
J 7	小日向台町児童遊園	560	A 1	向丘一丁目遊び場	369
J 8	春日園児童遊園	192	A 2	目白台一丁目遊び場	1,382
J 9	荻荷谷児童遊園	307	A 4	満足稲荷境内遊び場	171
J 10	竜光寺児童遊園	253	A 5	諏訪神社境内遊び場	96
J 11	汐見児童遊園	228	A 6	本郷七丁目遊び場	53
J 12	氷川下児童遊園	134	A 8	丸山町遊び場	104
J 13	大塚児童遊園	369	A 9	水道二丁目遊び場	139
J 15	千駄木児童遊園	459			

※公園番号の色は、公園面積の大きさを示す。  
 ■ : 8,000㎡以上、 ■ : 2,500㎡~8,000㎡ ■ : 500㎡~2,500㎡、  
 ■ : 500㎡未満

出典：文京区「文京区公園再整備基本計画（令和4年3月）」



## (2) 都市のオープンスペース

図 1-3-3 2011 年までに整備した公開空地配置図と状況



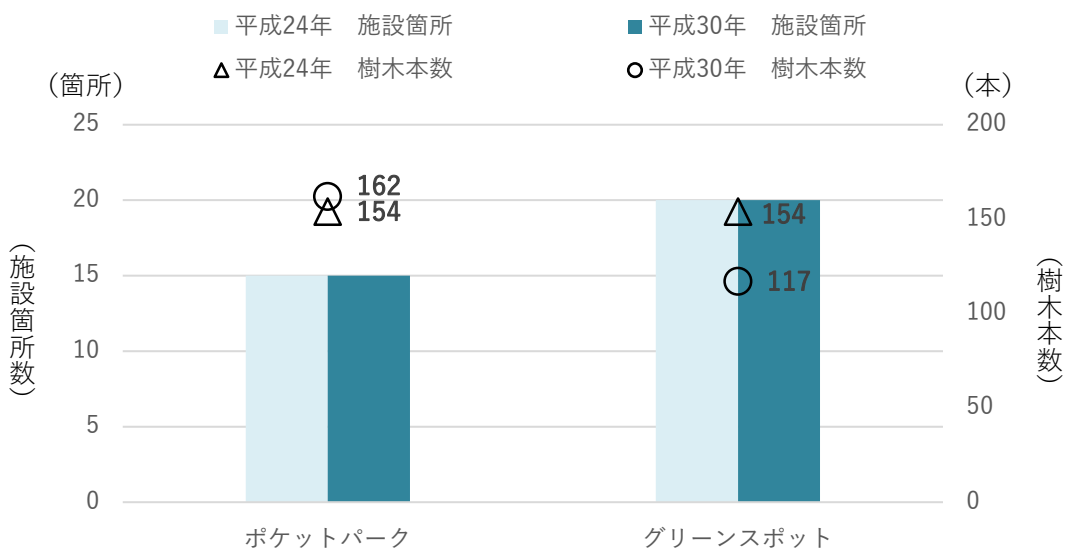
出典：文京区資料より作成

件数	公開空地 (㎡)
20	50,363

表 1-3-2 ポケットパーク及びグリーンスポットの緑化状況移

種別	箇所数	樹木（本）	施設面積（㎡）
ポケットパーク	15	162	1,354
グリーンスポット	20	117	570
合計	35	279	1,924

図 1-3-4 ポケットパーク及びグリーンスポットの推移

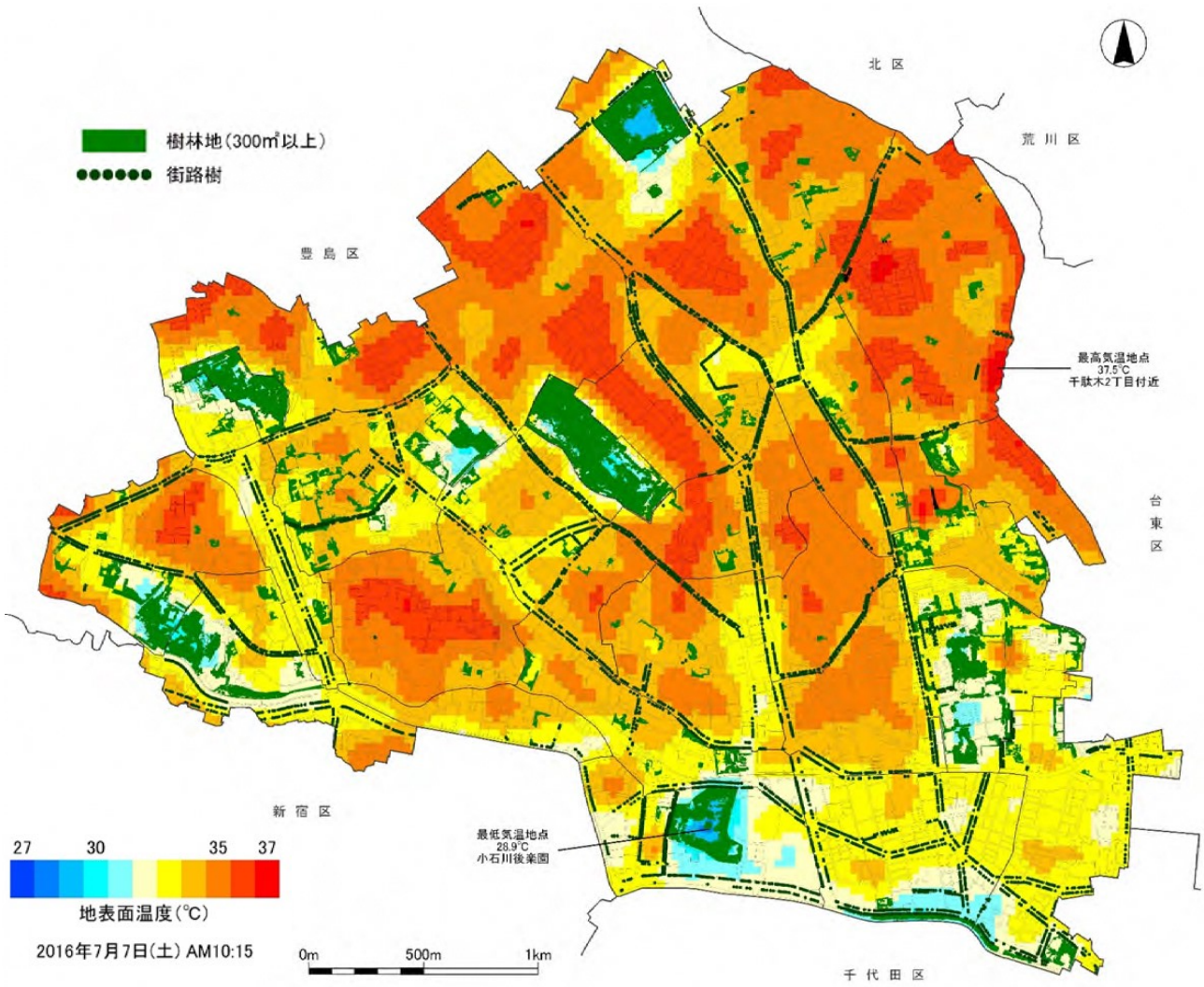


出典：文京区「第8次文京区緑地実態調査報告書（平成31年3月）」より作成



### (3) 環境

图 1-3-5 地表面温度分布图 (昼間)

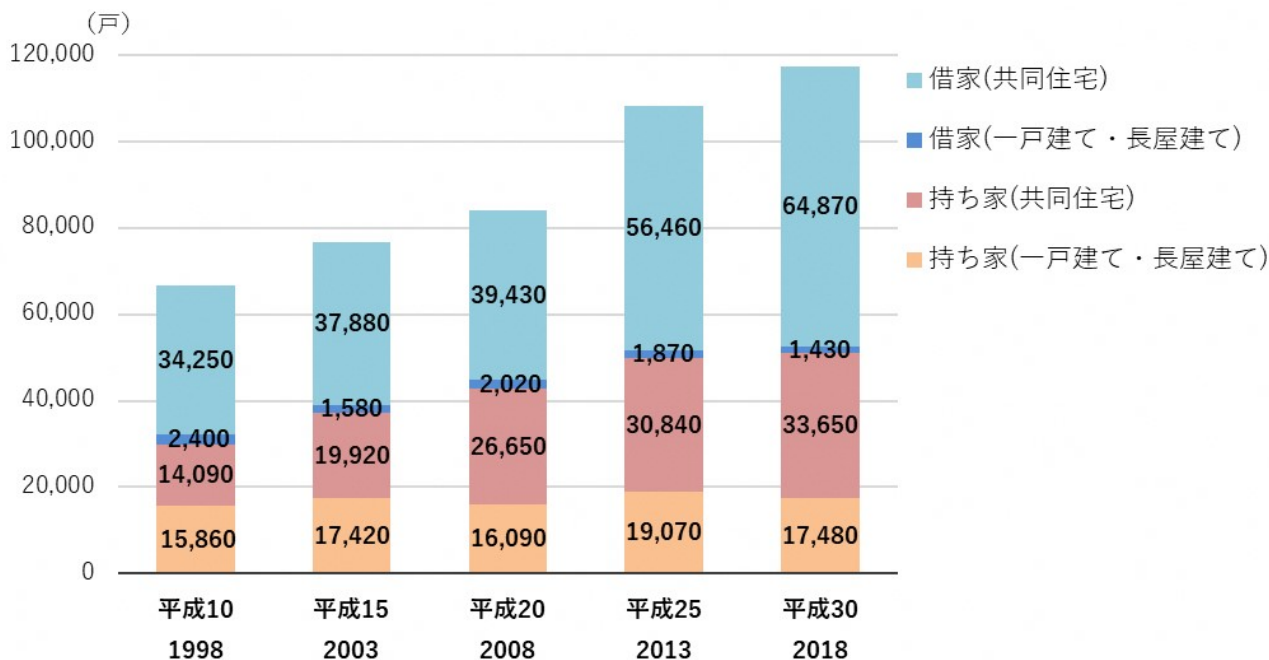


出典：文京区「第8次文京区緑地実態調査 報告書 (平成31年3月)」

## 4 住宅と住環境

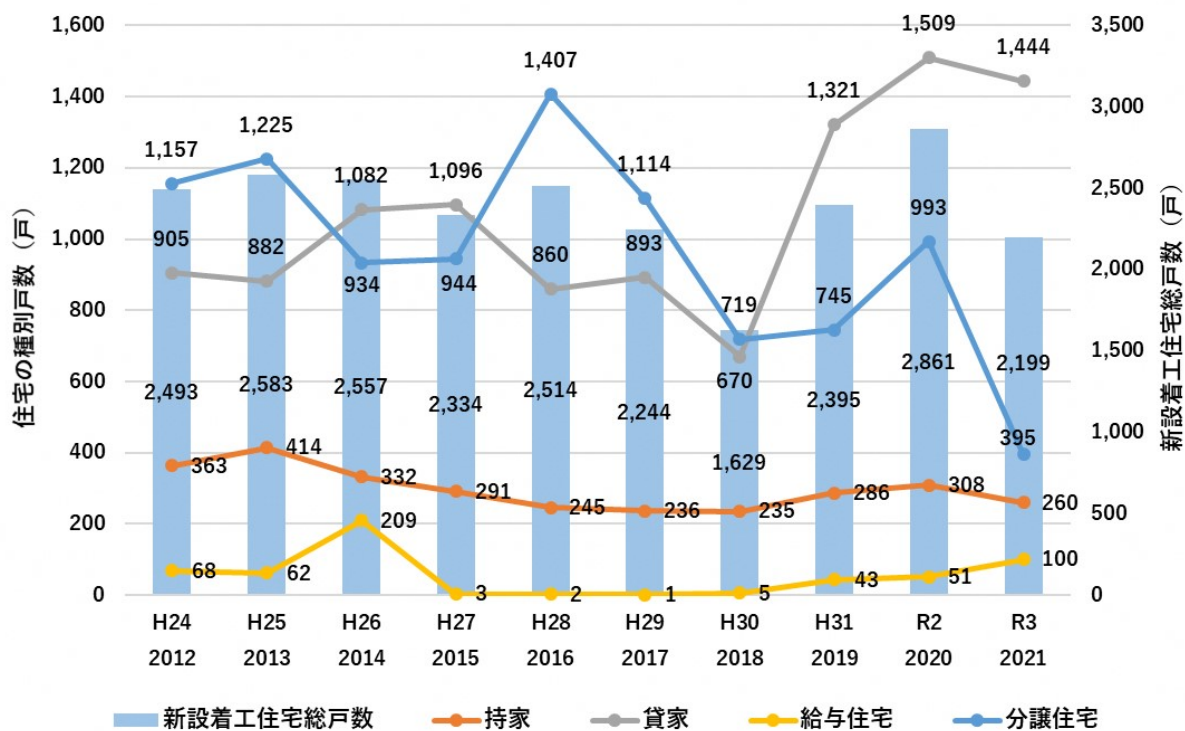
### (1) 住宅ストックと住宅市場の動向

図 1-4-1 住宅の所有関係・建て方別の住宅戸数の推移



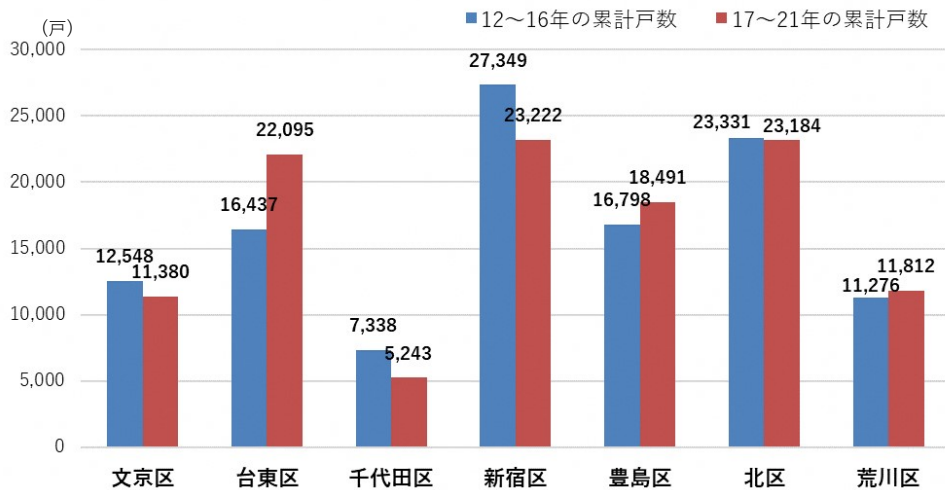
出典：住宅・土地統計調査（各年）

図 1-4-2 住宅の種別、新設着工戸数



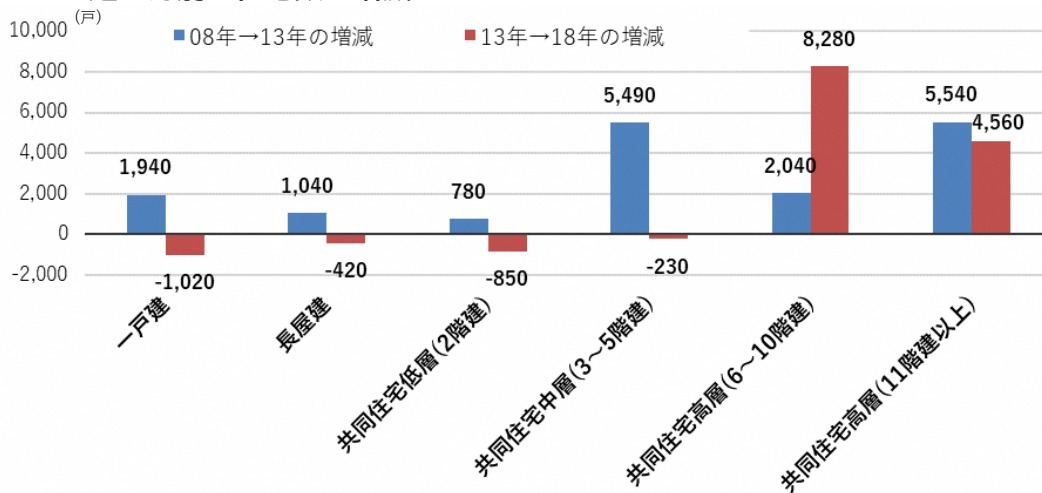
出典：建築統計年報（各年）

図 1-4-3 住宅着工戸数の比較（5年間の累計着工戸数）



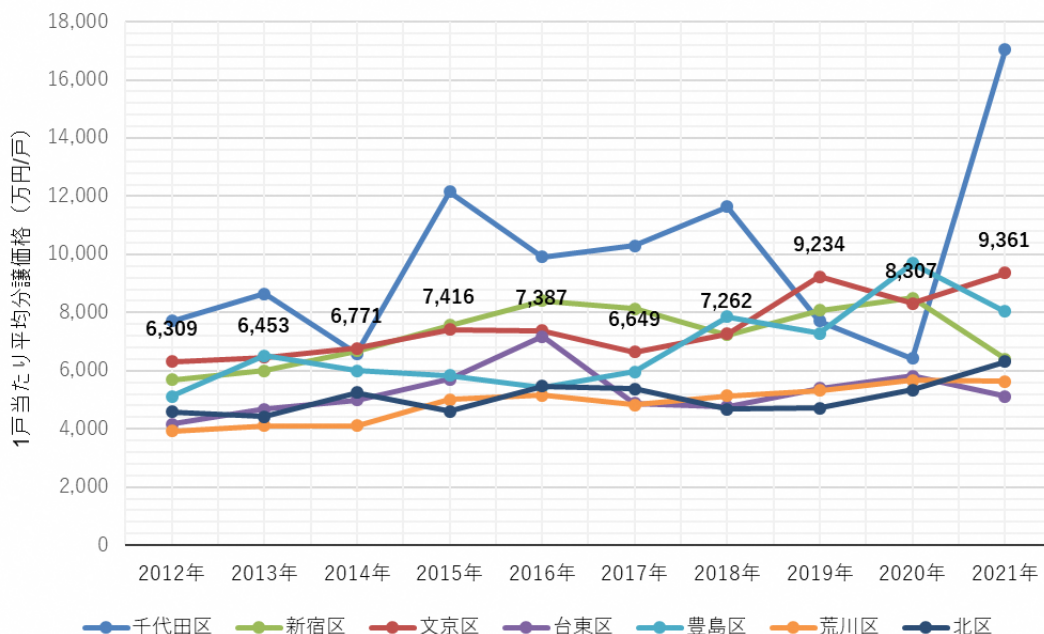
出典：建築着工統計調査 住宅着工統計（各年）

図 1-4-4 建て方別の住宅数の増減



出典：住宅・土地統計調査（各年）

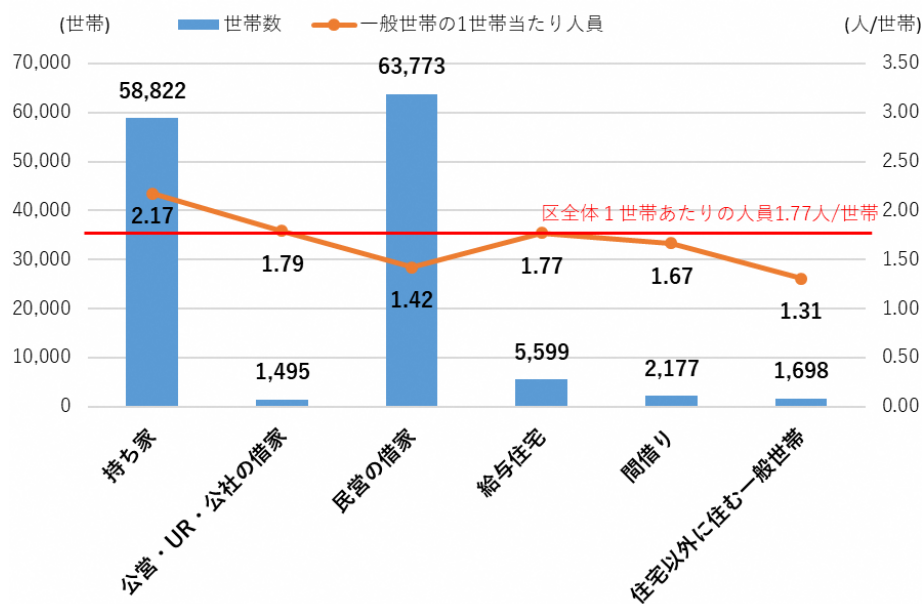
図 1-4-5 分譲マンション1戸あたり平均分譲価格



出典：「全国マンション市場動向」(株)不動産経済研究所

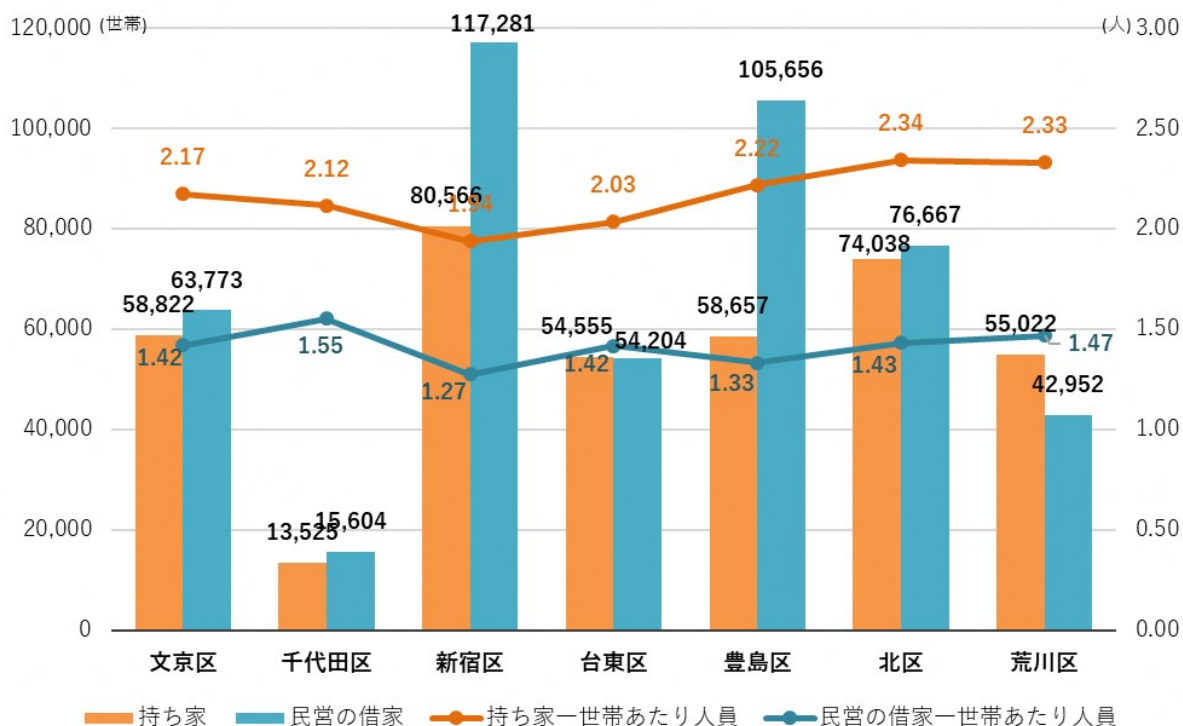
## (2) 住宅の広さと居住性

図 1-4-6 所有関係別の世帯数と1世帯当たり人員



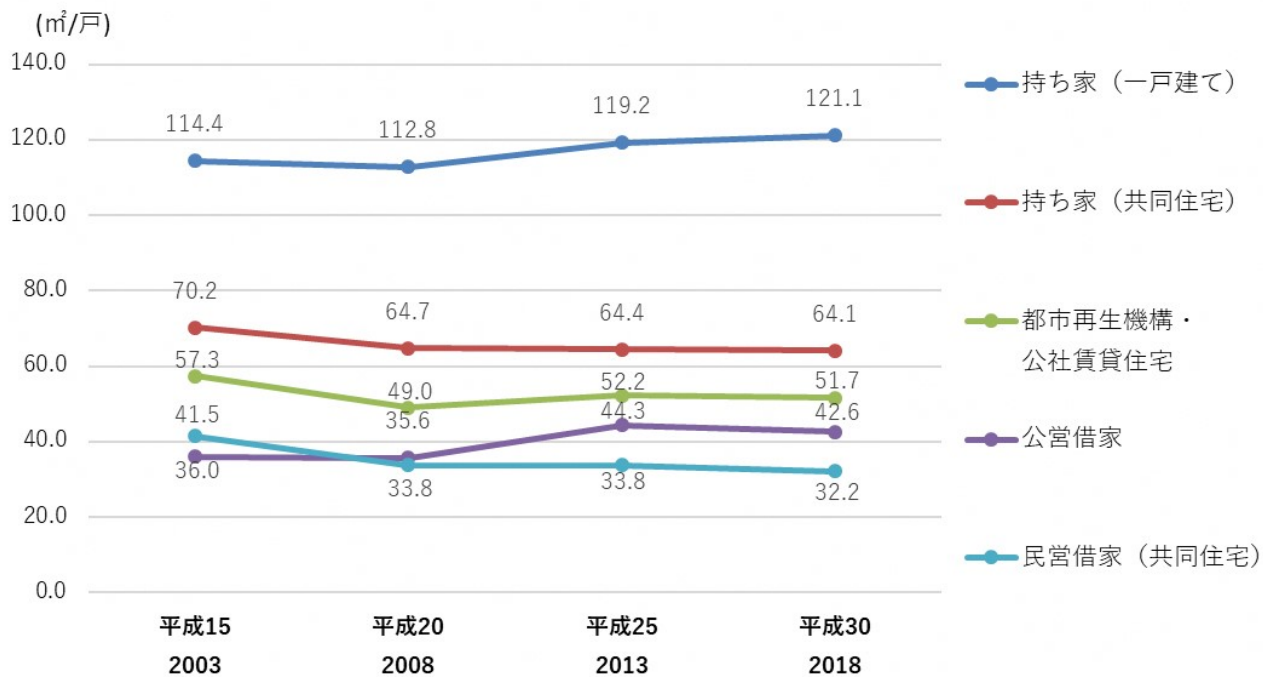
出典：国勢調査（令和2年）

図 1-4-7 所有関係別の世帯数と1世帯当たり人員



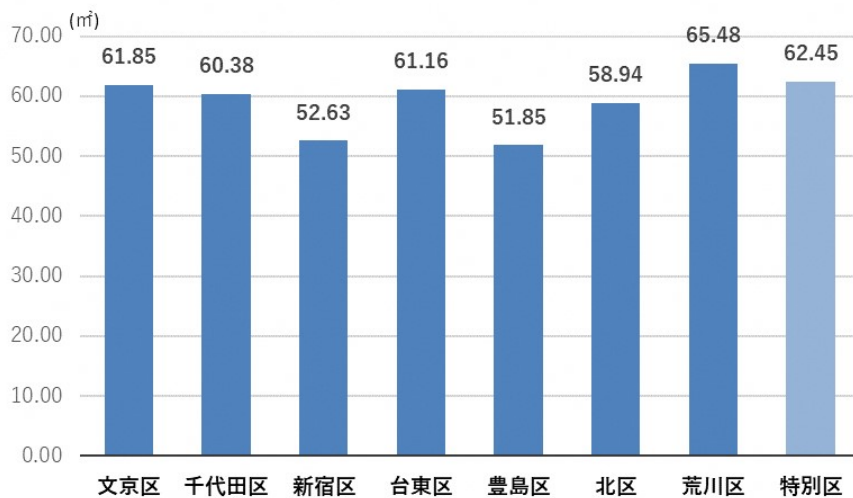
出典：国勢調査（令和2年）

図 1-4-8 住宅1戸当たりの平均床面積



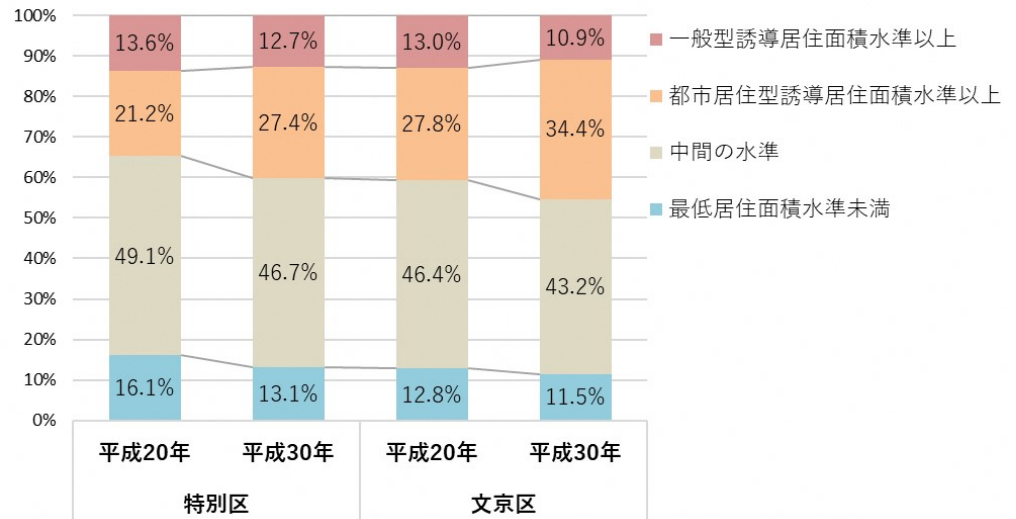
出典：住宅・土地統計調査（平成30年）

図 1-4-9 住宅1戸当たりの平均床面積の比較



出典：住宅・土地統計調査（平成30年）

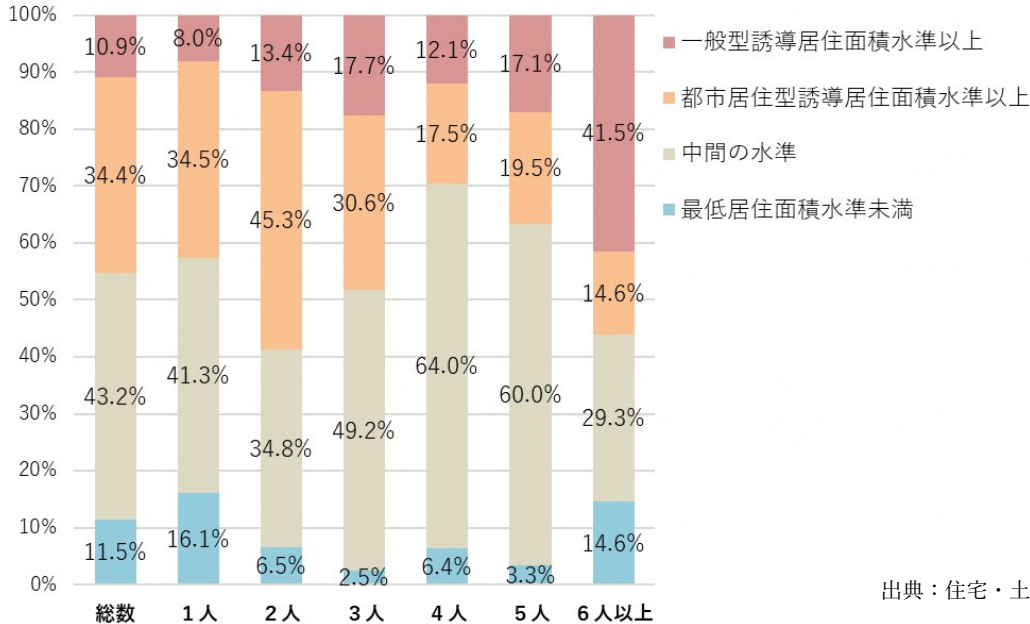
図 1-4-10 居住面積水準の推移



項目	特別区		文京区	
	平成20年	平成30年	平成20年	平成30年
最低居住面積水準未満	673,190	643,800	12,610	14,310
中間の水準	2,051,700	2,291,200	45,760	54,020
都市居住型誘導居住面積水準以上	884,690	1,341,500	27,380	43,010
一般型誘導居住面積水準以上	568,110	624,700	12,770	13,630

出典：住宅・土地統計調査（各年）

図 1-4-11 世帯別居住面積水準の割合



出典：住宅・土地統計調査（平成30年）

※誘導居住面積水準（都市型）：都市の中心及びその周辺における共同住宅居住を想定

【面積】単身者：40㎡、2人以上の世帯：20㎡×世帯人数+15㎡

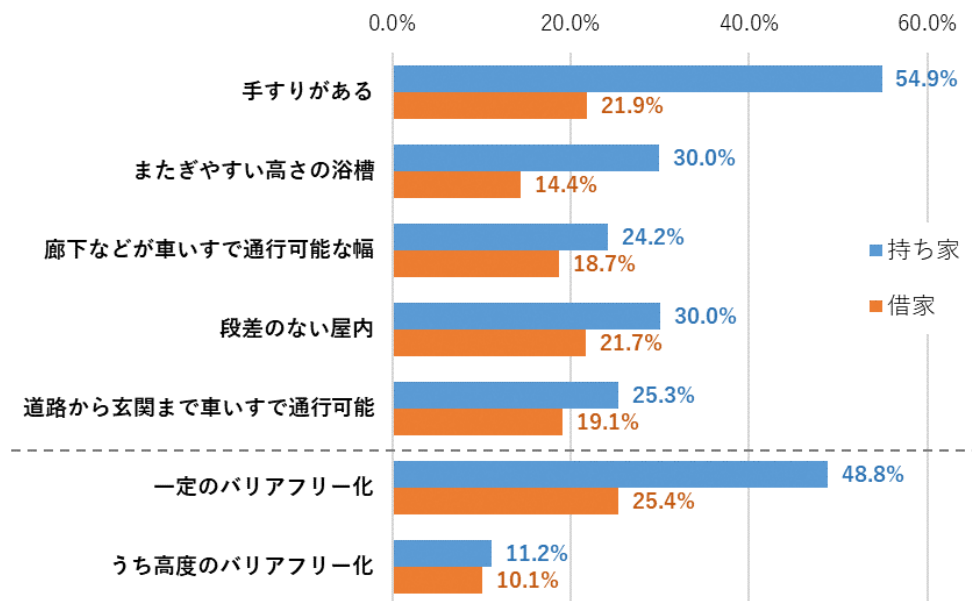
※誘導居住面積水準（一般型）：都市の郊外及び都市以外の一般地域における戸建住宅居住を想定

【面積】単身者：55㎡、2人以上の世帯：25㎡×世帯人数+25㎡

※最低居住面積水準：世帯人数に応じて健康で文化的な住生活の基礎として必要不可欠な住宅の面積に関する水準

【面積】単身者：25㎡、2人以上の世帯：10㎡×世帯人数+10㎡

図 1-4-12 65 歳以上の世帯員のいる主世帯のバリアフリー化の実施状況



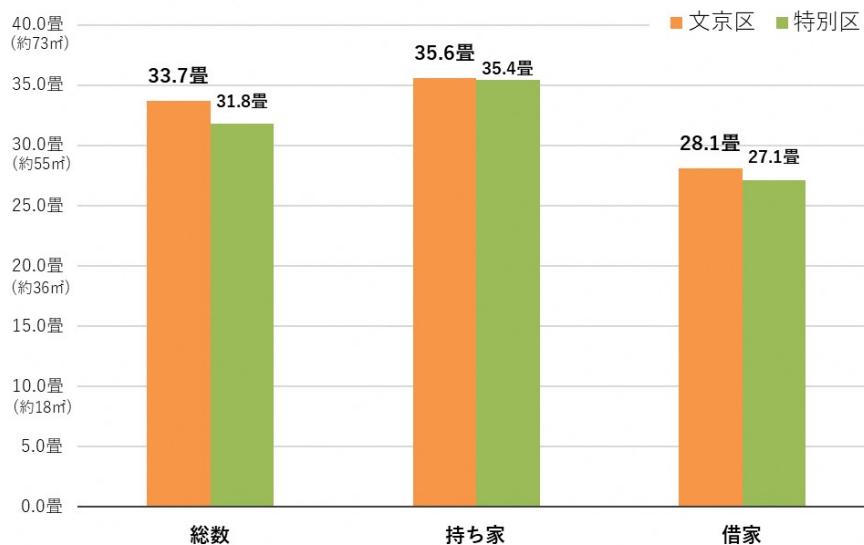
※専用仕切りのみ

※一定のバリアフリー化：「2か所以上の手すりの設置」又は「段差のない屋内」を満たす住宅

※高度のバリアフリー化：「2か所以上の手すりの設置」、「段差のない屋内」、「廊下などが車いすで通行可能な幅」のいずれも満たす住宅

出典：住宅・土地統計調査（平成 30 年）

図 1-4-13 夫婦と 18 歳未満の者からなる世帯の住宅 1 戸当たりの平均床面積

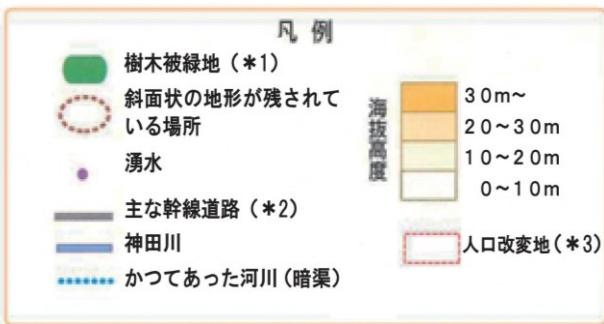


出典：住宅・土地統計調査（平成 30 年）

# 5 景観

## (1) 景観資源

図 1-5-1 斜面緑地、湧水、河川の分布



**(\*1) 樹木被覆地**

樹林地・植栽地・草地等で被われた土地（緑被地）のうち、樹木・竹に被われた区域

**(\*3) 人口改変地**

人工的に造成された土地

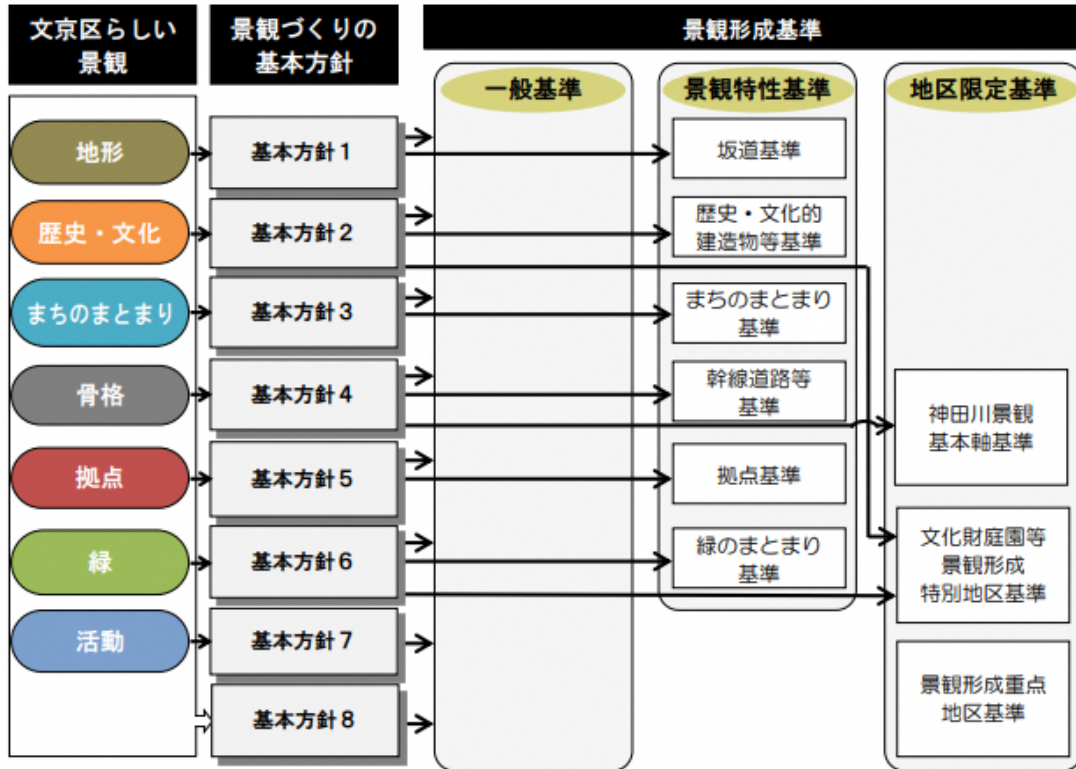
**(\*2) 主な幹線道路**

主に計画幅員が 25m以上の道路を記載

※「緑の基本計画（平成 11 年）」「わがまち文京（平成 11 年）」より作成  
出典：文京区「文京区景観計画（平成 25 年 10 月）」

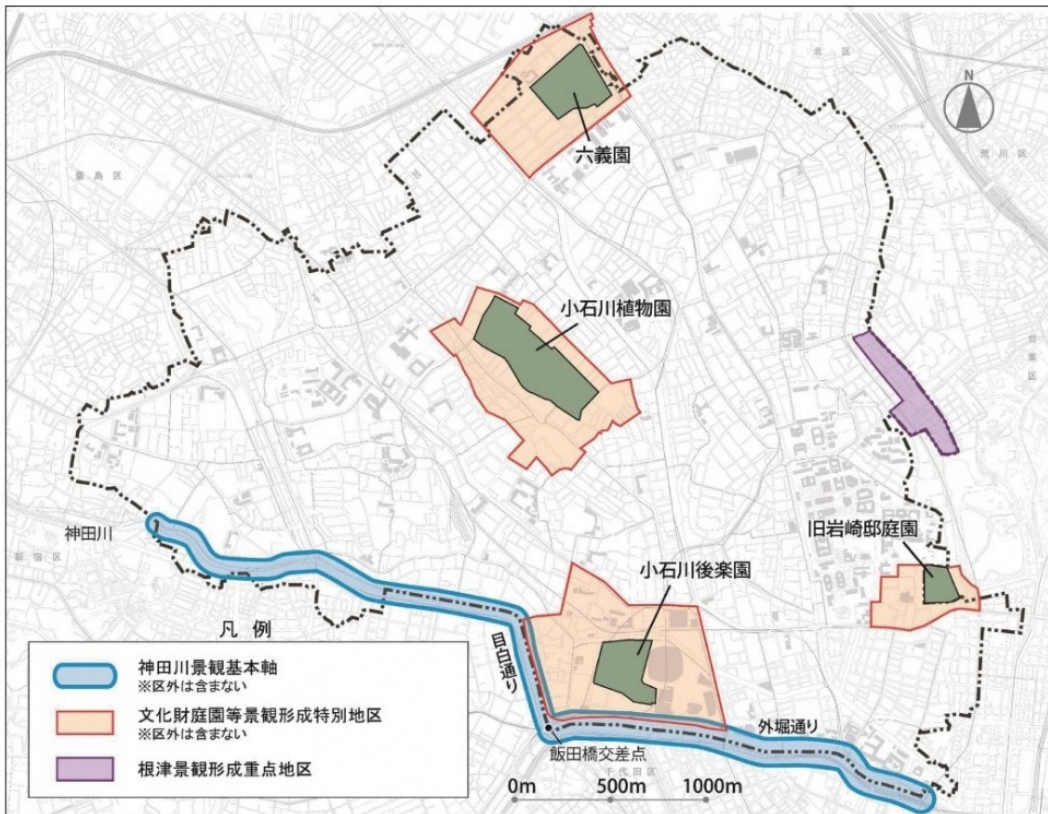


図1-5-2 「文京区らしい景観」及び「景観づくりの基本方針」と「景観形成基準」の対応についてのイメージ図



出典：文京区「文京区景観計画（概要版）（平成25年10月）」

図1-5-3 地区限定基準が適用される場所等



出典：文京区「文京区景観計画文化財庭園等景観形成特別地区（小石川植物園）追録版（平成27年12月）」

## (2) 景観に関する取組み

表 1-5-1 文の京景観賞の選定結果

開催回	年度	景観創造賞/都市景観部門	ふるさと景観賞	景観づくり活動賞/観づくり活動部門	景観広告賞/こども景観写真部門
第1回	H13年度	パークハウス白山御殿町	日立製作所白山閣前の坂と周辺	文京の歴史・文化研究会/関口台町小学生	
第2回	H14年度	IVVCOURT 本郷向丘/凸版印刷株式会社トッパン小石川ビル			
第3回	H15年度	「扉のない校門」東洋大学	播磨坂さくら並木	文京歴史的建物の活用を考える会(たてもの応援団)	
第4回	H16年度	講談社本社ビル	神田川	あるく・さぐる・えがく～文京描く会	
第5回	H17年度	ゆとりあるポケットパークと大楠(東洋大学6号館)	歴史を感じる楠とレンガ塀(東京大学本郷キャンパス)	心に染みる感動の奉仕(鶴見芳雄さん、成澤まさ江さん)	
第6回	H18年度	釜竹とその界隈	駒塚橋からの眺望(胸突坂、神田川沿いの桜並木ほか)	文の京ロード・サポート播磨坂	
第7回	H19年度	舌岐坂の巨大壁画(東洋学園大学)	湯立坂	緑のごみ銀行	
第8回	H20年度	白の輝き、跡見学園女子大学(文京キャンパス2号館)	神田川水景色/鷺坂	千駄木の森を考える会	
第9回	H21年度	緑を取り入れたビル群(独立行政法人住宅金融支援機構・コートレジデントタワー管理組合・東京都下水道局・森ビル株式会社・トヨタ自動車株式会社)	吉祥寺山門	須藤公園清掃活動(千駄木三丁目南部町会)	八重垣煎餅
第10回	H22年度	慶喜公屋敷跡に建築された大学院大学(国際仏教学大学院大学)	善光寺坂	大塚地区町会連合会	
第11回	H23年度		東大銀杏並木と安田講堂/鏡(あぶみ)坂	変化朝顔展示会	菊見せんべい総本店
第12回	H24年度	文京区立森鷗外記念館	菊坂 一葉旧居跡周辺	小石川後樂園庭園南側緑道	染物洗張 丁子屋
第13回	H25年度	東京大学の外と内(東京大学伊藤国際学術研究センター)	駒込富士神社/天祖神社参道	文京建築会ユース	一幸庵
第14回	H26年度	桜蔭学園	須藤公園	礪南五ヶ町夏まつり	播磨坂もりずみ
第15回	H27年度	文京学院大学本郷キャンパス東本館	白山神社のあじさいまつり	みやなが小路(根津の路地再生プロジェクト)	あめ細工吉原
第16回	H28年度	野菜倶楽部 oto no ha café (オトノハカフェ)	葉月の闇夜と傳通院(でんづういん)	『西片だより』創刊号～700号	岡埜栄泉
第17回	H29年度	公益財団法人三菱経済研究所	湯島天満宮	愛のチャリティー白山まつり	
第18回	H30年度	文京区教育センター	弓町の大クス	文京区坂道マップ	
第19回	H31年度	東京カテドラル聖マリア大聖堂	しろへび坂		本郷 三原堂
第20回	R3年度	本郷給水所公苑		ほんごう街クラブ	ずっと名前が分からなかった気になる坂/ご国寺にかかるようせいの橋
合計		24件	19件	19件	8件

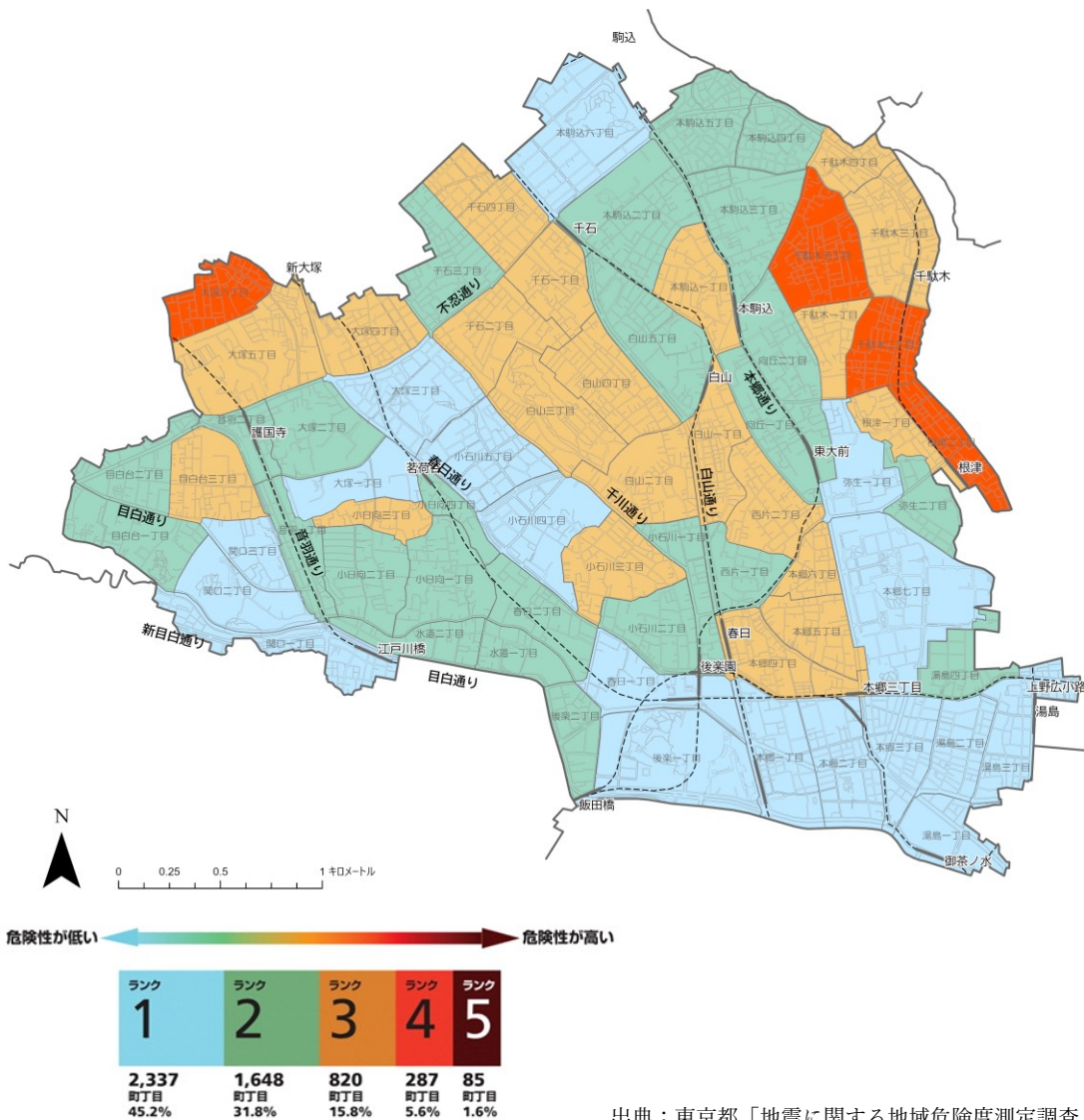
※令和2年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

出典：文京区ホームページより

## 6 防災まちづくり

### (1) 地域危険度と被害想

図 1-6-1 地域総合危険度



出典：東京都「地震に関する地域危険度測定調査（第9回）」より作成

表 1-6-1 文京区の被害想定（冬 18 時、風速 8m/s の場合）

地震の種類			都心南部 直下地震	多摩東部 直下地震	大正関東 地震	立川断層 帯地震		
人的 被害	死者		(人)	29	31	7	0	
	負傷者		(人)	1,073	1,176	379	0	
	原因別	ゆれ・建物被害		(人)	707	788	203	0
		屋内収容物（参考値）		(人)	99	99	78	0
		急傾斜地崩壊		(人)	0	0	0	0
		火災		(人)	8	9	4	0
		ブロック塀等		(人)	254	274	92	0
		屋外落下物		(人)	6	7	3	0
物的 被害	建物全壊棟数		(棟)	468	512	92	0	
	建物半壊棟数		(棟)	2,461	2,519	955	1	
	火災	出火件数		(棟)	5	6	3	0
		焼失 棟数	倒壊建物を 含む	(棟)	137	127	53	1
			倒壊建物を 含まない	(棟)	135	125	52	1

出典：東京都「首都直下地震等による東京の被害想定」令和 4 年 5 月 25 日公表

図 1-6-2 全壊棟数分布（都心南部直下地震）

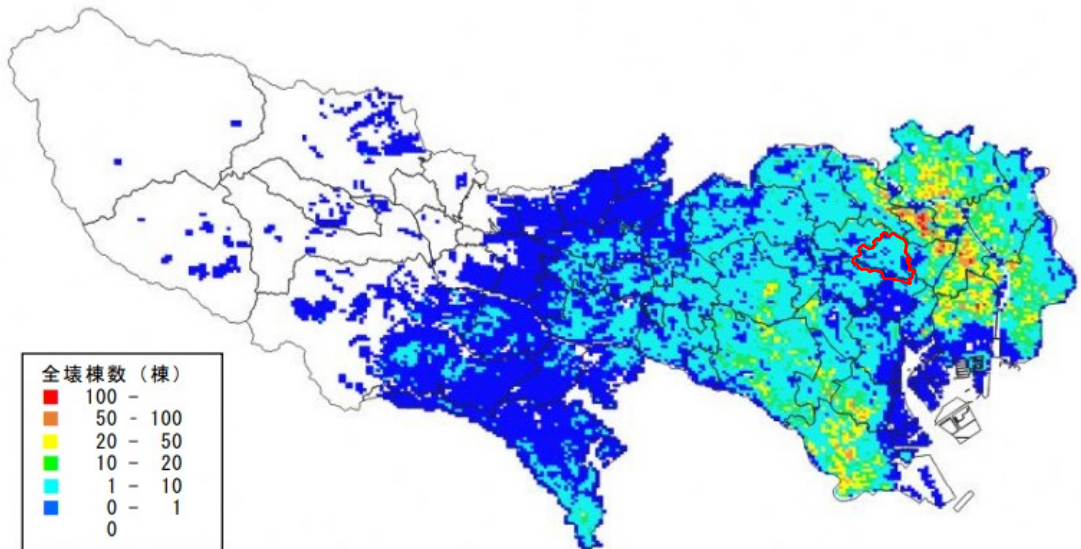


図 1-6-3 焼失棟数分布（都心南部直下地震、冬・夕方、風速 8m/s）

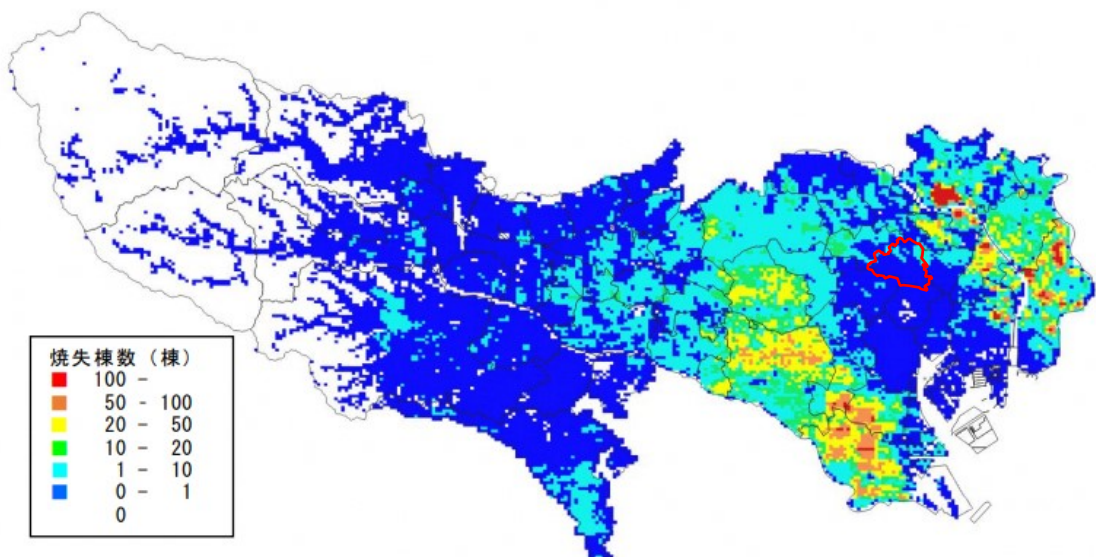
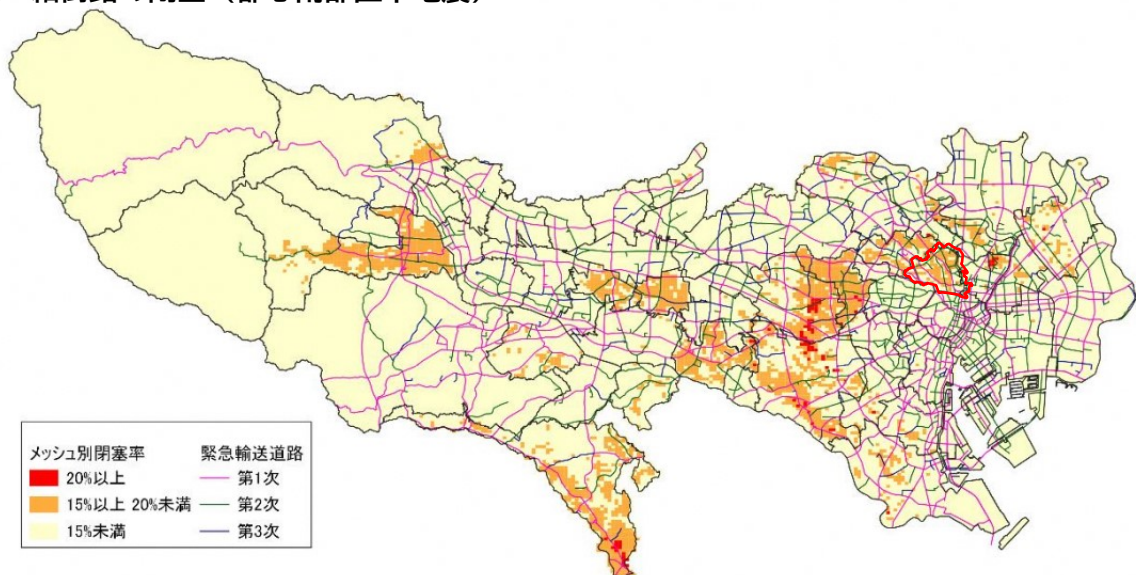


図 1-6-4 細街路の閉塞（都心南部直下地震）



出典：東京都「首都直下地震等による東京の被害想定」令和4年5月25日公表

表 1-6-2 文京区の帰宅困難者数（冬 18 時、風速 8m/s の場合）

地震の種類		都心南部 直下地震	多摩東部 直下地震	大正関東 地震	立川断層 帯地震
避難者数	(人)	39,160	40,163	17,533	2,742
帰宅困難者数	(人)	139,195	139,195	139,195	139,195
都内滞留者数	(人)	396,041	396,041	396,041	396,041
都内滞留 者数	屋内被災者数	学校	(人)	98,552	
		業務	(人)	118,309	
		計	(人)	286,861	
	屋外被災者数	私用	(人)	27,008	
		不明	(人)	504	
		計	(人)	27,512	
	待機人口	自宅	(人)	12,563	
		移動開始前	(人)	22,048	
		移動なし	(人)	36,572	
		計	(人)	71,183	
	滞留場所不明人口		(人)	10,485	
総計		(人)	396,041		

※屋内被災者＝滞留目的が業務又は学校であり、発災時に屋内にいると考えられる人の総数

屋外被災者＝滞留目的が私用又は不明であり、発災時に屋外にいると考えられる人の総数

待機人口＝滞留目的が自宅及びその周辺の人の総数

滞留場所不明人口：発災の時間帯に何らかの目的をもって移動中であり、発災時の滞在場所が不明な人の総数

出典：東京都「首都直下地震等による東京の被害想定」令和 4 年 5 月 25 日公表

## (2) 都市における防災機能と対策

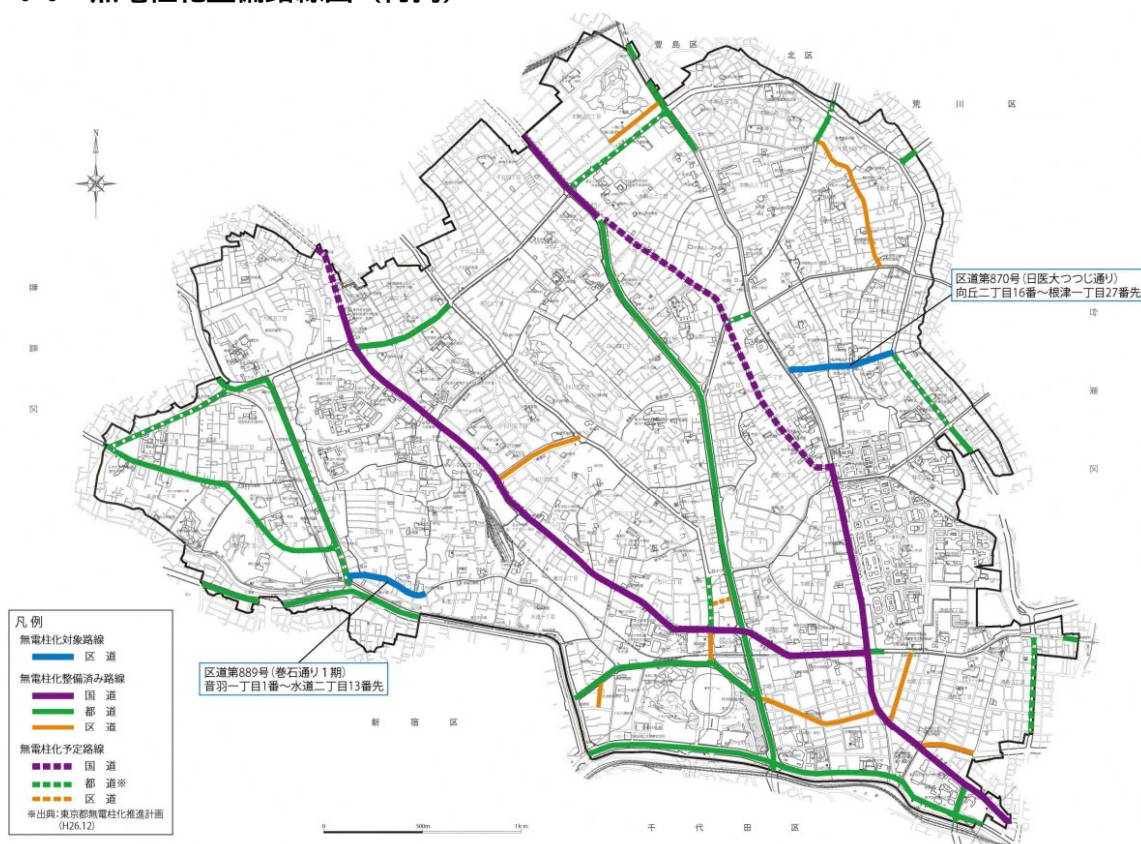
表 1-6-3 細街路拡幅整備実績

年度	整備件数 (件)	整備延長 (m)	後退面積 (㎡)	隅切り (箇所)
平成 23 年度	227	2,887.6	2,928.2	56
平成 24 年度	161	1,898.6	3,027.9	20
平成 25 年度	228	2,710.9	3,137.5	46
平成 26 年度	226	2,596.3	3,273.1	20
平成 27 年度	240	1-126.7	2,626.8	33
平成 28 年度	196	2,567.3	3,012.8	31
平成 29 年度	200	2,597.1	2,618.8	53
平成 30 年度	225	2,720.6	2,645.6	50
令和元年度	210	2,356.8	2,475.6	47
令和2年度	198	1-294.7	1,433.7	39
令和3年度	188	2,542.3	1,913.1	52
平成2～令和3年度累積	5,956	78,494.1	60,322.9	1,300

※平成2年10月より拡幅整備事業開始

出典：文京区「都市計画部概況」(各年)

図 1-6-5 無電柱化整備路線図 (再掲)



出典：文京区無電柱化推進計画  
(2019年4月策定)

表 1-6-4 緊急輸送道路・緊急輸送道路障害物除去路線の選定基準・路線数

名称	選定基準	路線数
緊急輸送道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急交通路等の交通規制を行う路線</li> <li>・ 緊急輸送道路ネットワークの路線（緊急輸送道路）</li> <li>・ 避難場所に接続する応急対策活動のための道路の路線</li> <li>・ 原則として、幅員 15m以上の道路の路線</li> </ul>	17 路線
緊急輸送道路障害物除去路線	国道及び都の選定路線に連結した道路で、防砂倉庫、避難所、給水拠点、救急病院、妊産婦・乳幼児救護所等を結ぶ路線	38 路線

出典：文京区地域防災計画（平成 30 年度修正）



図1-6-6 文京区防災地図 (令和3年9月)

【令和3年9月版】

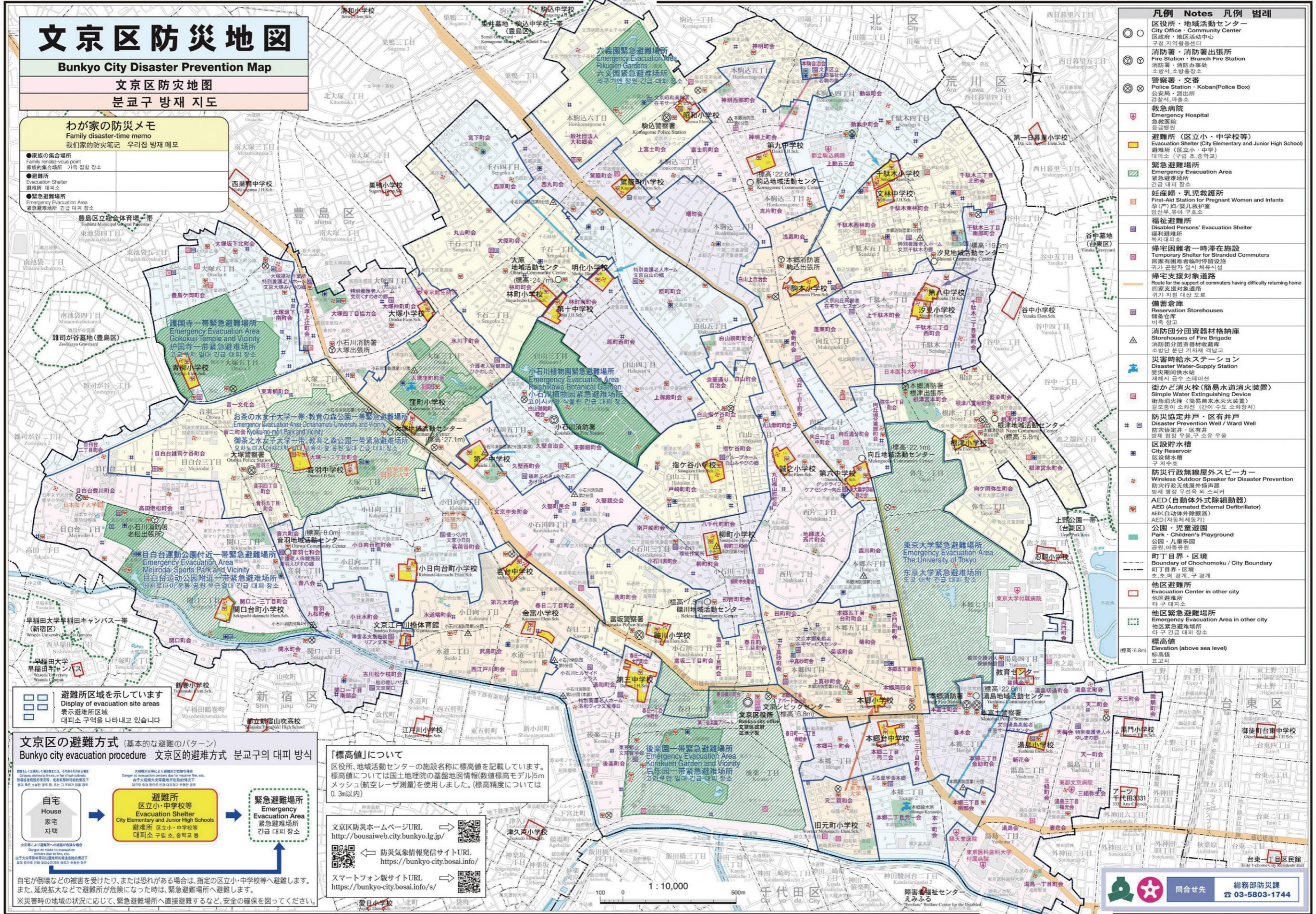
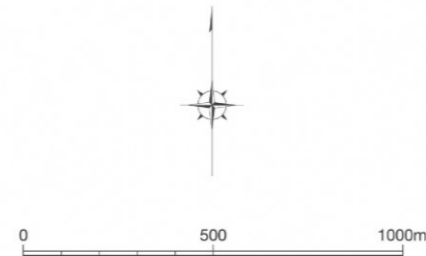


図1-6-7 緊急輸送道路・緊急道路障害物除去路線図

緊急道路障害物除去路線(区)

国・都の選定路線に連絡した道路で、避難所、備蓄倉庫、給水拠点、救急病院等を結ぶ経路



◆東京都指定緊急輸送道路

- (1) 第一次緊急輸送道路
  - ① 都道8号(目白通り)
  - ② 国道254号(春日通り)
  - ③ 国道17号(本郷通り)
  - ④ 区道900号(蔵前橋通り)
- (2) 第二次緊急輸送道路
  - ⑤ 都道437号(不忍通り)
  - ⑥ 都道301号(白山通り)
  - ⑦ 都道455号(本郷通り)
  - ⑧ 区道870号
  - ⑨ 都道319号(言問通り)
  - ⑩ 都道453号(春日通り)
  - ⑪ 都道405号(外堀通り)
  - ⑫ 都道435号(音羽通り)
  - ⑬ 都道436号(千川通り)
  - ⑭ 都道458号(白山小台通り)
- (3) 第三次緊急輸送道路
  - ⑮ 都道435号
  - ⑯ 都道457号(道灌山通り)
  - ⑰ 都道8号(新目白通り)

道路区分

- 第一次緊急輸送道路(国・都)
- 第二次緊急輸送道路(都)
- 第三次緊急輸送道路(都)
- その他障害物除去路線(都)
- 緊急道路障害物除去路線(区)



出典：文京区地域防災計画(平成30年度修正)

### (3) 水害・土砂災害

表 1-6-4 土砂災害警戒区域、土砂災害特別計画区域

種類	内容	箇所数
土砂災害警戒区域（通称「イエローゾーン」）	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域で、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。	106 箇所 （他に、千代田区との区境に千代田区指定区域が 1 箇所あり）
土砂災害特別警戒区域（通称「レッドゾーン」）	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。	64 箇所

表 1-6-5 文京区内の指定区域箇所数

町名	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
春日	10	5
小石川	6	3
白山	8	3
千石	2	0
小日向	10	7
大塚	11	8
関口	7	5
目白台	6	6
音羽	2	1
本郷	17	8
湯島	3	2
西片	7	6
弥生	7	5
根津	1	1
千駄木	9	4
合計	106	64

出典：文京区ホームページ

図1-6-8 文京区水害ハザードマップ（令和3年9月）



## 第2章 アンケート調査

---

- 1 区民意識調査
- 2 来訪者アンケート
- 3 事業者アンケート
- 4 就業者アンケート
- 5 大学アンケート

# 1 区民意識調査

## (1) 企画

区民意識調査について、以下の内容にて実施した。

### 1) 目的

区民のまちづくりに関するニーズを把握し、都市マスタープランの見直しに活用するためとする。

### 2) 対象・実施方法

調査の対象及び実施方法は以下の表のとおりとする。

#### ■対象及び実施方法

区分	内容	備考
対象	18歳以上の区内居住者	直近の区政世論調査を踏まえ回収率を約40%と想定し、1000サンプル程度を回収するために、住民基本台帳（令和3年12月時点）より2,525人（2,500人×40%=1,000人程度）を年代構成、男女比に応じて無作為抽出する。
回答方法	1. 回答用紙による回答	6ページ（両面3枚）の左側を2か所ホッチキス止めしたものとする。
	2. WEBによる回答	回答率を上げるため、WEBによる回答を取り入れた。また、アンケート依頼票のレイアウトをWEBによる回答を促すように工夫をする。なお、今回は同一のデバイスから複数回回答ができないように設定した。

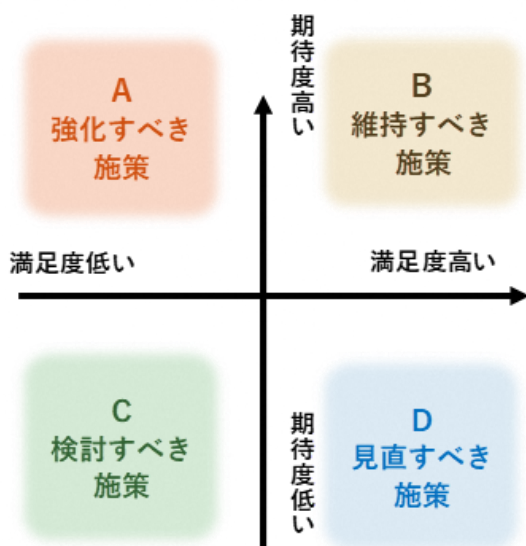
### 3) 調査項目

調査項目は、以下の表のとおりとする。

#### ■調査項目と各項目の狙い

区分		各問を聞くねらい／改定案への反映方法等
問1	個人属性について	問2以降の設問とクロス集計することで、個人属性ごとに回答の特徴を捉える。特に、地域毎に回答の各項目の特徴を捉えることで地域毎の方針に反映できる。
問2	区の魅力について	現行都市マスタープランの区の魅力の項目ごとに区民がどの程度満足しているのか、今後どのような魅力を高めたいのかクロス集計（下図参照）によってA強化すべき魅力方針B維持すべき魅力方針C検討すべき魅力方針D見直すべき魅力方針として捉える。これによって、現行都市マスタープランに記載のある魅力の項目や記述内容の見直しの材料とする。
問3	区の実施について	現行都市マスタープランの施策及びそれに紐づく事業について区民が具体的にどのようなものを進めてほしい（あるいは、進める必要がない）と考えているのかを「現在の満足度」と「今後の期待度」のクロス集計（下図参照）によってA強化すべき施策B維持すべき施策C検討すべき施策D見直すべき施策として捉え、現行都市マスタープランの施策項目や記述内容の見直しの材料とする。
問4	今後のまちづくりの進め方等（自由記述）	以上の問で拾いきれない区民のまちづくりに関する細かい要望やニーズを捉える。特に重要であると考えられる項目については見直し時に今後力を入れるべき新しい項目として記載を検討する。

#### ■クロス集計のダイアグラム



## (2) 実施

区民意識調査について、実施概要は以下のとおりとする。

### ■実施概要

対象	18歳以上の区内居住者（無作為抽出された2,525人）
実施日時	令和4年2月28日（月）～令和4年3月11日（金）（11日間） ※一部地域は郵送の都合上、令和4年2月25日（金）～令和4年3月11日（金）（14日間）
配布物	①～③を④に封入し、配布した。 ① 依頼票 ② 調査票 ③ 返信用封筒 ④ 送付用封筒



### (3) 回答概要

区民意識調査の集計を行った。回収状況は以下のとおりである。

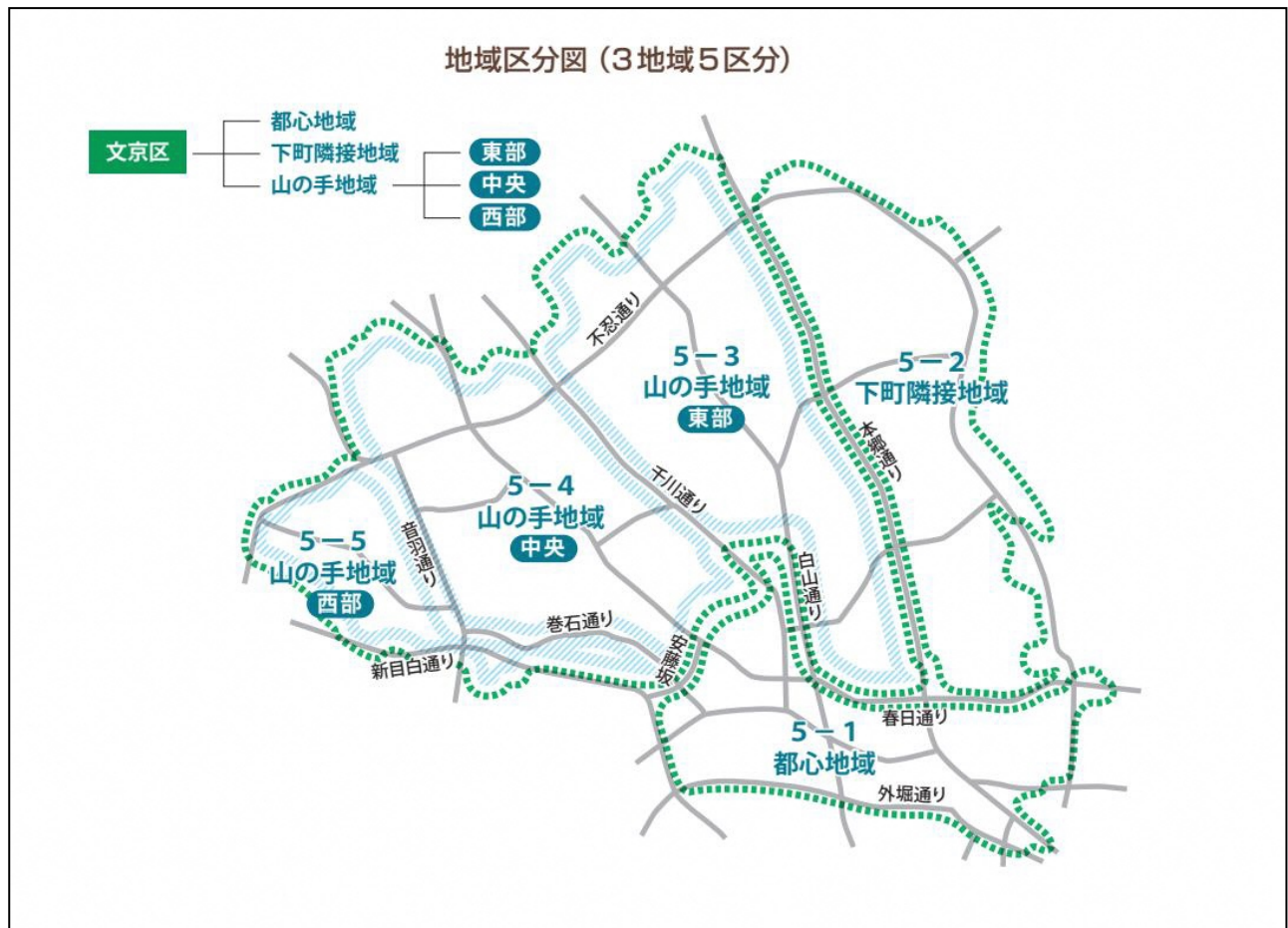
次ページ以降よりアンケート結果を掲載する。今回は、アンケート結果から地域的傾向を明らかにするために、問2、問3は現行都市マスタープランの地域区分により集計を行った。

#### ■回答概要

回答方法	郵送回収	WEB回答
回答数	477件 (2500件の内 19.1%)	256件 (2500件の内 10.2%)
	合計 733件 (回収率：29.0%)	

※本調査では、信頼水準を一般的な 95%とした場合、許容誤差の水準を 3%程度にするために、1,000 件程度の回答を見込んだが、アンケートをより意味のあるものとするために設問数等がやや多くなった等の理由から、回答数が 1,000 件に満たなかった。一方で、回答数が 400 件以上あり、信頼水準を一般的な 95%とした場合、許容誤差は 5%未満となるため、区の平均値から 5%以上差があるものに対して優位性があると考えればよく、分析に問題はない。

#### ■現行都市マスタープランの地域区分



## (4) 集計結果

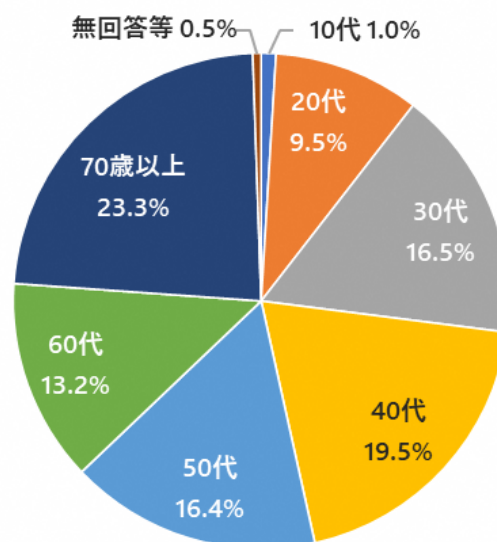
### 1) 問1 個人属性

#### ① 年齢

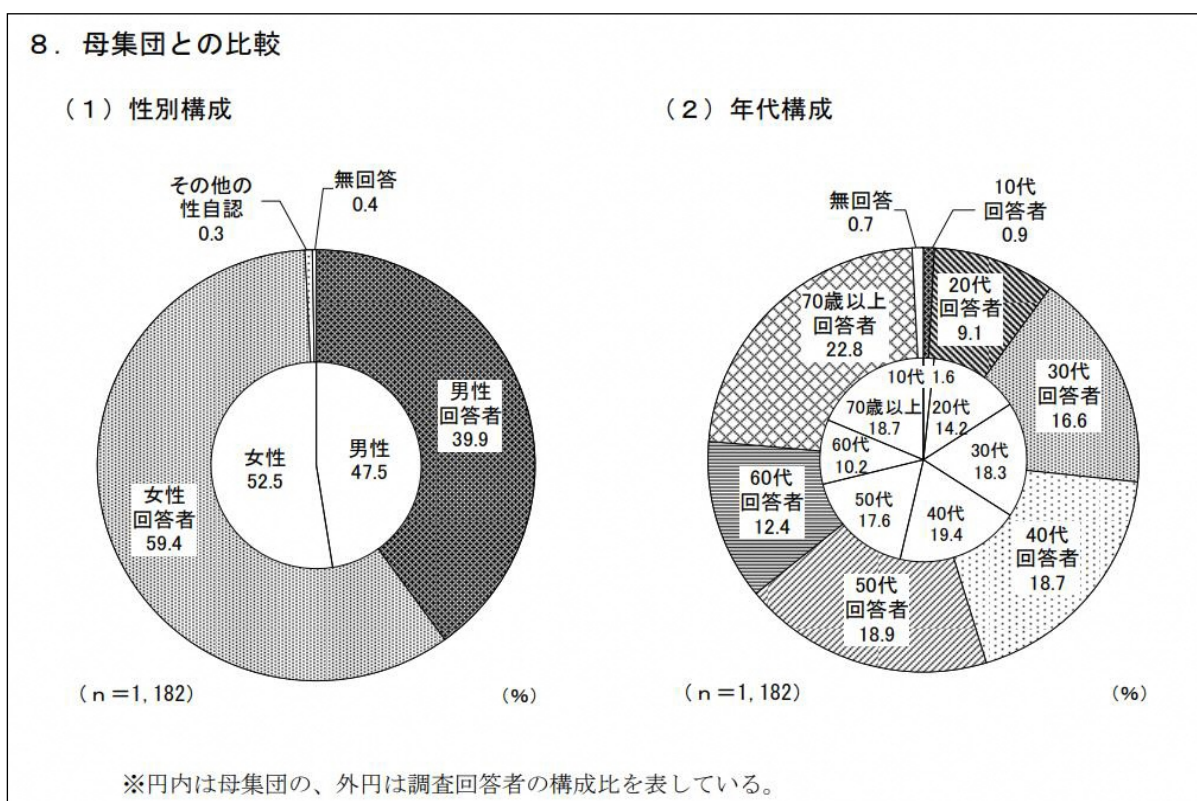
- ・70歳以上の回答者（全体の23.3%）が最も多く、次いで、40代の回答者（全体の19.5%）、30代の回答者（全体の16.5%）と続く。
- ・第25回文京区政に関する世論調査の年代構成と比較すると、それほど大きな差異は見られない。

#### ■回答者の年齢

番号	選択肢	回答者数	割合
1	10代	7	1.0%
2	20代	70	9.5%
3	30代	121	16.5%
4	40代	143	19.5%
5	50代	120	16.4%
6	60代	97	13.2%
7	70歳以上	171	23.3%
99	無回答等	4	0.5%
	合計	733	100.0%



#### (参考) 第25回文京区政に関する世論調査報告書における年代構成



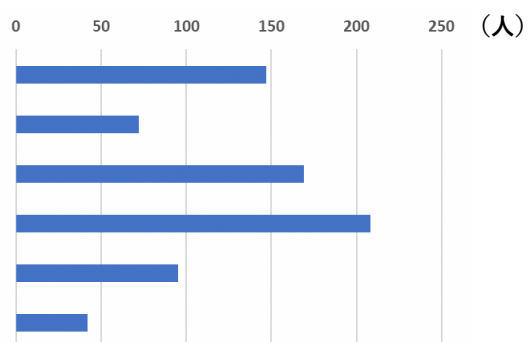
出典：「第25回文京区政に関する世論調査報告書」

## ② 居住地

・居住地を、都市マスタープランにおける3地域、5区分に分類した。

### ■回答者の居住地（3地域、5区分）

3地域5区分	回答者数
下町隣接地域	147
山の手地域西部	72
山の手地域中央	169
山の手地域東部	208
都心地域	95
不明	42
合計	733

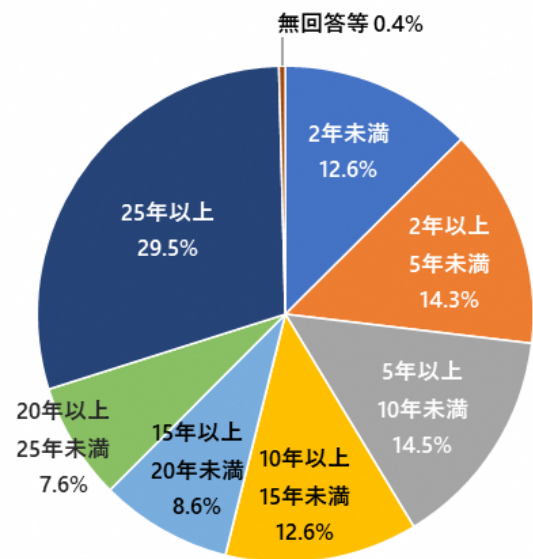


### ③ 居住年数

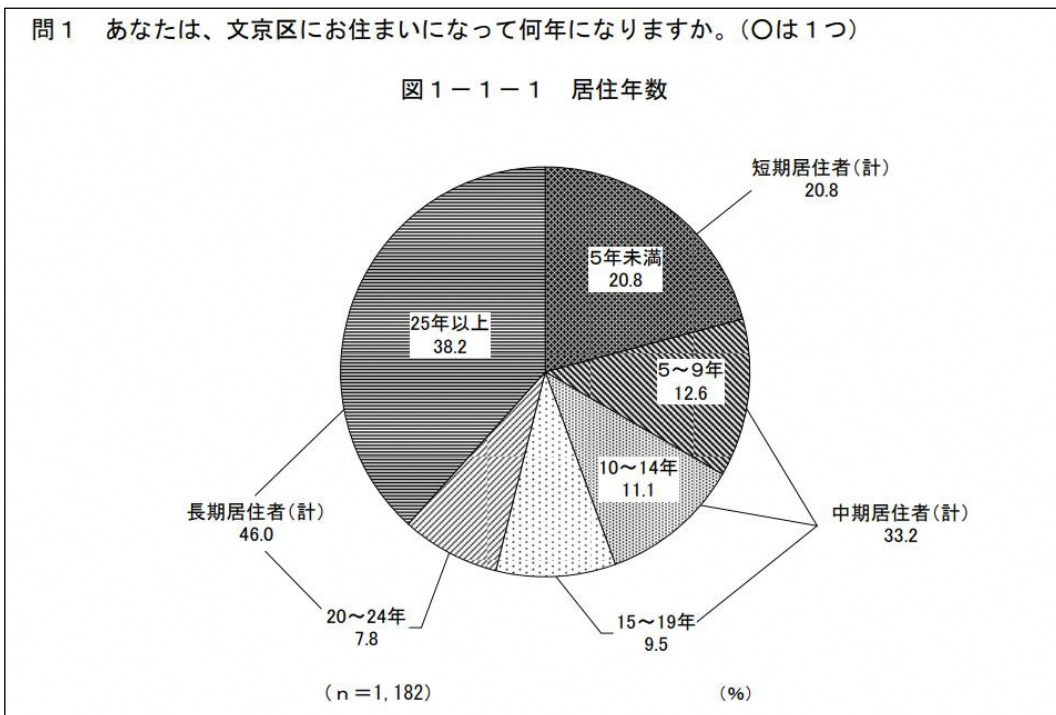
- ・ 25年以上の回答者（全体の29.5%）が最も多く、次いで、5年以上10年未満の回答者（全体の14.5%）、2年以上5年未満の回答者（全体の14.3%）と続く。
- ・ 第25回文京区政に関する世論調査の居住年数と比較すると、本調査では25年以上の回答者の割合が少なく、5年未満（2年未満と2年以上5年未満を足したもの）の回答者の割合が多い。
- ・ 第25回文京区政に関する世論調査の年代構成と比較すると、それほど大きな差異は見られない。

#### ■ 回答者の居住年数

番号	選択肢	回答者数	割合
1	2年未満	92	12.6%
2	2年以上5年未満	105	14.3%
3	5年以上10年未満	106	14.5%
4	10年以上15年未満	92	12.6%
5	15年以上20年未満	63	8.6%
6	20年以上25年未満	56	7.6%
7	25年以上	216	29.5%
99	無回答等	3	0.4%
合計		733	100.0%



#### (参考) 第25回文京区政に関する世論調査報告書における居住年数



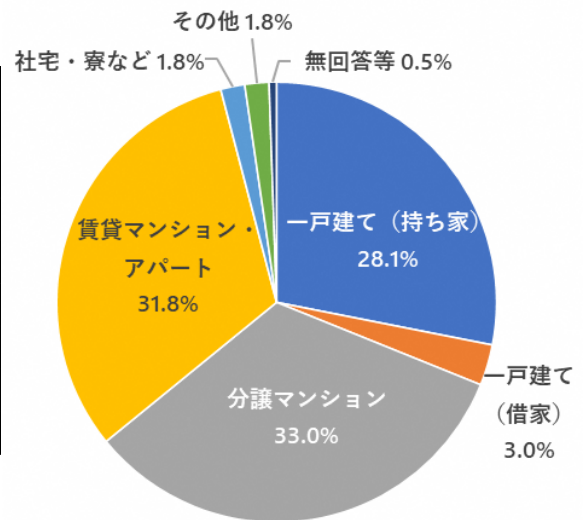
出典：「第25回文京区政に関する世論調査報告書」

#### ④ 住居

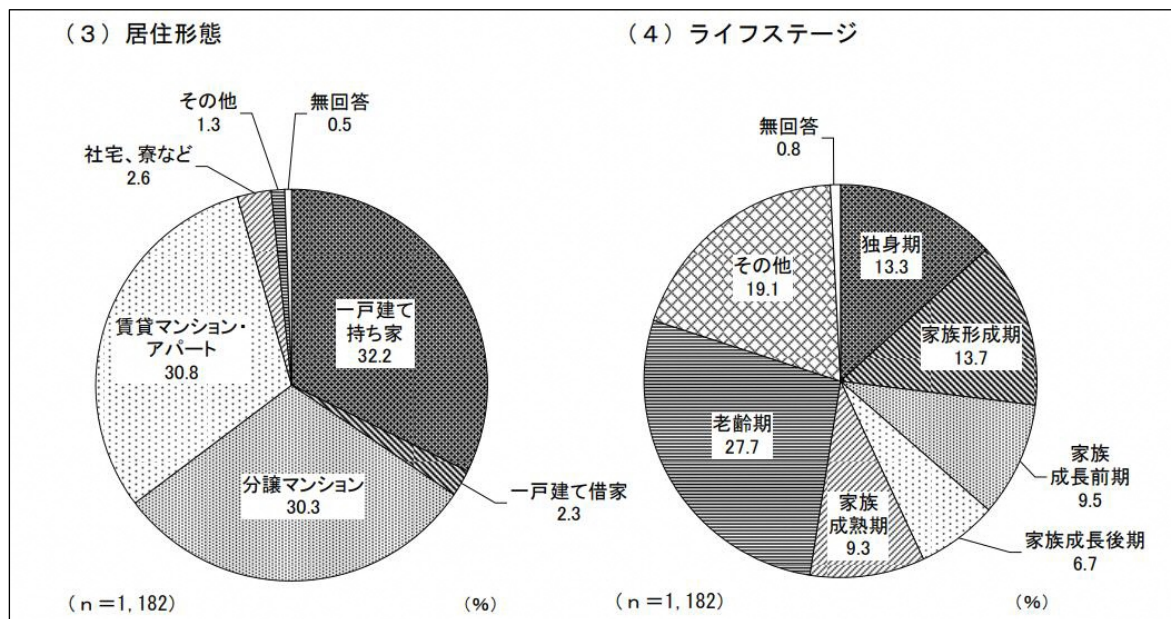
- ・分譲マンションの回答者（全体の 33.0%）が最も多く、次いで、賃貸マンション・アパートの回答者（全体の 31.8%）、一戸建て（持ち家）の回答者（全体の 28.1%）と続く。
- ・第 25 回文京区政に関する世論調査の居住形態と比較すると、それほど大きな差異は見られない。

#### ■回答者の住居

番号	選択肢	回答者数	割合
1	一戸建て（持ち家）	206	28.1%
2	一戸建て（借家）	22	3.0%
3	分譲マンション	242	33.0%
4	賃貸マンション・アパート	233	31.8%
5	社宅・寮など	13	1.8%
6	その他	13	1.8%
99	無回答等	4	0.5%
	合計	733	100.0%



#### (参考) 第 25 回文京区政に関する世論調査報告書における居住形態



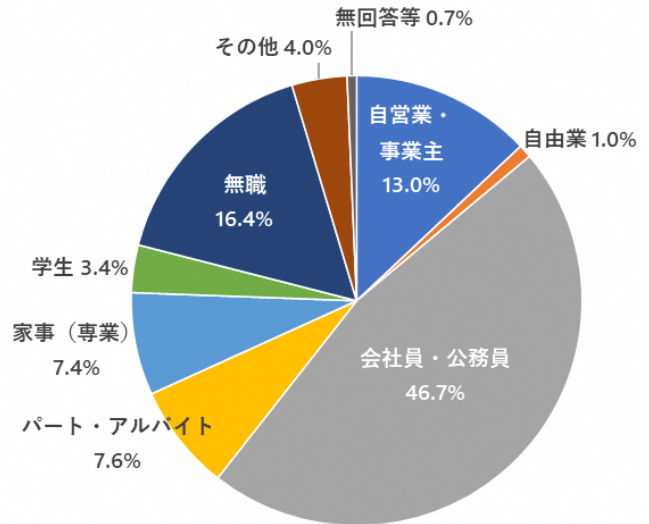
出典：「第 25 回文京区政に関する世論調査報告書」

## ⑤ 職業

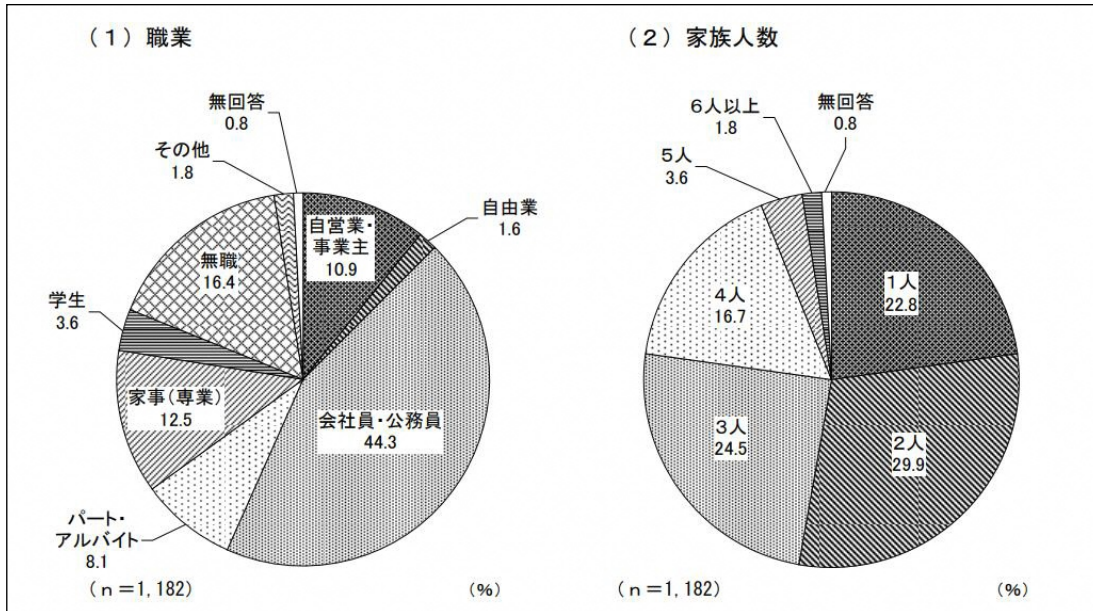
- ・会社員・公務員の回答者(全体の46.7%)が最も多く、次いで、無職の回答者(全体の16.4%)、自営業・事業主の回答者(全体の13.0%)と続く。
- ・第25回文京区政に関する世論調査の居住形態と比較すると、それほど大きな差異は見られない。

### ■回答者の職業

番号	選択肢	回答者数	割合
1	自営業・事業主	95	13.0%
2	自由業	7	1.0%
3	会社員・公務員	342	46.7%
4	パート・アルバイト	56	7.6%
5	家事(専業)	54	7.4%
6	学生	25	3.4%
7	無職	120	16.4%
8	その他	29	4.0%
99	無回答等	5	0.7%
	合計	733	100.0%



### (参考) 第25回文京区政に関する世論調査報告書における居住形態

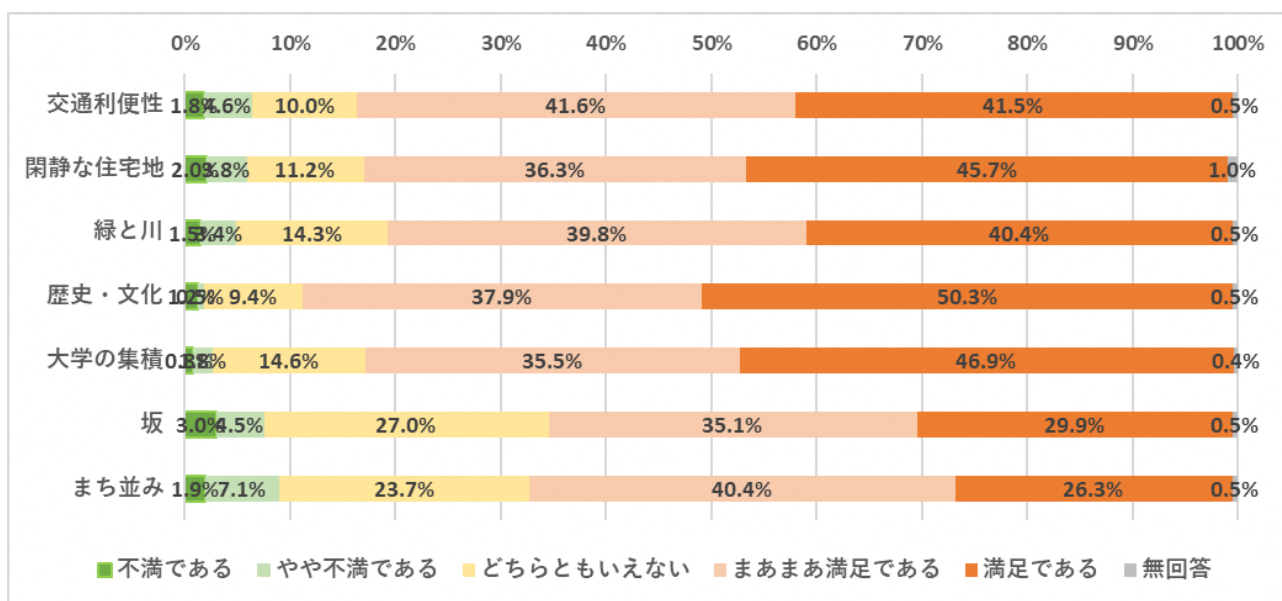


出典：「第25回文京区政に関する世論調査報告書」

## 2) 問2 区の魅力に関する区民の満足度・期待度

- ・区の魅力の各項目に対する区民の満足度では、「満足である」と「まあまあ満足である」を足した場合、歴史・文化が最も高い。次いで、交通利便性、閑静な住宅地が続く。
- ・反対に、「不満である」と「やや不満である」を足した場合、まち並みが最も高い。次いで、坂、交通利便性が続く。

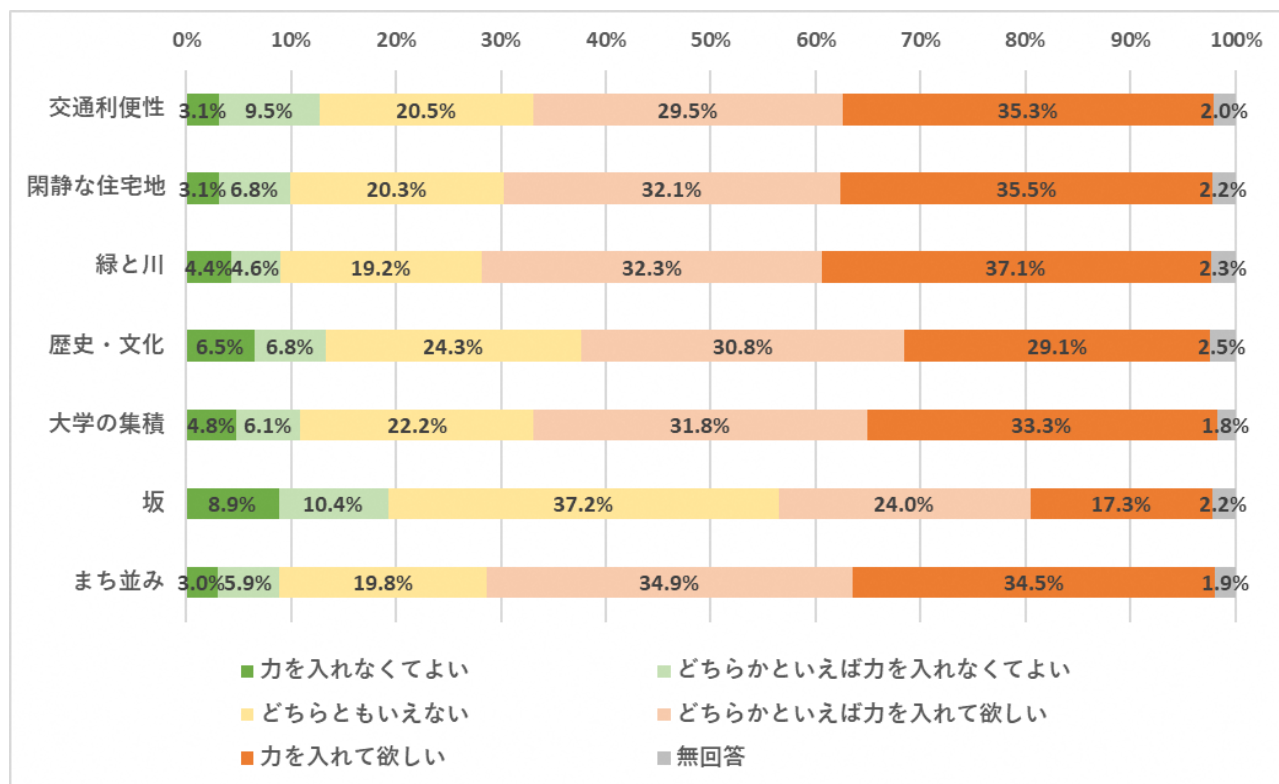
■ 区の魅力の各項目に対する区民の満足度



区の魅力の項目	満足度						合計	プラス評価
	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあまあ満足である	満足である	無回答		
交通利便性	13 1.8%	34 4.6%	73 10.0%	305 41.6%	304 41.5%	4 0.5%	733 100.0%	83.1%
閑静な住宅地	15 2.0%	28 3.8%	82 11.2%	266 36.3%	335 45.7%	7 1.0%	733 100.0%	82.0%
緑と川	11 1.5%	25 3.4%	105 14.3%	292 39.8%	296 40.4%	4 0.5%	733 100.0%	80.2%
歴史・文化	9 1.2%	4 0.5%	69 9.4%	278 37.9%	369 50.3%	4 0.5%	733 100.0%	88.3%
大学の集積	6 0.8%	13 1.8%	107 14.6%	260 35.5%	344 46.9%	3 0.4%	733 100.0%	82.4%
坂	22 3.0%	33 4.5%	198 27.0%	257 35.1%	219 29.9%	4 0.5%	733 100.0%	64.9%
まち並み	14 1.9%	52 7.1%	174 23.7%	296 40.4%	193 26.3%	4 0.5%	733 100.0%	66.7%

- ・区の魅力の各項目に対する区民の期待度では、「力を入れて欲しい」と「どちらかといえば力を入れて欲しい」を足した場合、緑と川が最も高い。次いで、まち並み、閑静な住宅地が続く。
- ・反対に、「力を入れなくてよい」と「どちらかといえば力を入れなくてよい」を足した場合、坂が最も高い。次いで、歴史・文化と交通利便性が続く。

### ■区の魅力の各項目に対する区民の期待度



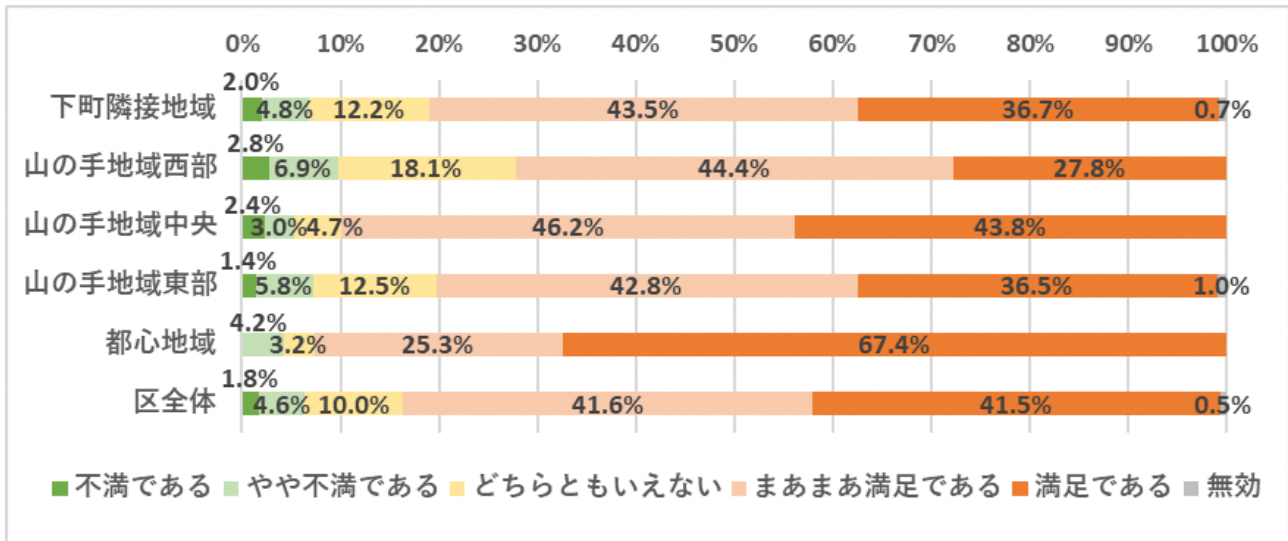
区の魅力の項目	期待度						合計	プラス評価
	力を入れなくてよい	どちらかといえば力を入れなくてよい	どちらともいえない	どちらかといえば力を入れて欲しい	力を入れて欲しい	無回答		
交通利便性	23 3.1%	70 9.5%	150 20.5%	216 29.5%	259 35.3%	15 2.0%	733 100.0%	64.8%
閑静な住宅地	23 3.1%	50 6.8%	149 20.3%	235 32.1%	260 35.5%	16 2.2%	733 100.0%	67.5%
緑と川	32 4.4%	34 4.6%	141 19.2%	237 32.3%	272 37.1%	17 2.3%	733 100.0%	69.4%
歴史・文化	48 6.5%	50 6.8%	178 24.3%	226 30.8%	213 29.1%	18 2.5%	733 100.0%	59.9%
大学の集積	35 4.8%	45 6.1%	163 22.2%	233 31.8%	244 33.3%	13 1.8%	733 100.0%	65.1%
坂	65 8.9%	76 10.4%	273 37.2%	176 24.0%	127 17.3%	16 2.2%	733 100.0%	41.3%
まち並み	22 3.0%	43 5.9%	145 19.8%	256 34.9%	253 34.5%	14 1.9%	733 100.0%	69.4%

次ページ以降の①～⑦に区の魅力の各項目について、現行都市マスタープランの地域区分により集計を行ったものを掲載する。

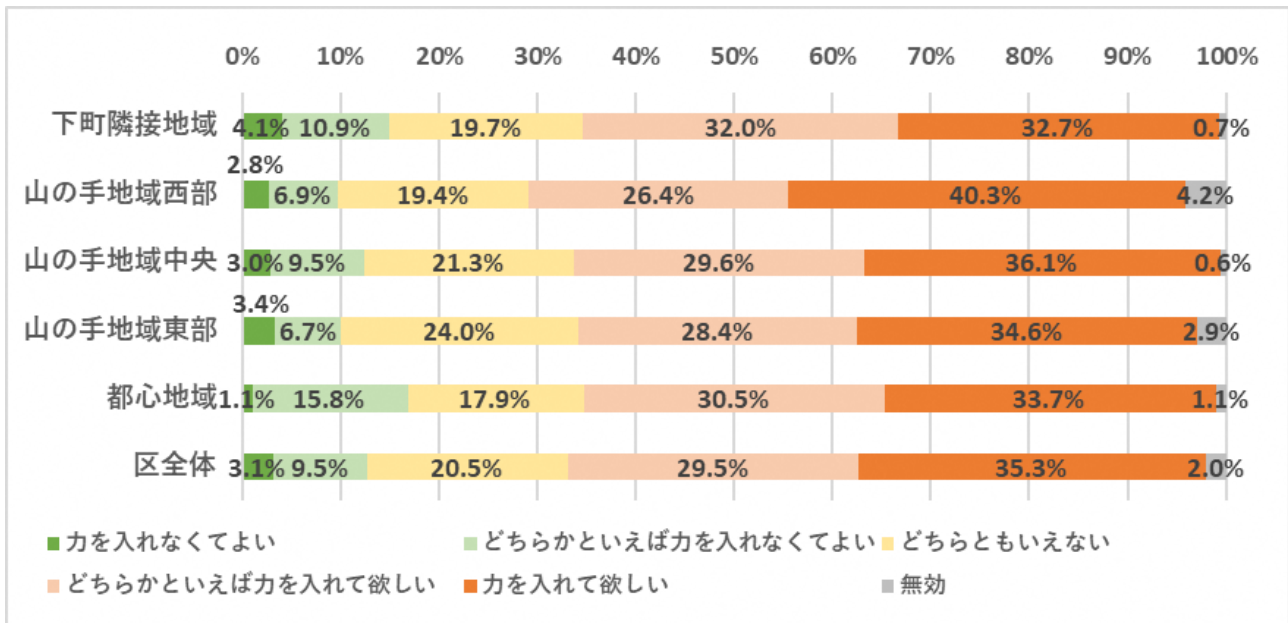


## ① 交通利便性

### ■交通利便性の魅力に対する満足度

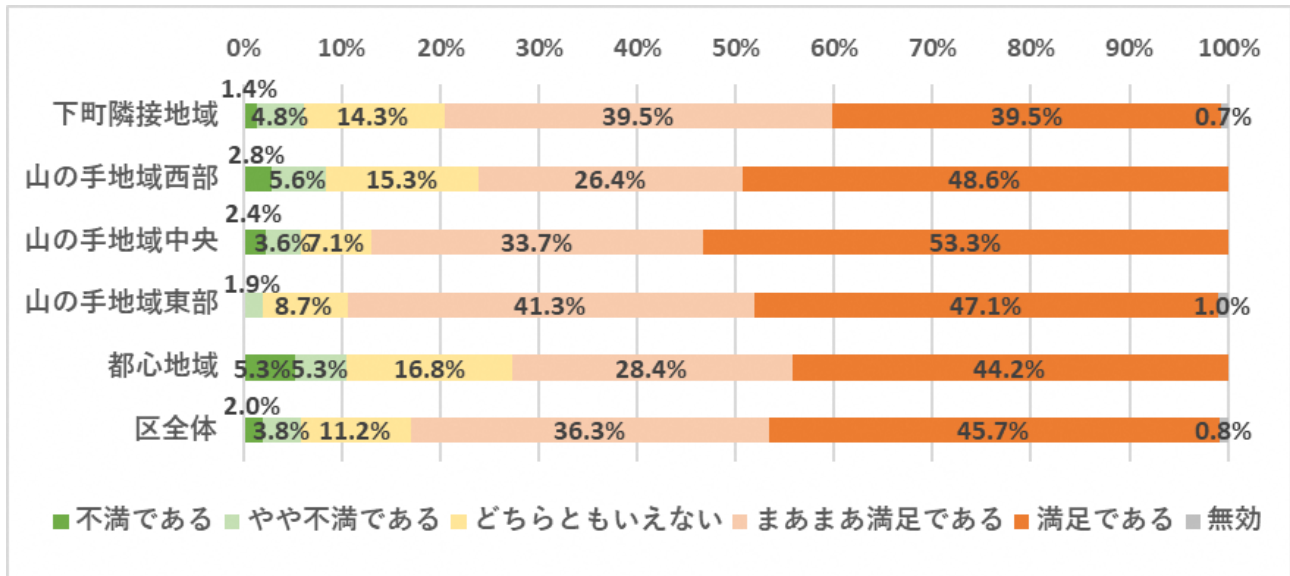


### ■交通利便性の魅力に対する期待度

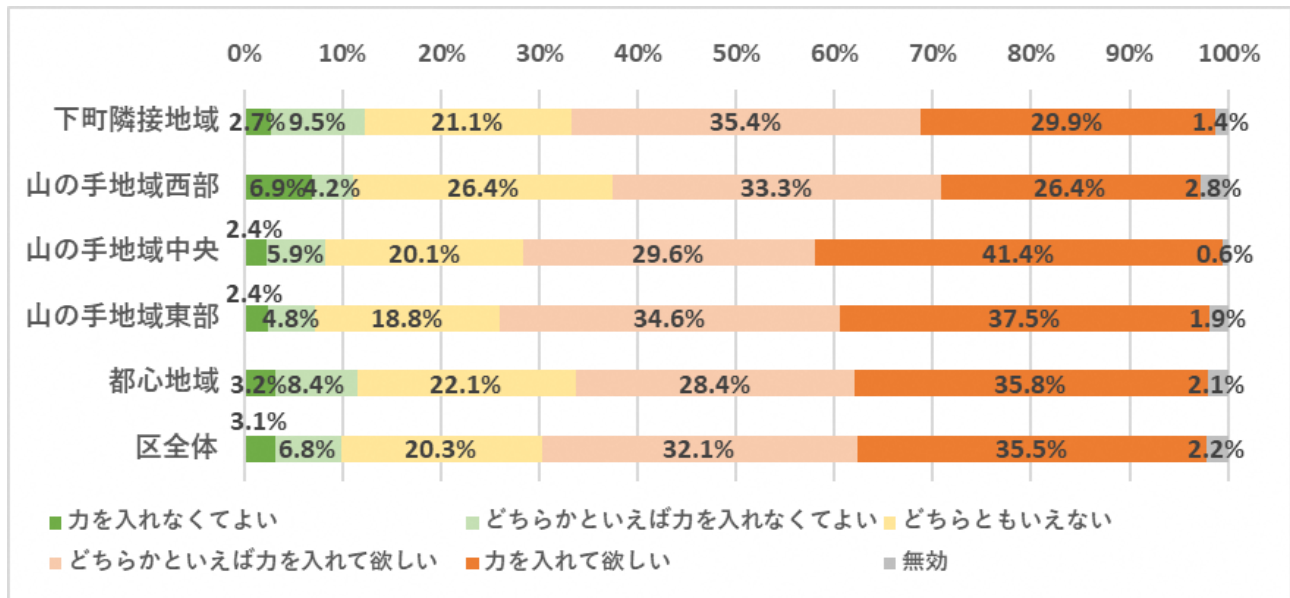


## ② 閑静な住宅地

### ■閑静な住宅地の魅力に対する満足度

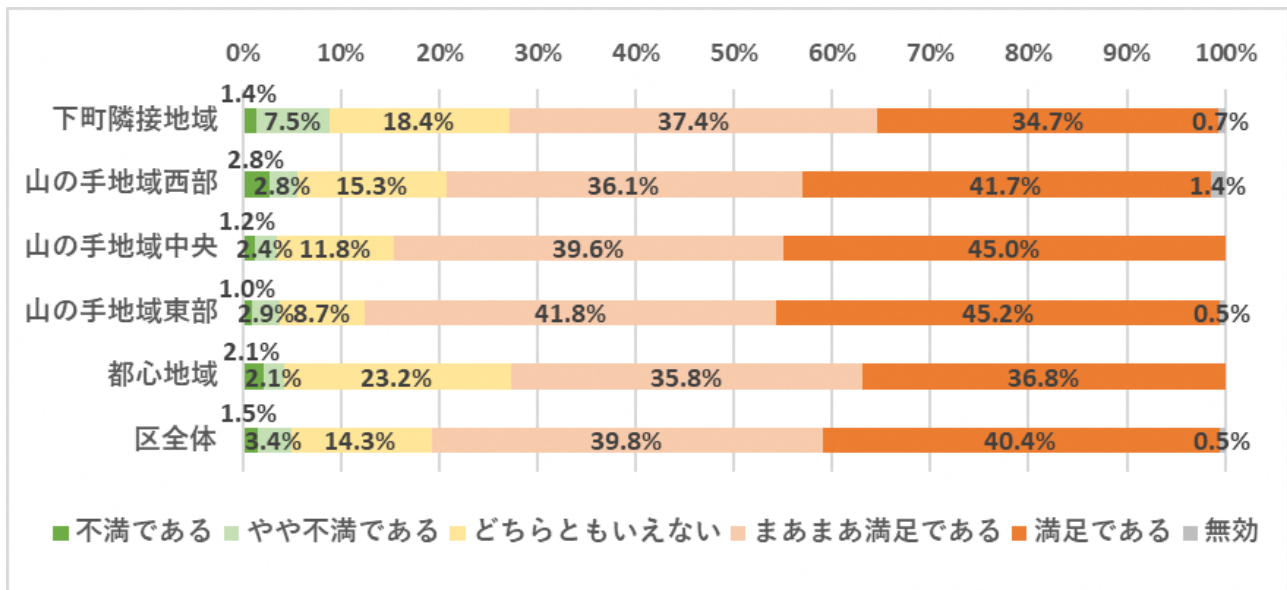


### ■閑静な住宅地の魅力に対する期待度

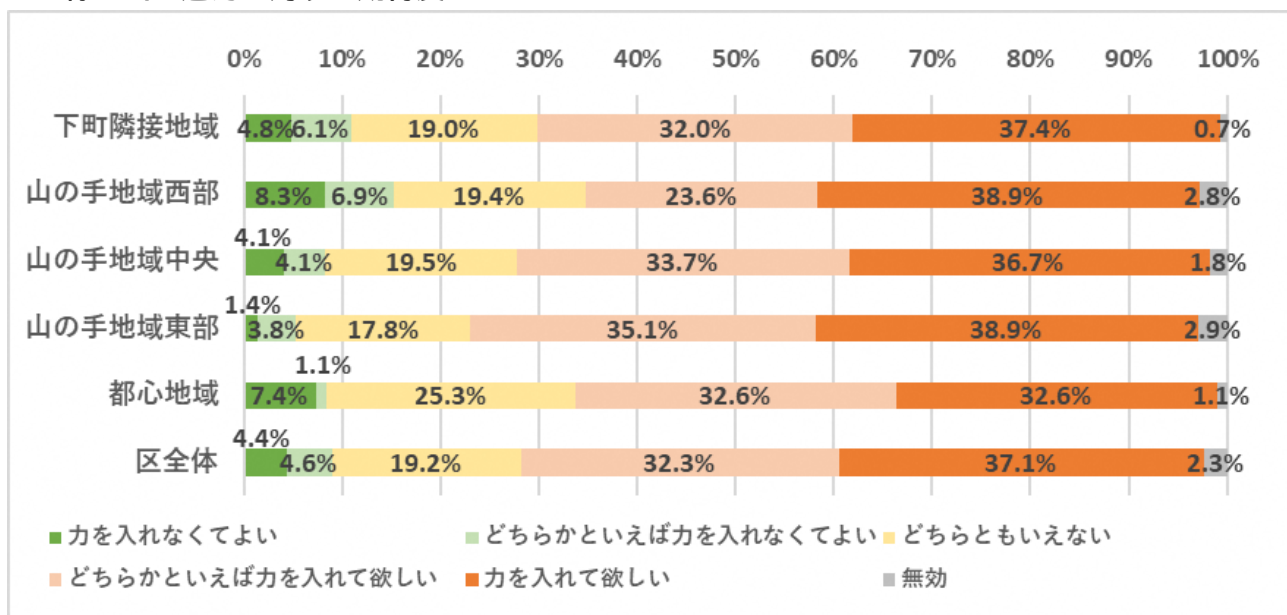


### ③ 緑と川

#### ■緑と川の魅力に対する満足度

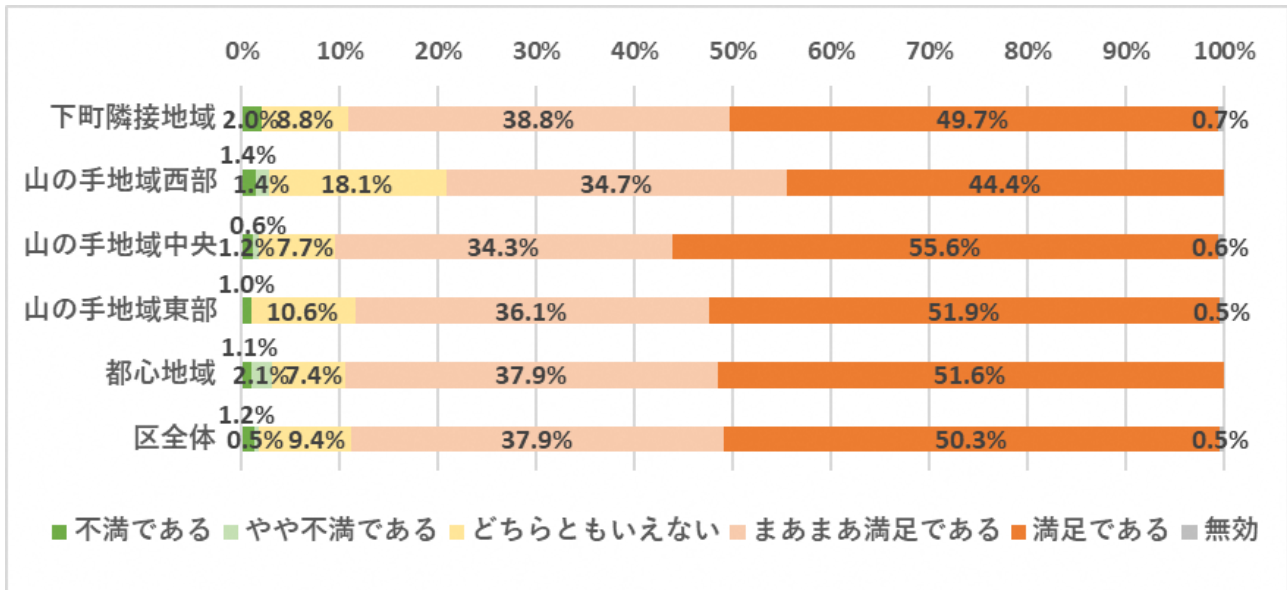


#### ■緑と川の魅力に対する期待度

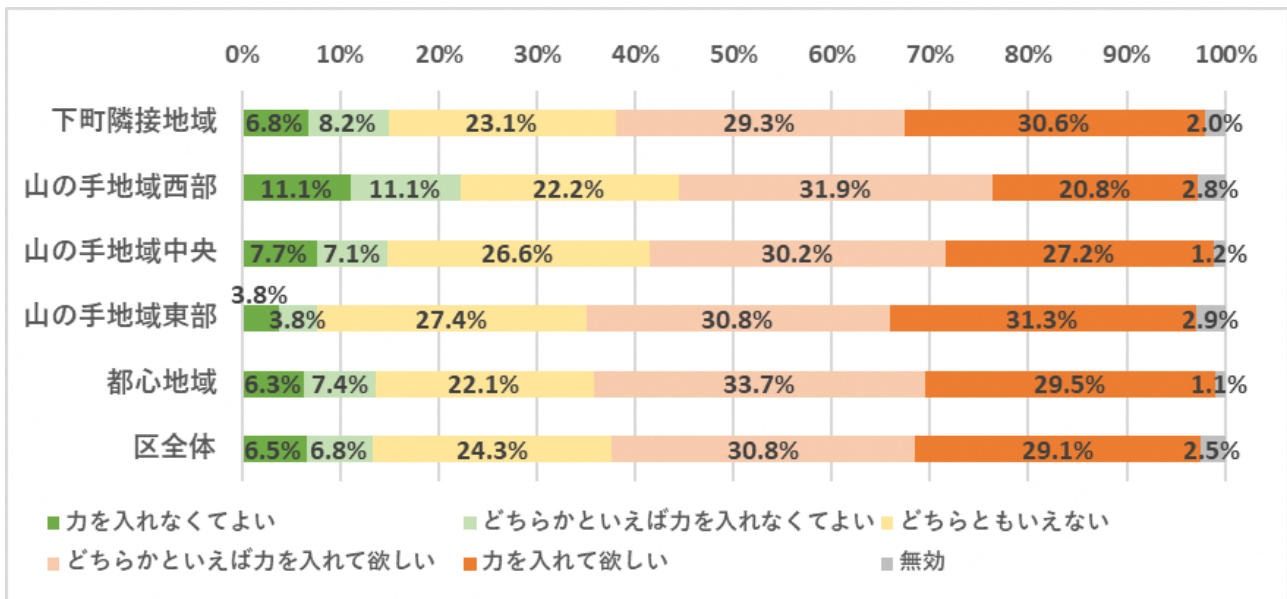


#### ④ 歴史・文化

##### ■歴史・文化の魅力に対する満足度

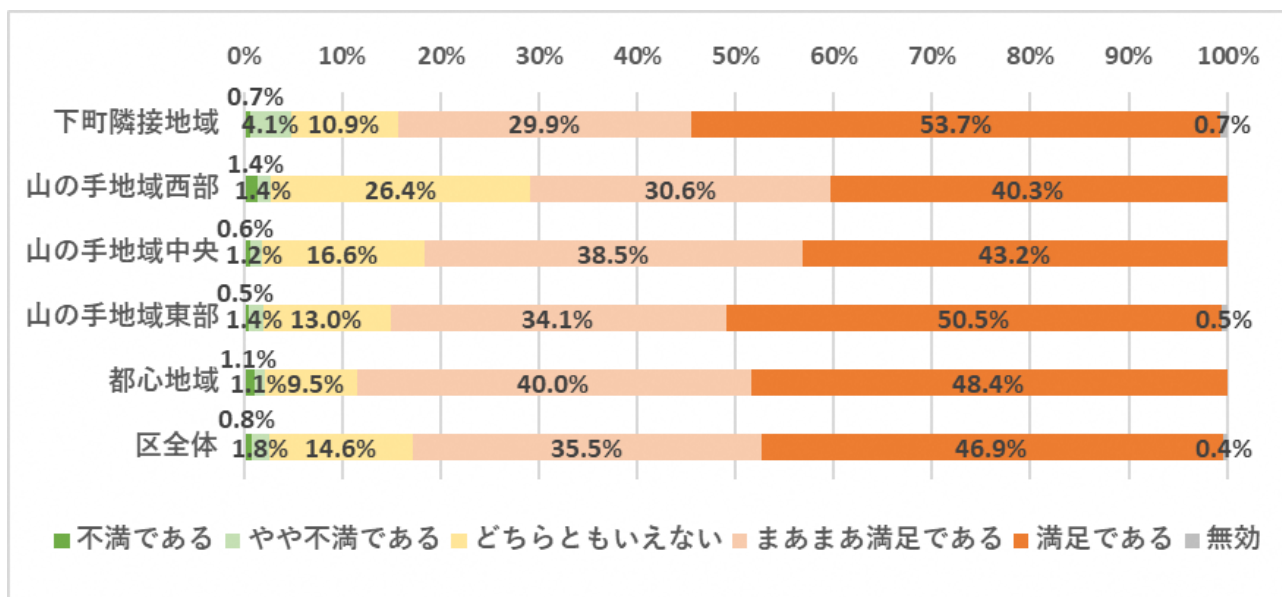


##### ■歴史・文化の魅力に対する期待度

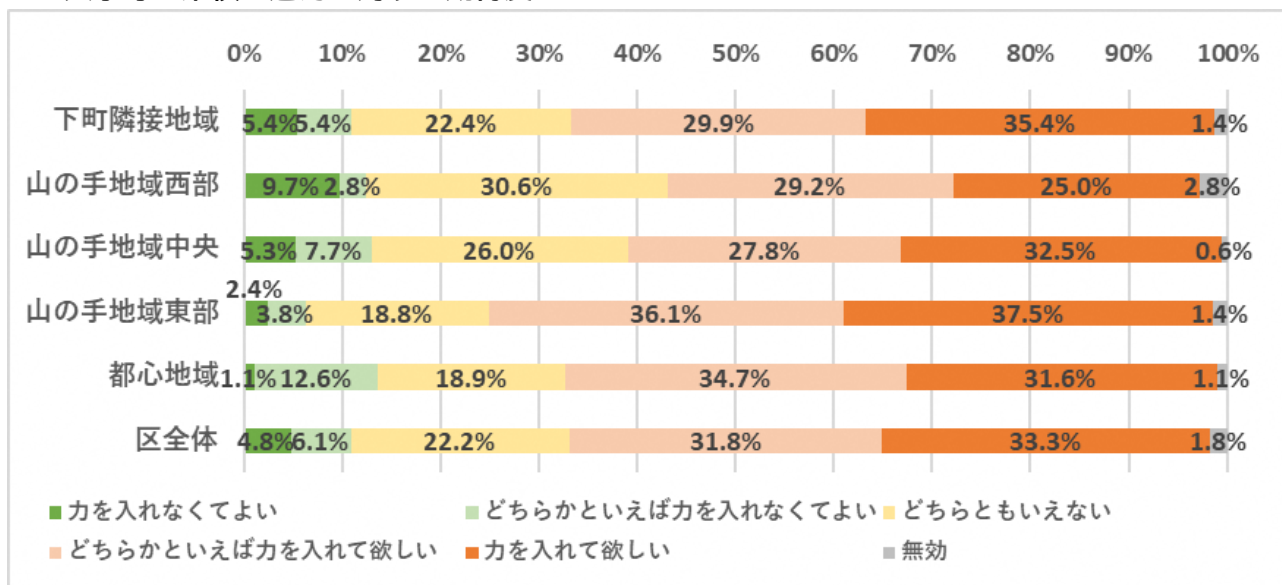


## ⑤ 大学等の集積

### ■大学等の集積の魅力に対する満足度

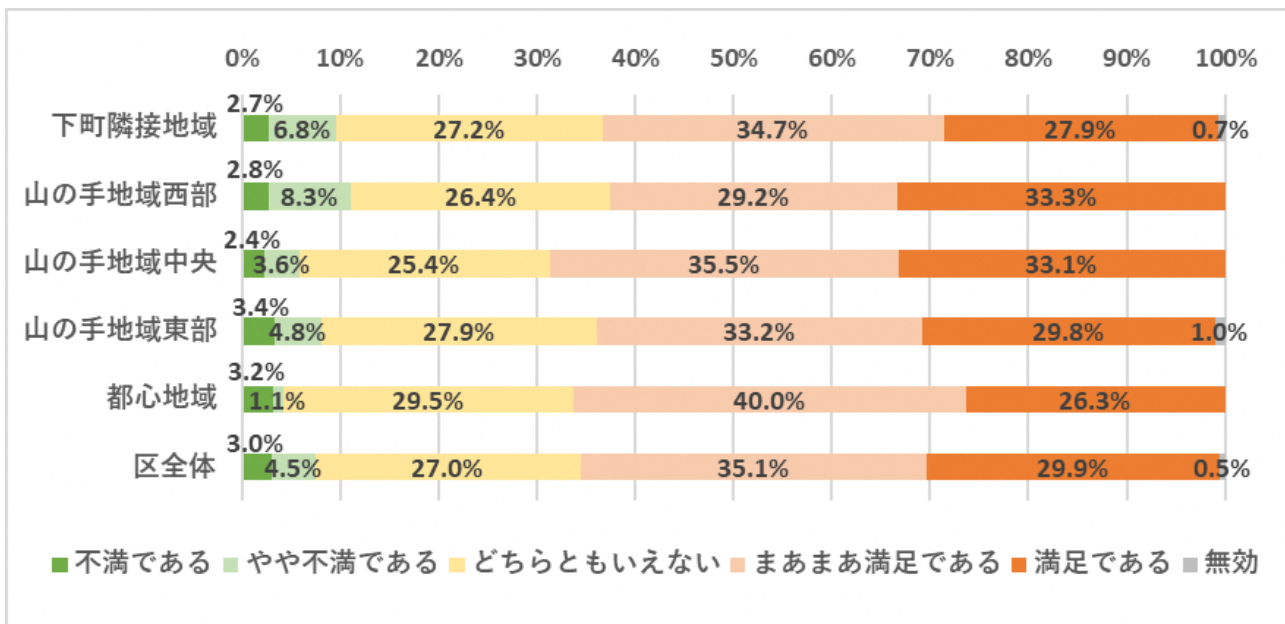


### ■大学等の集積の魅力に対する期待度

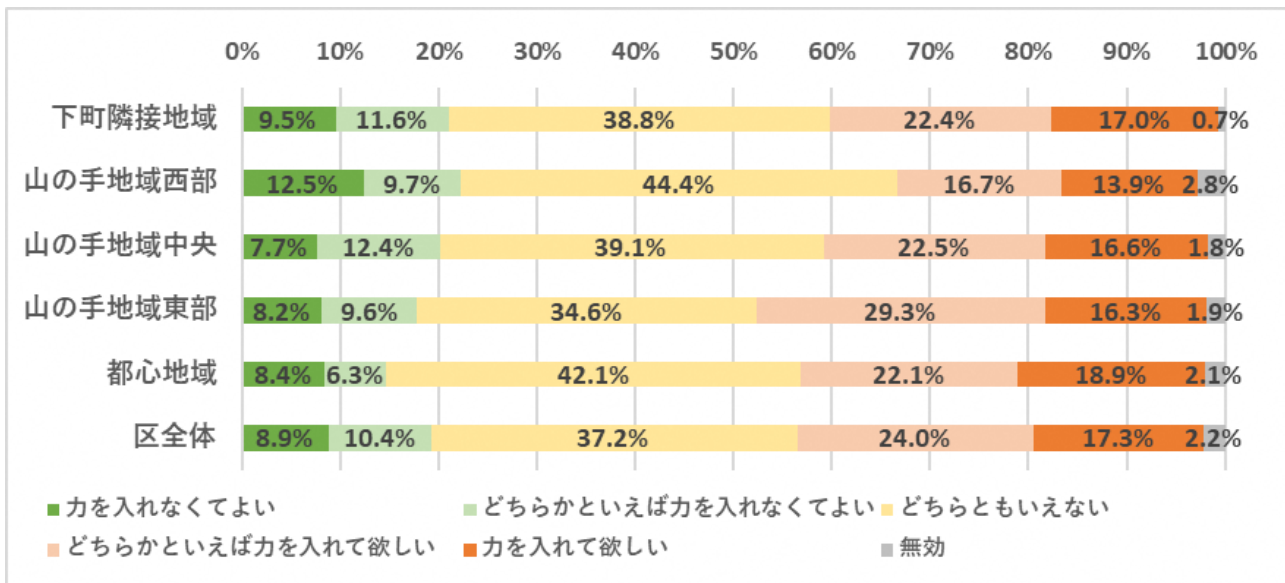


## ⑥ 坂

### ■坂の魅力に対する満足度

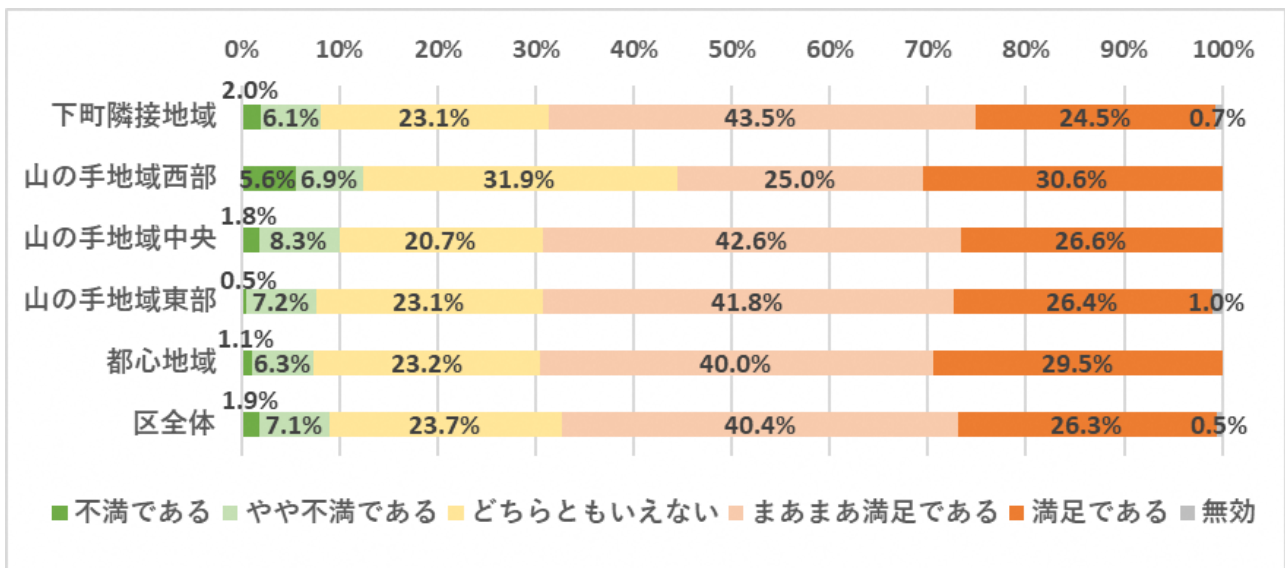


### ■坂の魅力に対する期待度

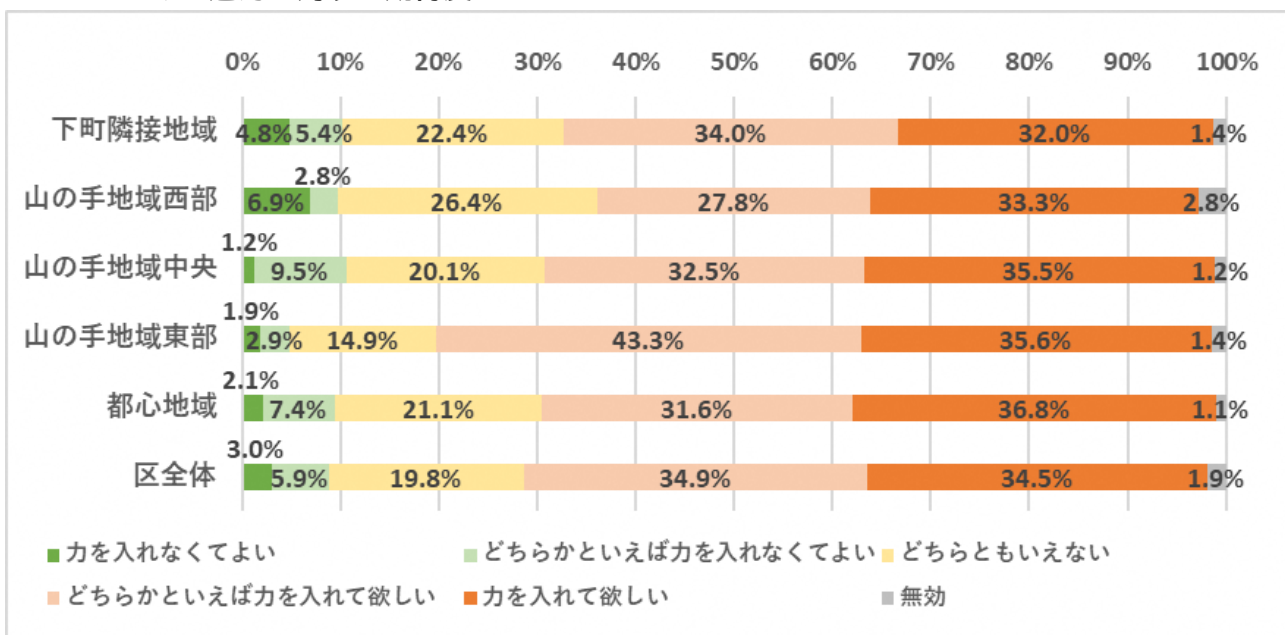


## ⑦ まち並み

### ■まち並みの魅力に対する満足度



### ■まち並みの魅力に対する期待度



⑧ 特に不満を感じる項目（区の魅力7項目で特に不満を感じる項目があれば番号で記載）

・特に不満を感じる項目は交通利便性が最も多い。次いで、まち並み、閑静な住宅地が続く。

■特に不満を感じる項目

番号	選択肢	回答者数	割合
1	1 交通利便性	119	16.2%
2	2 閑静な住宅地	50	6.8%
3	3 緑と川	30	4.1%
4	4 歴史・文化	6	0.8%
5	5 大学の集積・教育機関、医療機関	24	3.3%
6	6 坂	35	4.8%
7	7 まち並み	71	9.7%
99	無回答等	398	54.3%
合計		733	100.0%

⑨ 特に力を入れてほしい項目（区の魅力7項目で特に力を入れてほしい項目があれば番号で記載）

・特に力を入れてほしい項目は閑静な住宅地が最も多い。次いで、まち並み、緑と川が続く。

■特に力を入れてほしい項目

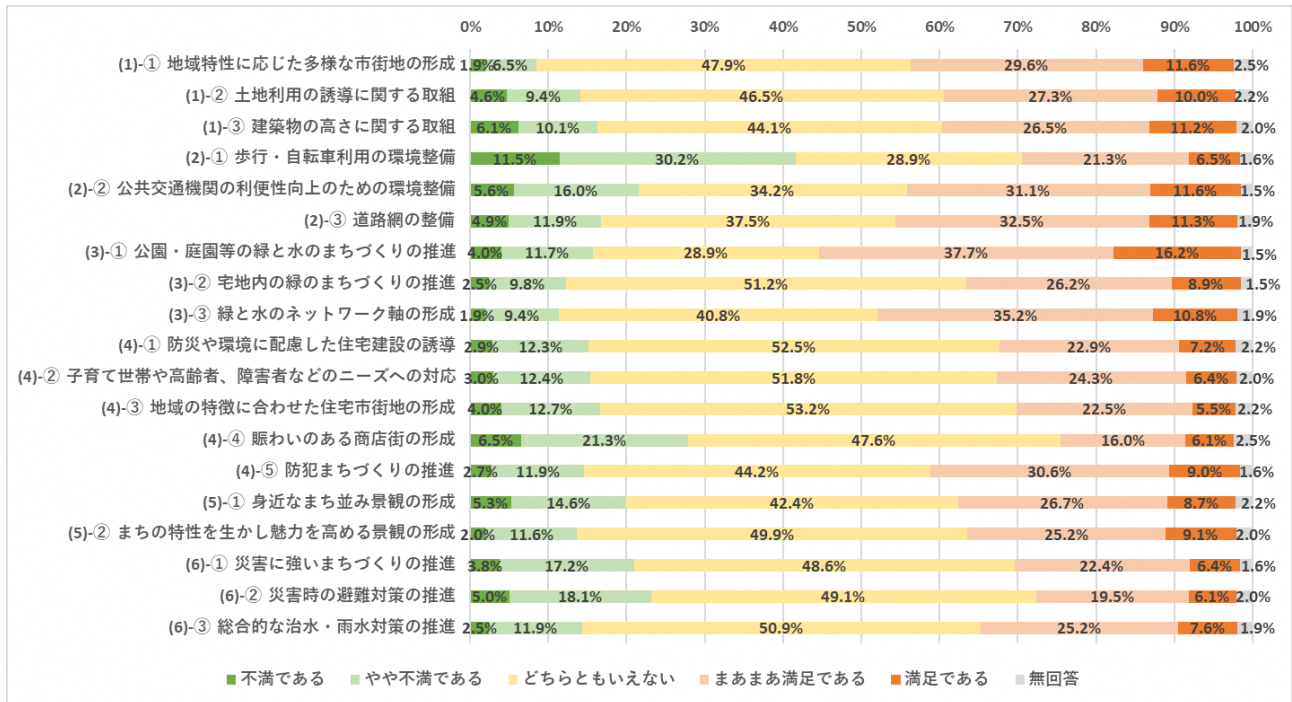
番号	選択肢	回答者数	割合
1	1 交通利便性	45	6.1%
2	2 閑静な住宅地	93	12.7%
3	3 緑と川	51	7.0%
4	4 歴史・文化	22	3.0%
5	5 大学の集積・教育機関、医療機関	38	5.2%
6	6 坂	5	0.7%
7	7 まち並み	76	10.4%
99	無回答等	403	55.0%
合計		733	100.0%



### 3) 問3 区の実施に関する区民の満足度・期待度

- ・区の実施の各項目に対する区民の満足度では、「満足である」と「まあまあ満足である」を足した場合、公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進が最も高い。次いで、緑と水のネットワーク軸の形成、道路網の整備が続く。
- ・反対に、「不満である」と「やや不満である」を足した場合、歩行・自転車利用の環境整備が最も高い。次いで、賑わいのある商店街の形成、災害時の避難対策の推進が続く。

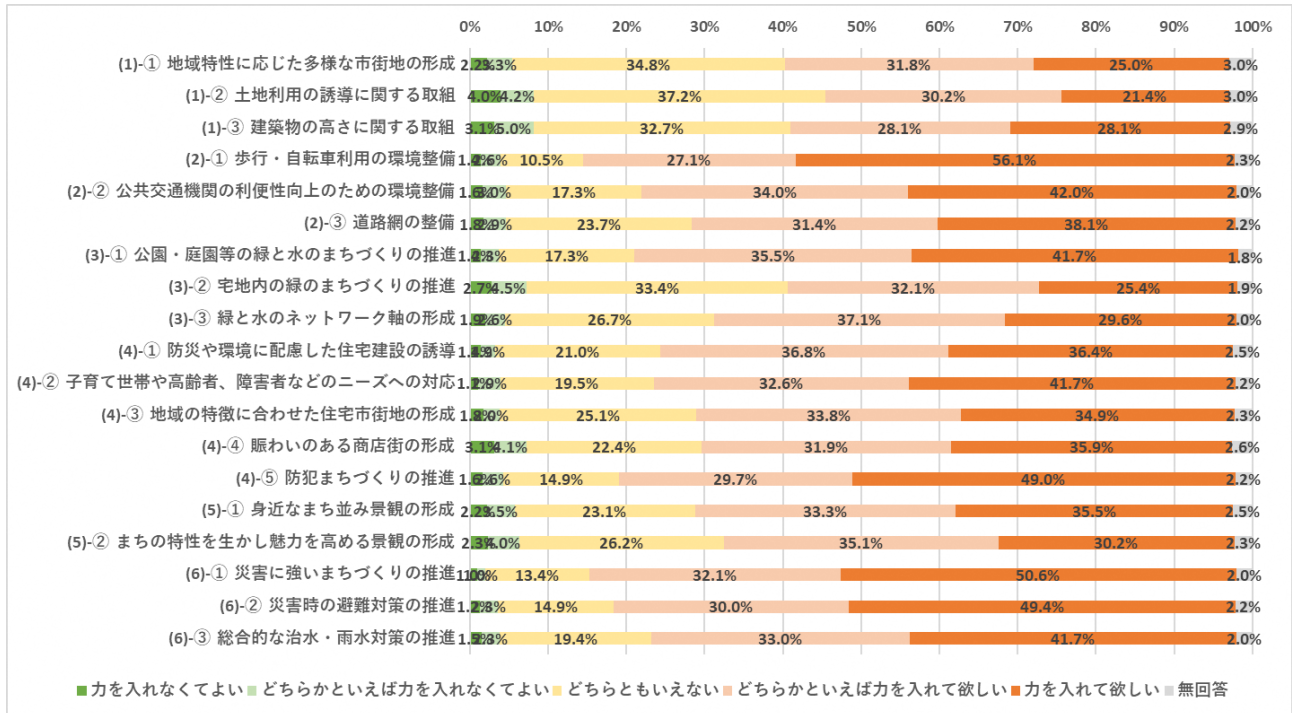
#### ■区の実施の各項目に対する区民の満足度



区の取組の項目	満足度						
	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあまあ満足である	満足である	無回答	合計
(1)① 地域特性に合った多様な市街地の形成	14 1.9%	48 6.5%	351 47.9%	217 29.6%	85 11.6%	18 2.5%	733 100.0%
(1)② 土地利用の誘導に関する取組	34 4.6%	69 9.4%	341 46.5%	200 27.3%	73 10.0%	16 2.2%	733 100.0%
(1)③ 建築物の高さに関する取組	45 6.1%	74 10.1%	323 44.1%	194 26.5%	82 11.2%	15 2.0%	733 100.0%
(2)① 歩行・自転車利用の環境整備	84 11.5%	221 30.2%	212 28.9%	156 21.3%	48 6.5%	12 1.6%	733 100.0%
(2)② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	41 5.6%	117 16.0%	251 34.2%	228 31.1%	85 11.6%	11 1.5%	733 100.0%
(2)③ 道路線の整備	26 4.9%	87 11.9%	275 37.5%	238 32.5%	83 11.3%	14 1.9%	733 100.0%
(3)① 公園・広場等の緑と水のまちづくりの推進	29 4.0%	86 11.7%	212 28.9%	276 37.7%	119 16.2%	11 1.5%	733 100.0%
(3)② 宅地内の緑のまちづくりの推進	18 2.5%	72 9.8%	375 51.2%	192 26.2%	65 8.9%	11 1.5%	733 100.0%
(3)③ 緑と水のネットワークの形成	14 1.9%	69 9.4%	299 40.8%	258 35.2%	79 10.8%	14 1.9%	733 100.0%
(4)① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	21 2.9%	90 12.3%	385 52.5%	168 22.9%	53 7.2%	16 2.2%	733 100.0%
(4)② 子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応	22 3.0%	91 12.4%	380 51.8%	178 24.3%	47 6.4%	15 2.0%	733 100.0%
(4)③ 地域の特徴に合わせた住宅街地の形成	29 4.0%	93 12.7%	390 53.2%	165 22.5%	40 5.5%	16 2.2%	733 100.0%
(4)④ 賑わいのある商店街の形成	48 6.5%	156 21.3%	349 47.6%	117 16.0%	45 6.1%	18 2.5%	733 100.0%
(4)⑤ 防犯まちづくりの推進	20 2.7%	87 11.9%	324 44.2%	224 30.6%	66 9.0%	12 1.6%	733 100.0%
(5)① 身近なまち並み景観の形成	39 5.3%	107 14.6%	311 42.4%	196 26.7%	64 8.7%	16 2.2%	733 100.0%
(5)② まちの特色をまじり魅力を高める景観の形成	15 2.0%	85 11.6%	366 49.9%	185 25.2%	67 9.1%	15 2.0%	733 100.0%
(6)① 災害に強いまちづくりの推進	28 3.8%	126 17.2%	356 48.6%	164 22.4%	47 6.4%	12 1.6%	733 100.0%
(6)② 災害時の避難対策の推進	37 5.0%	133 18.1%	360 49.1%	143 19.5%	45 6.1%	15 2.0%	733 100.0%
(6)③ 総合的な治水・雨水対策の推進	18 2.5%	87 11.9%	373 50.9%	185 25.2%	56 7.6%	14 1.9%	733 100.0%

- ・区の実施の各項目に対する区民の期待度では、「力を入れて欲しい」と「どちらかといえば力を入れて欲しい」を足した場合、歩行・自転車利用の環境整備が最も高い。次いで、災害に強いまちづくりの推進、災害時の避難対策の推進が続く。
- ・反対に、「力を入れなくてよい」と「どちらかといえば力を入れなくてよい」を足した場合、土地利用の誘導に関する取組が最も高い。次いで、建築物の高さに関する取組等が続く。

## ■区の実施の各項目に対する区民の期待度

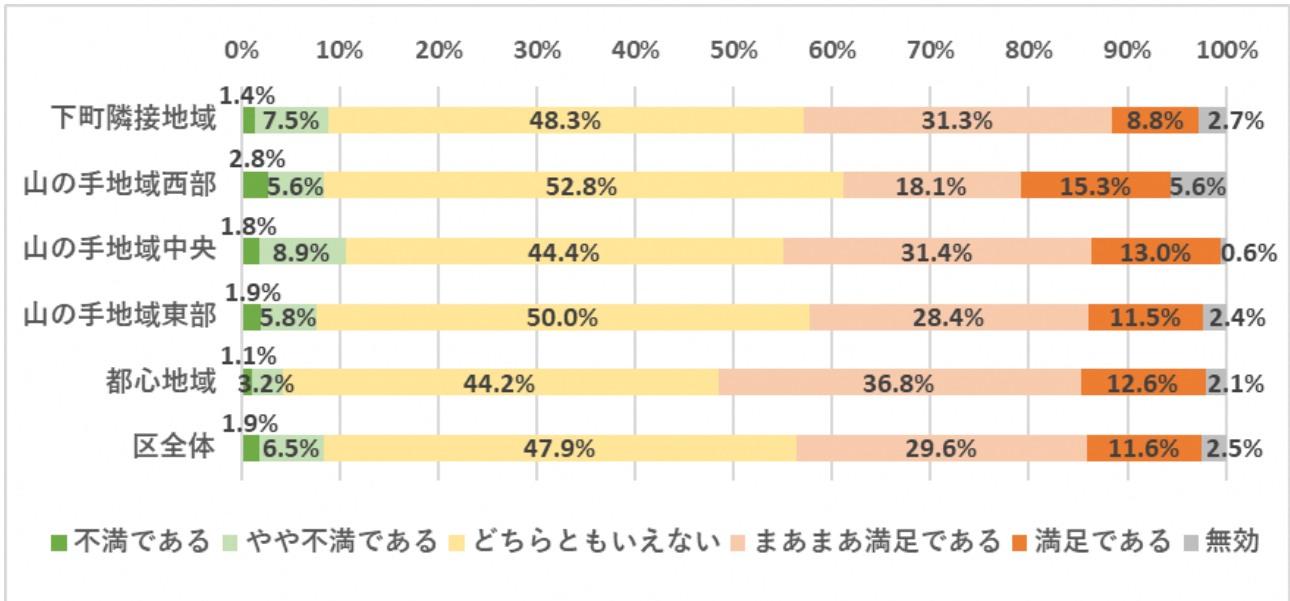


区の取組の項目	期待度						合計	プラズ評価
	力をいれなくてよい	どちらかといえば力をいれなくてよい	どちらかといえば力をいれたい	どちらともいえない	どちらかといえば力をいれたい	力をいれたい		
(1)① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	16	24	255	233	183	22	733	
	2.2%	3.3%	34.8%	31.8%	25.0%	3.0%	100.0%	56.8%
(1)② 土地利用の誘導に関する取組	29	31	273	221	157	22	733	
	4.0%	4.2%	37.2%	30.2%	21.4%	3.0%	100.0%	51.6%
(1)③ 建築物の高さに関する取組	23	37	240	206	206	21	733	
	3.1%	5.0%	32.7%	28.1%	28.1%	2.9%	100.0%	56.2%
(2)① 歩行・自転車利用の環境整備	10	19	77	199	411	17	733	
	1.4%	2.6%	10.5%	27.1%	56.1%	2.3%	100.0%	83.2%
(2)② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	12	22	127	249	308	15	733	
	1.6%	3.0%	17.3%	34.0%	42.0%	2.0%	100.0%	76.0%
(2)③ 道路網の整備	13	21	174	230	279	16	733	
	1.8%	2.9%	23.7%	31.4%	38.1%	2.2%	100.0%	69.4%
(3)① 公園・広場等の緑と水のまちづくりの推進	10	17	127	260	306	13	733	
	1.4%	2.3%	17.3%	35.5%	41.7%	1.8%	100.0%	77.2%
(3)② 宅地内の緑のまちづくりの推進	20	33	245	235	186	14	733	
	2.7%	4.5%	33.4%	32.1%	25.4%	1.9%	100.0%	57.4%
(3)③ 緑と水のネットワーク車の形成	14	19	196	272	217	15	733	
	1.9%	2.6%	26.7%	37.1%	29.6%	2.0%	100.0%	66.7%
(4)① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	10	14	154	270	267	18	733	
	1.4%	1.9%	21.0%	36.8%	36.4%	2.5%	100.0%	73.3%
(4)② 子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応	8	21	143	239	306	16	733	
	1.1%	2.9%	19.5%	32.6%	41.7%	2.2%	100.0%	74.4%
(4)③ 地域の特性に合わせた住宅市街地の形成	13	19	184	248	256	17	733	
	1.8%	2.6%	25.1%	33.8%	34.9%	2.3%	100.0%	68.8%
(4)④ 賑わいのある商店街の形成	23	30	164	234	263	19	733	
	3.1%	4.1%	22.4%	31.9%	35.9%	2.6%	100.0%	67.8%
(4)⑤ 防犯まちづくりの推進	12	19	109	218	359	16	733	
	1.6%	2.6%	14.9%	29.7%	49.0%	2.2%	100.0%	78.7%
(5)① 身近なまち並み景観の形成	16	26	169	244	260	18	733	
	2.2%	3.5%	23.1%	33.3%	35.5%	2.5%	100.0%	68.8%
(5)② まちの個性を生かし魅力を高める景観の形成	17	29	192	257	221	17	733	
	2.3%	4.0%	26.2%	35.1%	30.2%	2.3%	100.0%	65.2%
(6)① 災害に強いまちづくりの推進	7	7	98	235	371	15	733	
	1.0%	1.0%	13.4%	32.1%	50.6%	2.0%	100.0%	82.7%
(6)② 災害時の避難対策の推進	9	17	109	220	362	16	733	
	1.2%	2.3%	14.9%	30.0%	49.4%	2.2%	100.0%	79.4%
(6)③ 総合的な治水・雨水対策の推進	11	17	142	242	306	15	733	
	1.5%	2.3%	19.4%	33.0%	41.7%	2.0%	100.0%	74.8%

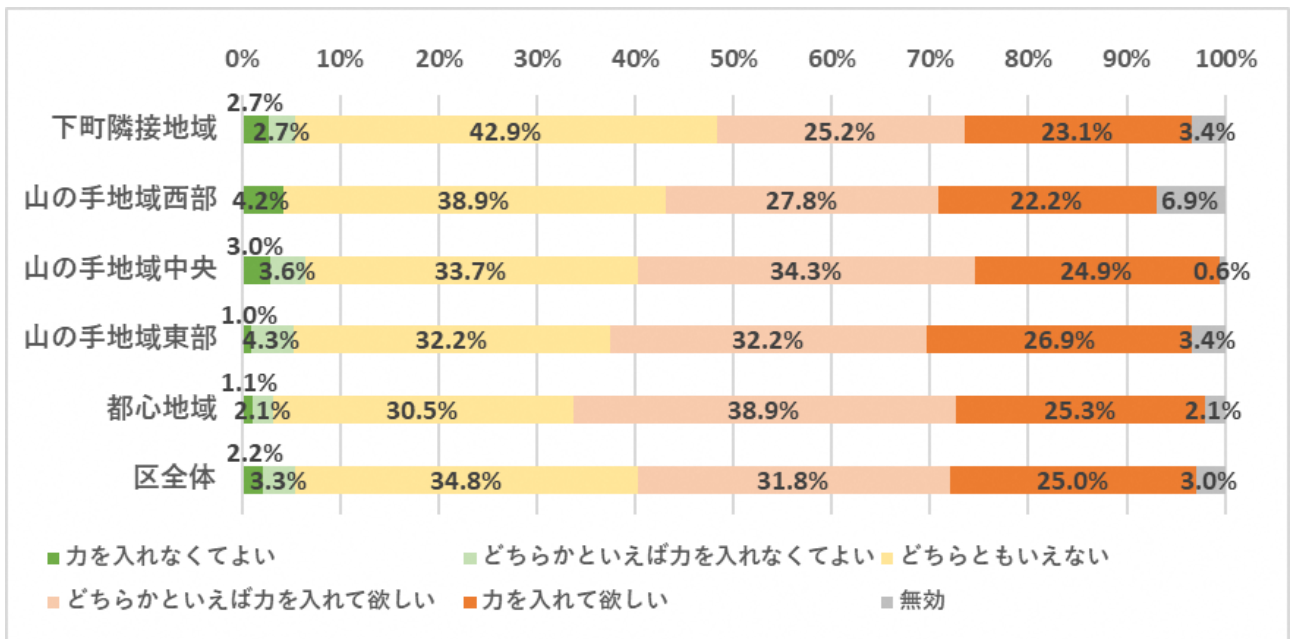
次ページ以降の①～⑱に区の実施の各項目について、現行都市マスタープランの地域区分により集計を行ったものを掲載する。

# ① (1) 土地利用① (地域特性に応じた多様な市街地の形成)

## ■地域特性に応じた多様な市街地の形成に対する満足度

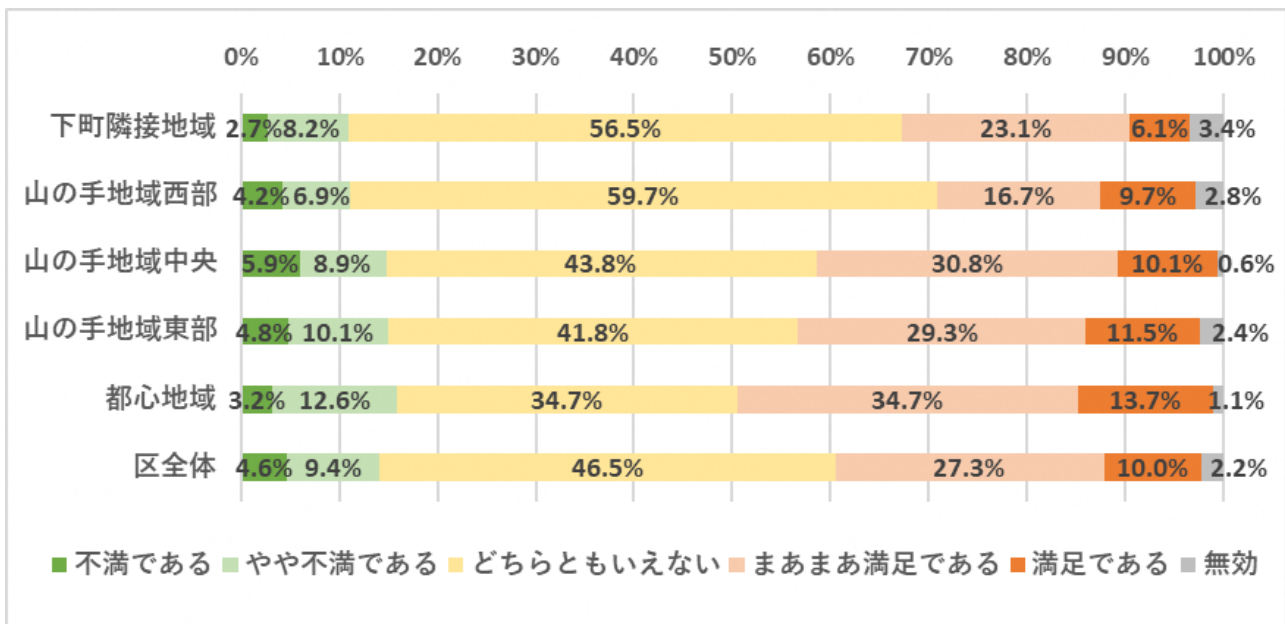


## ■地域特性に応じた多様な市街地の形成に対する期待度

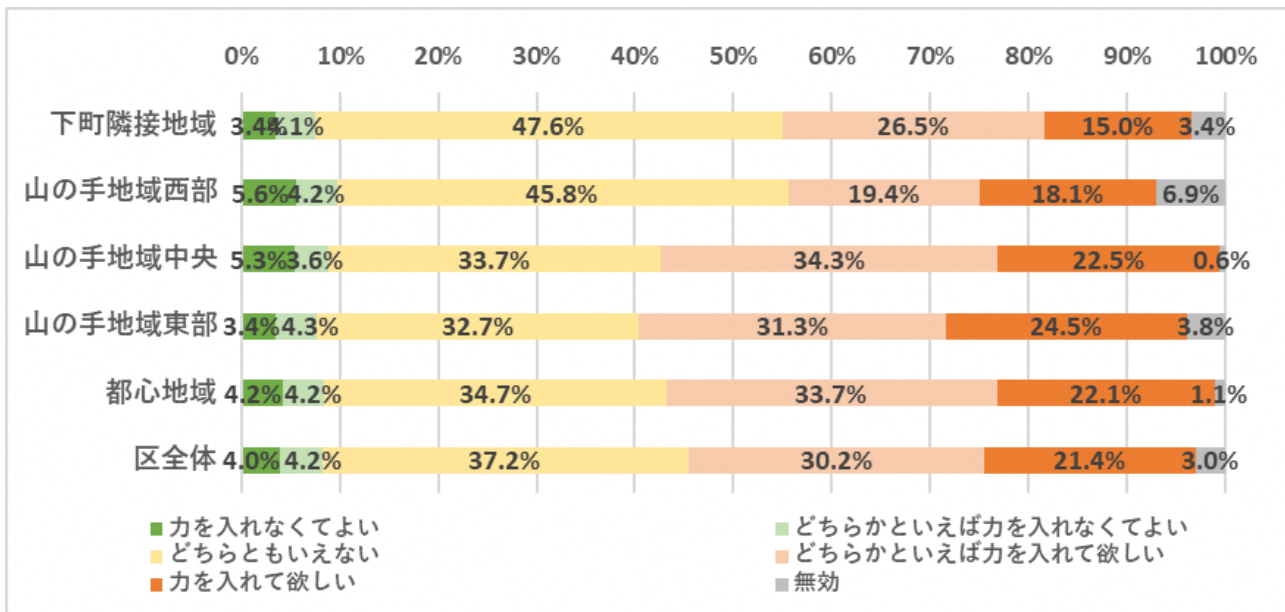


## ② (1) 土地利用② (土地利用の誘導に関する取組)

### ■土地利用の誘導に関する取組に対する満足度

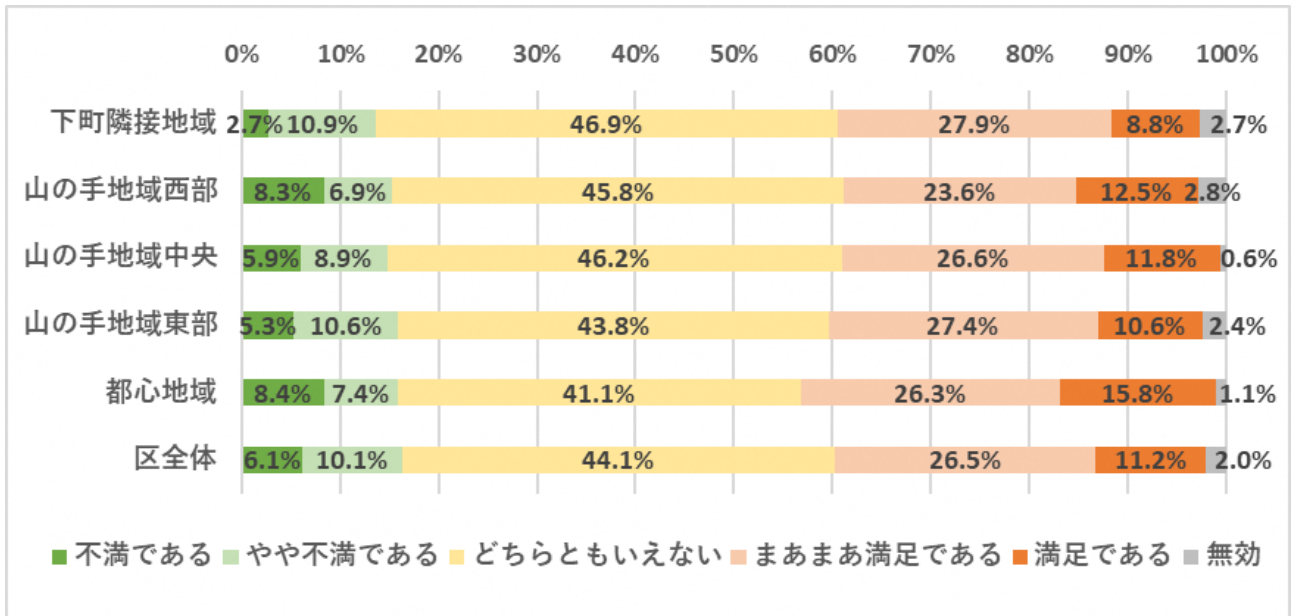


### ■土地利用の誘導に関する取組に対する期待度

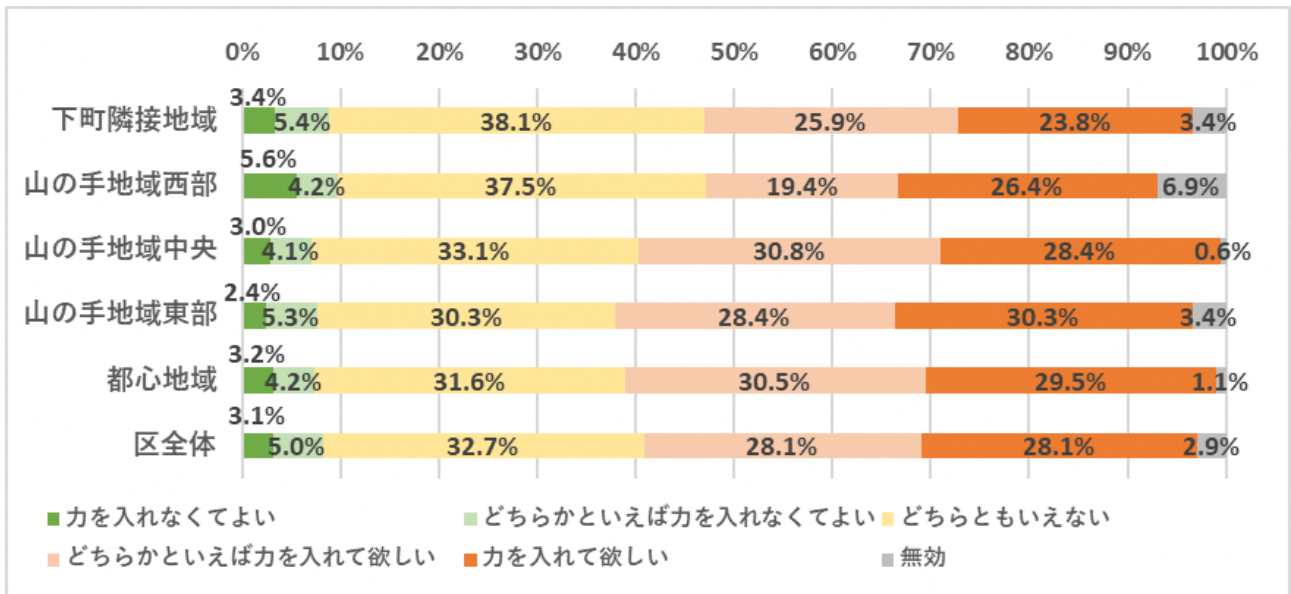


### ③ (1) 土地利用③ (建築物の高さに関する取組)

#### ■建築物の高さに関する取組に対する満足度

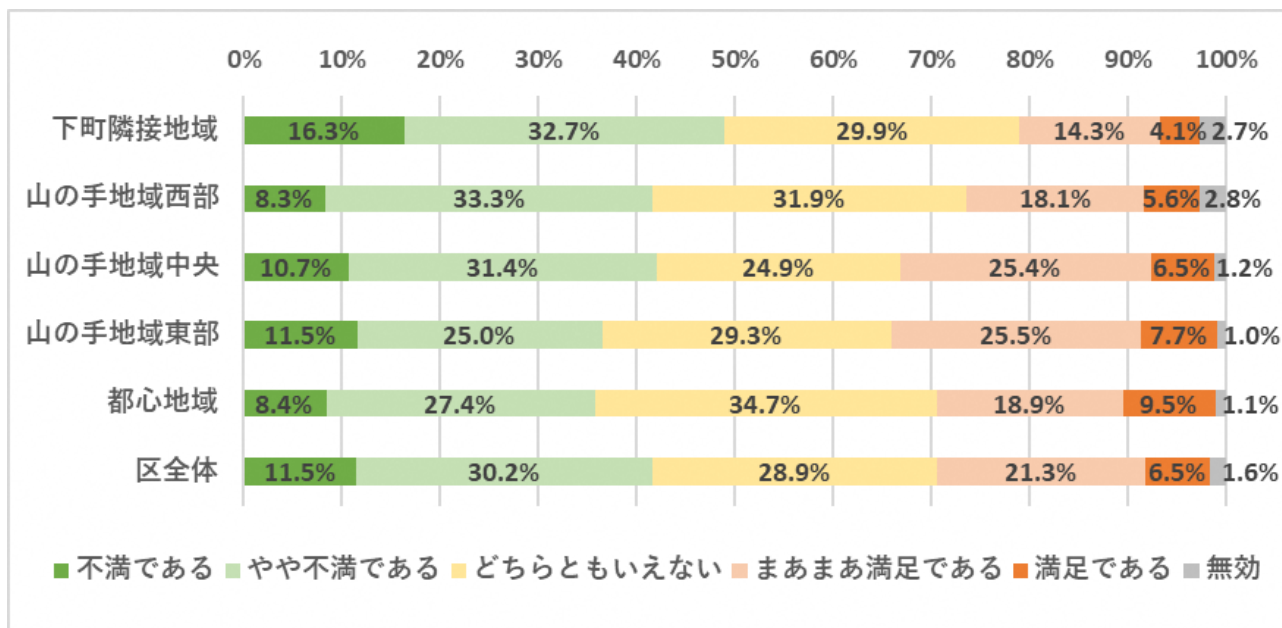


#### ■建築物の高さに関する取組に対する期待度

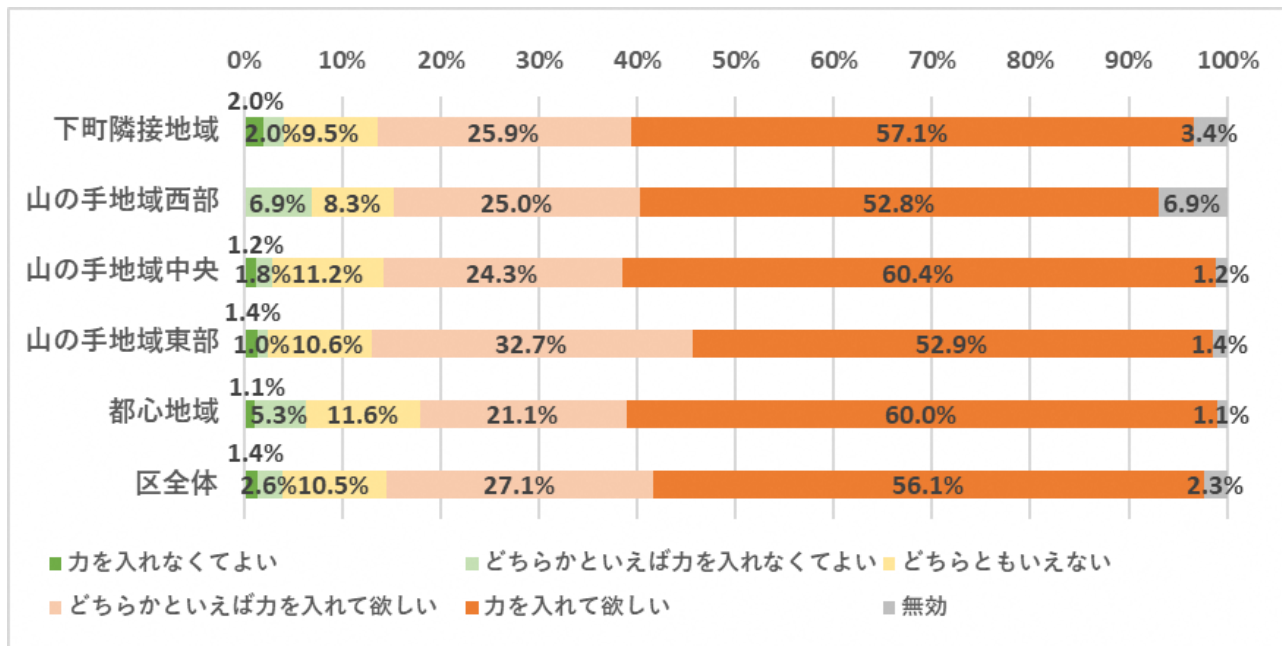


#### ④ (2) 道路・交通① (歩行・自転車利用の環境整備)

##### ■歩行・自転車利用の環境整備に対する満足度



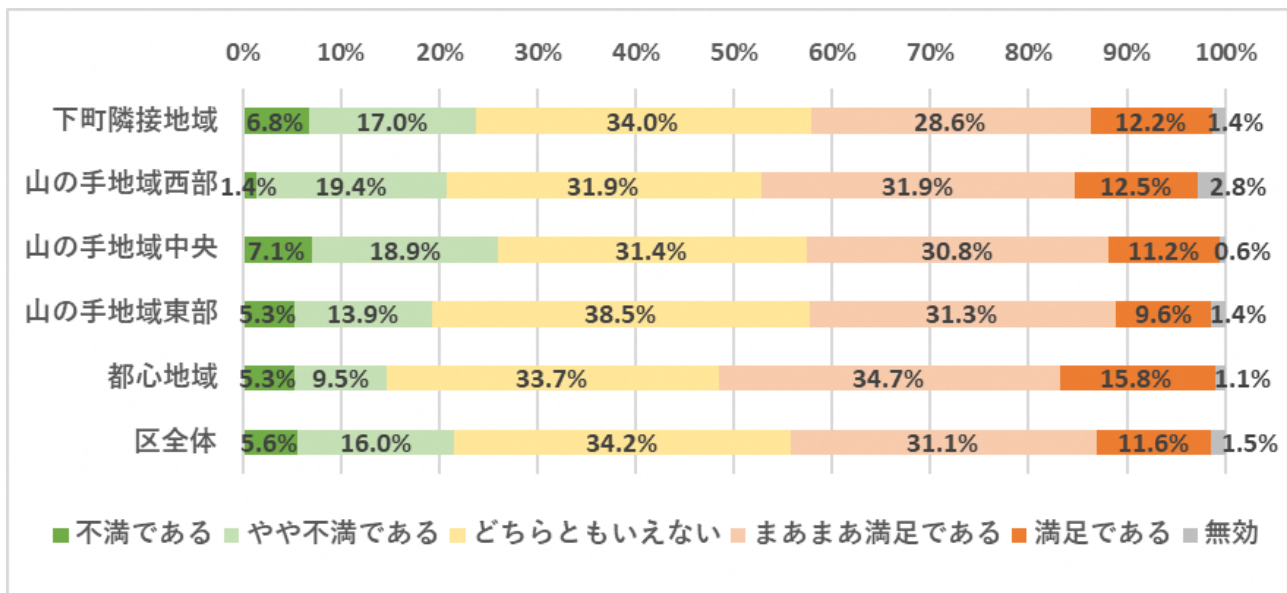
##### ■歩行・自転車利用の環境整備に対する期待度



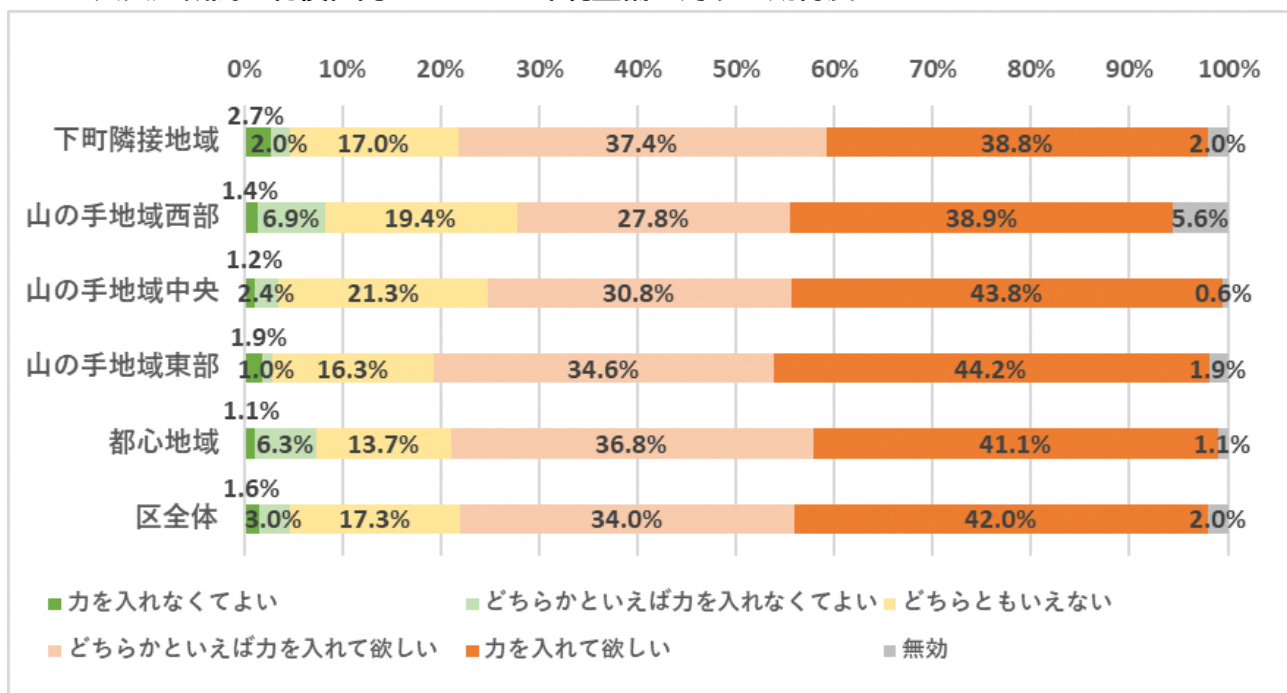


⑤ (2) 道路・交通② (公共交通機関の利便性向上のための環境整備)

■公共交通機関の利便性向上のための環境整備に対する満足度

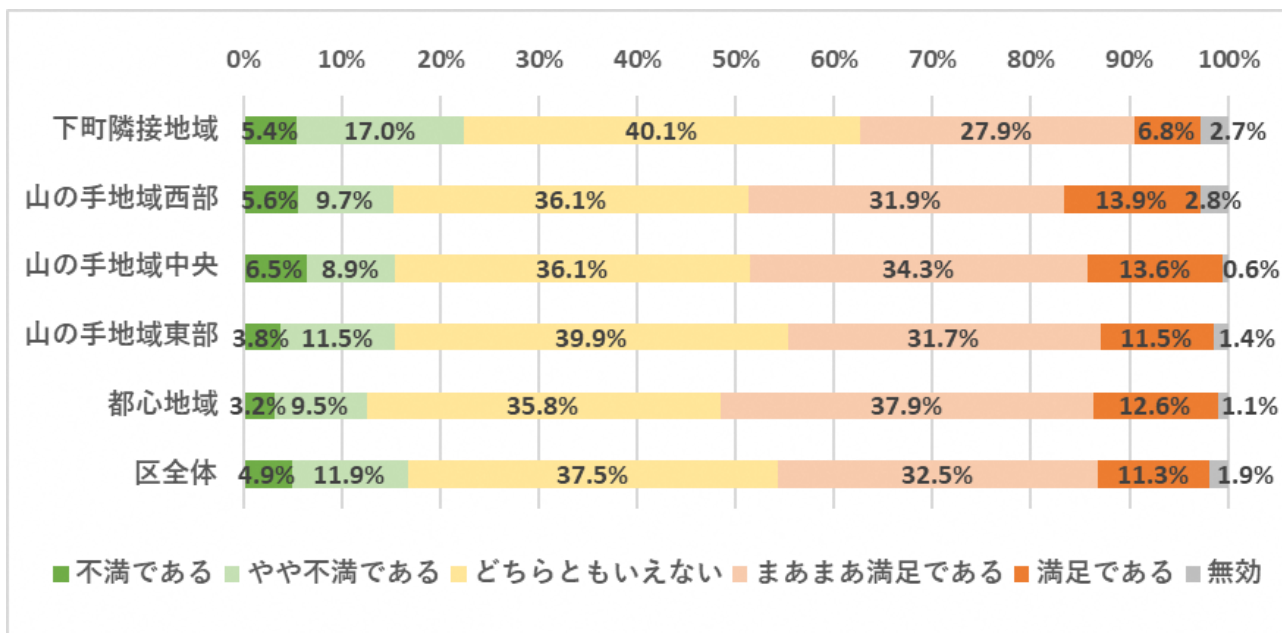


■公共交通機関の利便性向上のための環境整備に対する期待度

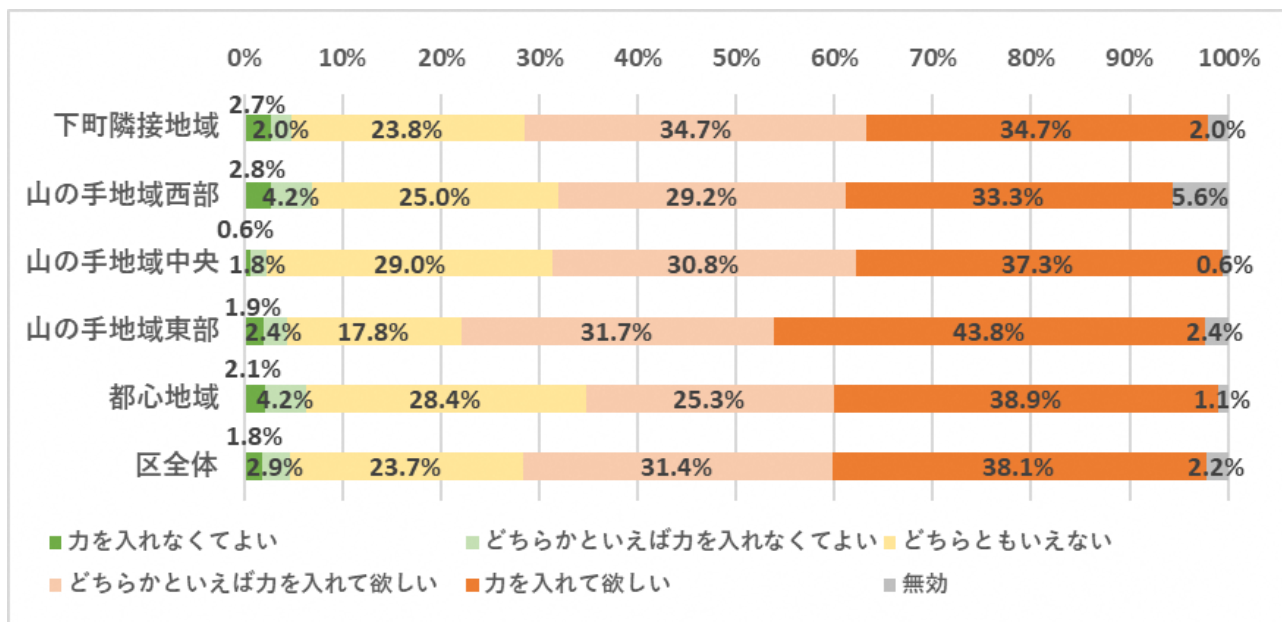


## ⑥ (2) 道路・交通③ (道路網の整備)

### ■道路網の整備に対する満足度

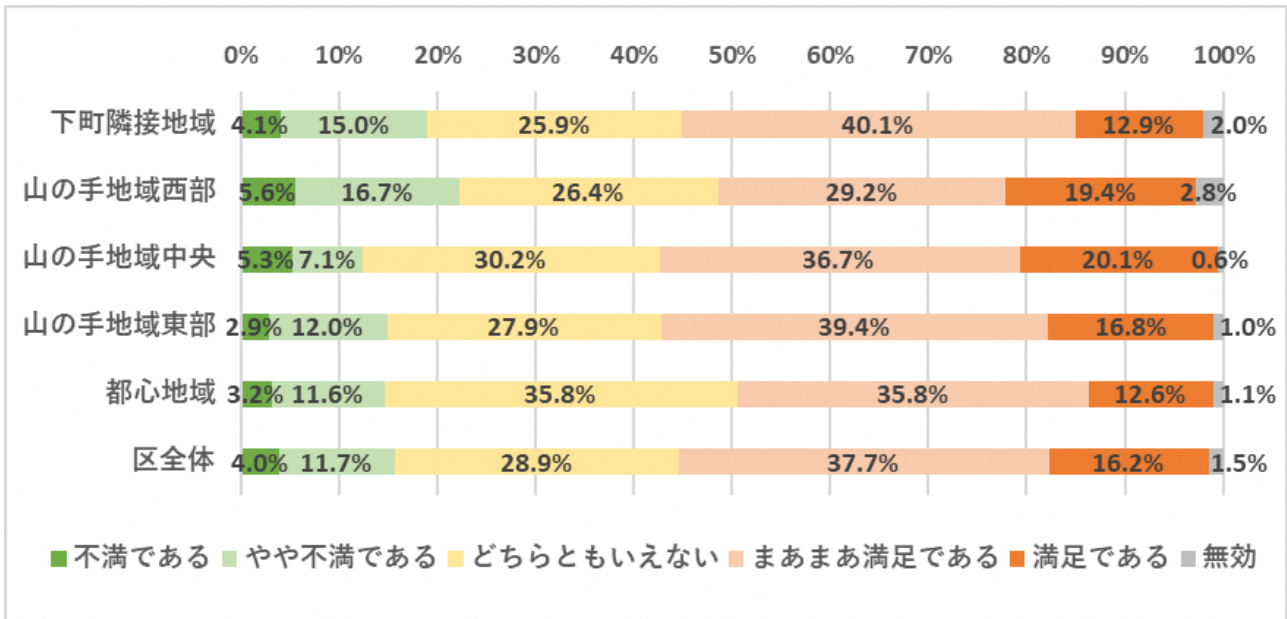


### ■道路網の整備に対する期待度

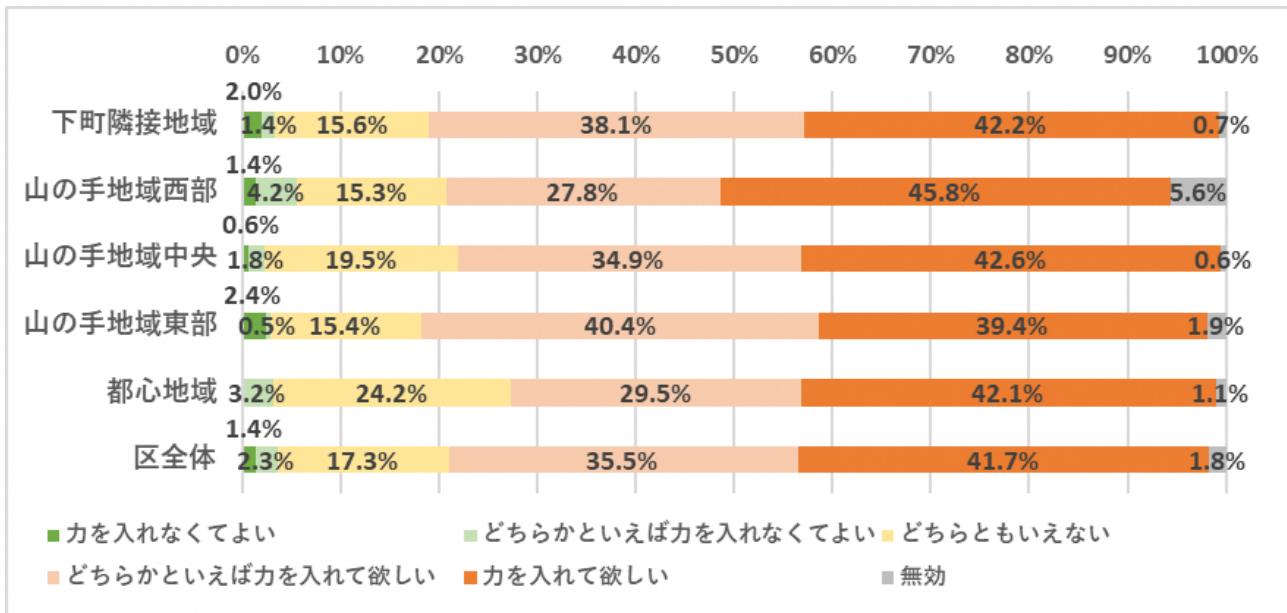


⑦ (3) 緑と水① (公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進)

■公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進に対する満足度

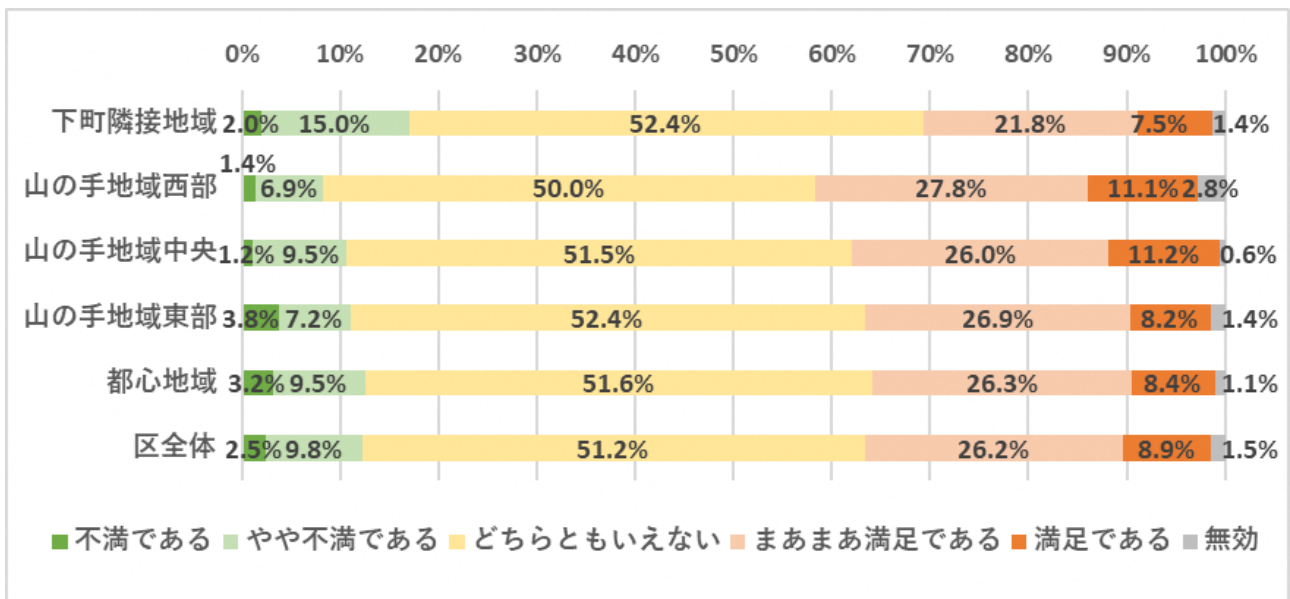


■公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進に対する期待度

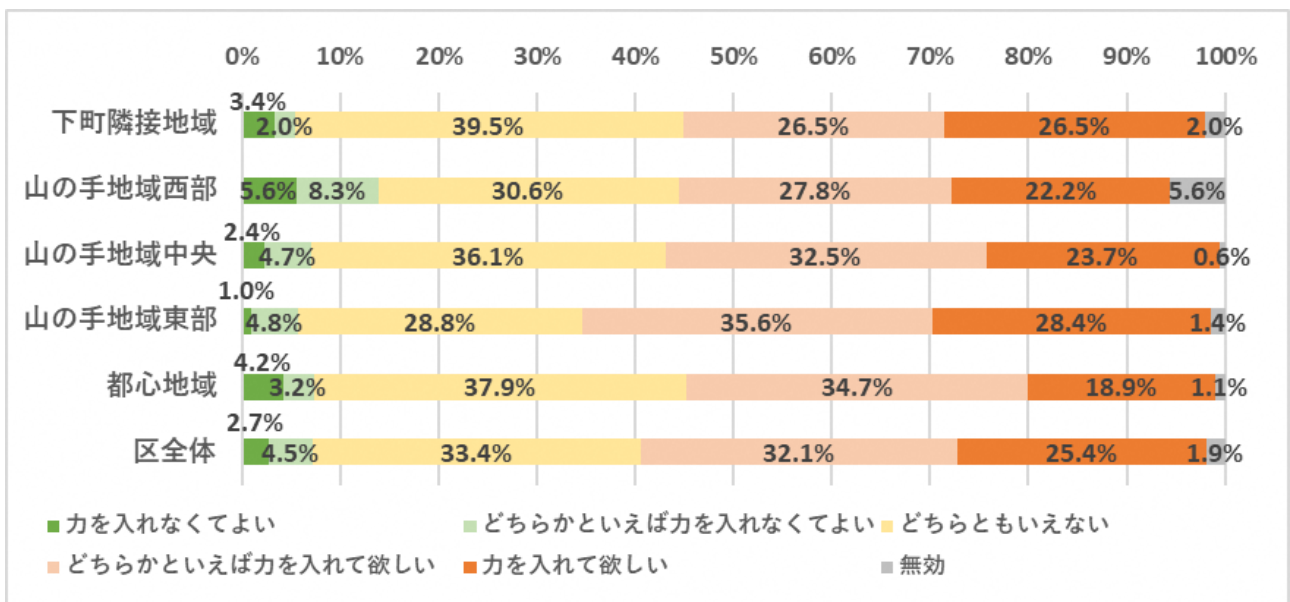


### ⑧ (3) 緑と水② (宅地内の緑のまちづくりの推進)

#### ■宅地内の緑のまちづくりの推進に対する満足度

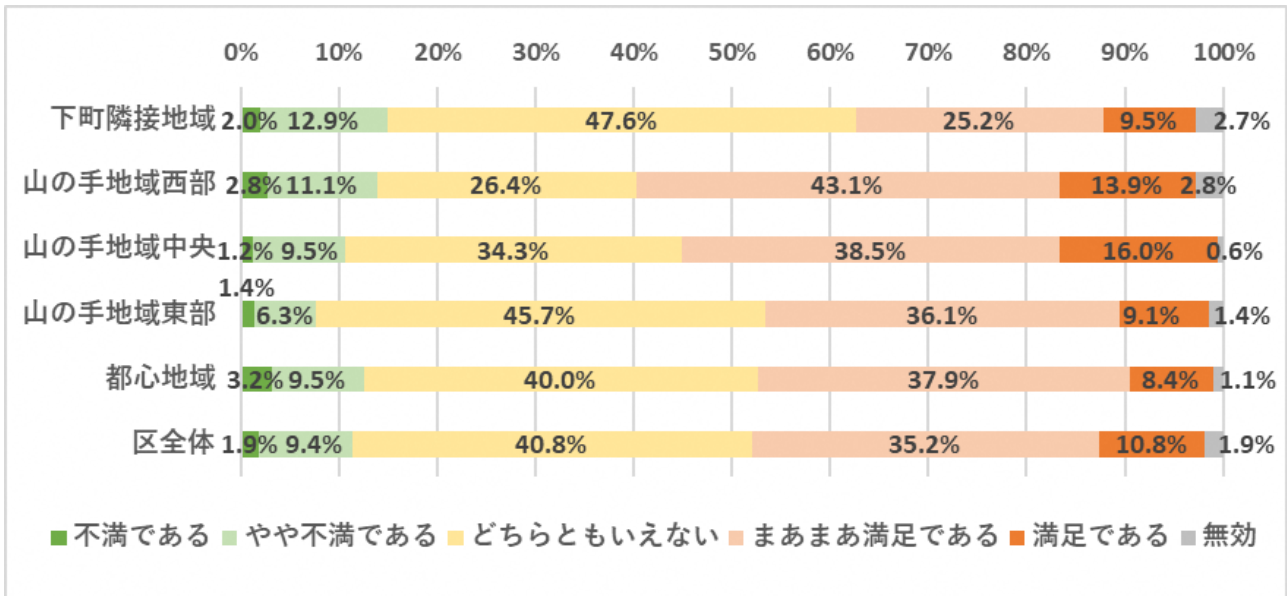


#### ■宅地内の緑のまちづくりの推進に対する期待度

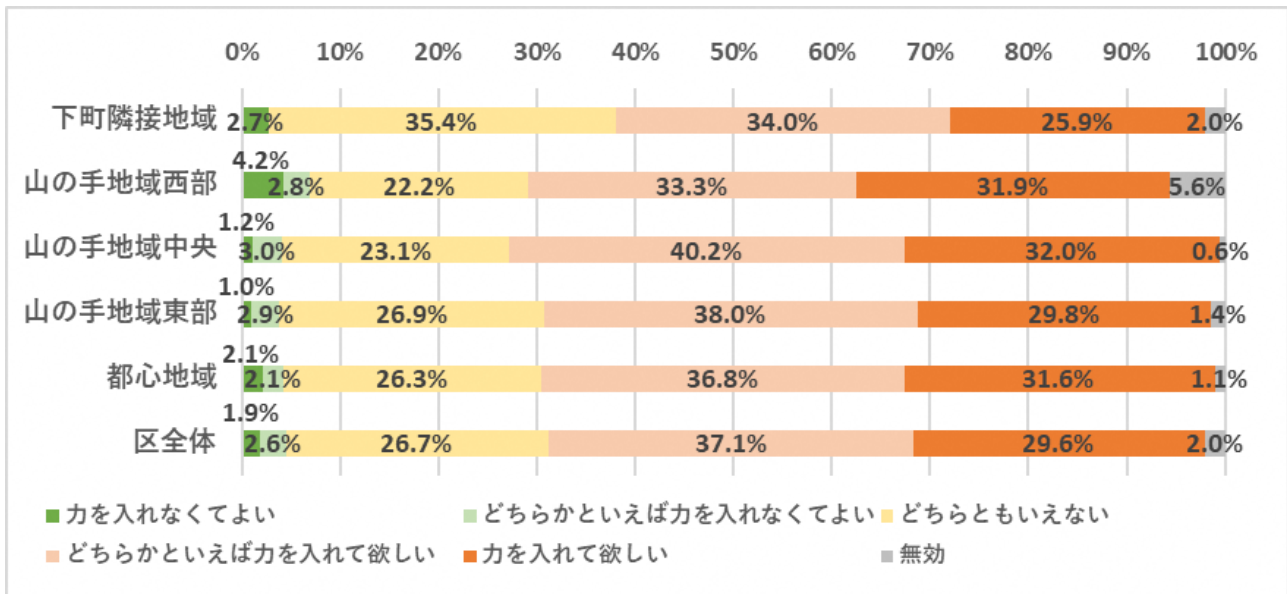


⑨ (3) 緑と水③ (緑と水のネットワーク軸の形成)

■緑と水のネットワーク軸の形成に対する満足度

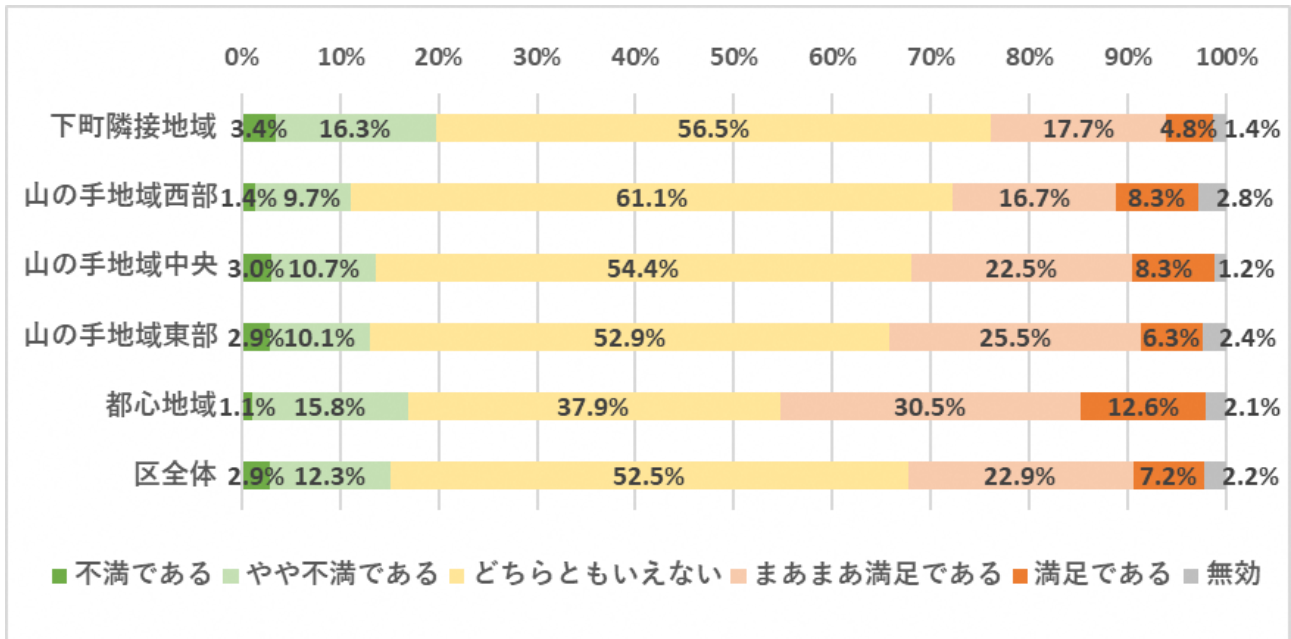


■緑と水のネットワーク軸の形成に対する期待度

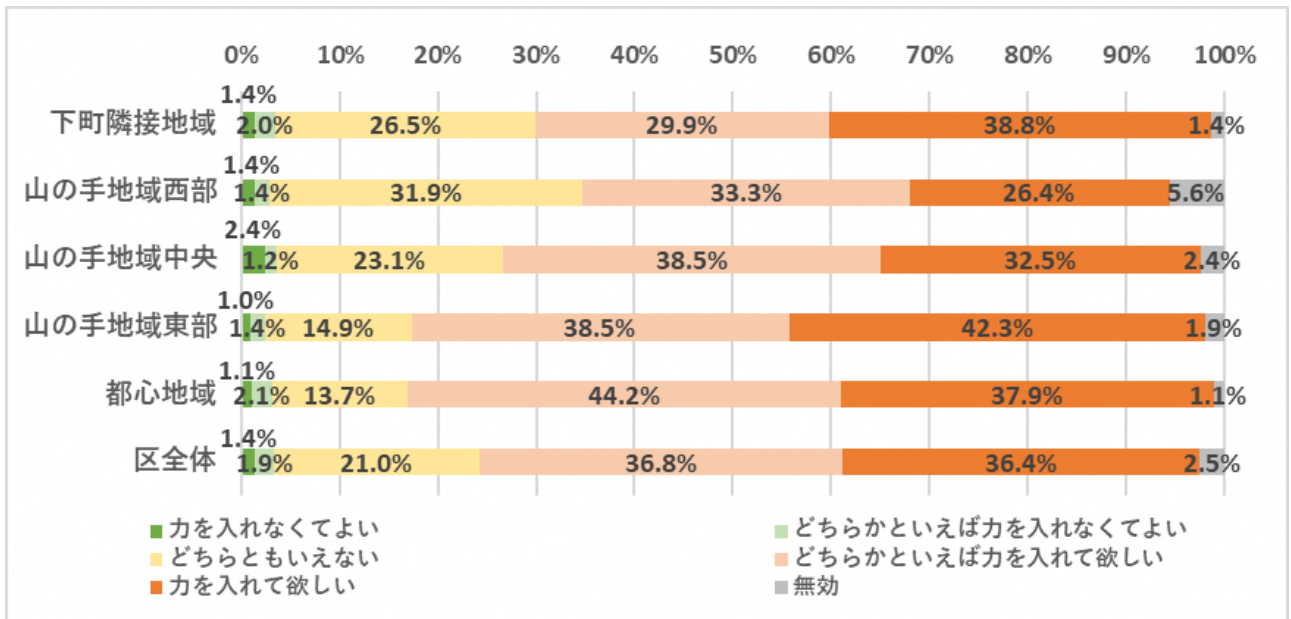


⑩ (4) 住宅・住環境① (防災や環境に配慮した住宅建設の誘導)

■ 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導に対する満足度

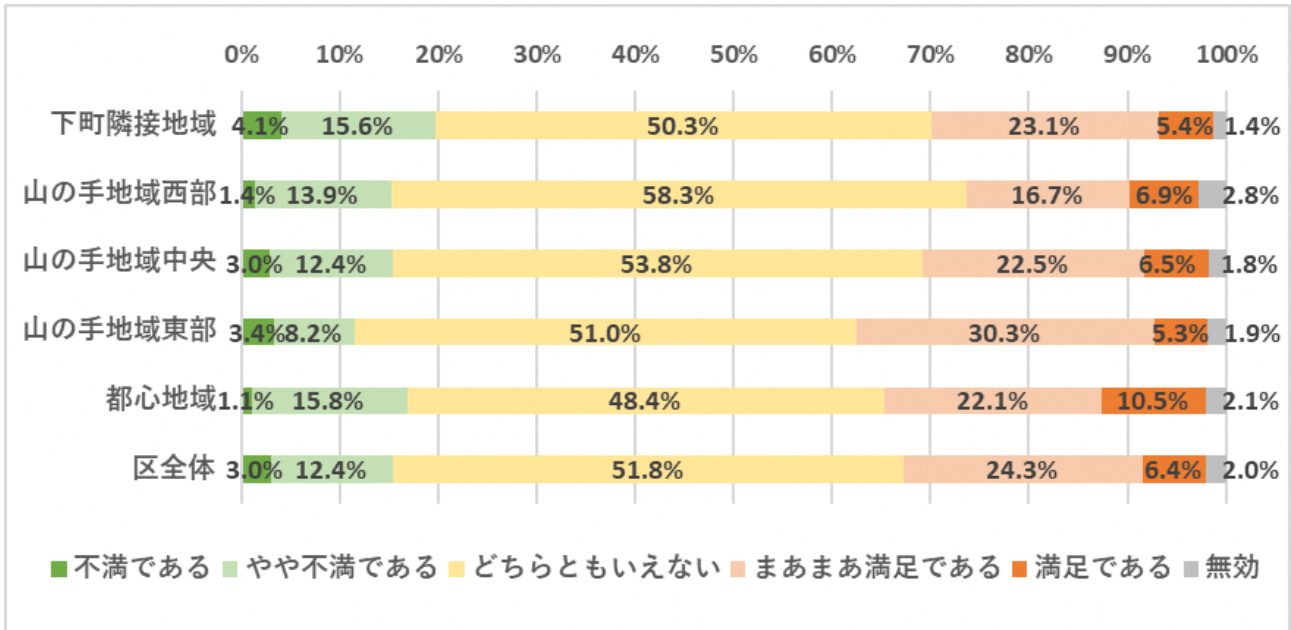


■ 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導に対する期待度

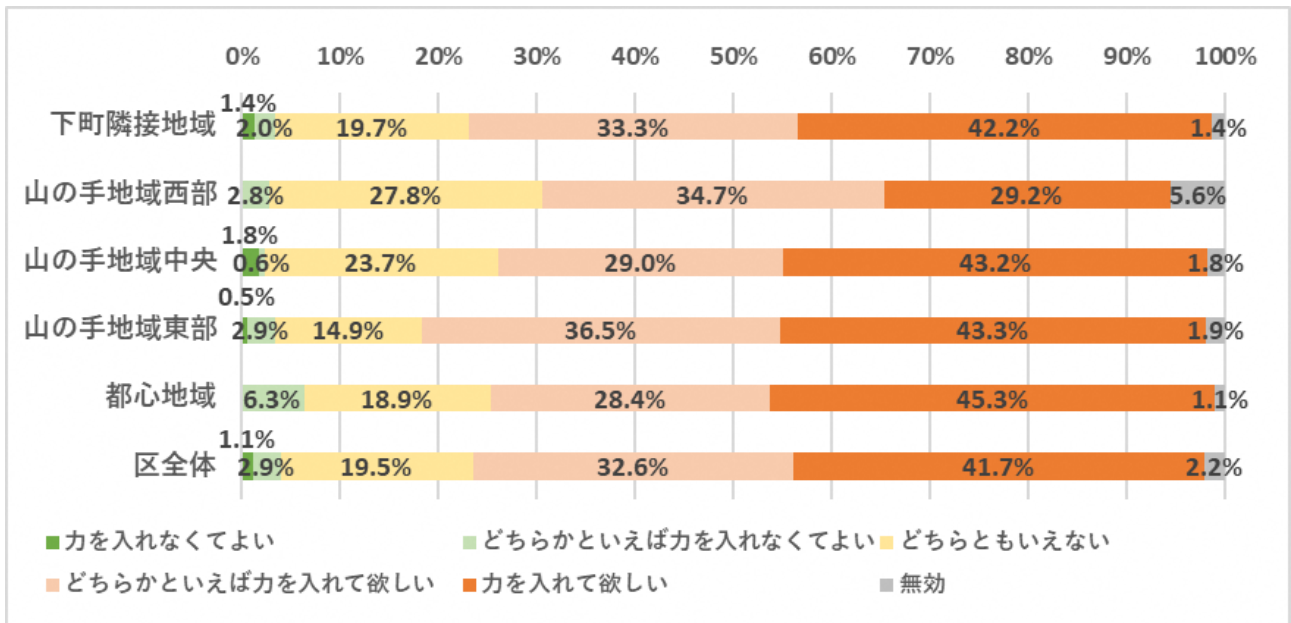


⑪ (4) 住宅・住環境② (子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応)

■子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応に対する満足度

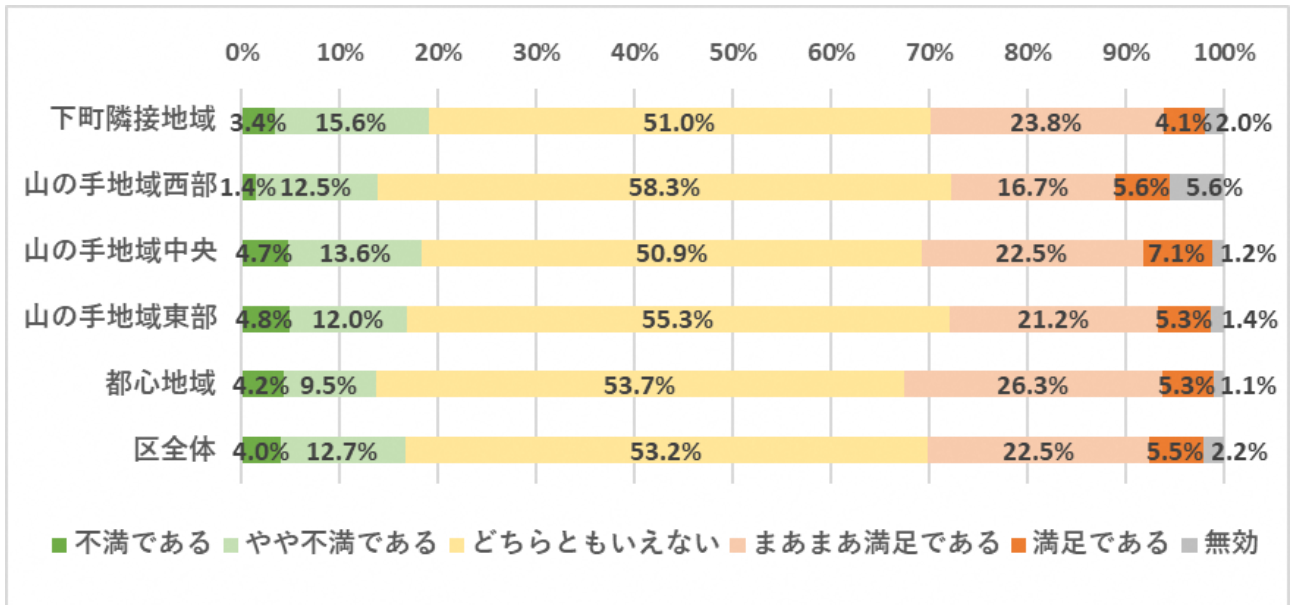


■子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応に対する期待度

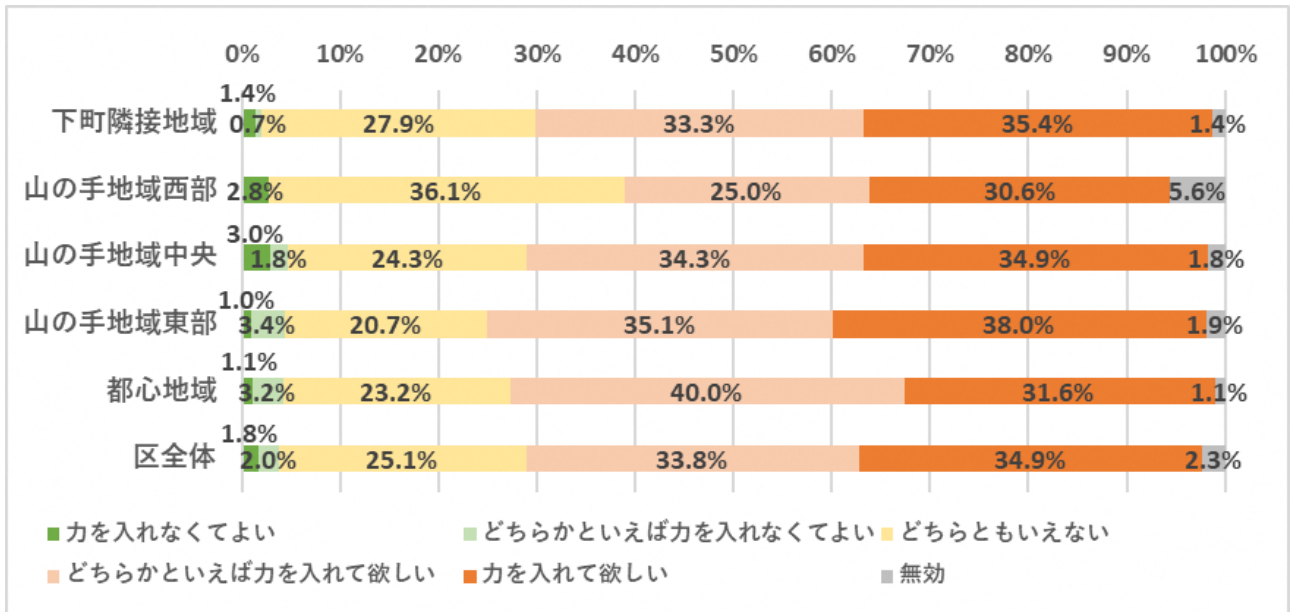


⑫ (4) 住宅・住環境③ (地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成)

■地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成に対する満足度



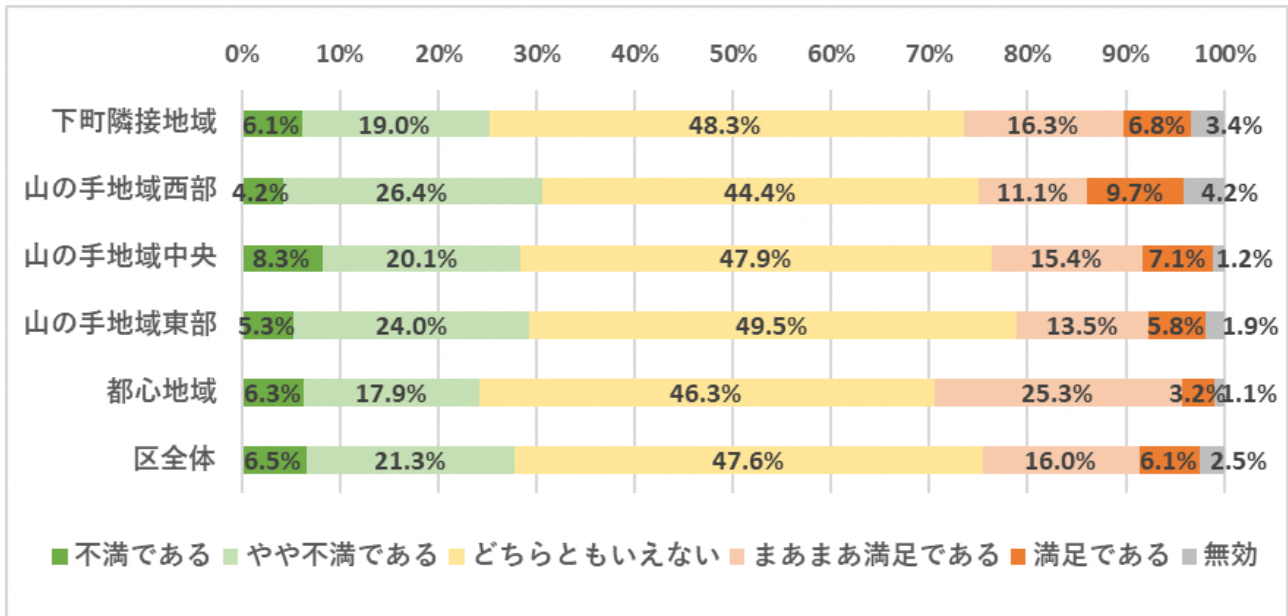
■地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成に対する期待度



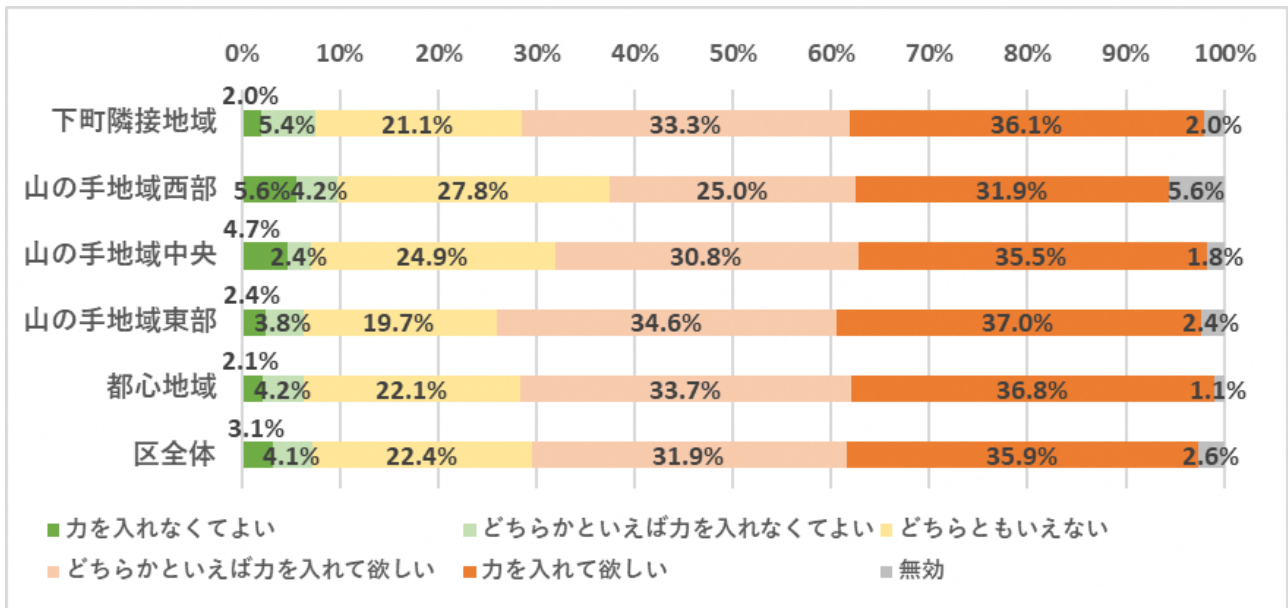


⑬ (4) 住宅・住環境④ (賑わいのある商店街の形成)

■賑わいのある商店街の形成に対する満足度

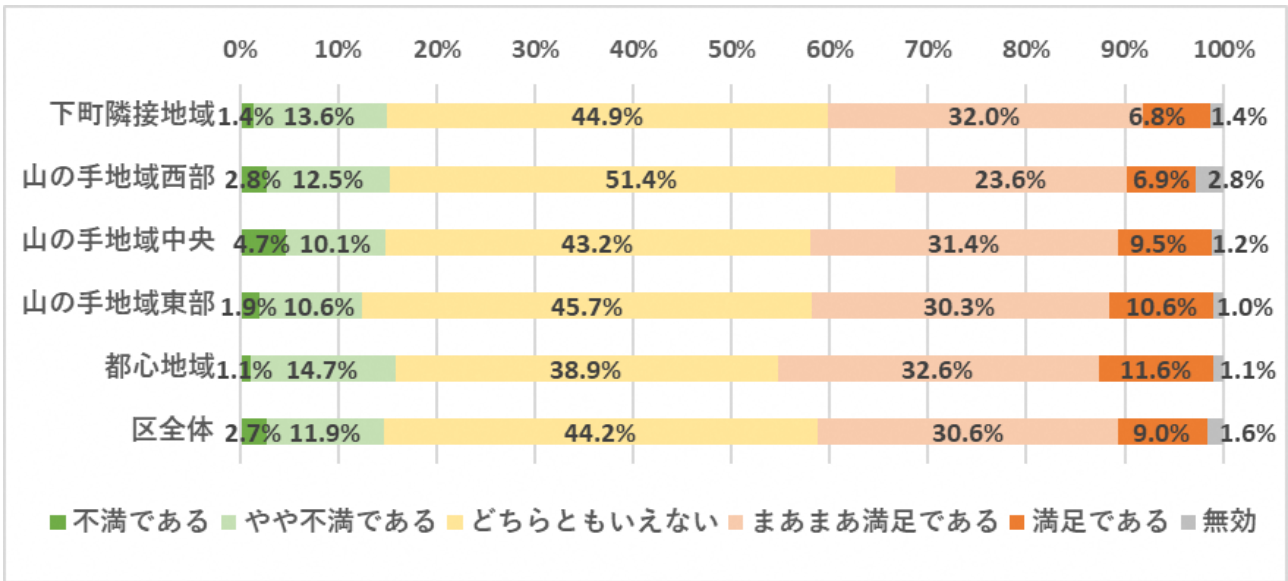


■賑わいのある商店街の形成に対する期待度

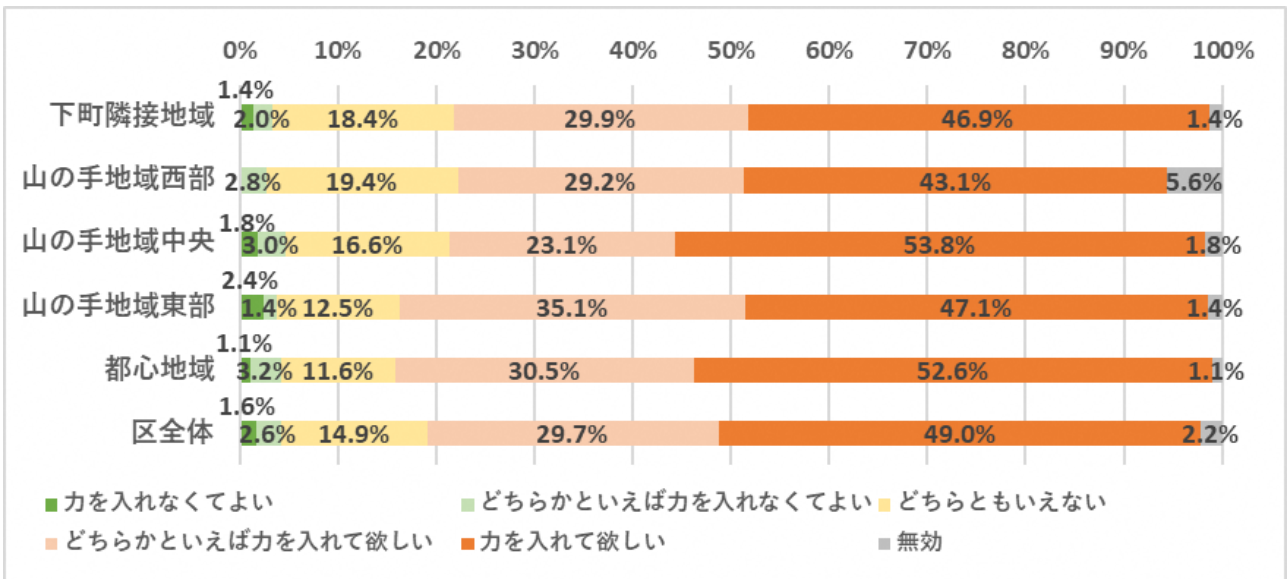


⑭ (4) 住宅・住環境⑤ (防犯まちづくりの推進)

■防犯まちづくりの推進に対する満足度

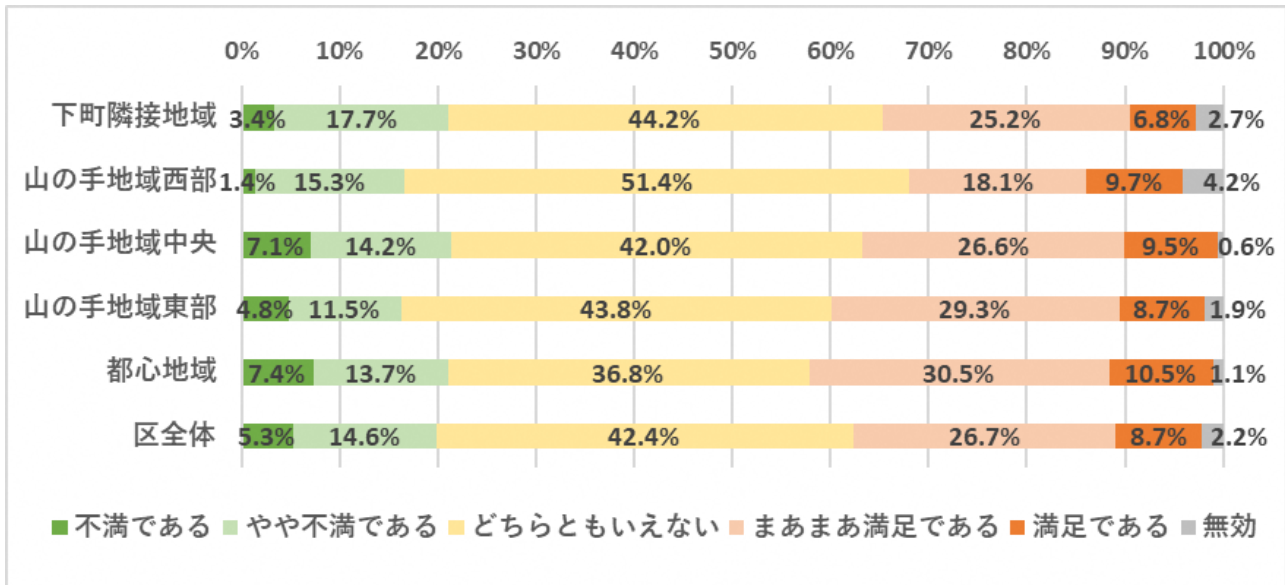


■防犯まちづくりの推進に対する期待度

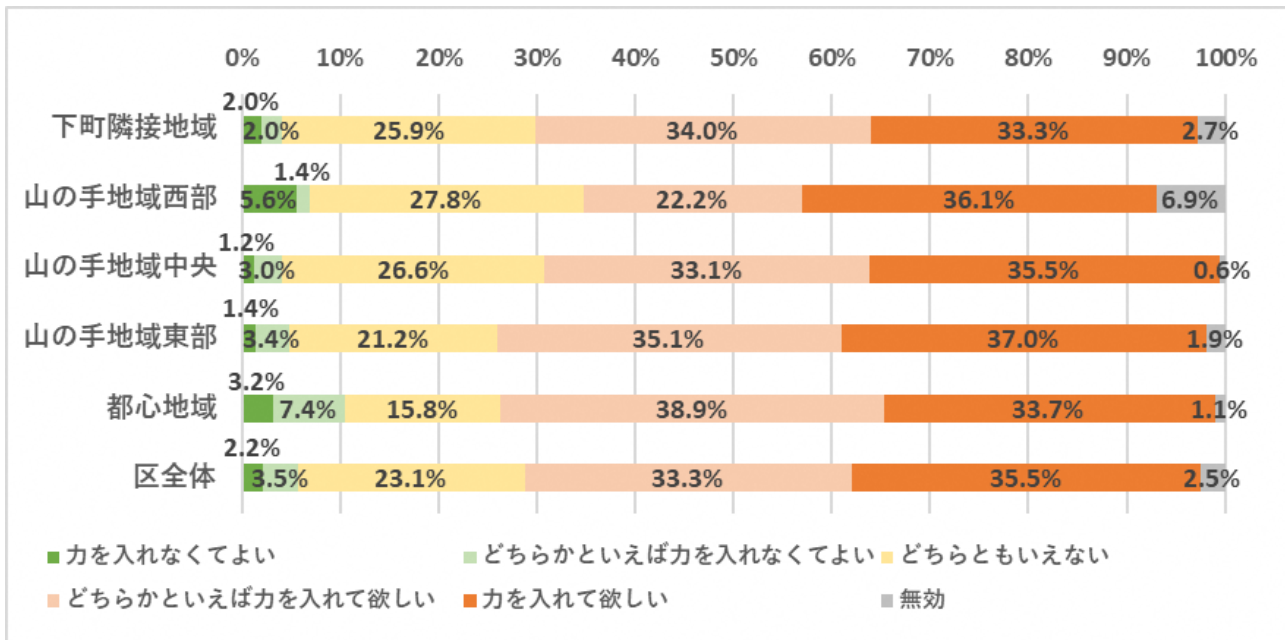


⑮ (5) 景観① (身近なまち並み景観の形成)

■身近なまち並み景観の形成に対する満足度

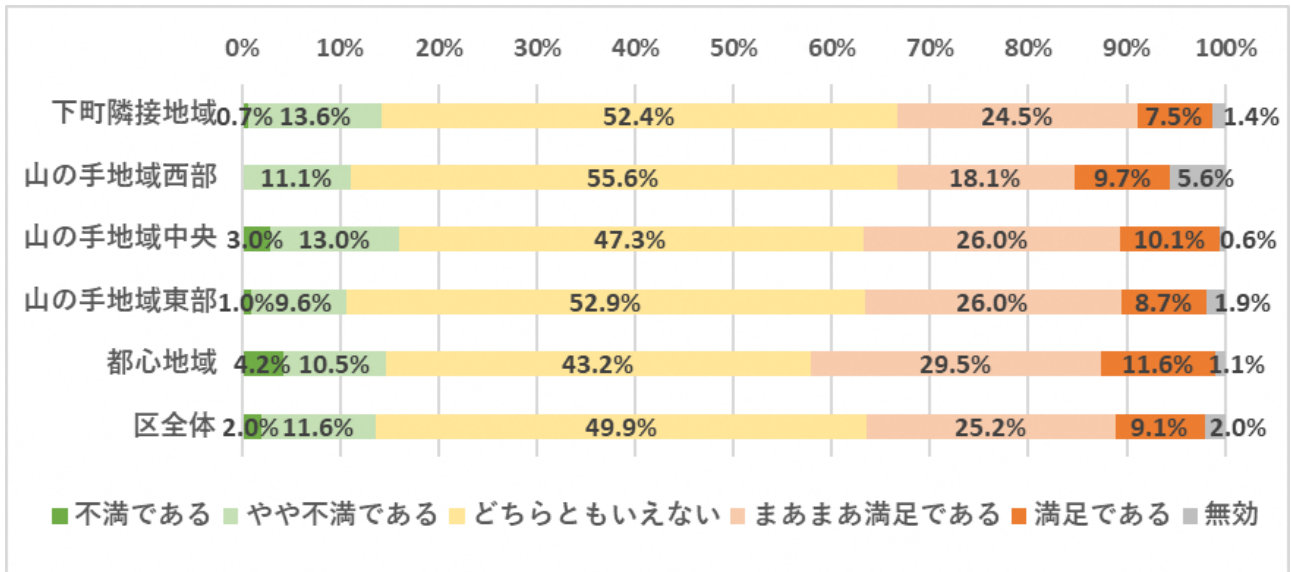


■身近なまち並み景観の形成に対する期待度

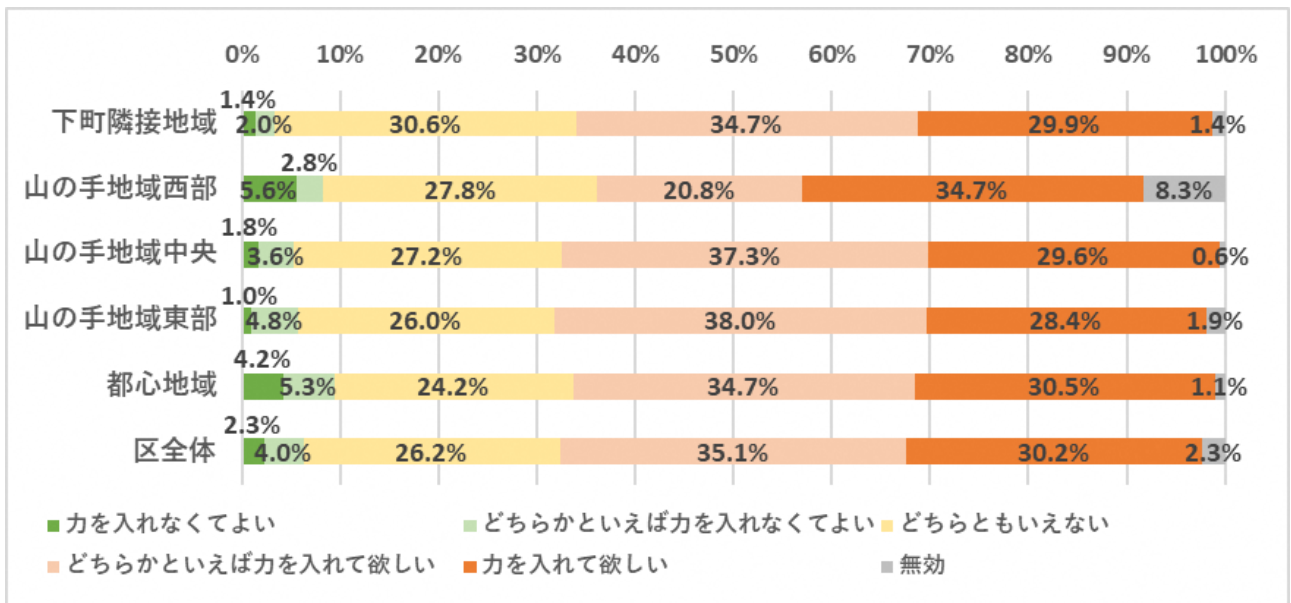


⑩ (5) 景観② (まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成)

■まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成に対する満足度

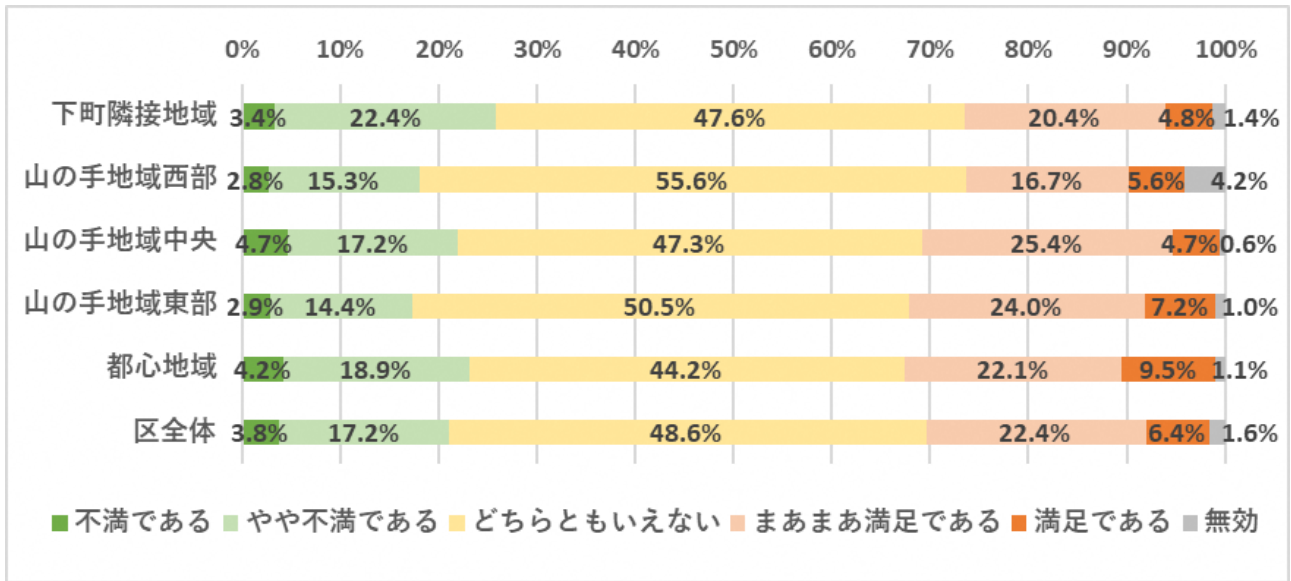


■まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成に対する期待度

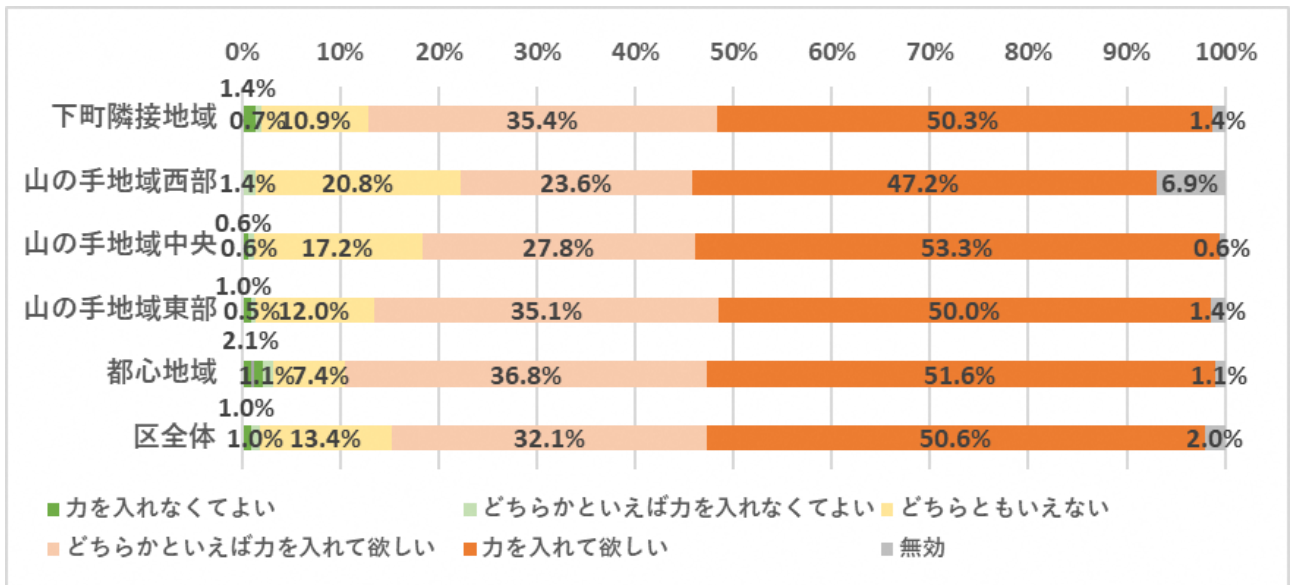


⑰ (6) 防災① (災害に強いまちづくりの推進について)

■災害に強いまちづくりの推進に対する満足度

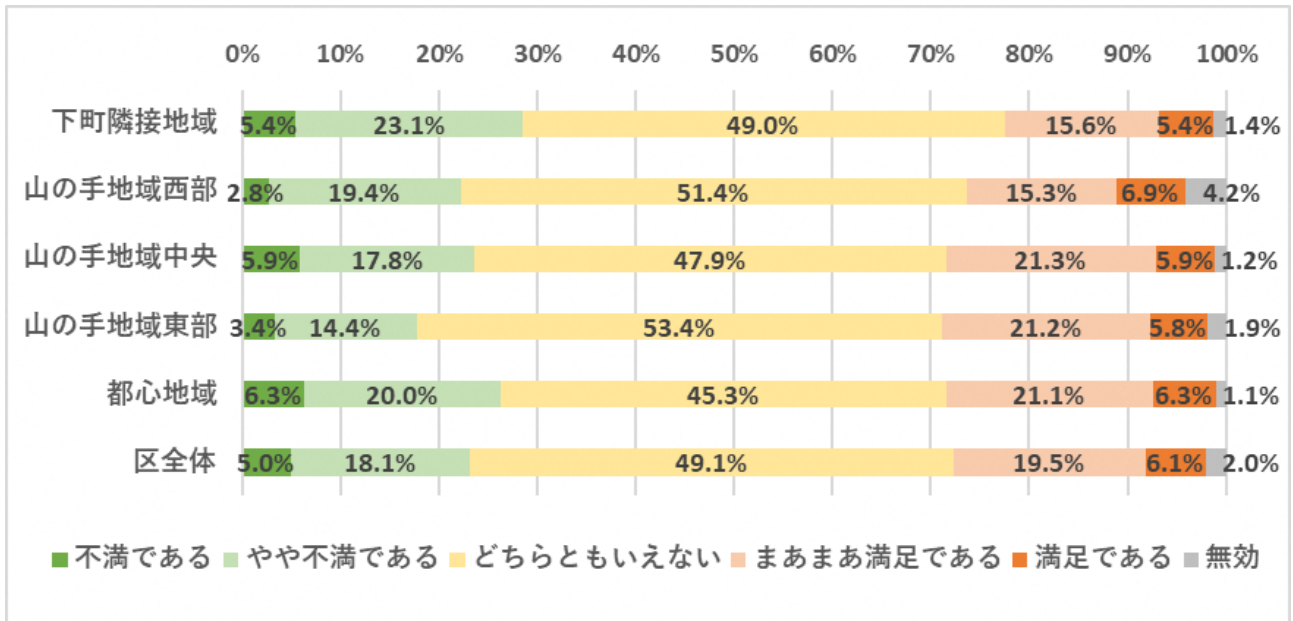


■災害に強いまちづくりの推進に対する期待度

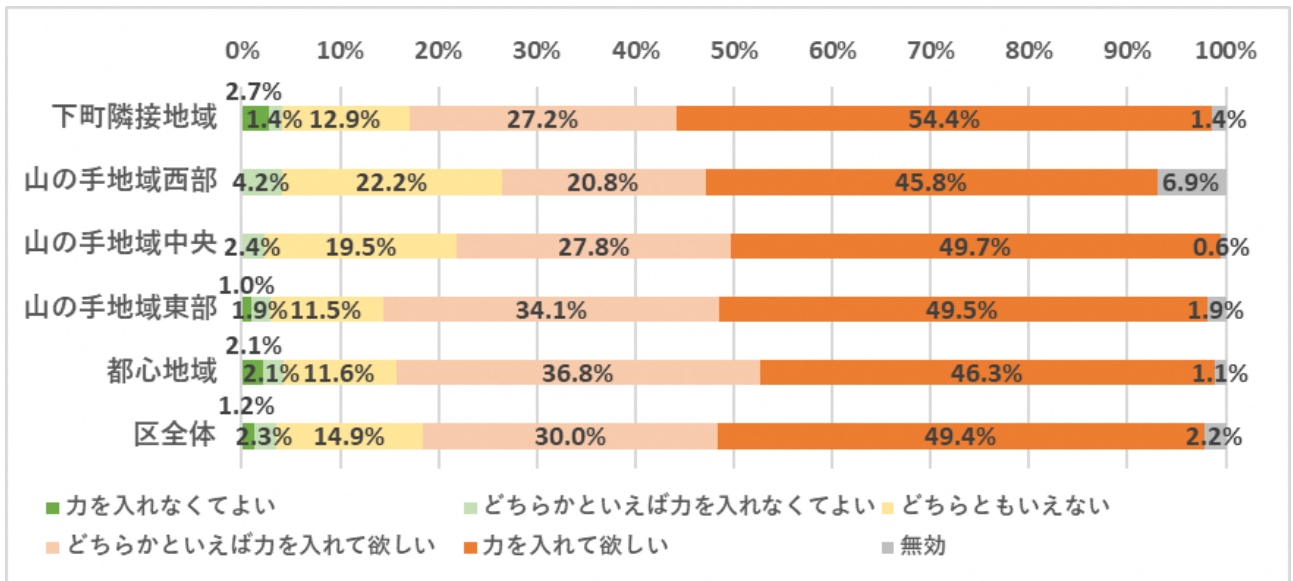


⑱ (6) 防災② (災害時の避難対策の推進について)

■災害時の避難対策の推進に対する満足度

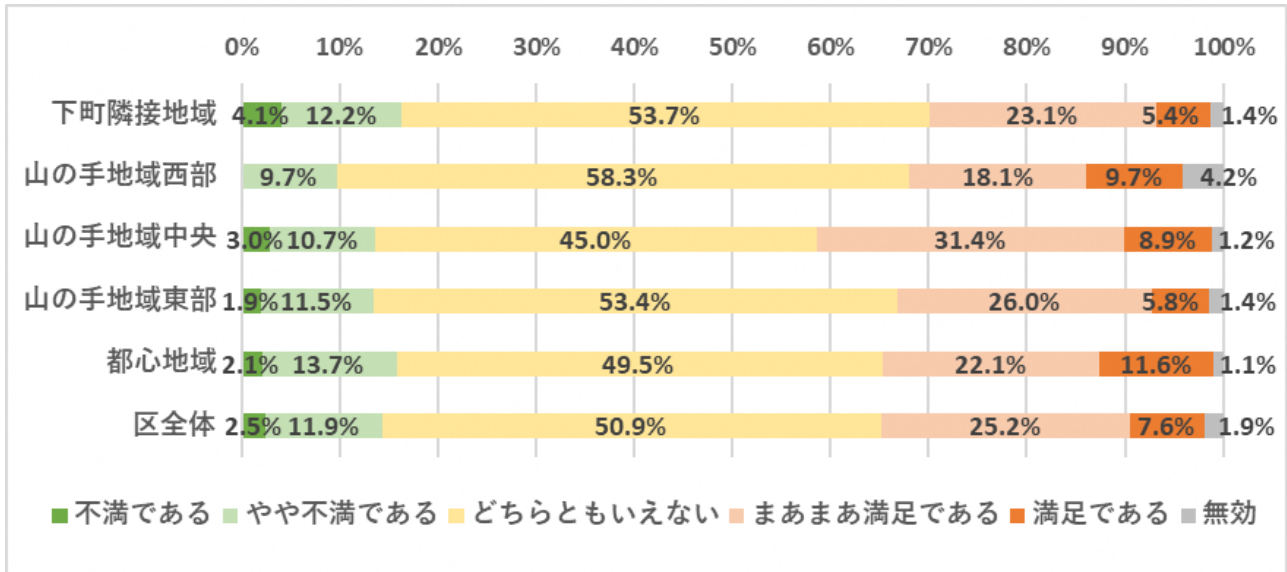


■災害時の避難対策の推進に対する期待度

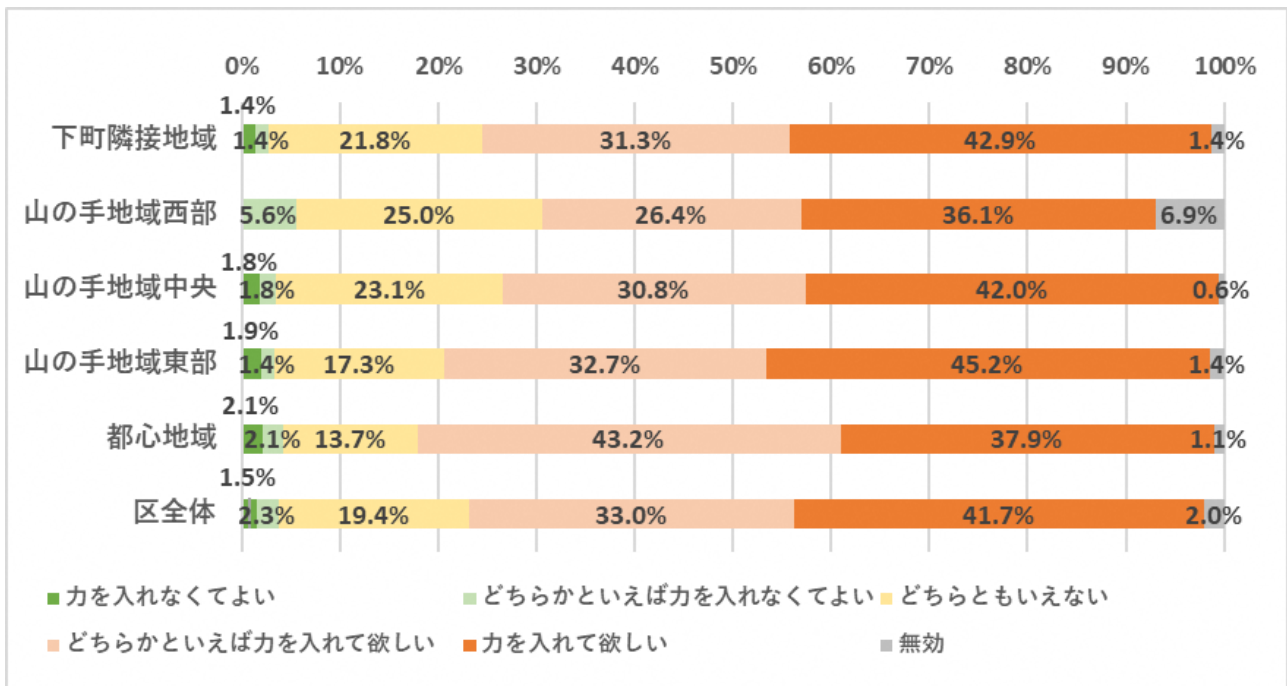


⑱ (6) 防災③ (総合的な治水・雨水対策の推進について)

■総合的な治水・雨水対策の推進に対する満足度



■総合的な治水・雨水対策の推進に対する期待度



⑳ 特に不満を感じる取組（区の取組 19 項目で特に不満を感じる項目があれば番号で記載）

・特に不満を感じる取組について、歩行・自転車利用の環境整備が最も多い。次いで、公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進、道路網の整備が続く。

■特に不満を感じる取組

取組の項目	回答者数	割合
(1)-① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	8	1.1%
(1)-② 土地利用の誘導に関する取組	8	1.1%
(1)-③ 建築物の高さに関する取組	12	1.6%
(2)-① 歩行・自転車利用の環境整備	182	24.8%
(2)-② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	15	2.0%
(2)-③ 道路網の整備	17	2.3%
(3)-① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	18	2.5%
(3)-② 宅地内の緑のまちづくりの推進	4	0.5%
(3)-③ 緑と水のネットワーク軸の形成	3	0.4%
(4)-① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	8	1.1%
(4)-② 子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応	9	1.2%
(4)-③ 地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成	2	0.3%
(4)-④ 賑わいのある商店街の形成	11	1.5%
(4)-⑤ 防犯まちづくりの推進	8	1.1%
(5)-① 身近なまち並み景観の形成	7	1.0%
(5)-② まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	0	0.0%
(6)-① 災害に強いまちづくりの推進	11	1.5%
(6)-② 災害時の避難対策の推進	8	1.1%
(6)-③ 総合的な治水・雨水対策の推進	1	0.1%
無回答等	401	54.7%
合計	733	100.0%



② 特に力を入れてほしい取組（区が取組 19 項目で特に力を入れてほしい項目があれば番号で記載）

- ・特に力を入れてほしい取組について、歩行・自転車利用の環境整備が最も多い。次いで、災害に強いまちづくりの推進、公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進が続く。

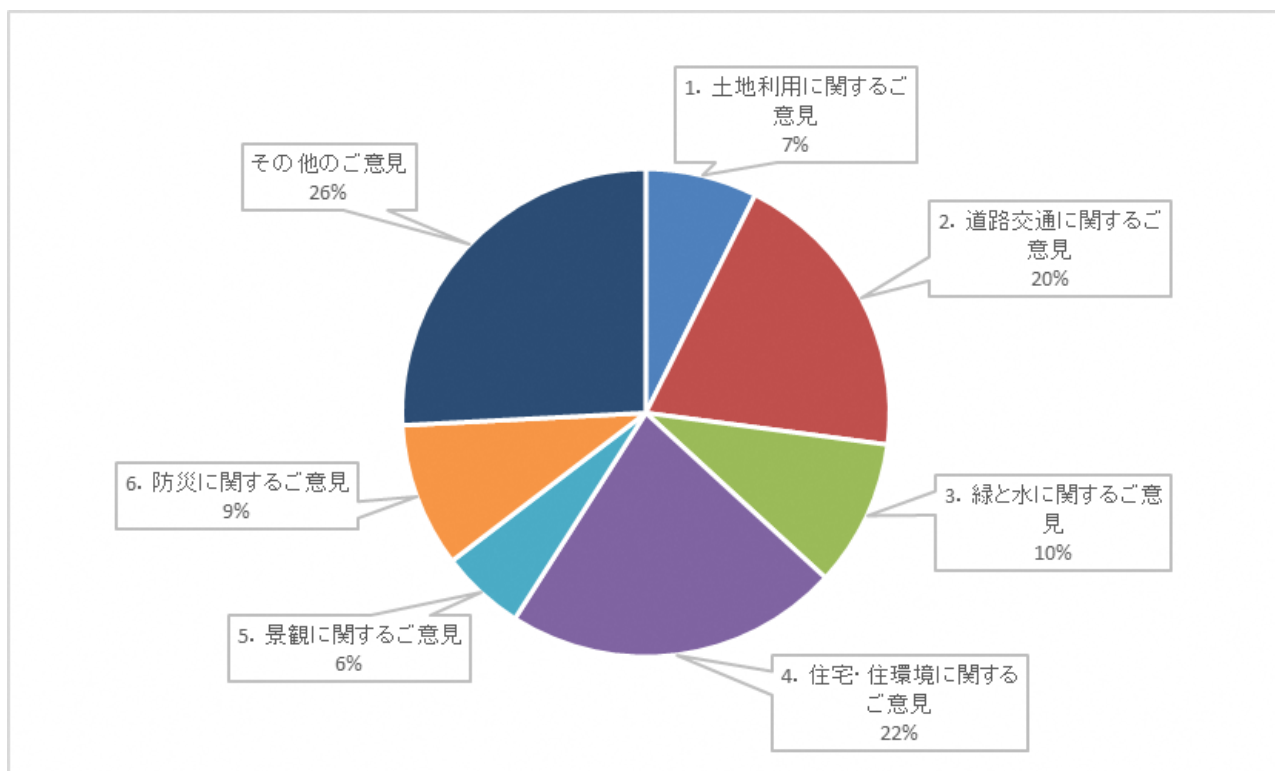
■特に力を入れてほしい取組

取組の項目	回答者数	割合
(1)-① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	5	0.7%
(1)-② 土地利用の誘導に関する取組	6	0.8%
(1)-③ 建築物の高さに関する取組	14	1.9%
(2)-① 歩行・自転車利用の環境整備	42	5.7%
(2)-② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	10	1.4%
(2)-③ 道路網の整備	6	0.8%
(3)-① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	25	3.4%
(3)-② 宅地内の緑のまちづくりの推進	4	0.5%
(3)-③ 緑と水のネットワーク軸の形成	10	1.4%
(4)-① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	10	1.4%
(4)-② 子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応	9	1.2%
(4)-③ 地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成	13	1.8%
(4)-④ 賑わいのある商店街の形成	13	1.8%
(4)-⑤ 防犯まちづくりの推進	13	1.8%
(5)-① 身近なまち並み景観の形成	10	1.4%
(5)-② まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	18	2.5%
(6)-① 災害に強いまちづくりの推進	27	3.7%
(6)-② 災害時の避難対策の推進	14	1.9%
(6)-③ 総合的な治水・雨水対策の推進	4	0.5%
無回答等	480	65.5%
合計	733	100.0%

#### 4) 問4 今後のまちづくりに関するご意見等

自由記述でいただいたご意見を現行都市マスタープランの分野別（1. 土地利用、2. 道路交通、3. 緑と水、4. 住宅・住環境、5. 景観、6. 防災、その他）に整理した。各分野のご意見の中で代表的なものを一部掲載する。

##### ■区全体のご意見（分野別）



##### ■代表的なご意見（分野別）

###### 【1. 土地利用に関するご意見】

- ・都心立地と職住近接の良好な住宅地というポテンシャルを活かした、メリハリのあるマスタープランとなる事を期待する。
- ・1つターミナルとなる駅を開発してほしい。春日に頑張してほしい。
- ・地域発展のため、建ぺい率や容積率を見直せないものか。
- ・高層のタワーマンションが増えてきたと思われる。高さの規制緩和も時代の流れで仕方ないかもしれないが、これから先の人口の増減を考えると、本当に必要かどうか疑問である。
- ・建築物などの高さ制限について、低い方向で見直しをしてほしい。

###### 【2. 道路交通に関するご意見】

- ・自転車専用レーンをつくってあるが、駐車して通行できなかつたり、逆走自転車があつたり、ルールを明確にしてほしい。
- ・歩道が急にレンガ？のような造りになった。見た目は素敵ですが、子どもがいてベビーカーをひいていると、ガタガタして赤ちゃんには良くないなと思っていました。少子化対策で子どものことを考えていてなぜ？と思ってしまった。

- ・高齢の母がコロナ禍で運動不足になってしまうので散歩に出ているのですが、ベンチが少なく、つらいと言っている。
- ・バスの便がなく、行きづらい地域がある。コミュニティバスの走る方面をもっと拡げて乗りやすくしてほしい。
- ・坂が多いので、バリアフリーへの取組を今以上に強化してほしい。

### 【3. 緑と水に関するご意見】

- ・子供がのびのびと遊べる公園が増えると良いと思う。
- ・神社、仏閣、大きな公園や大学などで緑が確保されているように思えるが、一般の町中は緑が少ない。マンション建設の際にデベロッパーに緑を確保させるなど、環境に配慮してほしい。
- ・街路樹の維持管理をよろしくお願ひしたい。

### 【4. 住宅・住環境に関するご意見】

- ・ソーラー化等、個人の家にもっと推進したらいいと思う。
- ・子供の遊び場やボール遊びが出来る所（テニスコートなど）が少なく、余りのびのびと子育てが出来なかった。
- ・静かで安全な住みやすいまちづくりをお願いしたい。
- ・生活必需品を買い求めるのに近場に店舗が少なく、坂道も多いので苦勞する。利便性の高いスーパーや薬局など誘致しやすい環境作りに力を入れてほしい。
- ・公園、スクールゾーンに防犯カメラを増やしてほしい。

### 【5. 景観に関するご意見】

- ・空が広く見えるまちにするため、電柱の地中化（無電柱化）は必須だと思う。

### 【6. 防災に関するご意見】

- ・区立の学校を建替えてほしい。老朽化が心配である。
- ・文京区では古い木造建築の家も多く、壊れそうなブロック塀も随所に目につく。大地震の場合、心配である。
- ・防災訓練などについて、積極的に皆が参加しやすい日程や仕組みを、分かりやすく情報提供してほしい。
- ・地盤が弱い土地に建っている住宅などの水害が心配なので、助成して改修など、推進出来るようにしてほしい。

### 【その他のご意見】

- ・今日のように変化の速い時代にあっては、100年の計画ビジョンを作るのではなく、目の前の変化に迅速に対応する、計画の見直しができるシステムが必要ではないか。
- ・まちづくりは統合的な領域なので、これまでの仕組みや制度、縦割り体制等では、そもそも対応が難しいように思う。
- ・まちづくりには区民の参加関与が必要不可欠だが、その参加のデザインが不十分なように思う。

## (5) 分析

### ■加重相加重平均値の算定手順

満足度	得点	期待度	得点
5. 満足である	→ 10点	5. 力を入れて欲しい	→ 10点
4. まあまあ満足である	→ 5点	4. どちらかといえば力を入れて欲しい	→ 5点
3. どちらともいえない	→ 0点	3. どちらともいえない	→ 0点
2. やや不満である	→ -5点	2. どちらかといえば力を入れなくてよい	→ -5点
1. 不満である	→ -10点	1. 力をいれなくてよい	→ -10点
無回答	欠損値 (得点計算の対象外)	無回答	欠損値 (得点計算の対象外)

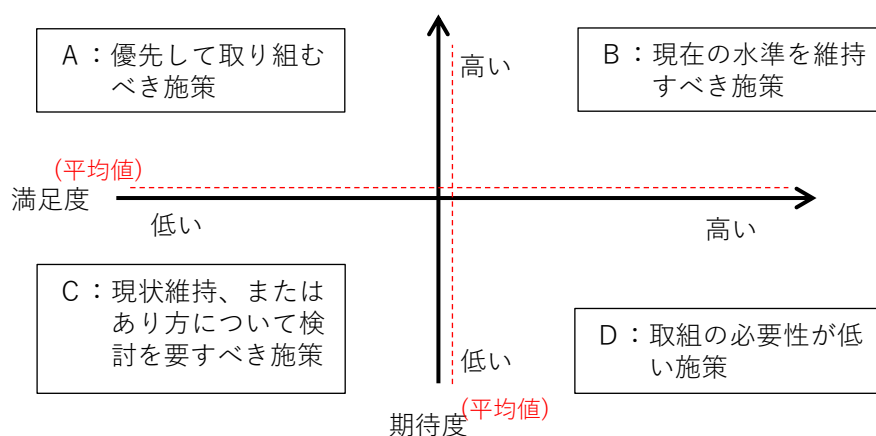
$$\text{満足度・期待度} = \frac{(a) \text{回答数} \times 10 + (b) \text{回答数} \times 5 + (c) \text{回答数} \times 0 + (d) \text{回答数} \times (-5) + (e) \text{回答数} \times (-10)}{(a) \sim (e) \text{回答数}}$$

※例えば、仮に全員が「4. まあまあ満足である」を選んだ場合、その項目の加重相加重平均値は5点となる。

さらに、「満足度」と「期待度」のを加重相加重平均値の関係を下記のグラフに整理して、A～Dの4分類を行った。次ページよりその集計結果を掲載する。

### ■相対評価

A	満足度平均以下、期待度平均以上（優先して取り組む施策）
B	満足度平均以上、期待度平均以上（現在の水準を維持する施策）
C	満足度平均以下、期待度平均以下（現状維持、またはあり方について検討を要する施策）
D	満足度平均以上、期待度平均以下（取組の必要性が低い施策）

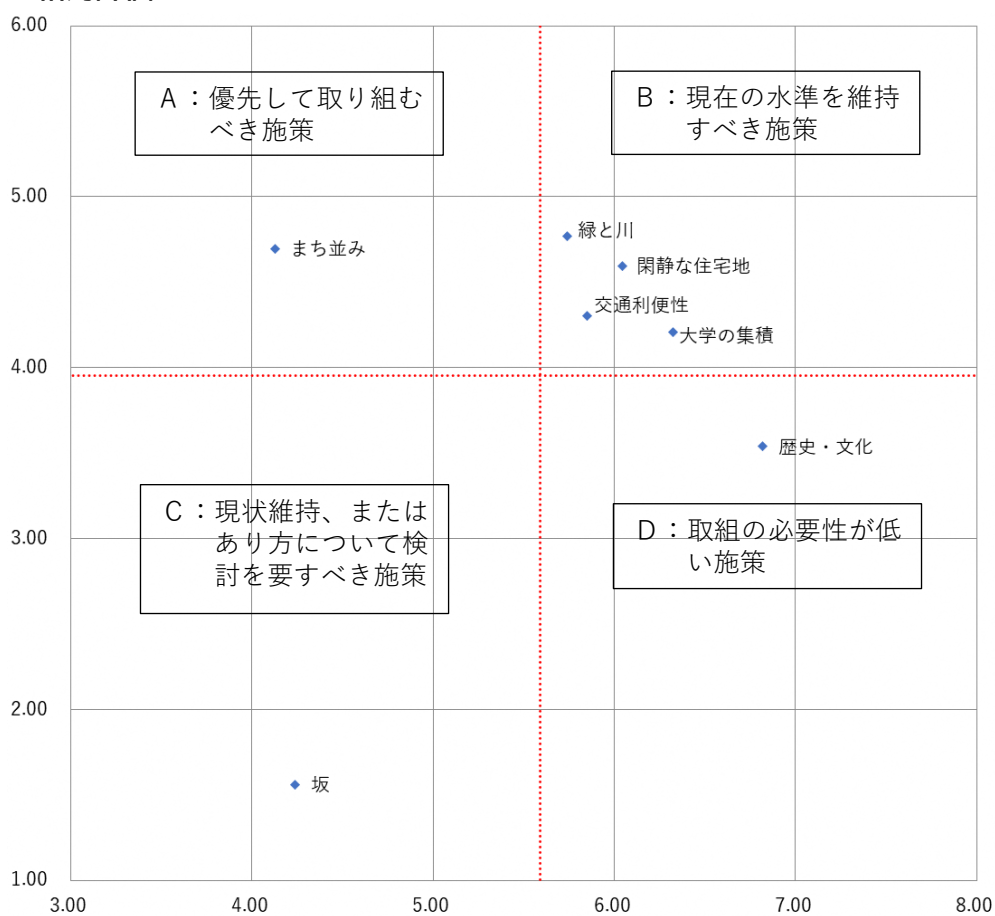


## ① 区の魅力について

### ■加重相加重平均値の算定結果

魅力	満足度	期待度	評価
交通利便性	5.85	4.30	B
閑静な住宅地	6.05	4.60	B
緑と川	5.74	4.77	B
歴史・文化	6.82	3.54	D
大学の集積	6.32	4.21	B
坂	4.24	1.56	C
まち並み	4.13	4.69	A

### ■相対評価

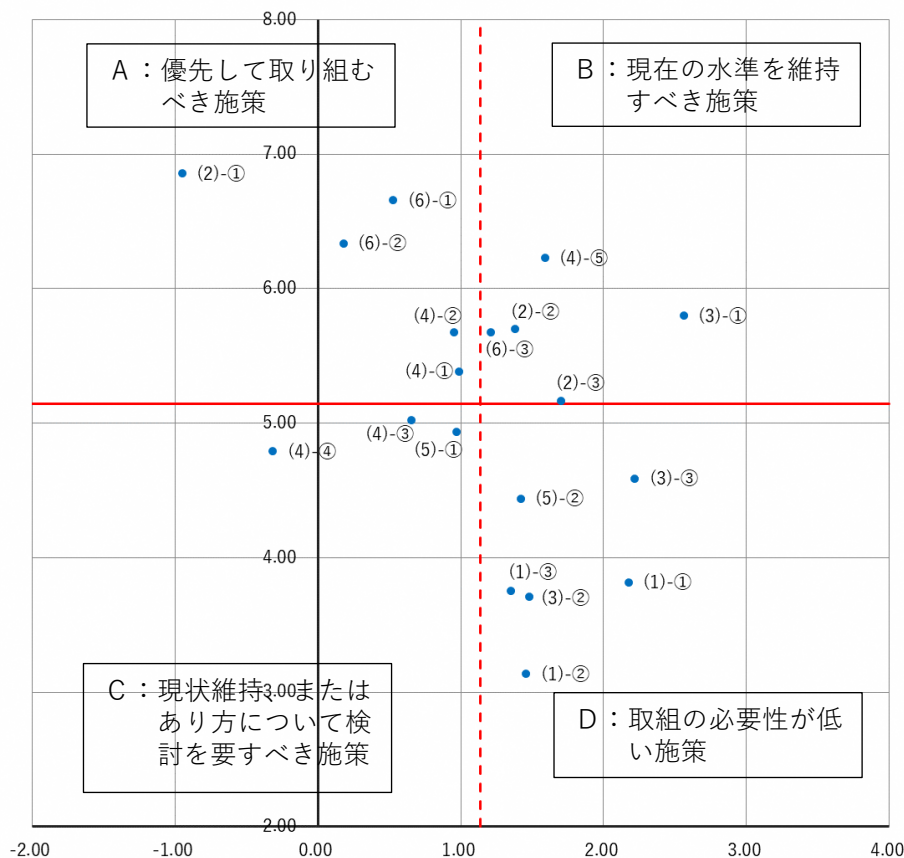


## ② 区の実施について

### ■加重相対平均値の算定結果

取組	満足度	期待度	評価
(1)-① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	2.17	3.82	D
(1)-② 土地利用の誘導に関する取組	1.46	3.14	D
(1)-③ 建築物の高さに関する取組	1.35	3.76	D
(2)-① 歩行・自転車利用の環境整備	-0.95	6.86	A
(2)-② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	1.38	5.70	B
(2)-③ 道路網の整備	1.70	5.17	B
(3)-① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	2.56	5.80	B
(3)-② 宅地内の緑のまちづくりの推進	1.48	3.71	D
(3)-③ 緑と水のネットワーク軸の形成	2.22	4.59	D
(4)-① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	0.99	5.38	A
(4)-② 子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応	0.95	5.68	A
(4)-③ 地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成	0.66	5.02	C
(4)-④ 賑わいのある商店街の形成	-0.31	4.79	C
(4)-⑤ 防犯まちづくりの推進	1.59	6.23	B
(5)-① 身近なまち並み景観の形成	0.97	4.94	C
(5)-② まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	1.42	4.44	D
(6)-① 災害に強いまちづくりの推進	0.53	6.66	A
(6)-② 災害時の避難対策の推進	0.18	6.34	A
(6)-③ 総合的な治水・雨水対策の推進	1.21	5.68	B

### ■相対評価



## 2 来訪者アンケート

### (1) 企画

来訪者アンケートについて、以下内容にて実施した。

#### 1) 目的

区内には、歴史・文化的資源や後樂園駅周辺のレクリエーション施設等があり来訪者をひきつけている。本アンケートでは、来訪者の視点から文京区の魅力や課題及び今後の取組みに関するニーズなどを把握し、都市マスタープランの見直しに活用するためとする。

#### 2) 対象・実施方法

調査の対象及び実施方法は以下の表のとおりとする。

##### ■対象及び実施方法

区分	来訪者アンケート
対象	・ 文京区を含まない都内在住者
実施方法	・ 対象者となるモニターを抽出※し、WEB アンケートを実施。 ※はじめにスクリーニングをかけ、調査対象者を絞る。 例) 文京区を訪れたことがあると回答した方のみ、設問に進む。

### 3) 調査項目

調査項目は、以下の表のとおりである。

#### ■調査項目と各設問の狙い

区分		各問を問く意味／狙い
問1	回答者 <sup>※1</sup> について ・職業	・問2以降の設問とクロス集計することにより、各属性別の回答の傾向を把握する。 ※1：性別、年齢、居住地は判明している
問2	来訪について ・来訪頻度 ・来訪目的 ・来訪手段	・来訪者の目的及び手段を把握するとともに、問3以降の設問とクロス集計することにより、来訪頻度や目的別に回答の傾向を把握する。
問3	文京区の魅力について ・魅力だと思う項目 ・今後、伸ばしてほしい魅力	・現行都市マスタープランのまちの魅力において、来訪者が魅力的だと思う項目、今後活かしてほしい魅力を問う。 ・各項目は区民意識調査と同一とし、 <u>区民と来訪者の意識の違いを比較すること</u> で、 <u>魅力を高めるための方策や方策の対象を検討</u> する上での参考とする。 ・以上により、 <u>魅力の項目とそれに紐づく方針、記述内容の見直し</u> の材料とする。
問4	文京区のまちづくりについて ・来訪した際の課題 ・再訪するにあたって期待する取組	・来訪者の立場からの都市環境への評価を把握することにより、都市マスタープラン見直しにあたっての <u>基礎的な知見</u> とする。 ・評価から都市整備上の課題を抽出することで、現行都市マスタープラン各施策項目の見直しに用いる。 ※各項目における区民意識調査(問3；区の取組)との対応は以下表の通りである。
問5	自由記述	・質問項目以外に関するまちづくりへの意見を把握する。 ・特に重要であると考えられる項目については、改定時に今後力を入れるべき新しい項目として記載を検討する。

※ 区民意識調査(問3：区の取組)との対応関係

来訪者アンケート	区民意識調査
快適な歩行空間の整備	(2)-①歩行・自転車利用の環境整備
自転車利用環境の向上	
公共交通機関の利便性向上	(2)-②公共交通機関の利便性向上のための環境整備
道路網の整備	(2)-③道路網の整備
緑と水のまちづくりの推進	(3)-①公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進



来訪者アンケート	区民意識調査
利便性の高い買い物空間の整備	(4)-④賑わいのある商店街の形成
防犯まちづくりの推進	(4)-⑤防犯まちづくりの推進
地域の特性を生かした景観の形成	(5)-①身近なまち並み景観の形成 (5)-②まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成
災害に強いまちづくりの推進	(6)-①災害に強いまちづくりの推進 (6)-②災害時の避難対策の推進 (6)-③総合的な治水・雨水対策の推進

## (2) 実施

アンケート調査票について、実施概要は以下のとおりとする。

### ■実施概要

対象	文京区を含まない都内在住者（島しょ部を除く）
実施日時	400 人
配布物	令和4年3月24日（木）～令和4年3月25日（金）（2日間）

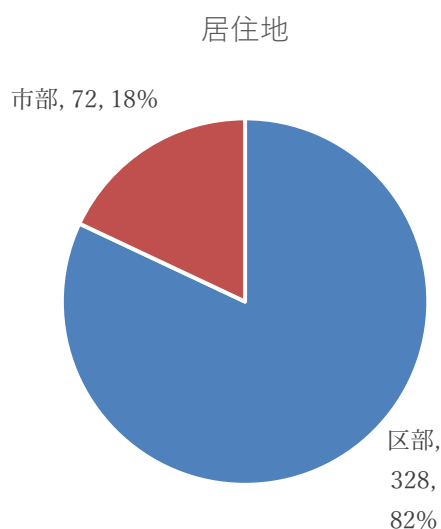
### (3) 集計結果

#### 1) 単純集計

各設問の単純集計の結果は、以下のとおりである。

##### ① スクリーニング1：あなたのお住まいの地域をお選びください。(択一回答)

区分	回答	区分	回答
千代田区	3	八王子市	6
中央区	6	立川市	4
港区	5	武蔵野市	3
新宿区	14	三鷹市	5
台東区	11	府中市	6
墨田区	8	昭島市	2
江東区	17	調布市	5
品川区	17	町田市	8
目黒区	13	小平市	4
大田区	26	日野市	3
世田谷区	28	東村山市	2
渋谷区	9	国分寺市	3
中野区	16	国立市	3
杉並区	21	福生市	1
豊島区	23	狛江市	2
北区	15	東大和市	3
荒川区	7	清瀬市	1
板橋区	20	東久留米市	2
練馬区	16	武蔵村山市	2
足立区	22	多摩市	2
葛飾区	15	西東京市	5
江戸川区	16	市部合計	72
区部合計	328		
隣接6区	73		

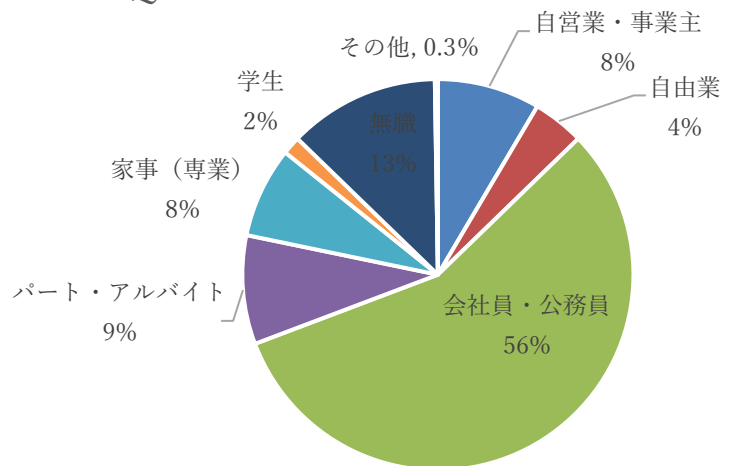


- ・ 区部の回答が8割以上であった。
- ・ 隣接6区（千代田区、新宿区、台東区、豊島区、北区及び荒川区）の回答は18.3%（73件）であった。

② 問1：あなたのご職業をお答えください。(択一回答)

区分	回答数	割合
自営業・事業主	34	8.5%
自由業	17	4.3%
会社員・公務員	226	56.5%
パート・アルバイト	36	9.0%
家事(専門)	30	7.5%
学生	6	1.5%
無職	50	12.5%
その他	1	0.3%
総計	400	100%

Q1.あなたのご職業をお答えください



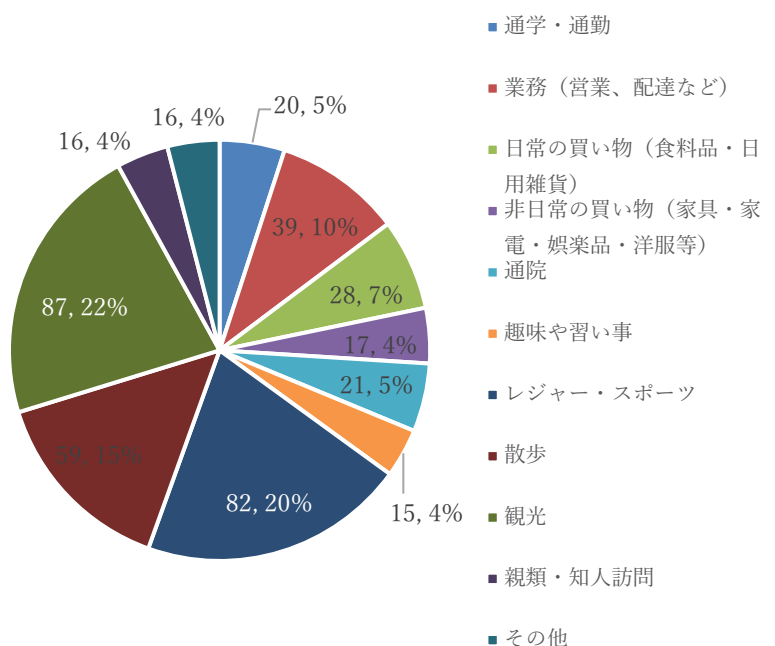
・「会社員・公務員」が 56.5%と最も多く、「無職」(12.5%)、「パート・アルバイト」(9.0%)が続いている。

③ 問2. あなたが文京区に来訪した時の行動についてお答えください。

問2-1：文京区を訪れる主な目的は何ですか。(択一回答)

区分	回答数	割合
通学・通勤	20	5.0%
業務(営業、配達など)	39	9.8%
日常の買い物(食料品・日用雑貨)	28	7.0%
非日常の買い物(家具・家電・娯楽品・洋服等)	17	4.3%
通院	21	5.3%
趣味や習い事	15	3.8%
レジャー・スポーツ	82	20.5%
散歩	59	14.8%
観光	87	21.8%
親類・知人訪問	16	4.0%
その他	16	4.0%
総計	400	100%

Q2-1.文京区を訪れる主な目的は何ですか



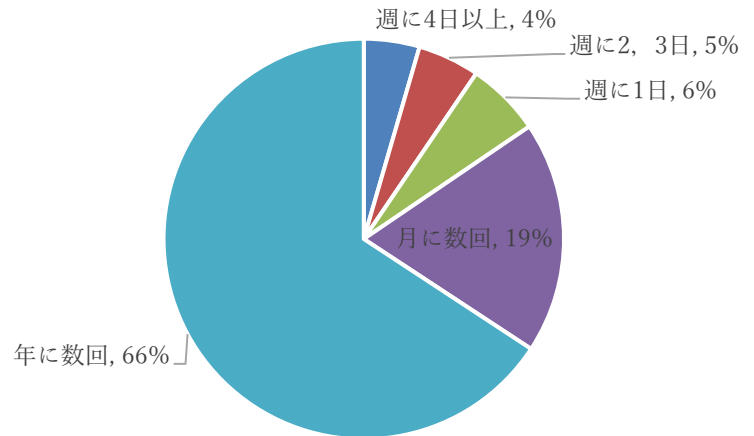
・「観光」が 21.8%と最も多く、「レジャー・スポーツ」(20.5%)、「散歩」(14.8%)が続いている。

・「その他」は墓参り等が挙げられた。

問2-2：文京区を訪れる頻度をお答えください。(択一回答)

区分	回答数	割合
週に4日以上	18	4.5%
週に2, 3日	20	5.0%
週に1日	24	6.0%
月に数回	75	18.8%
年に数回	263	65.8%
総計	400	100%

Q2-2.文京区を訪れる頻度をお答えください

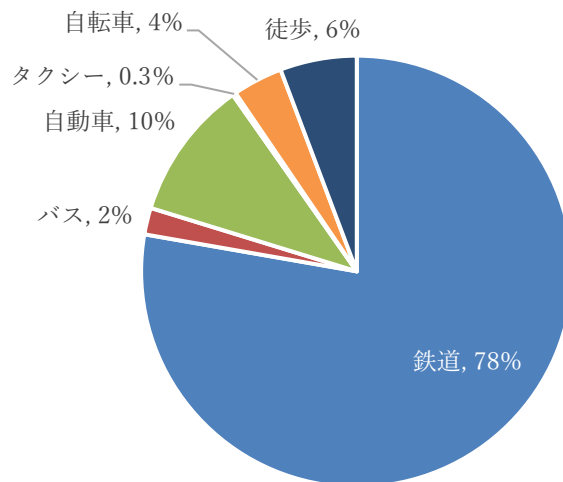


・「年に数回」が65.8%と最も多く、次に「月に数回」(18.8%) 続く。週に1日以上訪れる人は、全体の13.5%である。

問2-3：文京区を訪れる時の主に利用する交通手段をお答えください。(択一回答)

区分	回答数	割合
鉄道	311	77.8%
バス	8	2.0%
自動車	42	10.5%
タクシー	1	0.3%
バイク	0	0%
自転車	15	3.8%
徒歩	23	5.8%
総計	400	100.0%

Q2-3.文京区を訪れる時の主に利用する交通手段をお答えください



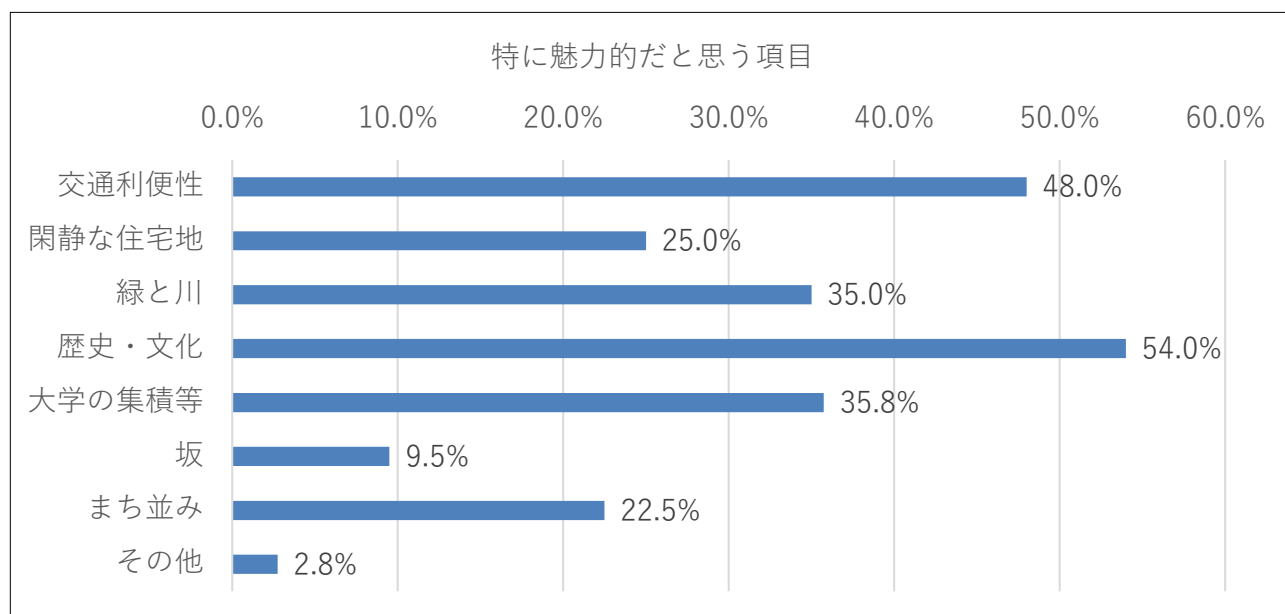
・「鉄道」が77.8%と最も多く、「自動車」(10.5%)、「徒歩」(5.8%)が続いている。

④ 問3. 文京区の魅力についてお答えください。

問3-1：文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいえるべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。(複数回答)

区分	回答数	割合
交通利便性	192	48.0%
閑静な住宅地	100	25.0%
緑と川	140	35.0%
歴史・文化	216	54.0%
大学の集積・教育機関、医療機関	143	35.8%
坂	38	9.5%
まち並み	90	22.5%
その他	11	2.8%

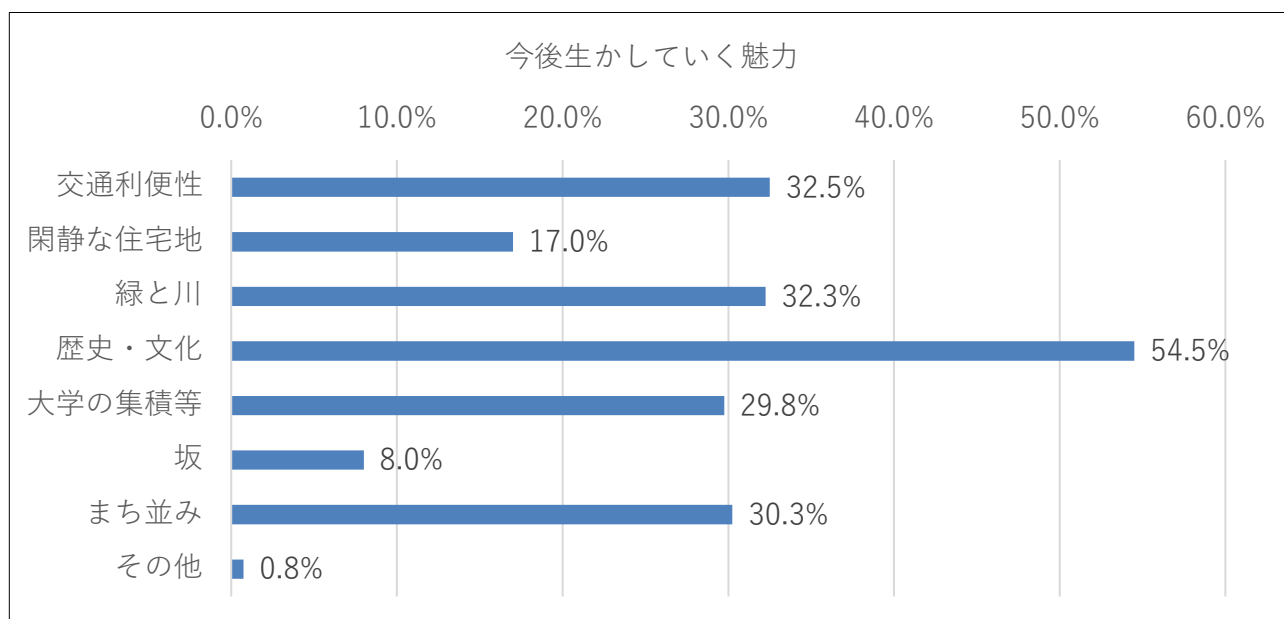
- ・「歴史・文化」が54.0%と最も多く、「交通利便性」(48.0%)、「大学の集積・教育機関、医療機関」(35.8%)が続いている。
- ・「その他」は「東京ドーム」(5件)、「レジャー・商業施設」(4件)等が挙げられた。



問3-2：一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。(複数回答)

区分	回答数	割合
交通利便性	130	32.5%
閑静な住宅地	68	17.0%
緑と川	129	32.3%
歴史・文化	218	54.5%
大学の集積・教育機関、医療機関	119	29.8%
坂	32	8.0%
まち並み	121	30.3%
新たな魅力の創出が必要	3	0.8%

- ・「歴史・文化」が54.5%と最も多く、「交通利便性」(32.5%)、「緑と川」(32.3%)、「まち並み」(30.3%)が続いている。
- ・「その他」は、「福祉」や「娯楽、商業施設の誘致」等の回答があった。
- ・「歴史・文化」は、特に魅力的な項目として認識され、さらに伸ばしてほしい魅力ともなっている。
- ・「まち並み」は、魅力として22.5%の回答だが、今後の生かすべき項目として30.3%となっており、「歴史・文化」とともに現状の魅力よりも今後の期待が大きい。

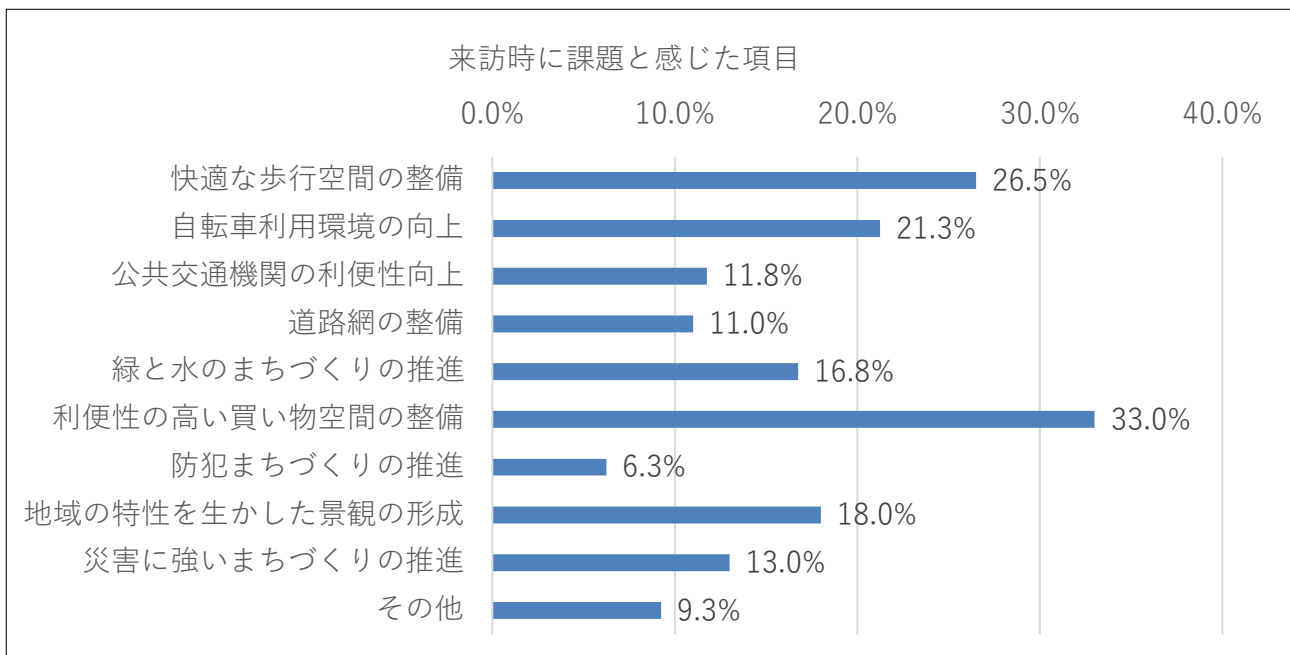


⑤ 問4. 文京区のまちづくりについてお答えください。

問4-1：文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。(複数回答)

区分	回答数	割合
快適な歩行空間の整備	106	26.5%
自転車利用環境の向上	85	21.3%
公共交通機関の利便性向上	47	11.8%
道路網の整備	44	11.0%
緑と水のまちづくりの推進	67	16.8%
利便性の高い買い物空間の整備	132	33.0%
防犯まちづくりの推進	25	6.3%
地域の特性を生かした景観の形成	72	18.0%
災害に強いまちづくりの推進	52	13.0%
その他	37	9.3%

- ・「利便性の高い買い物空間の整備」が33.0%と最も多く、「快適な歩行空間の整備」(26.5%)、「自転車利用環境の向上」(21.3%)が続いている。
- ・「その他」は、「休日の駐車場の混雑」や「坂が多い」等が挙げられた。





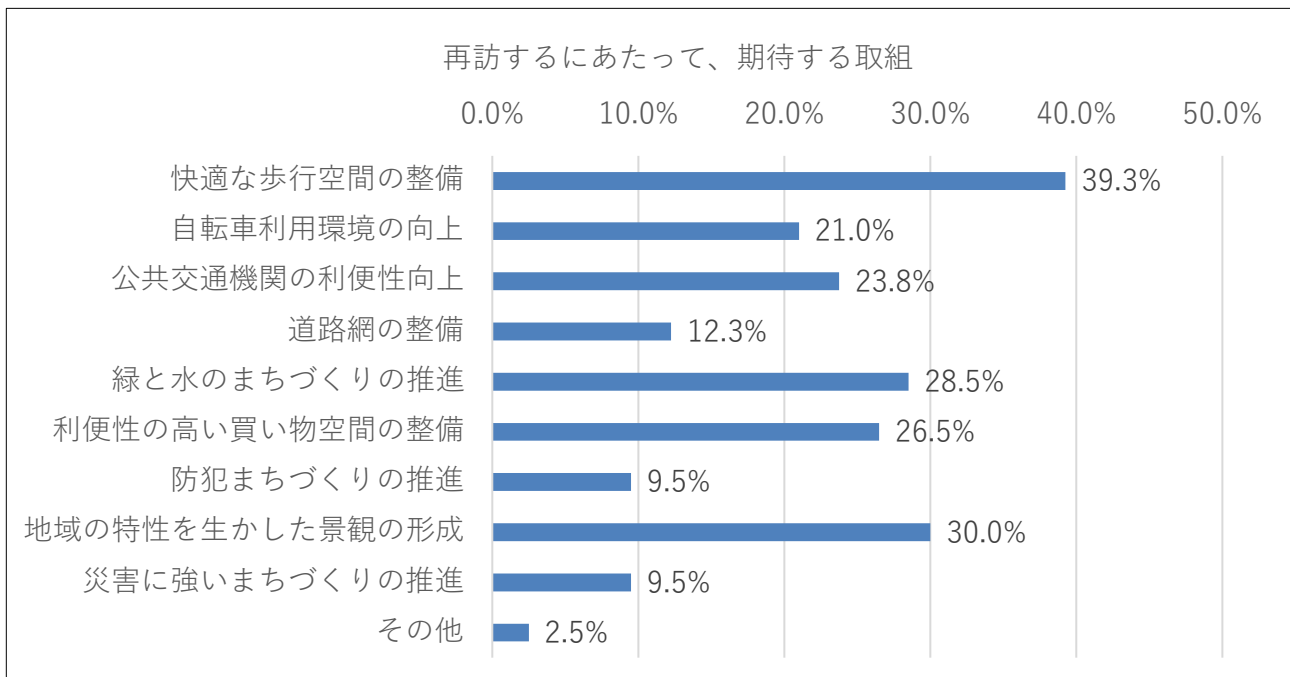
問4-2：今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。（複数回答）

区分	回答数	割合
快適な歩行空間の整備	157	39.3%
自転車利用環境の向上	84	21.0%
公共交通機関の利便性向上	95	23.8%
道路網の整備	49	12.3%
緑と水のまちづくりの推進	114	28.5%
利便性の高い買い物空間の整備	106	26.5%
防犯まちづくりの推進	38	9.5%
地域の特性を生かした景観の形成	120	30.0%
災害に強いまちづくりの推進	38	9.5%
その他	10	2.5%

- ・「快適な歩行空間の整備」が 39.3%と最も多く、「地域の特性を生かした景観の形成」(30.0%)、「緑と水のまちづくりの推進」(28.5%)が続いている。
- ・「その他」は、「駐車場数と駐車可能台数の増加」等が挙げられた。

課題と感ずる項目（問4-1）と期待する取組（問4-2）を比較すると、

- ・「利便性の高い買い物空間の整備」は課題と感ずている一方で、期待する取組では多くない。
- ・「快適な歩行空間の整備」は課題と感ず、期待もしている。
- ・「地域の特性を生かした景観の形成」や「緑と水のまちづくりの推進」は課題と感ずていないが、期待している回答が多くなっている。



⑥ 問5：文京区の今後のまちづくりについて、ご意見がありましたらお書きください。  
 (自由記述)

分類	件数
快適な歩行空間の整備に関して	9
自転車利用環境の向上に関して	2
公共交通機関の利便性向上に関して	5
道路網の整備に関して	3
緑と水のまちづくりの推進に関して	11
防犯まちづくりの推進に関して	4
地域の特性を生かした景観の形成に関して	9
歴史・文化を生かしたまちづくりに関して	13
移動・ネットワーク	5
情報・魅力の発信	13
大学の集積を生かしたまちづくり	4
娯楽・サービス施設の充実	5
まちの印象・イメージ	14
現状の取組内容で良い	15
その他	10

- ・まちづくりに関する意見においては、歴史・文化を生かしたまちづくりと情報・魅力の発信に関する意見が最も多く、次いで緑と水のまちづくりの推進に関する意見が多くなっている。

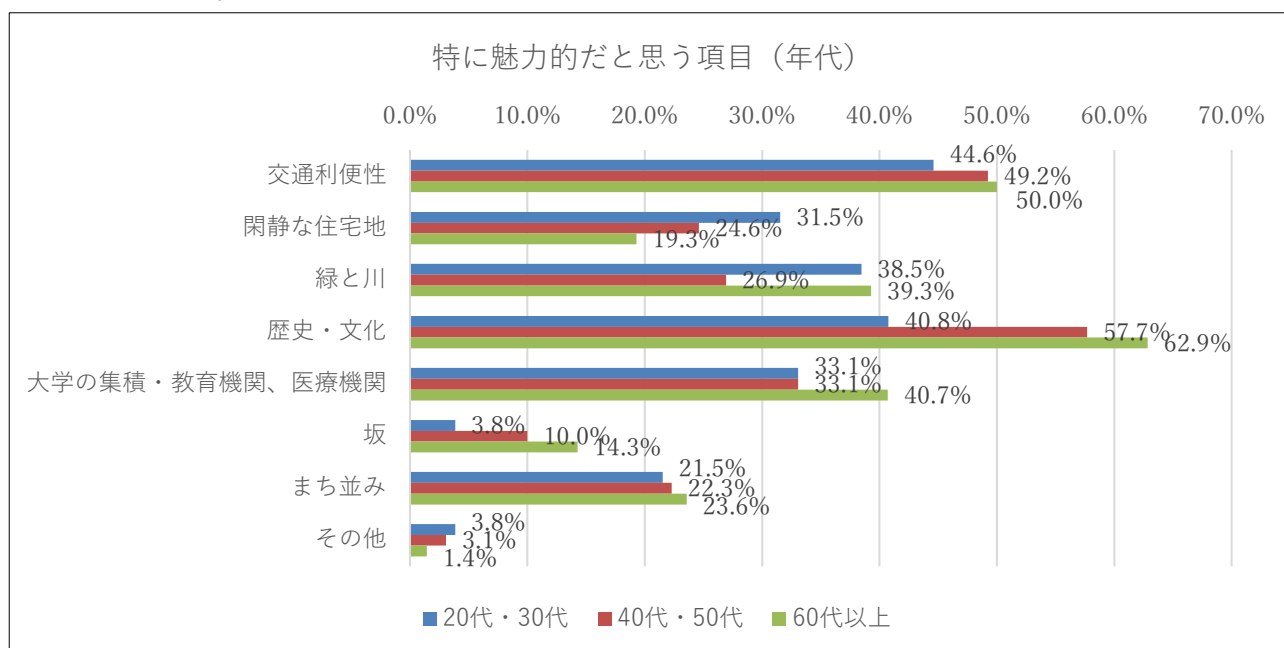
## 2) 問3、問4のクロス集計

### ① 問3のクロス集計

問3-1：文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいえるべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。（年代）

区分	20代・30代	40代・50代	60代以上
交通利便性	58 44.6%	64 49.2%	70 50.0%
閑静な住宅地	41 31.5%	32 24.6%	27 19.3%
緑と川	50 38.5%	35 26.9%	55 39.3%
歴史・文化	53 40.8%	75 57.7%	88 62.9%
大学の集積・教育機関、医療機関	43 33.1%	43 33.1%	57 40.7%
坂	5 3.8%	13 10.0%	20 14.3%
まち並み	28 21.5%	29 22.3%	33 23.6%
その他	5 3.8%	4 3.1%	2 1.4%

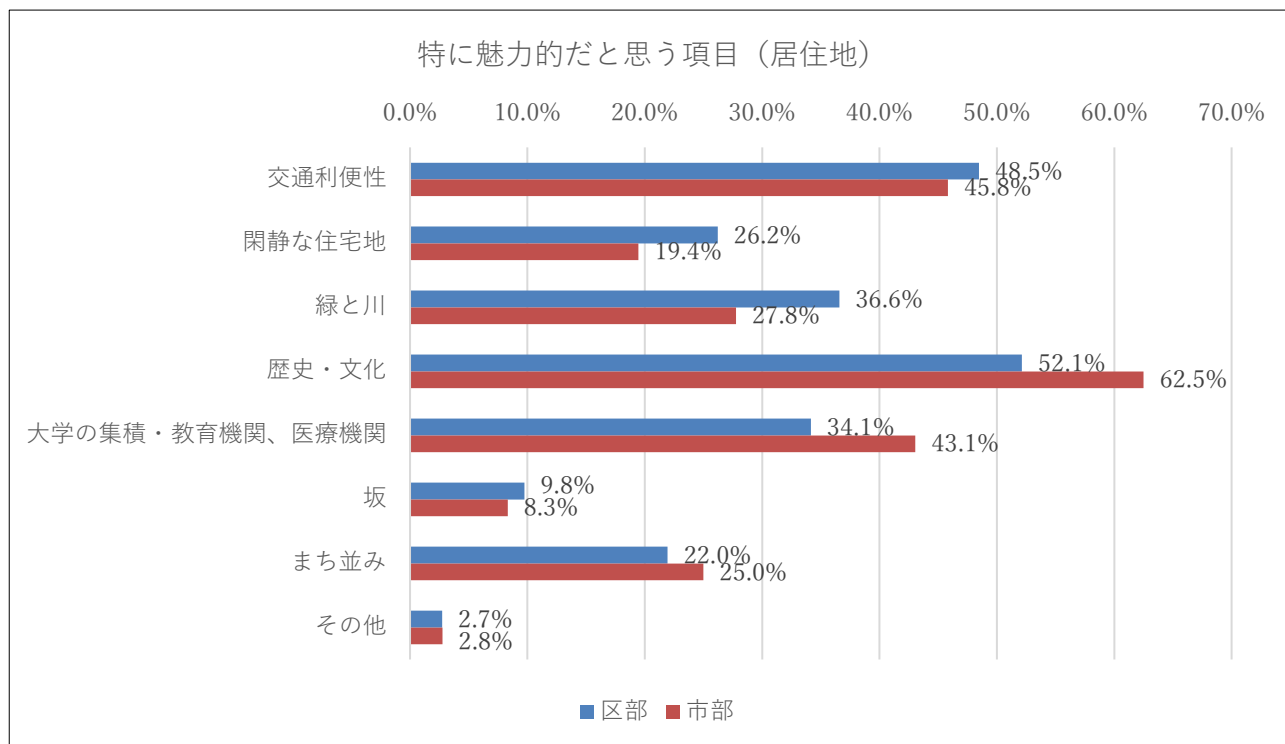
- ・「20代・30代」は、「交通利便性」、「歴史・文化」の順、「40代・50代」及び「60代以上」は、「歴史・文化」、「交通利便性」の順で回答が多くなっている。
- ・「20代・30代」は3番目に「緑と川」、「40代・50代」「60代以上」は、「大学の集積」が多くなっている。



問3-1：文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいえるべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。（居住地）

区分	区部	市部
交通利便性	159 48.5%	33 45.8%
閑静な住宅地	86 26.2%	14 19.4%
緑と川	120 36.6%	20 27.8%
歴史・文化	171 52.1%	45 62.5%
大学の集積・教育機関、医療機関	112 34.1%	31 43.1%
坂	32 9.8%	6 8.3%
まち並み	72 22.0%	18 25.0%
その他	9 2.7%	2 2.8%

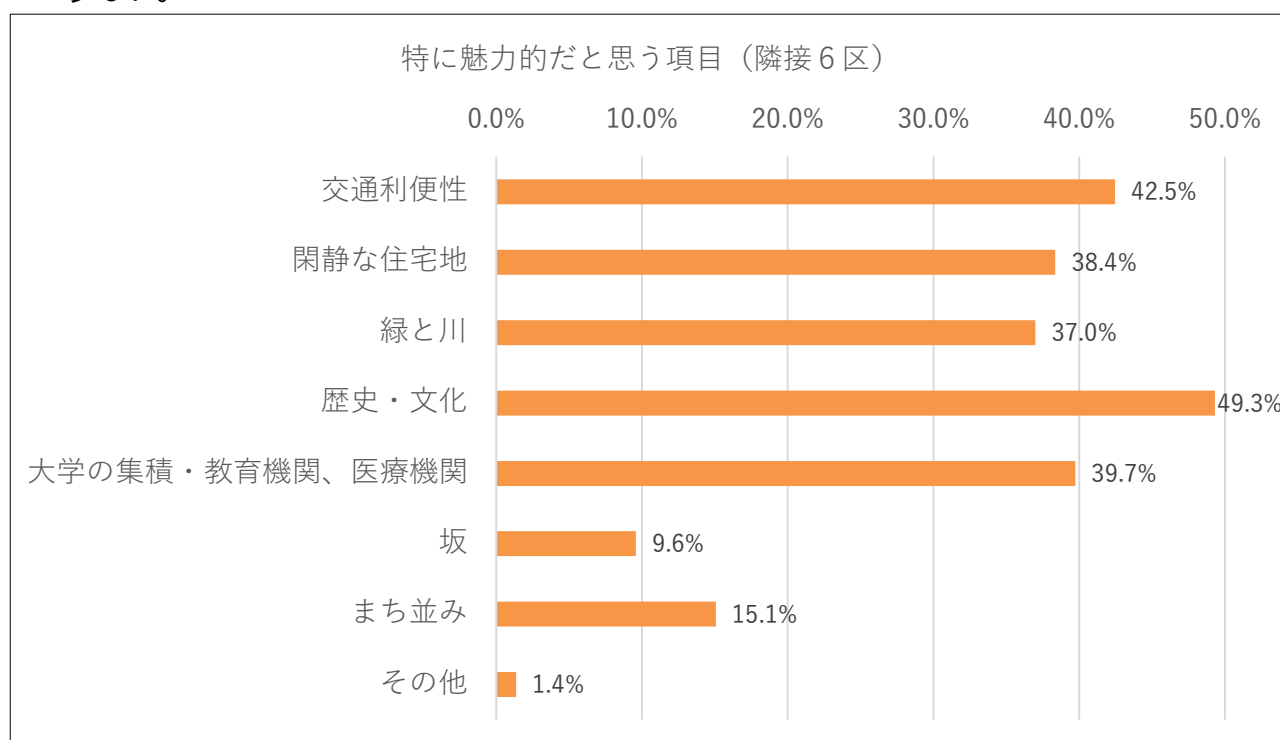
・区部と市部ともに、「歴史・文化」、「交通利便性」の順で回答が多くなっている。区部では、次に「緑と川」(36.6%)の回答が多いが、市部では、「大学の集積」(43.1%)が多くなっている。



問3-1：文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいえるべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。（隣接6区）

区分	隣接6区
交通利便性	31 42.5%
閑静な住宅地	28 38.4%
緑と川	27 37.0%
歴史・文化	36 49.3%
大学の集積・教育機関、医療機関	29 39.7%
坂	7 9.6%
まち並み	11 15.1%
その他	1 1.4%

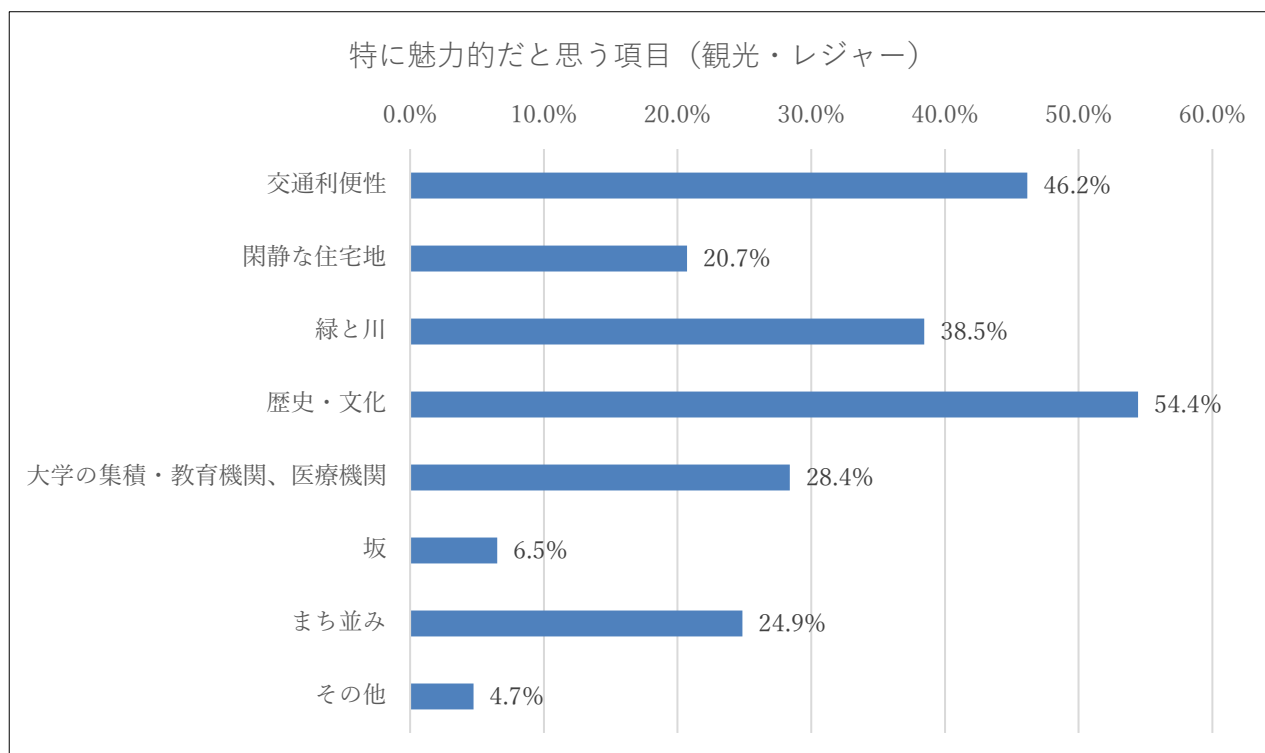
- ・隣接6区では、「歴史・文化」が49.3%と最も多く、次いで「交通利便性」（42.5%）、「大学の集積」（39.7%）、「閑静な住宅地」（38.4%）、「緑と川」（37.0%）が続いている。
- ・全体と比較すると、「閑静な住宅地」や「緑と川」の割合が多い一方で、「まち並み」の割合が少ない。



問3-1：文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいえるべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。（来訪目的（観光・レジャー））

区分	観光・レジャー
交通利便性	78 46.2%
閑静な住宅地	35 20.7%
緑と川	65 38.5%
歴史・文化	92 54.4%
大学の集積・教育機関、医療機関	48 28.4%
坂	11 6.5%
まち並み	42 24.9%
その他	8 4.7%

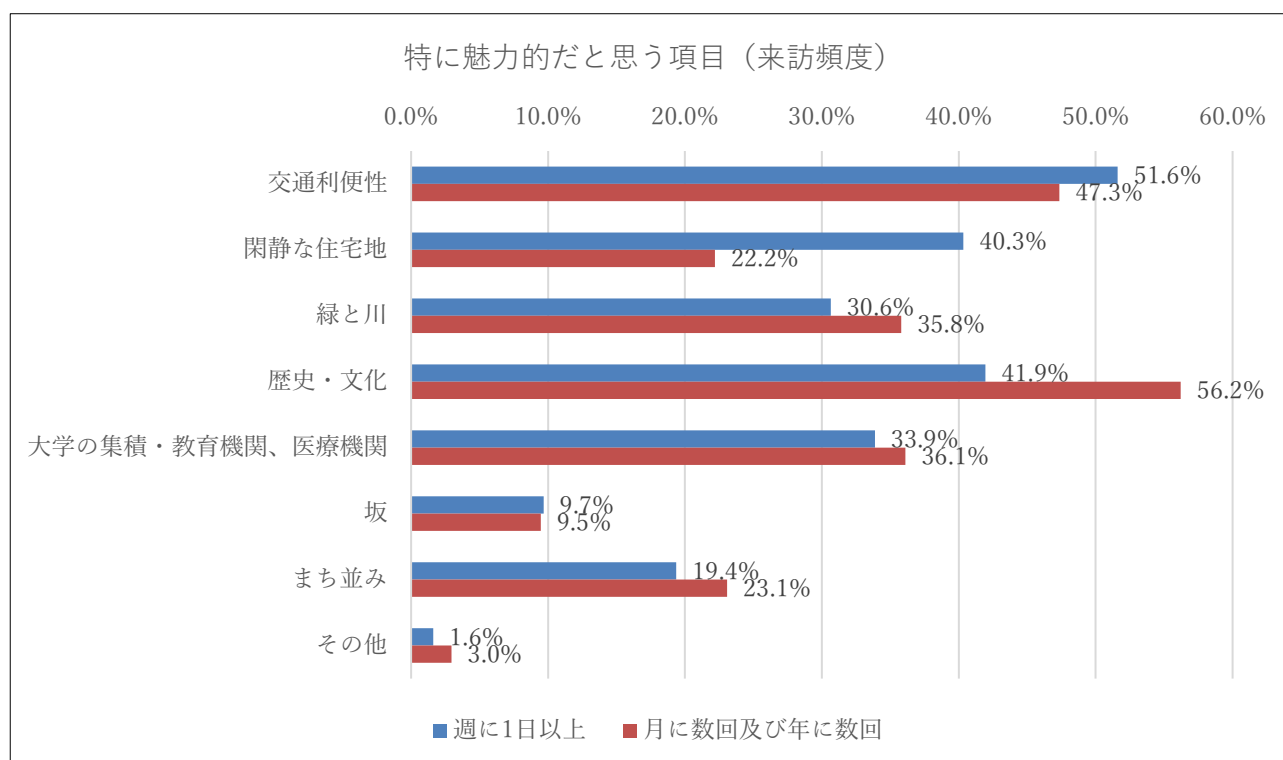
- ・観光・レジャーでは、「歴史・文化」が54.4%と最も多く、次いで「交通利便性」（46.2%）、「緑と川」（38.5%）、「大学の集積」（28.4%）が続いている。
- ・全体と比較すると、上位2つは変わらないが、「緑と川」が魅力として認識されている。



問3-1：文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいえるべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。（来訪頻度）

区分	週に1日以上	月に数回または年に数回
交通利便性	32 51.6%	160 47.3%
閑静な住宅地	25 40.3%	75 22.2%
緑と川	19 30.6%	121 35.8%
歴史・文化	26 41.9%	190 56.2%
大学の集積・教育機関、医療機関	21 33.9%	122 36.1%
坂	6 9.7%	32 9.5%
まち並み	12 19.4%	78 23.1%
その他	1 1.6%	10 3.0%

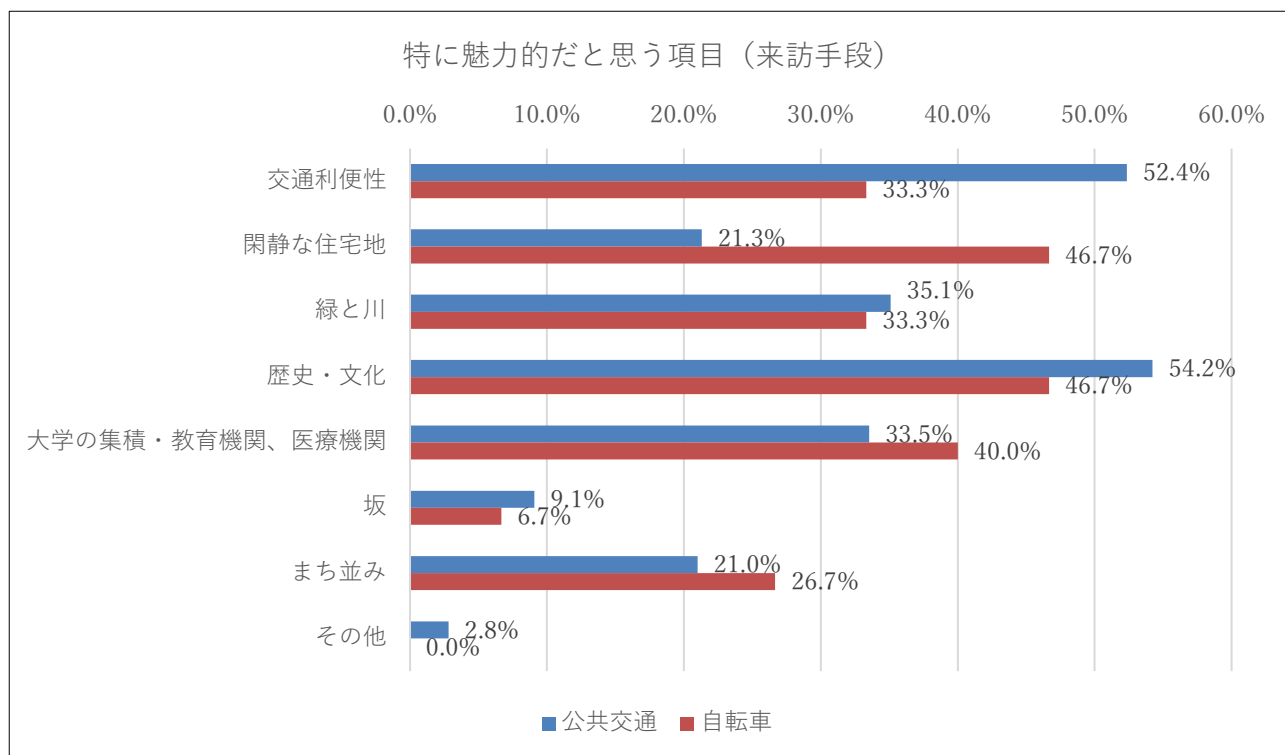
- ・来訪頻度では、月に数回または年に数回訪れる人にとっては「歴史・文化」（56.2%）、週に1日以上訪れる人にとっては「交通利便性」（51.6%）が最も多くなっている。
- ・「閑静な住宅地」は週に1日以上訪れる人にとっては魅力的（40.3%）であるが、月に数回または年に数回訪れる人にとってはあまり魅力として認識されていない（22.2%）。



問3-1：文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいえるべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。（来訪手段）

区分	公共交通（鉄道及びバス）	自転車
交通利便性	167 52.4%	5 33.3%
閑静な住宅地	68 21.3%	7 46.7%
緑と川	112 35.1%	5 33.3%
歴史・文化	173 54.2%	7 46.7%
大学の集積・教育機関、医療機関	107 33.5%	6 40.0%
坂	29 9.1%	1 6.7%
まち並み	67 21.0%	4 26.7%
その他	9 2.8%	0 0.0%

- ・来訪手段では、公共交通、自転車を利用する人ともに「歴史・文化」（それぞれ 54.2%、46.7%）を特に魅力的だと思う項目として挙げている。
- ・自転車を利用する人は「閑静な住宅地」（46.7%）を魅力としている一方で、公共交通の利用者はその半分以下（21.3%）となっている。

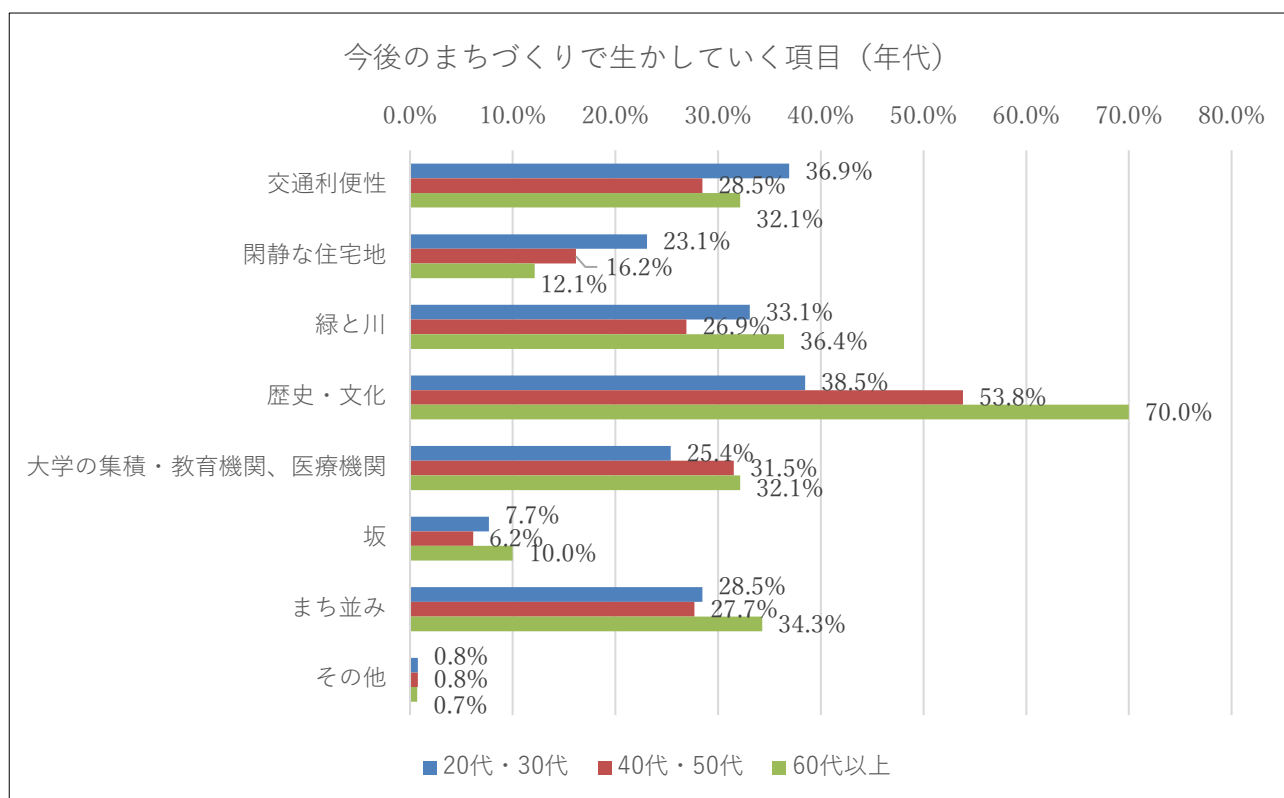




問3-2：一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。（年代）

区分	20代・30代	40代・50代	60代以上
交通利便性	48 36.9%	37 28.5%	45 32.1%
閑静な住宅地	30 23.1%	21 16.2%	17 12.1%
緑と川	43 33.1%	35 26.9%	51 36.4%
歴史・文化	50 38.5%	70 53.8%	98 70.0%
大学の集積・教育機関、医療機関	33 25.4%	41 31.5%	45 32.1%
坂	10 7.7%	8 6.2%	14 10.0%
まち並み	37 28.5%	36 27.7%	48 34.3%
その他	1 0.8%	1 0.8%	1 0.7%

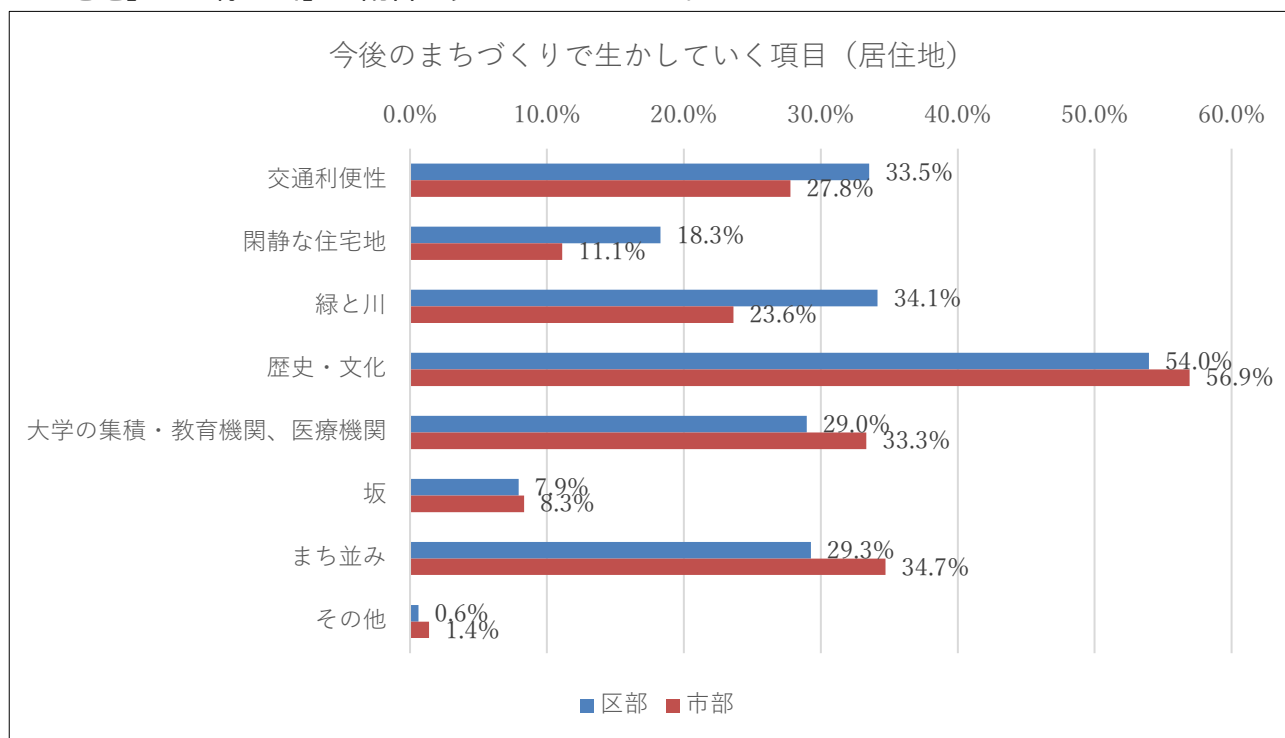
・どの年代においても「歴史・文化」が最も多い。次いで、20代・30代では「交通利便性」(36.9%)、40代・50代では「大学の集積」(31.5%)、60代以上は「緑と川」(36.4%)が多くなっている。



問3-2：一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。（居住地）

区分	区部	市部
交通利便性	110 33.5%	20 27.8%
閑静な住宅地	60 18.3%	8 11.1%
緑と川	112 34.1%	17 23.6%
歴史・文化	177 54.0%	41 56.9%
大学の集積・教育機関、医療機関	95 29.0%	24 33.3%
坂	26 7.9%	6 8.3%
まち並み	96 29.3%	25 34.7%
その他	2 0.6%	1 1.4%

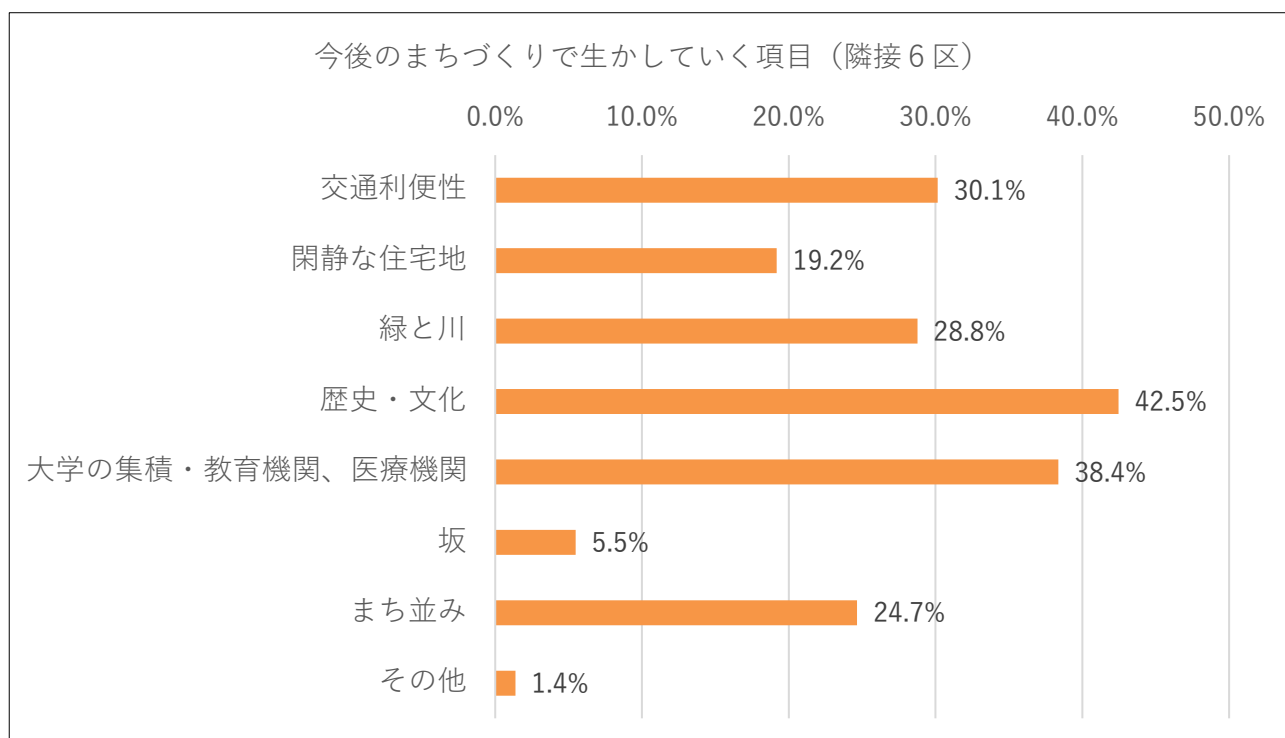
- ・区部と市部ともに「歴史・文化」（それぞれ54%、56.9%）が最も多い。次いで、区部では「緑と川」（34.1%）、市部では「まち並み」（29.3%）が多くなっている。
- ・全体と比較すると、市部では、「大学の集積」や「まち並み」の割合が多い一方で、「閑静な住宅地」や「緑と川」の割合が少なくなっている。



問3-2：一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。（隣接6区）

区分	隣接6区
交通利便性	22 30.1%
閑静な住宅地	14 19.2%
緑と川	21 28.8%
歴史・文化	31 42.5%
大学の集積・教育機関、医療機関	28 38.4%
坂	4 5.5%
まち並み	18 24.7%
その他	1 1.4%

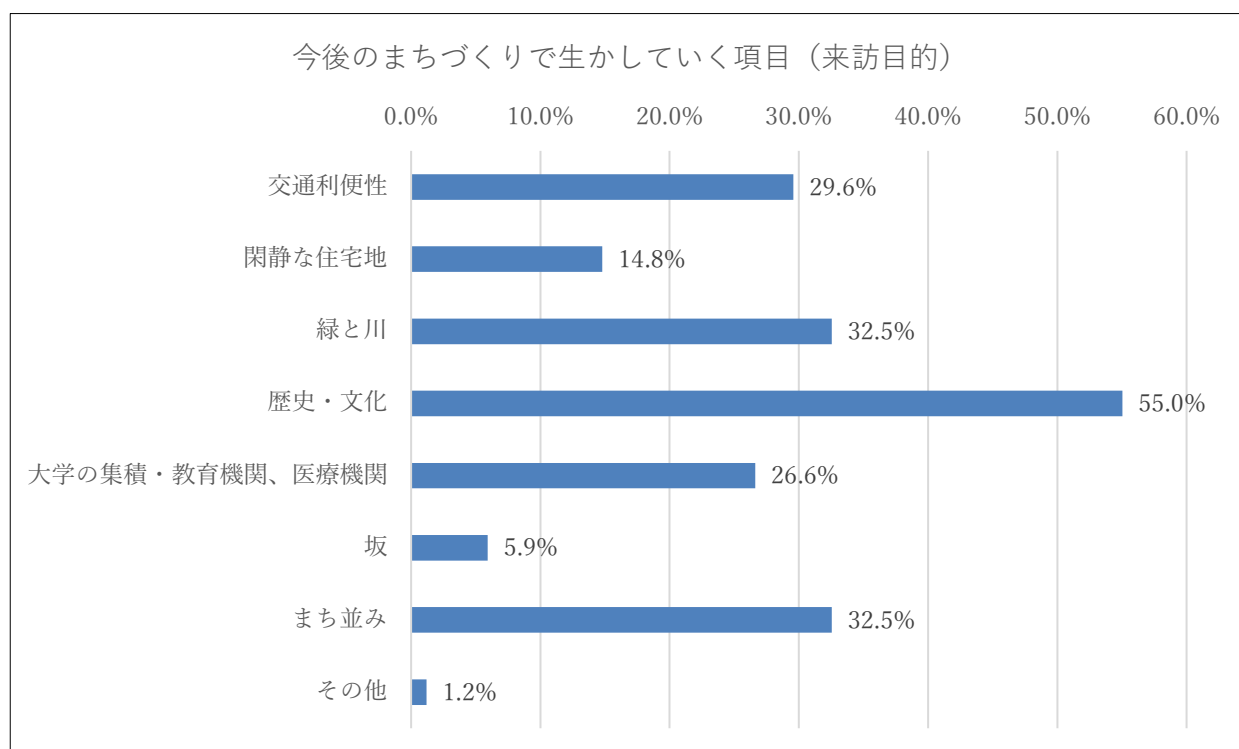
- ・隣接6区では「歴史・文化」が42.5%と最も多く、次に「大学の集積等」（38.4%）、「交通利便性」（30.1%）、「緑と川」（28.8%）、「まち並み」（24.7%）が続いている。
- ・全体と比較すると、「大学の集積等」の割合が多く、「歴史・文化」の割合が少ない傾向にある。



問3-2：一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。（来訪目的（観光・レジャー））

区分	観光・レジャー
交通利便性	50 29.6%
閑静な住宅地	25 14.8%
緑と川	55 32.5%
歴史・文化	93 55.0%
大学の集積・教育機関、医療機関	45 26.6%
坂	10 5.9%
まち並み	55 32.5%
その他	2 1.2%

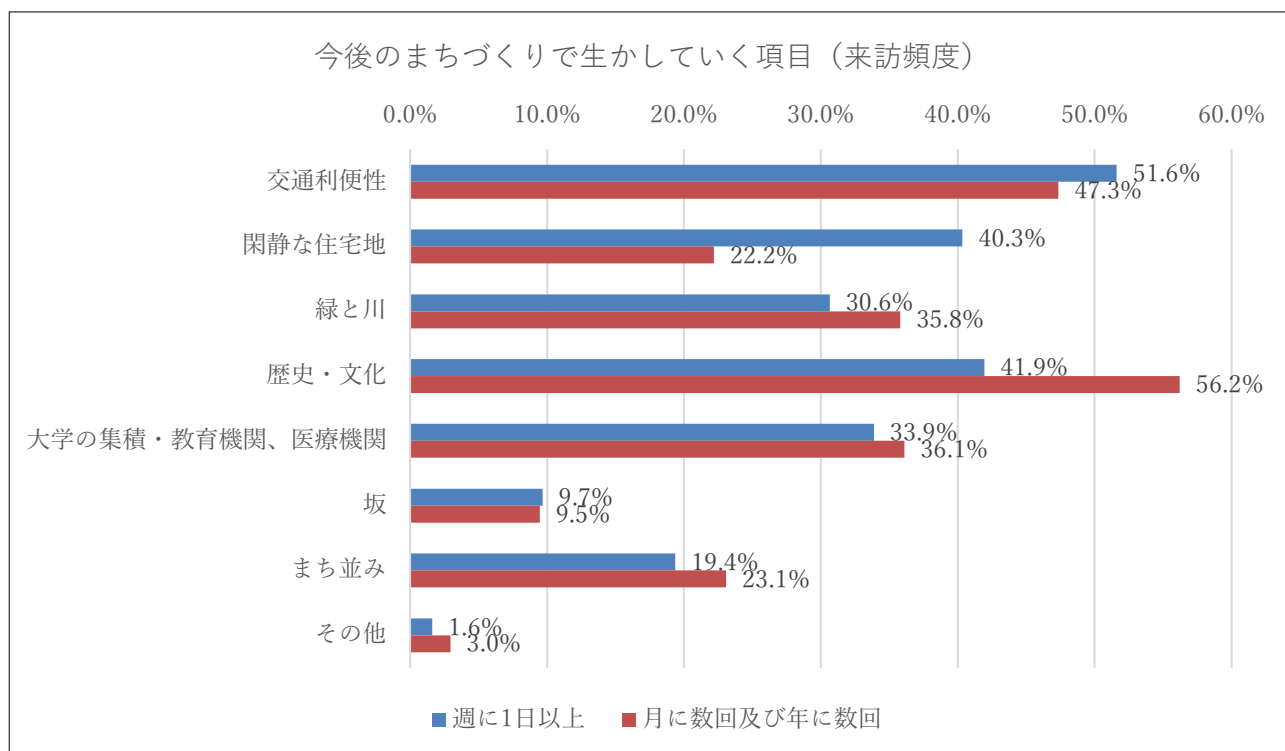
・来訪目的では「歴史・文化」が55%と最も多く、次いで「緑と川」と「まち並み」(32.5%)、「交通利便性」(29.6%)が続いている。



問3-2：一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。（来訪頻度）

区分	週に1日以上	月に数回及び年に数回
交通利便性	22 35.5%	108 32.0%
閑静な住宅地	13 21.0%	55 16.3%
緑と川	19 30.6%	110 32.5%
歴史・文化	32 51.6%	186 55.0%
大学の集積・教育機関、医療機関	19 30.6%	100 29.6%
坂	5 8.1%	27 8.0%
まち並み	11 17.7%	110 32.5%
その他	2 3.2%	1 0.3%

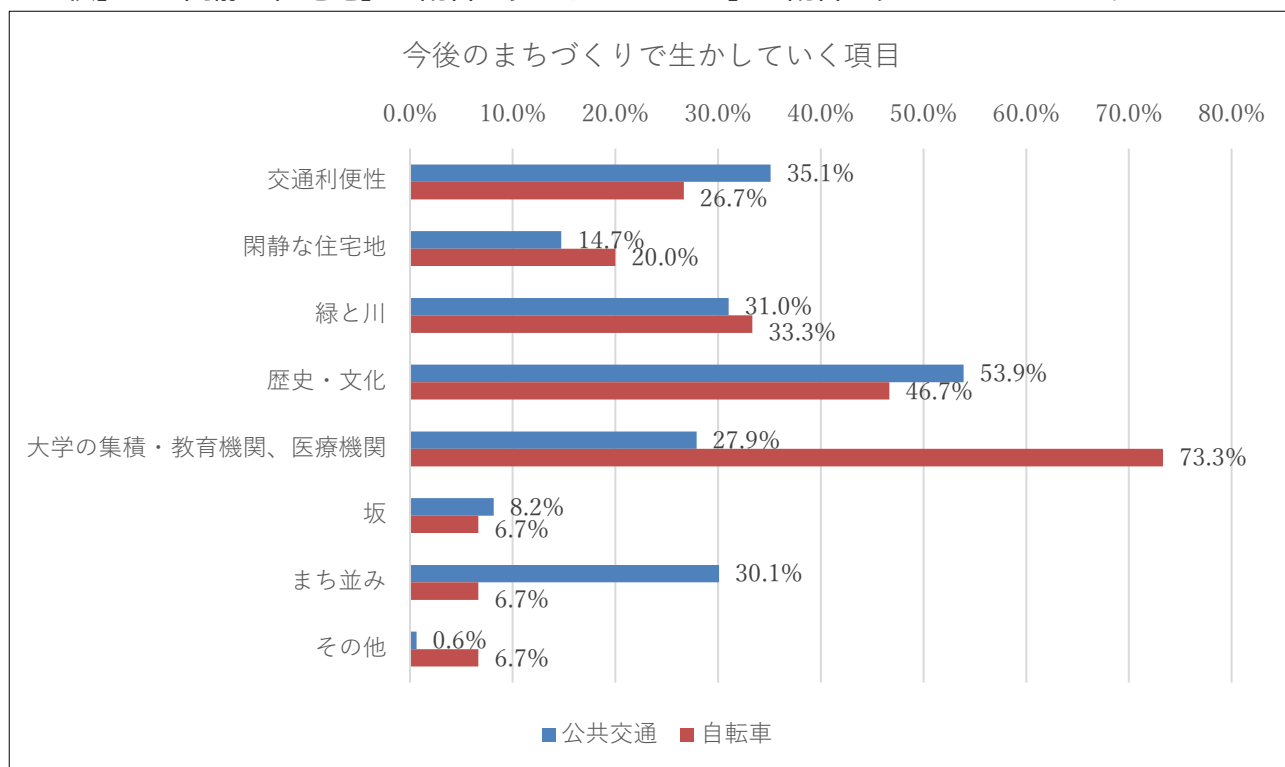
- ・来訪頻度では、月に数回または年に数回訪れる人は「歴史・文化」(56.2%)と回答しているが、週に1日以上訪れる人は「交通利便性」(51.6%)の回答が最も多くなっている。
- ・全体と比較すると、月に数回または年に数回訪れる人は「まち並み」の割合が少ない一方で、「歴史・文化」の割合が若干多くなっている。



問3-2：一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。（来訪手段）

区分	公共交通（鉄道及びバス）	自転車
交通利便性	112 35.1%	4 26.7%
閑静な住宅地	47 14.7%	3 20.0%
緑と川	99 31.0%	5 33.3%
歴史・文化	172 53.9%	7 46.7%
大学の集積・教育機関、医療機関	89 27.9%	11 73.3%
坂	26 8.2%	1 6.7%
まち並み	96 30.1%	1 6.7%
その他	2 0.6%	1 6.7%

- ・来訪手段では公共交通利用者は「歴史・文化」（53.9%）、自転車利用者は「大学の集積」（73.3%）が最も多くなっている。
- ・全体と比較すると、公共交通利用者は概ね全体と同じであるが、自転車利用者は、「大学の集積」や「閑静な住宅地」の割合が多く、「まち並み」の割合が少なくなっている。

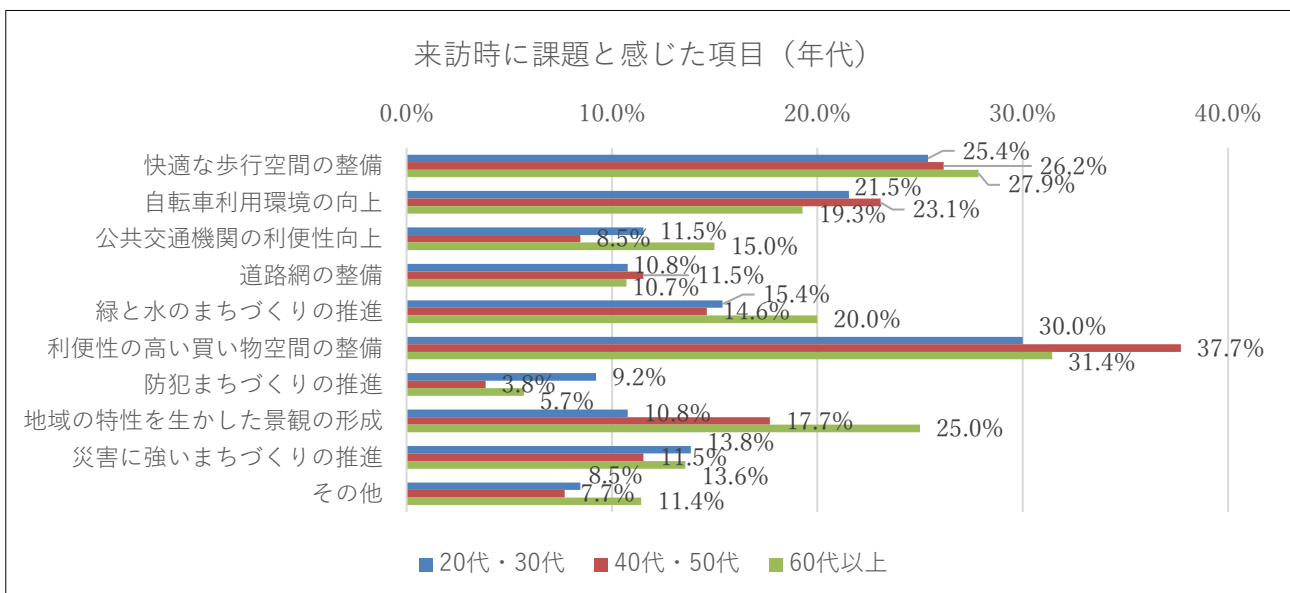


## ②問4のクロス集計

問4-1：文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。（年代）

区分	20代・30代	40代・50代	60代以上
快適な歩行空間の整備	33 25.4%	34 26.2%	39 27.9%
自転車利用環境の向上	28 21.5%	30 23.1%	27 19.3%
公共交通機関の利便性向上	15 11.5%	11 8.5%	21 15.0%
道路網の整備	14 10.8%	15 11.5%	15 10.7%
緑と水のまちづくりの推進	20 15.4%	19 14.6%	28 20.0%
利便性の高い買い物空間の整備	39 30.0%	49 37.7%	44 31.4%
防犯まちづくりの推進	12 9.2%	5 3.8%	8 5.7%
地域の特性を生かした景観の形成	14 10.8%	23 17.7%	35 25.0%
災害に強いまちづくりの推進	18 13.8%	15 11.5%	19 13.6%
その他	11 8.5%	10 7.7%	16 11.4%

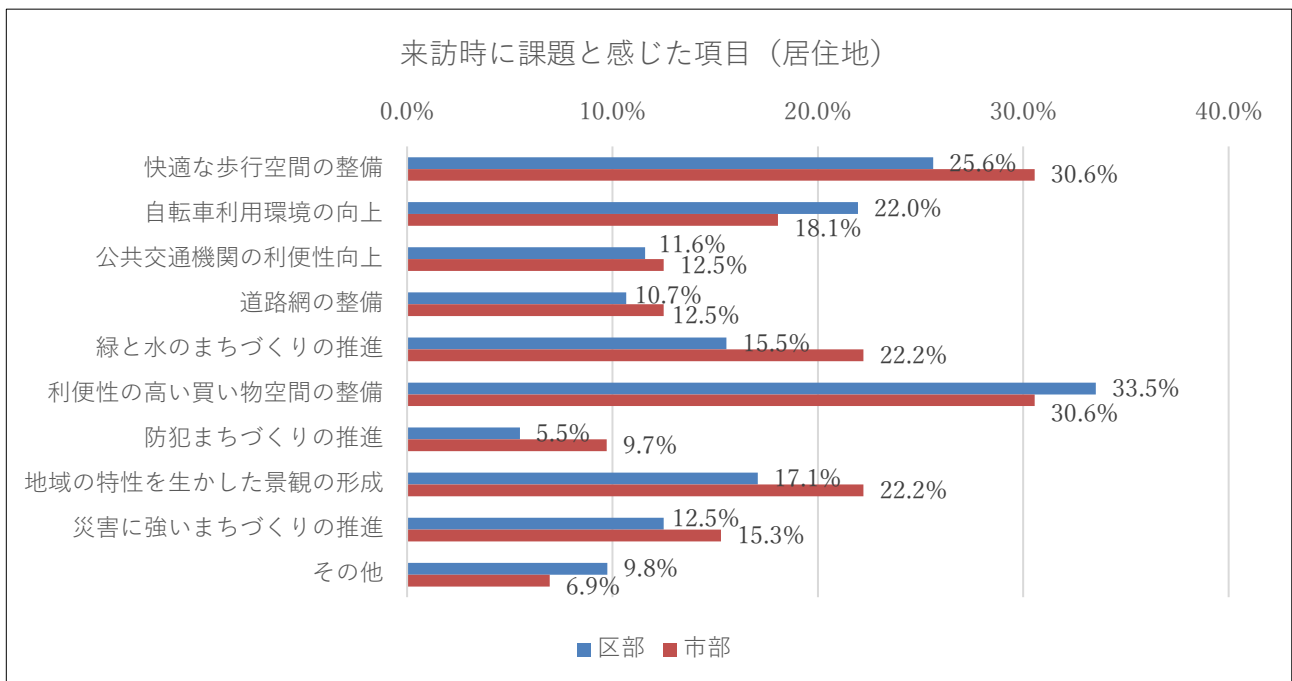
- ・どの年代においても「利便性の高い買い物空間」、「快適な歩行空間」の順で回答が多くなっている。
- ・「20代・30代」と「40代・50代」は、3番目に「自転車利用環境」と回答している一方で、「60代以上」は、「地域の特性を生かした景観」と回答している。



問4-1：文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。（居住地）

区分	区部	市部
快適な歩行空間の整備	84 25.6%	22 30.6%
自転車利用環境の向上	72 22.0%	13 18.1%
公共交通機関の利便性向上	38 11.6%	9 12.5%
道路網の整備	35 10.7%	9 12.5%
緑と水のまちづくりの推進	51 15.5%	16 22.2%
利便性の高い買い物空間の整備	110 33.5%	22 30.6%
防犯まちづくりの推進	18 5.5%	7 9.7%
地域の特性を生かした景観の形成	56 17.1%	16 22.2%
災害に強いまちづくりの推進	41 12.5%	11 15.3%
その他	32 9.8%	5 6.9%

- ・全体と比較すると、市部では「緑と水のまちづくりの推進」と「地域の特性を生かした景観の形成」の割合（ともに22.2%）が多くなっている。

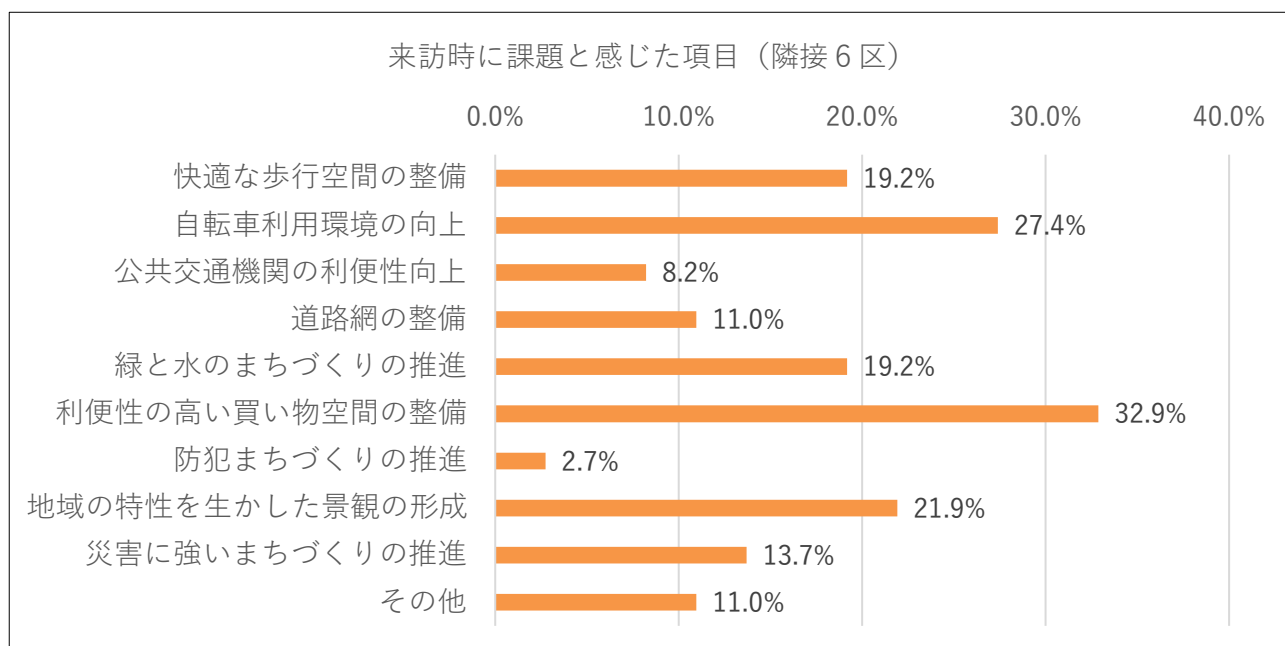




問4-1：文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。（隣接6区）

区分	隣接6区
快適な歩行空間の整備	14 19.2%
自転車利用環境の向上	20 27.4%
公共交通機関の利便性向上	6 8.2%
道路網の整備	8 11.0%
緑と水のまちづくりの推進	14 19.2%
利便性の高い買い物空間の整備	24 32.9%
防犯まちづくりの推進	2 2.7%
地域の特性を生かした景観の形成	16 21.9%
災害に強いまちづくりの推進	10 13.7%
その他	8 11.0%

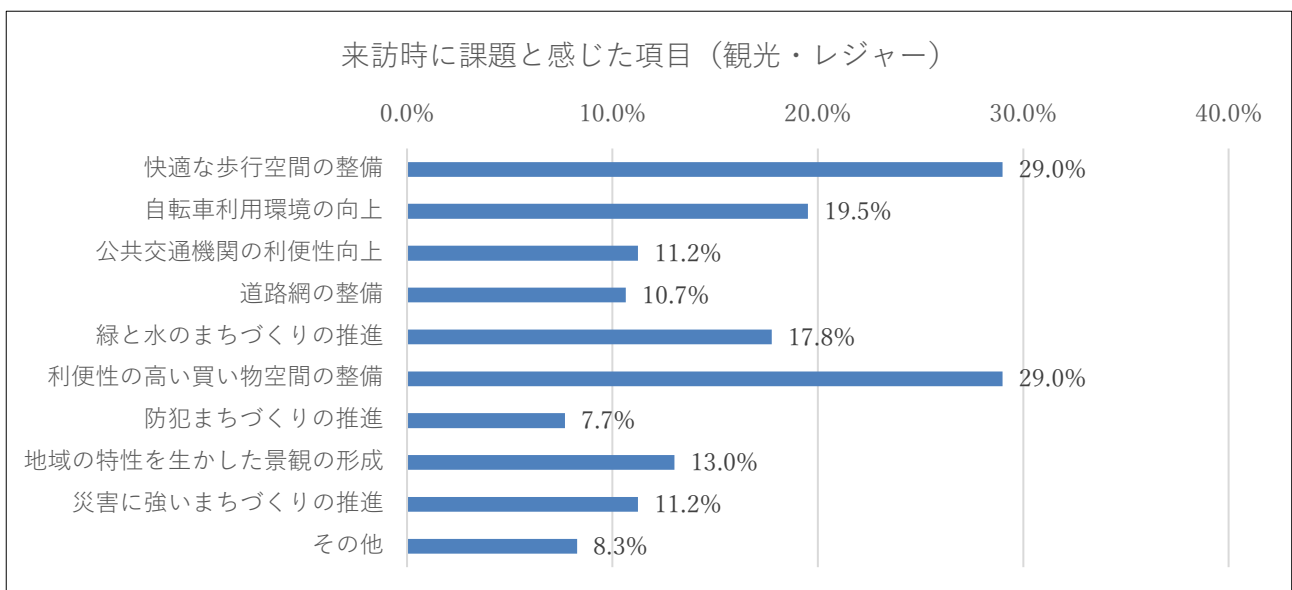
- ・全体と比較すると、隣接6区では特に「自転車利用環境の向上」の割合が多くなっている一方で、「快適な歩行空間の整備」の割合が少なくなっている。



問4-1:文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。(来訪目的(観光・レジャー))

区分	観光・レジャー
快適な歩行空間の整備	49 29.0%
自転車利用環境の向上	33 19.5%
公共交通機関の利便性向上	19 11.2%
道路網の整備	18 10.7%
緑と水のまちづくりの推進	30 17.8%
利便性の高い買い物空間の整備	49 29.0%
防犯まちづくりの推進	13 7.7%
地域の特性を生かした景観の形成	22 13.0%
災害に強いまちづくりの推進	19 11.2%
その他	14 8.3%

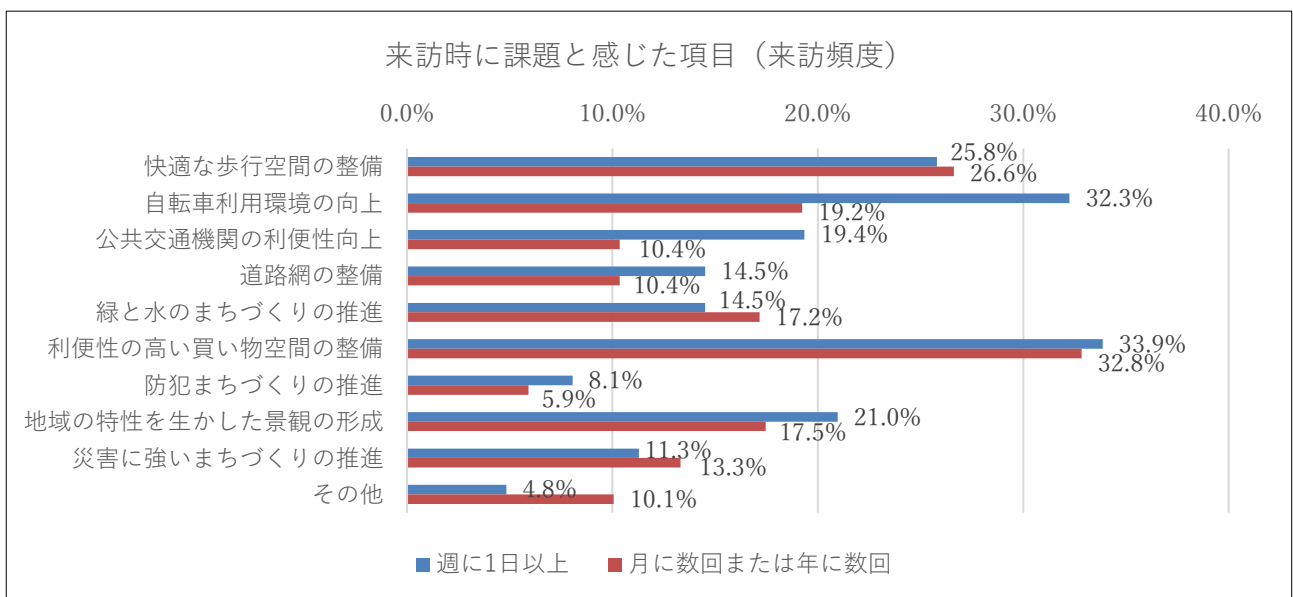
・「利便性の高い買い物空間の整備」と「快適な歩行空間の整備」が最も多くなっている。全体と比較すると、「地域の特性を生かした景観の形成」の割合が少なくなっている。



問4-1：文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。（来訪頻度）

区分	週に1日以上	月に数回または年に数回
快適な歩行空間の整備	16 25.8%	90 26.6%
自転車利用環境の向上	20 32.3%	65 19.2%
公共交通機関の利便性向上	12 19.4%	35 10.4%
道路網の整備	9 14.5%	35 10.4%
緑と水のまちづくりの推進	9 14.5%	58 17.2%
利便性の高い買い物空間の整備	21 33.9%	111 32.8%
防犯まちづくりの推進	5 8.1%	20 5.9%
地域の特性を生かした景観の形成	13 21.0%	59 17.5%
災害に強いまちづくりの推進	7 11.3%	45 13.3%
その他	3 4.8%	34 10.1%

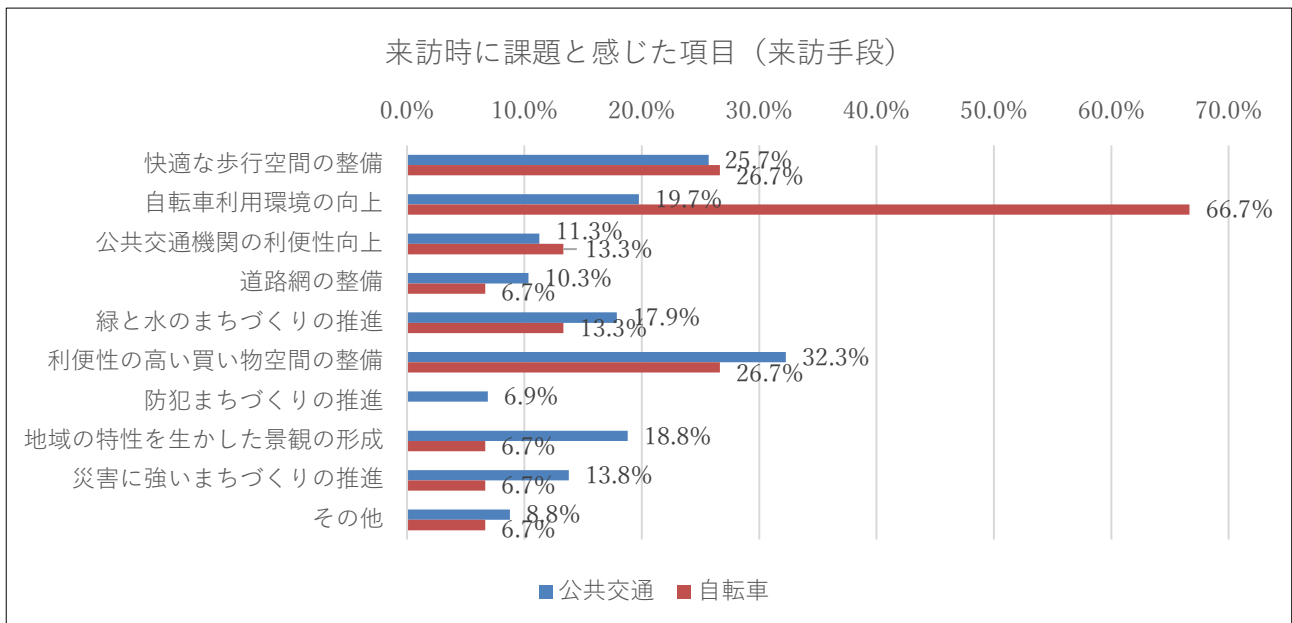
- ・「週に1日以上」、「月に数回または年に数回」とともに「利便性の高い買い物空間の整備」が最も多くなっている。
- ・「週に1日以上」では全体と比較すると「自転車利用環境の向上」の割合が約10ポイント多くなっている。



問4-1：文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。（来訪手段）

区分	公共交通（鉄道及びバス）	自転車
快適な歩行空間の整備	82 25.7%	4 26.7%
自転車利用環境の向上	63 19.7%	10 66.7%
公共交通機関の利便性向上	36 11.3%	2 13.3%
道路網の整備	33 10.3%	1 6.7%
緑と水のまちづくりの推進	57 17.9%	2 13.3%
利便性の高い買い物空間の整備	103 32.3%	4 26.7%
防犯まちづくりの推進	22 6.9%	0 0.0%
地域の特性を生かした景観の形成	60 18.8%	1 6.7%
災害に強いまちづくりの推進	44 13.8%	1 6.7%
その他	28 8.8%	1 6.7%

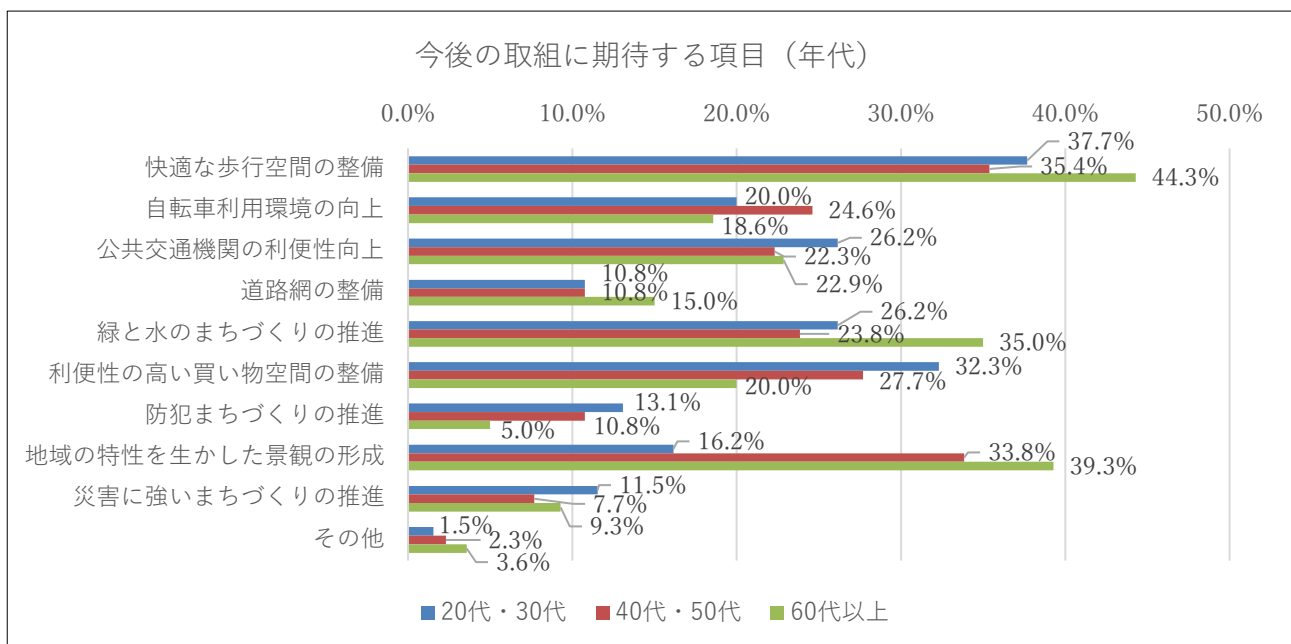
・「公共交通」で訪れる人は全体と大きな違いは見られないが、「自転車」で訪れる人は、「自転車利用環境の向上」の割合が全体と比較すると約 40 ポイント多くなっており、他の項目の割合が少なくなっている。



問4-2：今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。（年代）

区分	20代・30代	40代・50代	60代以上
快適な歩行空間の整備	49 37.7%	46 35.4%	62 44.3%
自転車利用環境の向上	26 20.0%	32 24.6%	26 18.6%
公共交通機関の利便性向上	34 26.2%	29 22.3%	32 22.9%
道路網の整備	14 10.8%	14 10.8%	21 15.0%
緑と水のまちづくりの推進	34 26.2%	31 23.8%	49 35.0%
利便性の高い買い物空間の整備	42 32.3%	36 27.7%	28 20.0%
防犯まちづくりの推進	17 13.1%	14 10.8%	7 5.0%
地域の特性を生かした景観の形成	21 16.2%	44 33.8%	55 39.3%
災害に強いまちづくりの推進	15 11.5%	10 7.7%	13 9.3%
その他	2 1.5%	3 2.3%	5 3.6%

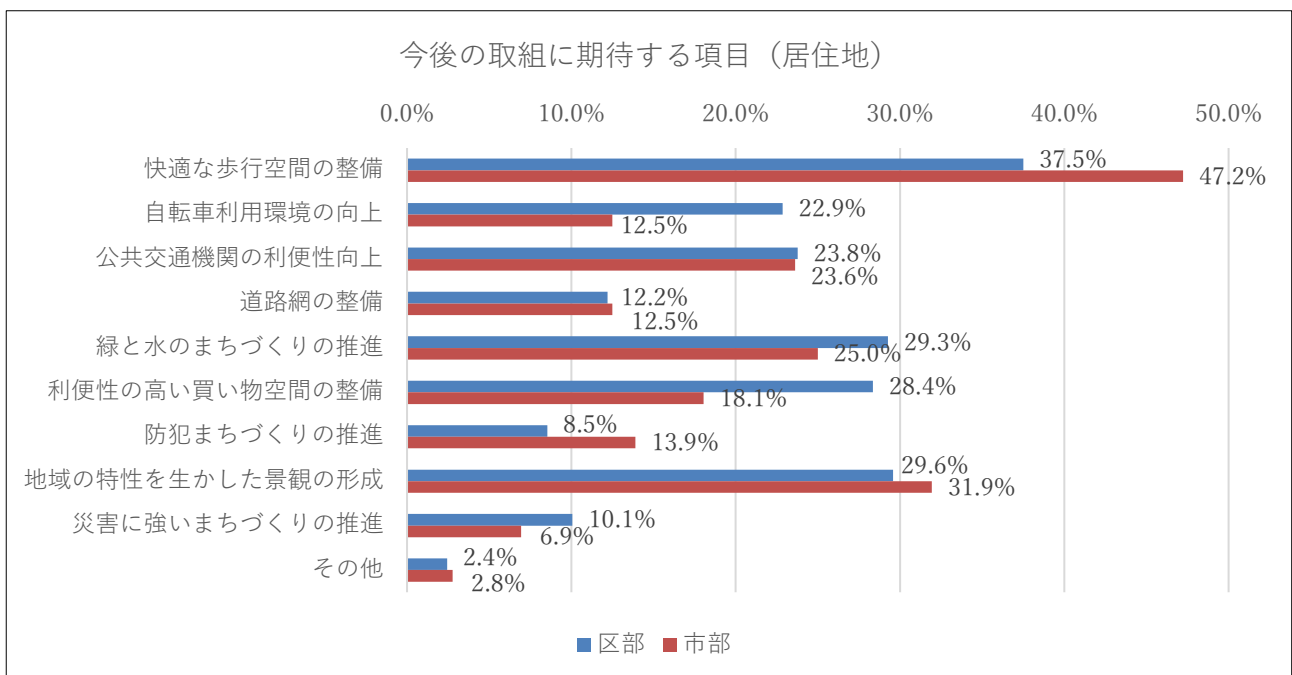
・どの年代においても「快適な歩行空間の整備」が最も多く、40代以上では、次いで「地域の特性を生かした景観の形成」が多くなっている。「20代・30代」は、「利便性の高い買い物空間」や「公共交通機関の利便性向上」の割合が多くなっている。



問4-2：今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。（居住地）

区分	区部	市部
快適な歩行空間の整備	123 37.5%	34 47.2%
自転車利用環境の向上	75 22.9%	9 12.5%
公共交通機関の利便性向上	78 23.8%	17 23.6%
道路網の整備	40 12.2%	9 12.5%
緑と水のまちづくりの推進	96 29.3%	18 25.0%
利便性の高い買い物空間の整備	93 28.4%	13 18.1%
防犯まちづくりの推進	28 8.5%	10 13.9%
地域の特性を生かした景観の形成	97 29.6%	23 31.9%
災害に強いまちづくりの推進	33 10.1%	5 6.9%
その他	8 2.4%	2 2.8%

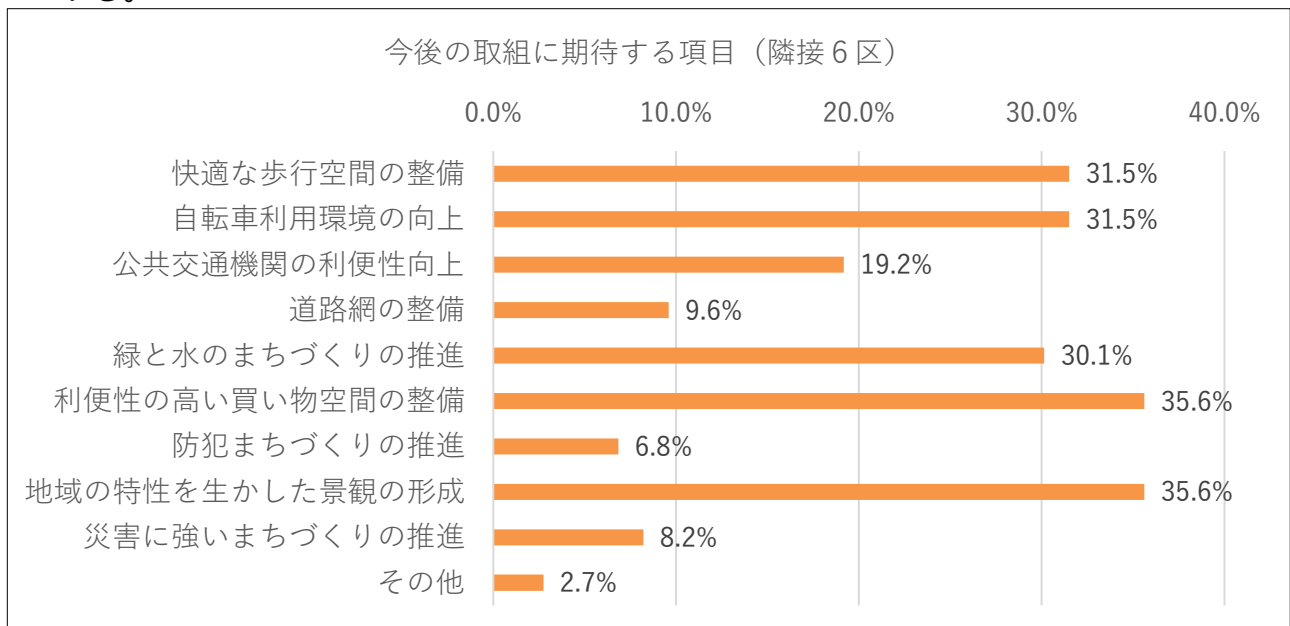
- ・全体と比較すると市部では、「快適な歩行空間の整備」の割合が多くなっており、「自転車利用環境の向上」と「利便性の高い買い物空間」の割合が少なくなっている。



問4-2：今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。（隣接6区）

区分	隣接6区
快適な歩行空間の整備	23 31.5%
自転車利用環境の向上	23 31.5%
公共交通機関の利便性向上	14 19.2%
道路網の整備	7 9.6%
緑と水のまちづくりの推進	22 30.1%
利便性の高い買い物空間の整備	26 35.6%
防犯まちづくりの推進	5 6.8%
地域の特性を生かした景観の形成	26 35.6%
災害に強いまちづくりの推進	6 8.2%
その他	2 2.7%

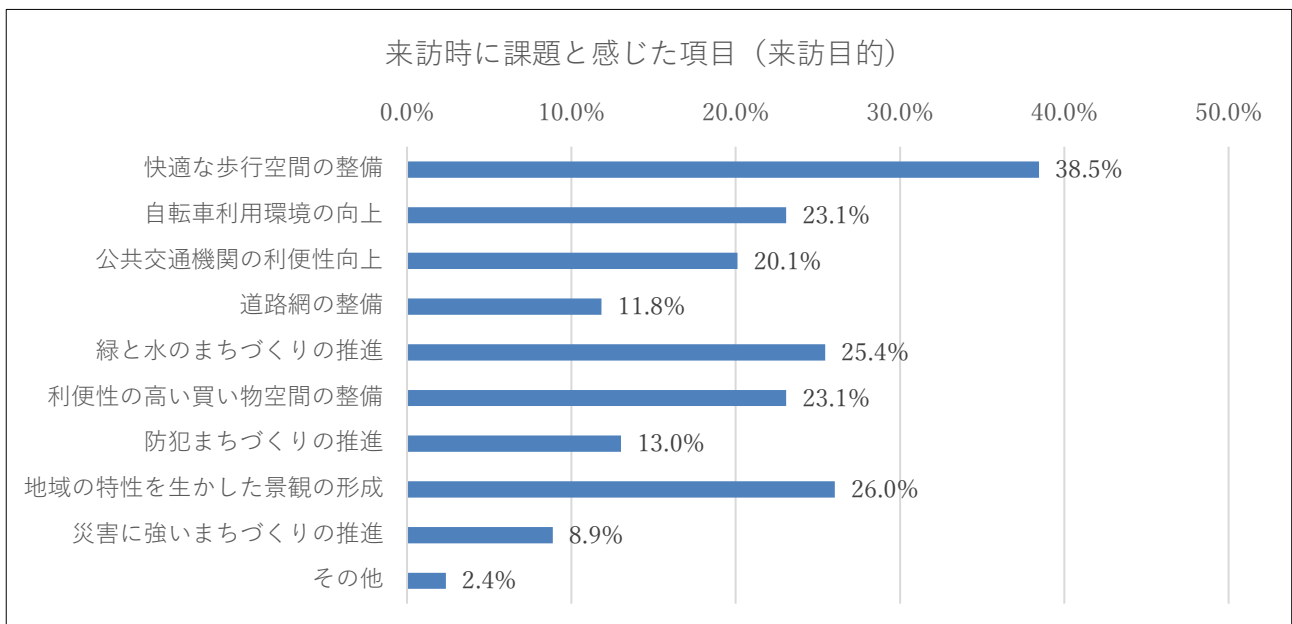
・隣接6区では、「快適な歩行空間の整備」の割合が少なくなっているが、「自転車利用環境の向上」や「利便性の高い買い物空間」、「地域の特性を生かした景観の形成」の割合が多くなっている。



問4-2：今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。（来訪目的）

区分	観光・レジャー
快適な歩行空間の整備	65 38.5%
自転車利用環境の向上	39 23.1%
公共交通機関の利便性向上	34 20.1%
道路網の整備	20 11.8%
緑と水のまちづくりの推進	43 25.4%
利便性の高い買い物空間の整備	39 23.1%
防犯まちづくりの推進	22 13.0%
地域の特性を生かした景観の形成	44 26.0%
災害に強いまちづくりの推進	15 8.9%
その他	4 2.4%

・「快適な歩行空間の整備」が 38.5%と最も多く、「地域の特性を生かした景観の形成」(26.0%)、「緑と水のまちづくりの推進」(25.4%)が続いており、全体との大きな違いは見られない。

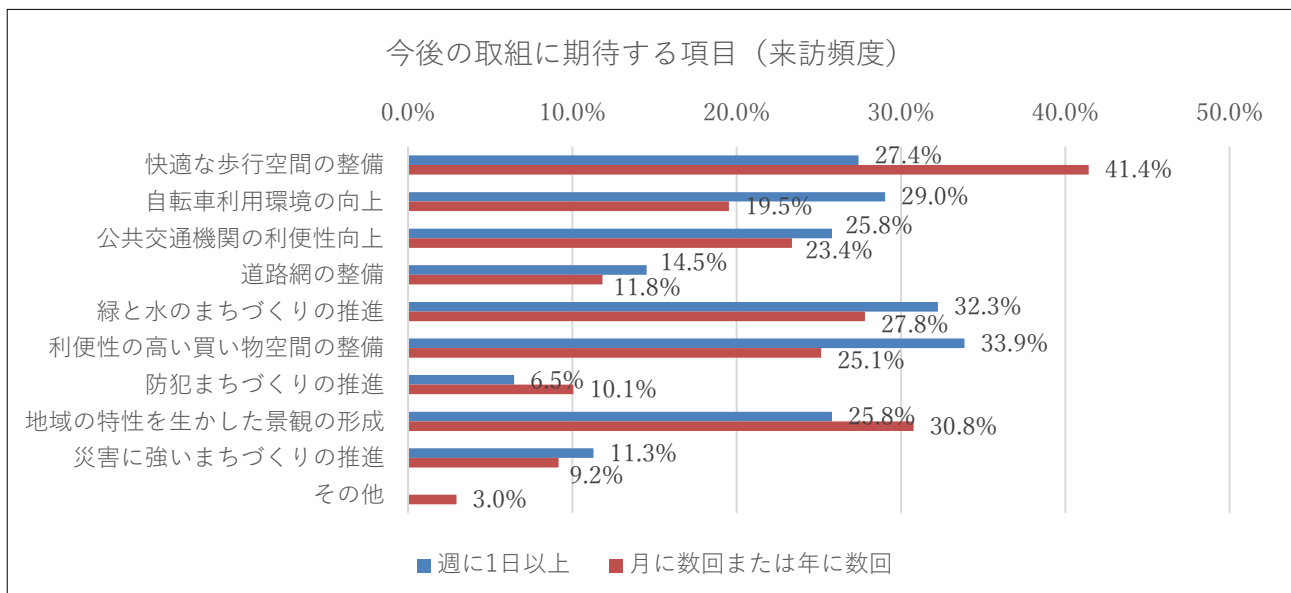




問4-2：今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。（来訪頻度）

区分	週に1日以上	月に数回及び年に数回
快適な歩行空間の整備	17 27.4%	140 41.4%
自転車利用環境の向上	18 29.0%	66 19.5%
公共交通機関の利便性向上	16 25.8%	79 23.4%
道路網の整備	9 14.5%	40 11.8%
緑と水のまちづくりの推進	20 32.3%	94 27.8%
利便性の高い買い物空間の整備	21 33.9%	85 25.1%
防犯まちづくりの推進	4 6.5%	34 10.1%
地域の特性を生かした景観の形成	16 25.8%	104 30.8%
災害に強いまちづくりの推進	7 11.3%	31 9.2%
その他	0 0.0%	10 3.0%

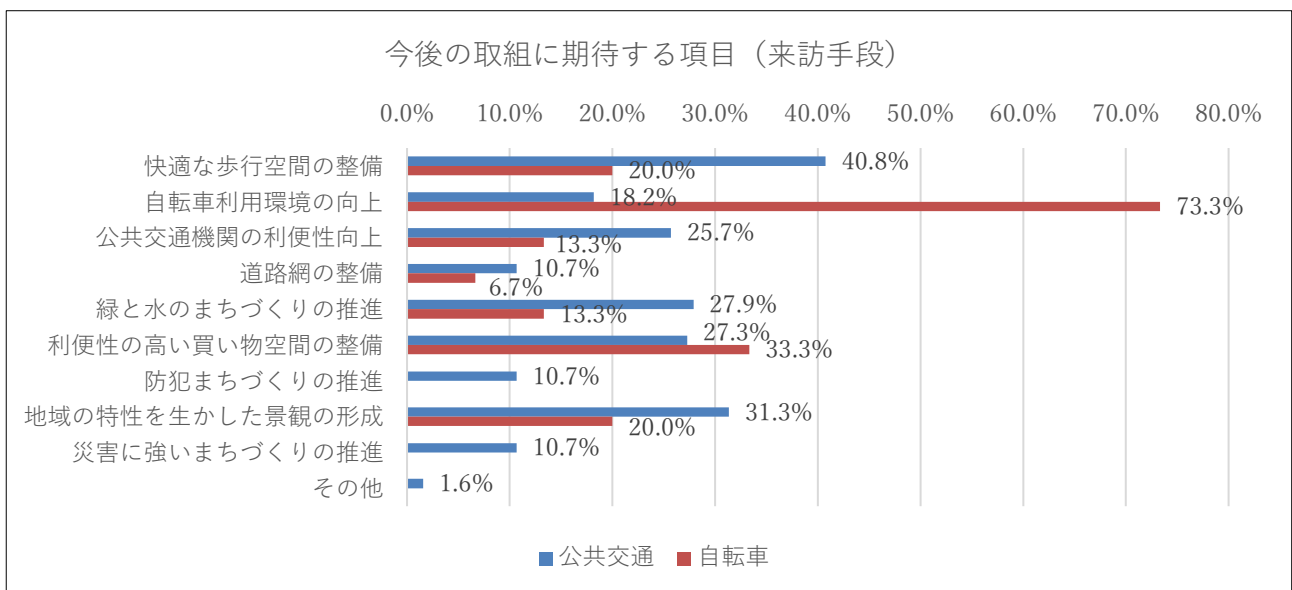
- ・「月に数回または年に数回」訪れる人は、「快適な歩行空間の整備」が41.1%と最も多く、「地域の特性を生かした景観の形成」(30.8%)、「緑と水のまちづくりの推進」(27.8%)が続いている。
- ・「週に1日以上」訪れる人は、「利便性の高い買い物空間の整備」が33.9%最も多く、次いで「水と緑のまちづくりの推進」(32.3%)、「自転車利用環境の向上」(29.0%)が続いている。



問4-2：今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。（来訪手段）

区分	公共交通（鉄道及びバス）	自転車
快適な歩行空間の整備	130 40.8%	3 20.0%
自転車利用環境の向上	58 18.2%	11 73.3%
公共交通機関の利便性向上	82 25.7%	2 13.3%
道路網の整備	34 10.7%	1 6.7%
緑と水のまちづくりの推進	89 27.9%	2 13.3%
利便性の高い買い物空間の整備	87 27.3%	5 33.3%
防犯まちづくりの推進	34 10.7%	0 0.0%
地域の特性を生かした景観の形成	100 31.3%	3 20.0%
災害に強いまちづくりの推進	34 10.7%	0 0.0%
その他	5 1.6%	0 0.0%

- ・「公共交通」で訪れる人は、「快適な歩行空間の整備」が40.8%と最も多く、「地域の特性を生かした景観の形成」(31.3%)、「緑と水のまちづくりの推進」(27.9%)が続いている。
- ・「自転車」で訪れる人は、「自転車利用環境の向上」が73.3%と最も多く、次いで「利便性の高い買い物空間」(33.3%)が多くなっている。



## (4) 分析

来訪目的は、「観光」と「レジャー・スポーツ」が全体の約4割を占めている。一方で、「買い物」（日常・非日常）の割合は約1割と少ない。

本区を訪れる頻度は、「月に数回」と「年に数回」の回答が多く、合わせると全体の約8割である。

本区の魅力は、「歴史・文化」の回答が54.0%と最も多く、次いで「交通利便性」（48.0%）が多くなっている。この2つの魅力については、今後のまちづくりで生かしていく項目としても上位2つとなっている（歴史・文化54.5%、交通利便性32.5%）。「旧加賀屋敷御守殿門(赤門)・護国寺本堂・根津神社本殿」等の文化財や、文人ゆかりの地等の歴史・文化的資源が観光・来訪の目的になっており、その来訪手段である地下鉄やバス路線が充実していることから、これらの回答が多くなっていると考えられる。

また、今後のまちづくりで生かしていく項目として「閑静な住宅地」は、来訪者の期待は小さい（17%）一方で、区民の期待は大きい傾向にある。

本区を訪れた際の課題として、「買い物するのに不便と感じる」（33.0%）が最も多い。

来訪目的において「買い物」の回答は約1割と少ないことも考慮すると、「買い物するのに不便と感じる」が最も課題と感じられている結果となった。

今後期待する取組としては「快適な歩行空間の整備」（39.3%）が最も多い。

次いで、「地域の特性を生かした景観形成」（30.0%）や「緑と水のまちづくり」（28.5%）と続き、これらは「利便性の高い買い物空間の整備」よりも回答が多くなっている。

区民と比較すると、区民意識調査は「(2)-①歩行・自転車利用の環境整備の整備」や「(4)-④賑わいのある商店街の形成」に不満・やや不満と回答する割合が比較的多い。この2項目は、来訪者においても「利便性の高い買い物空間の整備」に次いで多くなっている（各26.5%、21.3%）ため、来訪者と区民が課題と感じる項目は似た傾向にある。

今後の取組に期待する項目について、区民は、災害に強いまちづくりや防犯まちづくりの回答割合が多く傾向にあるが、来訪者においては最も回答が少ない2項目である（各9.5%）。

### 3 事業者アンケート

#### (1) 企画

事業者アンケートを、以下の内容にて実施した。

#### 1) 目的

事業者の周辺環境評価、働く場としてのまちへの要望、企業としてまちづくりに参加する可能性を把握する。

#### 2) 対象・実施方法

調査の対象及び実施方法は下表のとおり。

##### ■対象及び実施方法

区分	内容	備考
対象	区内事業所	経済課所管の TSR 企業情報ファイルより、区内事業所 1,000 社を無作為抽出して実施 なお、同時に就業者アンケートを 1 社あたり 3 通送付したため、従業員数 4 名以上の会社に限定した。
回答方法	1. 回答用紙による回答	6 ページ（両面 3 枚）の左側を 2 か所ホッチキス止めしたものとする。
	2. WEB による回答	回答率を上げるため、WEB による回答を取り入れた。また、アンケート依頼票のレイアウトを WEB による回答を促すように工夫をする。なお、今回は同一のデバイスから複数回回答ができないように設定した。

### 3) 調査項目

調査項目は、下表のとおり。

区分		各問を聞く意味／狙い
1 事業所について		
問1	当該事業所について ・業種 ・事業所の住所 ・事業所の所有形態 ・文京区内の事業所数／就業者数 ・文京区内事業所の操業開始時期	・問2以降の設問とクロス集計することにより、各属性別の回答の傾向を把握する。 ・特に事業所の住所に基づく地域ごとの集計は、 <u>地域別方針</u> に反映できる。 ・なお業種の集計は、区統計による全体の傾向との相違がないかの確認にも用いる。
2 文京区のまちのことについて		
問2	企業立地場所としての文京区の周辺環境の評価 ・交通利便性 ・就業上の利便性 ・防災安全性 ・その他（従業員の確保、関連企業の集積、賃料等）	・事業者の立場からの都市環境への評価を把握することにより、都市マスタープラン見直しにあたっての <u>基礎的な知見</u> とする。 ・評価から都市整備上の課題を抽出することで、 <u>現行都市マスタープラン各施策項目の見直し</u> に用いる。
3 文京区で事業を営む上での課題等について		
問3	文京区で事業を営む上での課題等	・回答より、産業振興の観点から見た都市整備に関する産業振興上の課題を抽出し、 <u>現行都市マスタープラン各施策項目の見直し</u> に用いる。
問4	今後の事業の展開について（区内での事業継続意向）	・文京区内での事業継続意向を問い、事業環境としての文京区の <u>まちの総合評価</u> として把握する。 ・区外への事業所移転意向が高い地域については、 <u>土地利用方針の見直し</u> につながる可能性もある。
4 文京区の今後のまちづくりについて		
問5	文京区の今後のまちづくりにおいて特に重視してほしいもの	・事業者の立場から見た、都市施策の重要度・優先度の <u>大枠</u> を把握し、 <u>現行都市マスタープランの各施策項目の見直し</u> に用いる。
問6 問7	企業としてまちづくりに参加について ・地域のまちづくり活動参加の可能性 ・参加・協力の具体的内容	・事業者のまちづくりの担い手としての可能性を把握することで、 <u>施策の実施スキーム検討</u> に用いる。
5 文京区の今後のまちづくりについてのご意見		
	文京区の今後のまちづくりに関するご意見（自由記述）	・質問項目以外に関するまちづくりへの意見を把握する。 ・特に重要であると考えられる項目については、改定時に今後力を入れるべき <u>新しい項目</u> として記載を検討する。

## (2) 実施

事業者アンケートの実施概要は以下のとおり。

### ■実施概要

対象	区内事業者（無作為抽出された従業員数4名以上の1,000社）
実施日時	令和4年5月20日（金）～令和4年6月3日（金）（15日間） ※調査票を令和4年5月18日（水）に発送
配布物	①～③を④に封入し、配布した。 ① 依頼票 ② 調査票 ③ 返信用封筒 ④ 送付用封筒

### (3) 回答概要

回収率は 18.5%であった。

#### ■回答概要

回答方法	郵送回収	WEB回答
回答数	146 件 (1,000 件の内 14.6%)	39 件 (1,000 件の内 3.9%)
	合計 185 件 (回収率 : 18.5%)	

## (4) 集計結果

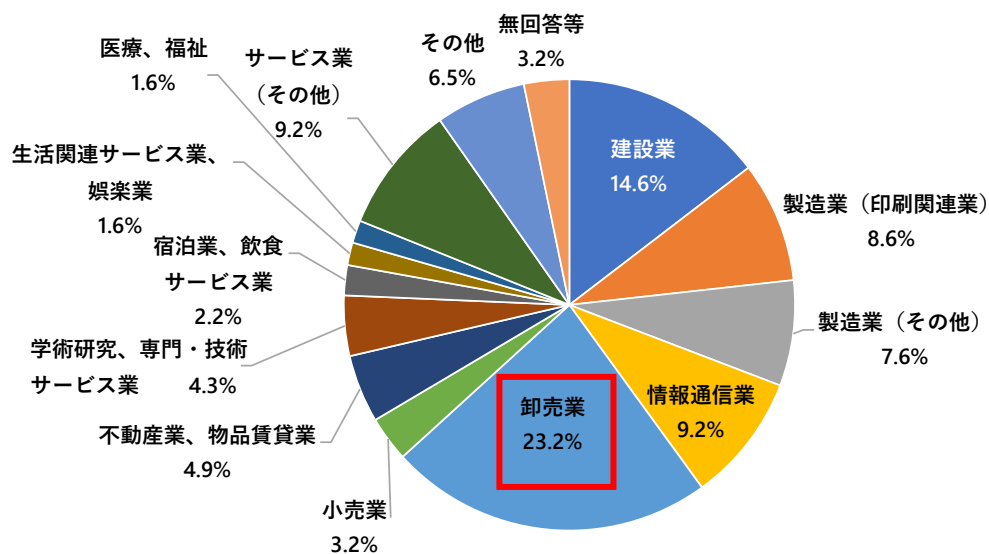
### (1) 問1 事業所の概要

#### ① 業種

・「卸売業」が最も多く、回答者全体の23.2%を占めた。

#### ■業種

番号	選択肢	回答者数	割合
1	建設業	27	14.6%
2	製造業（印刷関連業）	16	8.6%
3	製造業（その他）	14	7.6%
4	情報通信業	17	9.2%
5	卸売業	43	23.2%
6	小売業	6	3.2%
7	不動産業、物品賃貸業	9	4.9%
8	学術研究、専門・技術サービス業	8	4.3%
9	宿泊業、飲食サービス業	4	2.2%
10	生活関連サービス業、娯楽業	3	1.6%
11	医療、福祉	3	1.6%
12	サービス業（その他）	17	9.2%
13	その他	12	6.5%
99	無回答等	6	3.2%
合計		185	100.0%



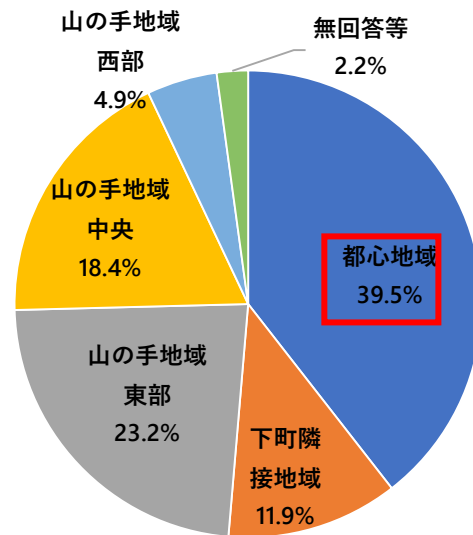


## ② 事業所の住所

- ・都心地域が最も多く、全体の約4割となった。

### ■事業所の住所（3地域、5区分）

番号	選択肢	回答者数	割合
1	都心地域	73	39.5%
2	下町隣接地域	22	11.9%
3	山の手地域東部	43	23.2%
4	山の手地域中央	34	18.4%
5	山の手地域西部	9	4.9%
99	無回答等	4	2.2%
合計		185	100.0%

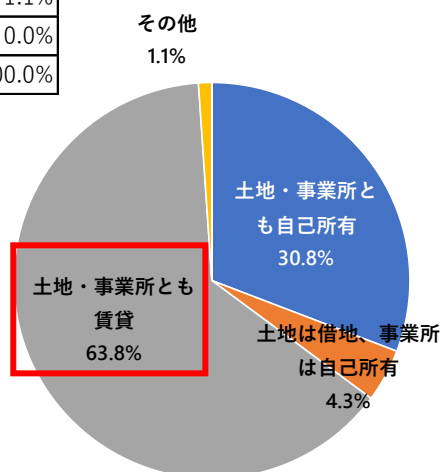


### ③ 事業所の所有形態

・賃貸の事業所が全体の 63.8%を占めた。

#### ■事業所の所有形態

番号	選択肢	回答者数	割合
1	土地・事業所とも自己所有	57	30.8%
2	土地は借地、事業所は自己所有	8	4.3%
3	土地・事業所とも賃貸	118	63.8%
4	その他	2	1.1%
99	無回答等		0.0%
合計		185	100.0%

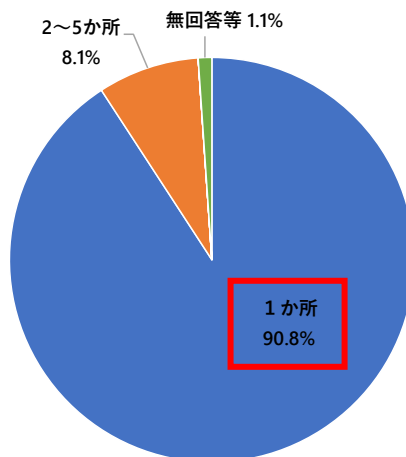


### ④ 文京区内の事業所数

・全体の9割が事業所数1か所であった。

#### ■文京区内の事業所数

番号	選択肢	回答者数	割合
1	1か所	168	90.8%
2	2~5か所	15	8.1%
3	6~10か所	0	0.0%
4	11~20か所	0	0.0%
5	21か所以上	0	0.0%
99	無回答等	2	1.1%
合計		185	100.0%

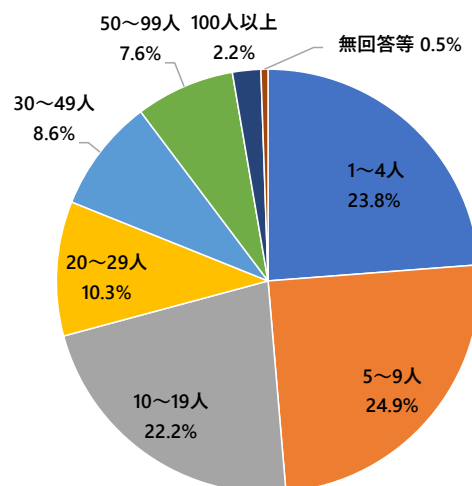


## ⑤ 文京区内の従業者数

・概ね様々な規模の事業所からの回答がまんべんなく寄せられた。

### ■文京区内の従業者数

番号	選択肢	回答者数	割合
1	1～4人	44	23.8%
2	5～9人	46	24.9%
3	10～19人	41	22.2%
4	20～29人	19	10.3%
5	30～49人	16	8.6%
6	50～99人	14	7.6%
7	100人以上	4	2.2%
99	無回答等	1	0.5%
合計		185	100.0%

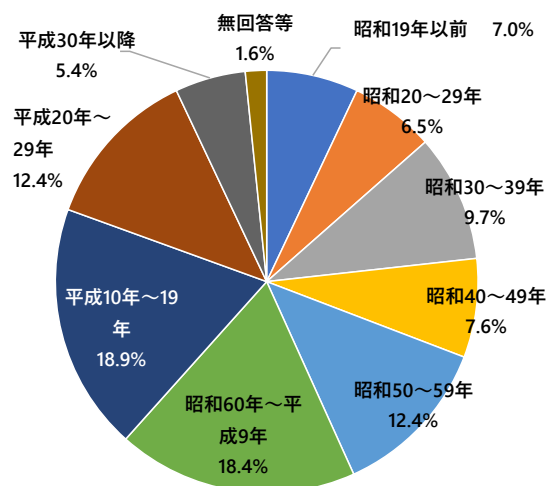


## ⑥ 文京区内の事業所の操業開始時期

・概ね様々な操業時期の事業所からの回答がまんべんなく寄せられた。

### ■文京区内の事業所の操業開始時期

番号	選択肢	回答者数	割合
1	昭和19年以前	13	7.0%
2	昭和20～29年	12	6.5%
3	昭和30～39年	18	9.7%
4	昭和40～49年	14	7.6%
5	昭和50～59年	23	12.4%
6	昭和60年～平成9年	34	18.4%
7	平成10年～19年	35	18.9%
8	平成20年～29年	23	12.4%
9	平成30年以降	10	5.4%
99	無回答等	3	1.6%
合計		185	100.0%

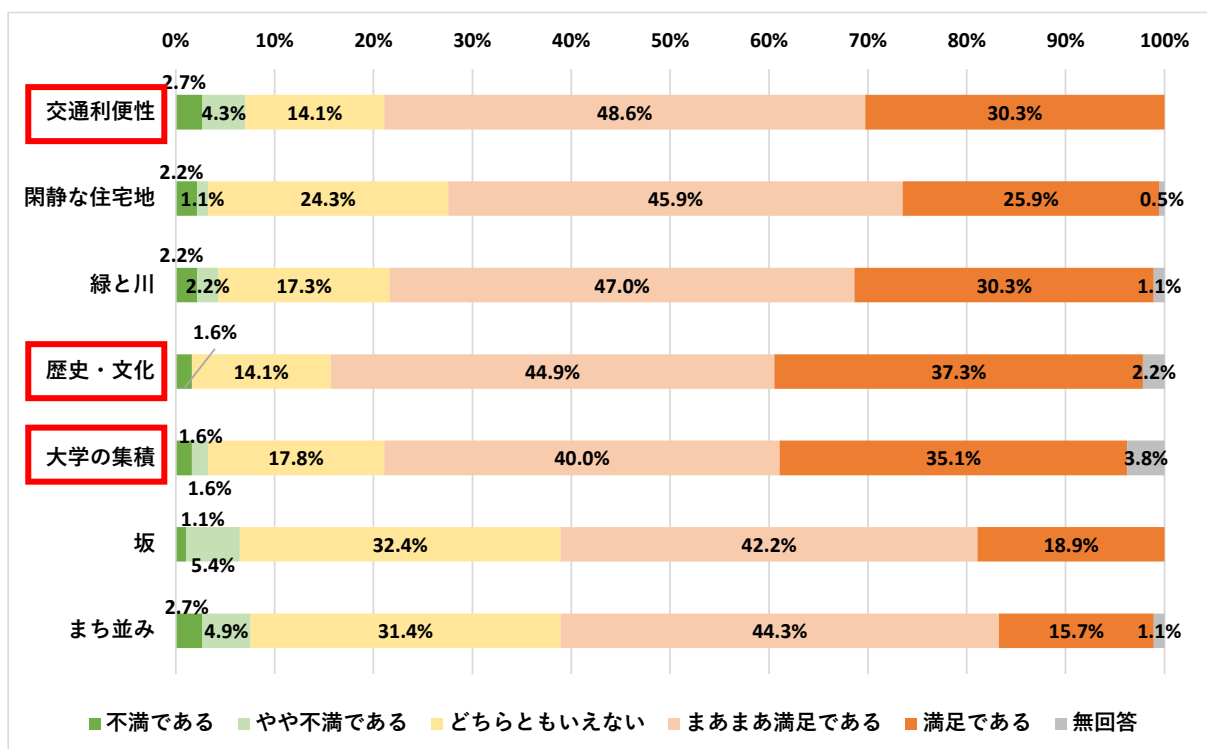


## (2) 問2 区の魅力に関する満足度・期待度

### ① 区の魅力の各項目に対する満足度

- ・「歴史・文化」「大学の集積」「交通利便性」の満足度が特に高い結果となった。
- ・区民意識調査と比べほぼ同様の傾向だが、プラス評価（「満足である」「まあまあ満足である」の回答割合合計）は、区民意識調査よりいずれも数ポイント低い結果となった。

#### ■ 区の魅力の各項目に対する満足度

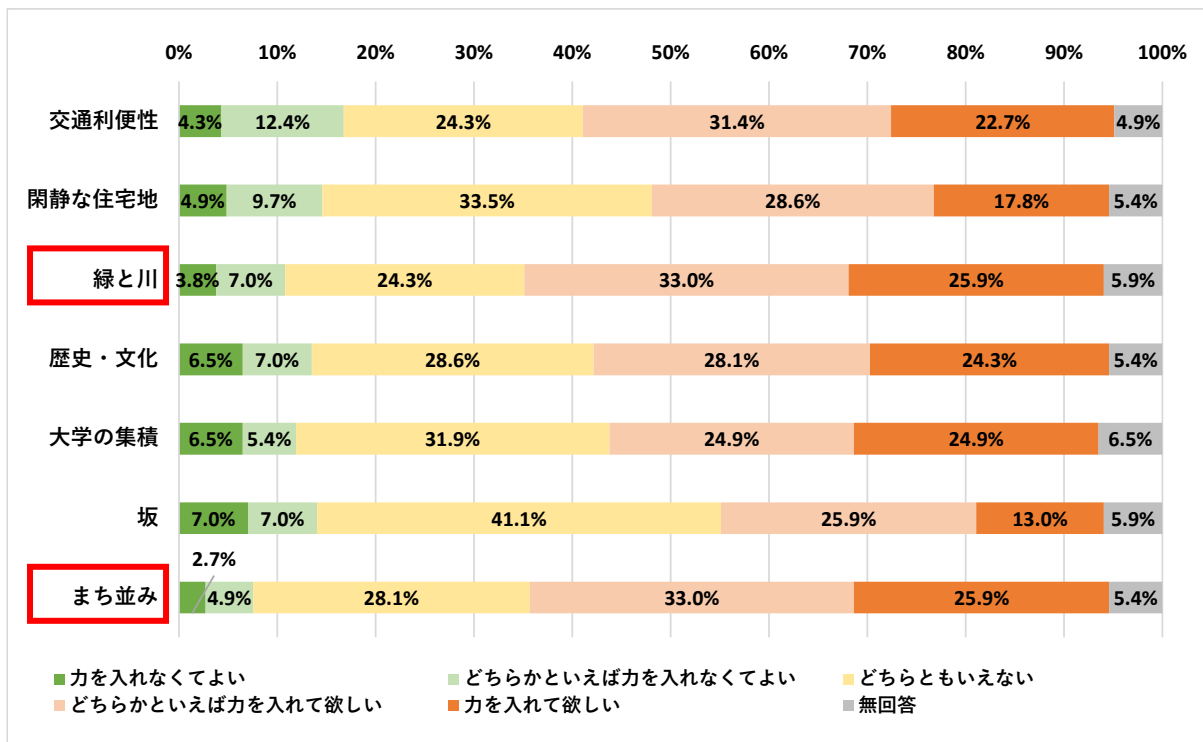


区の魅力の項目	満足度						合計	プラス評価
	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあまあ満足である	満足である	無回答		
交通利便性	5	8	26	90	56	0	185	
	2.7%	4.3%	14.1%	48.6%	30.3%	0.0%	100.0%	78.9%
閑静な住宅地	4	2	45	85	48	1	185	
	2.2%	1.1%	24.3%	45.9%	25.9%	0.5%	100.0%	71.9%
緑と川	4	4	32	87	56	2	185	
	2.2%	2.2%	17.3%	47.0%	30.3%	1.1%	100.0%	77.3%
歴史・文化	3	0	26	83	69	4	185	
	1.6%	0.0%	14.1%	44.9%	37.3%	2.2%	100.0%	82.2%
大学の集積	3	3	33	74	65	7	185	
	1.6%	1.6%	17.8%	40.0%	35.1%	3.8%	100.0%	75.1%
坂	2	10	60	78	35	0	185	
	1.1%	5.4%	32.4%	42.2%	18.9%	0.0%	100.0%	61.1%
まち並み	5	9	58	82	29	2	185	
	2.7%	4.9%	31.4%	44.3%	15.7%	1.1%	100.0%	60.0%

## ② 区の魅力の各項目に対する期待度

- ・「緑と川」「まち並み」について期待度が特に高い。
- ・区民意識調査と比べ、全体として期待度が低い。とくに、「閑静な住宅地」のプラス評価（①に同じ、46.5%）は、区民意識調査（67.5%）に比べ20ポイント以上低い。

### ■区の魅力の各項目に対する期待度



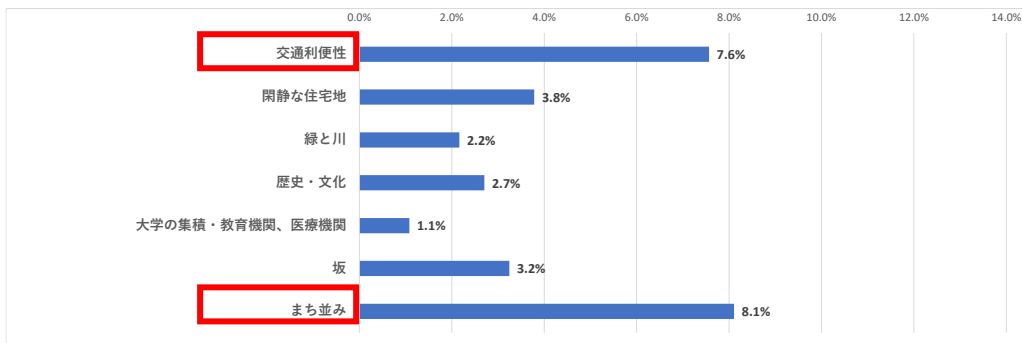
区の魅力の項目	期待度						無回答	合計	プラス評価
	力を入れなくてよい	どちらかといえば力を入れなくてよい	どちらともいえない	どちらかといえば力を入れて欲しい	力を入れて欲しい				
交通利便性	8	23	45	58	42	9	185		
閑静な住宅地	9	18	62	53	33	10	185		
緑と川	7	13	45	61	48	11	185		
歴史・文化	12	13	53	52	45	10	185		
大学の集積	12	10	59	46	46	12	185		
坂	13	13	76	48	24	11	185		
まち並み	5	9	52	61	48	10	185		

③ 特に不満を感じる項目（区の魅力7項目で特に不満を感じる項目があれば番号で記載）

・未回答が7割以上にのぼるが、回答の中では「まち並み」「交通利便性」への不満度が高い。

■特に不満を感じる項目

番号	選択肢	回答者数	割合
1	交通利便性	14	7.6%
2	閑静な住宅地	7	3.8%
3	緑と川	4	2.2%
4	歴史・文化	5	2.7%
5	大学の集積・教育機関、医療機関	2	1.1%
6	坂	6	3.2%
7	まち並み	15	8.1%
99	無回答等	132	71.4%
合計		185	100.0%

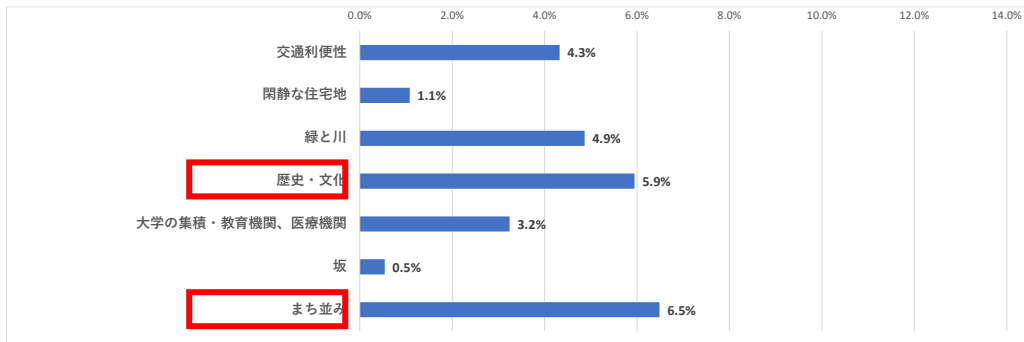


④ 特に力を入れてほしい項目（区の魅力7項目で特に力を入れてほしい項目があれば番号で記載）

- ・未回答が7割以上にのぼるが、回答の中では「まち並み」「歴史・文化」への期待度が高い。

■特に力を入れてほしい項目

番号	選択肢	回答者数	割合
1	交通利便性	8	4.3%
2	閑静な住宅地	2	1.1%
3	緑と川	9	4.9%
4	歴史・文化	11	5.9%
5	大学の集積・教育機関、医療機関	6	3.2%
6	坂	1	0.5%
7	まち並み	12	6.5%
99	無回答等	136	73.5%
合計		185	100.0%



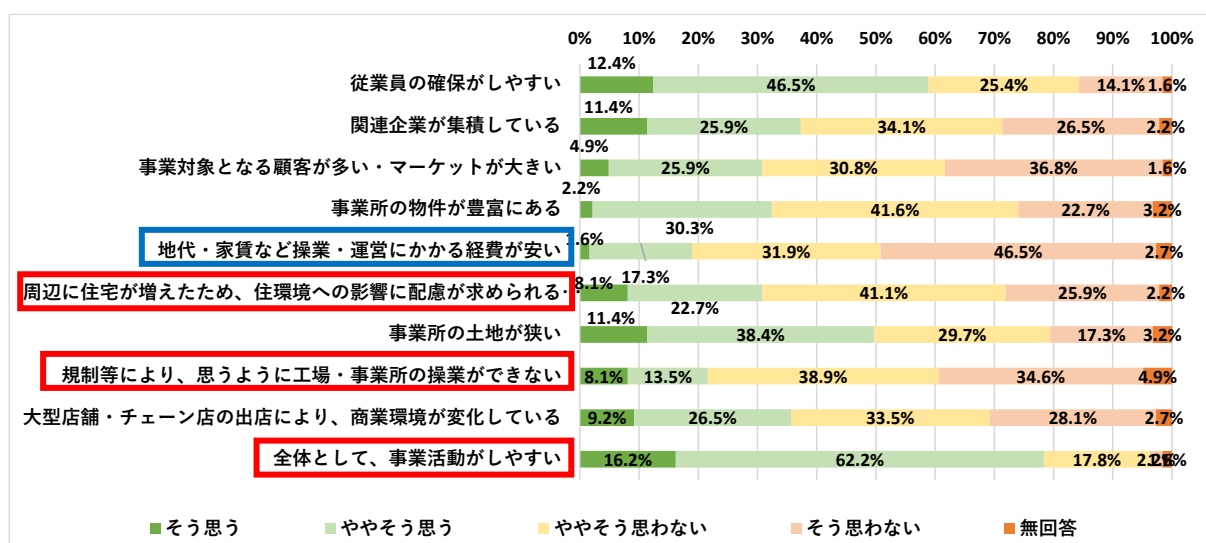
⑤ その他、文京区のまちの魅力と感じていること（記述）

- ・区の魅力7項目以外の魅力として、「治安の良さ」を挙げる回答が複数見られた。

### (3) 問3 文京区で事業を営む上での現状・課題等について

- ・本問は、プラス評価（現状への肯定的評価）に「そう思う」が該当する項目と「そう思わない」が該当する項目がある。このため、下表左端の「プラス評価」の値で評価した。
- ・「住環境への影響に配慮が求められる」及び「規制等により思うように操業ができない」に対する回答は、プラス評価（「そう思わない」「ややそう思わない」の合計）が7割以上となった。
- ・「経費が安い」についてはプラス評価（「そう思う」「ややそう思う」の合計）が約2割にとどまった。
- ・「全体として、事業活動がしやすい」に対する回答はプラス評価（「そう思う」「ややそう思う」の合計）が合わせて約8割となった。

#### ■文京区で事業を営む上での現状・課題等について



文京区で事業を営む上での現状・課題等	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	無回答	合計	プラス評価
	従業員の確保がしやすい	23	86	47	26	3	185
関連企業が集積している	21	48	63	49	4	185	
事業対象となる顧客が多い・マーケットが大きい	9	48	57	68	3	185	
事業所の物件が豊富にある	4	56	77	42	6	185	
地代・家賃など操業・運営にかかる経費が安い	3	32	59	86	5	185	
周辺に住宅が増えたため、住環境への影響に配慮が求められるようになり、事業がしづらくなっている。	15	42	76	48	4	185	
事業所の土地が狭い	21	71	55	32	6	185	
規制等により、思うように工場・事業所の操業ができない	15	25	72	64	9	185	
大型店舗・チェーン店の出店により、商業環境が変化している	17	49	62	52	5	185	
全体として、事業活動がしやすい	30	115	33	4	3	185	

※  : プラス評価が「そう思う」「ややそう思う」の合計となる項目

※  : プラス評価が「そう思わない」「ややそう思わない」の合計となる項目

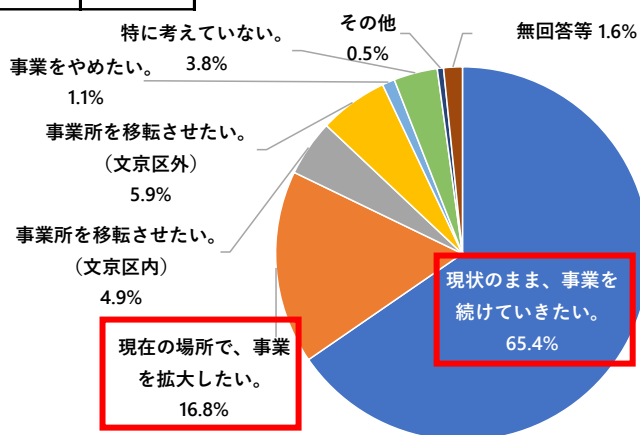


#### 4) 問4 今後の事業の展開について

・「現状のまま続けていきたい」「現在の場所で事業を拡大したい」が合わせて80%以上にのぼった。問3と合わせ、文京区が事業操業の観点から良好な環境にあることが推察される。

##### ■今後の事業の展開について

番号	選択肢	回答者数	割合
1	現状のまま、事業を続けていきたい。	121	65.4%
2	現在の場所で、事業を拡大したい。	31	16.8%
3	事業所を移転させたい。(文京区内)	9	4.9%
4	事業所を移転させたい。(文京区外)	11	5.9%
5	事業をやめたい。	2	1.1%
6	特に考えていない。	7	3.8%
7	その他	1	0.5%
99	無回答等	3	1.6%
合計		185	100.0%

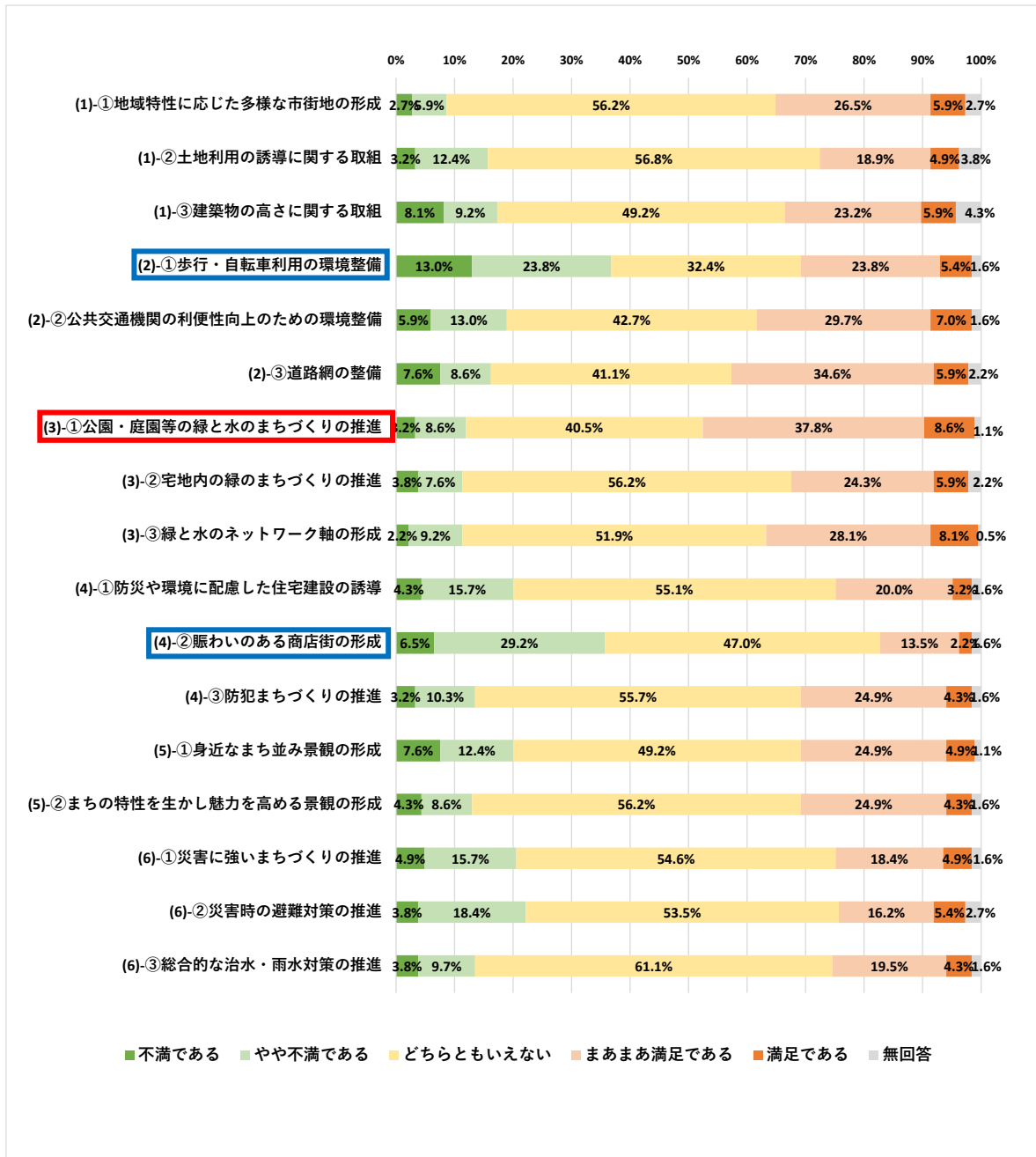


## 5) 問5 区の実施に関する満足度・期待度

### ① 区の実施の各項目に対する満足度

- ・「(3) -①公園・庭園等の緑と～」の満足度が高く、「(2) -①歩行・自転車利用の～」 「(4) -②」賑わいある商店街の～」の満足度が低い。
- ・区民意識調査と比べ、おおむね同様の傾向であった。

#### ■ 区の実施の各項目に対する満足度

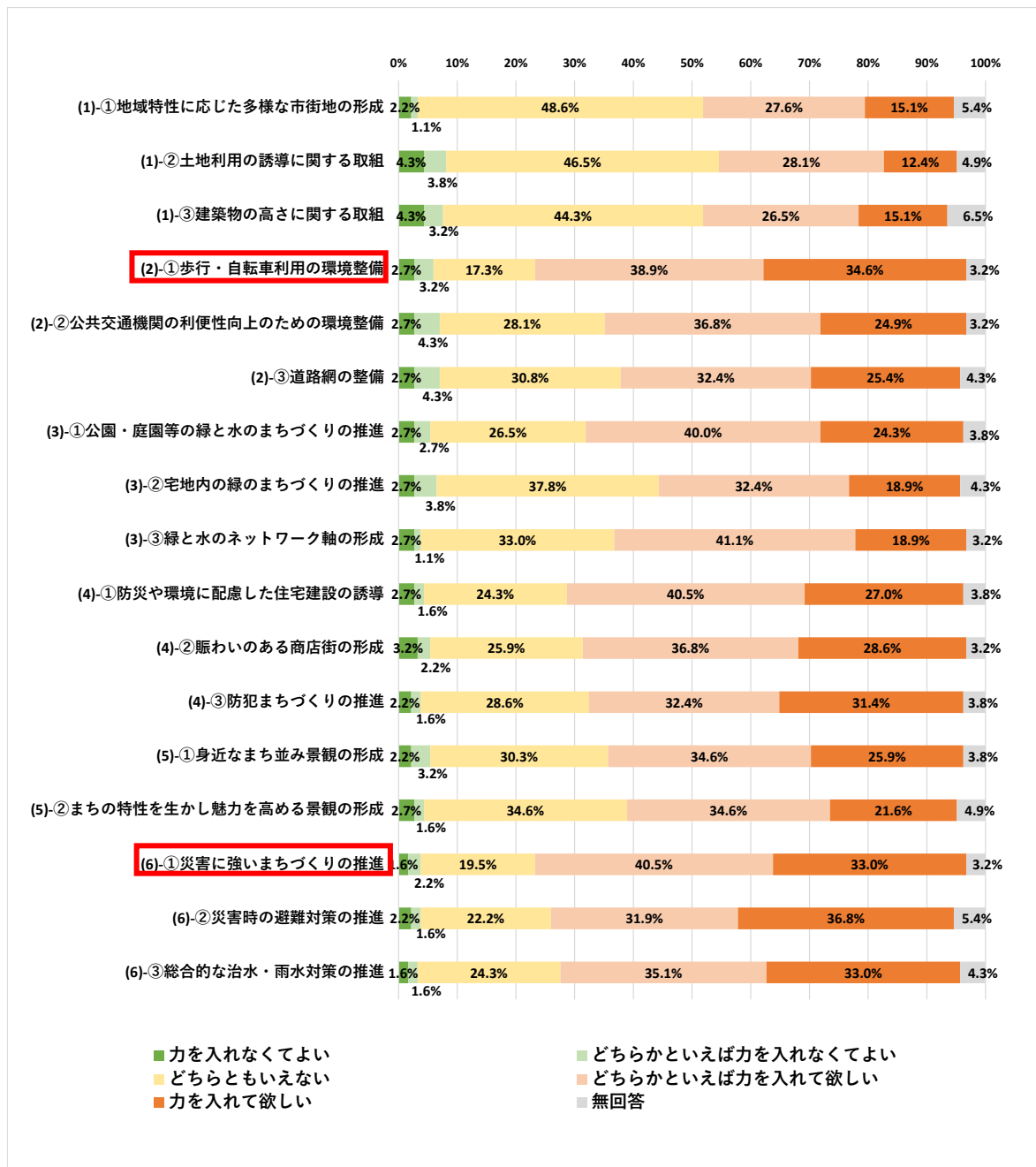


区の実施項目	満足度							合計	プラス評価
	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあまあ満足である	満足である	無回答			
(1)-① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	5	11	104	49	11	5	185		
	2.7%	5.9%	56.2%	26.5%	5.9%	2.7%	100.0%	32.4%	
(1)-② 土地利用の誘導に関する取組	6	23	105	35	9	7	185		
	3.2%	12.4%	56.8%	18.9%	4.9%	3.8%	100.0%	23.8%	
(1)-③ 建築物の高さに関する取組	15	17	91	43	11	8	185		
	8.1%	9.2%	49.2%	23.2%	5.9%	4.3%	100.0%	29.2%	
(2)-① 歩行・自転車利用の環境整備	24	44	60	44	10	3	185		
	13.0%	23.8%	32.4%	23.8%	5.4%	1.6%	100.0%	29.2%	
(2)-② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	11	24	79	55	13	3	185		
	5.9%	13.0%	42.7%	29.7%	7.0%	1.6%	100.0%	36.8%	
(2)-③ 道路網の整備	14	16	76	64	11	4	185		
	7.6%	8.6%	41.1%	34.6%	5.9%	2.2%	100.0%	40.5%	
(3)-① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	6	16	75	70	16	2	185		
	3.2%	8.6%	40.5%	37.8%	8.6%	1.1%	100.0%	46.5%	
(3)-② 宅地内の緑のまちづくりの推進	7	14	104	45	11	4	185		
	3.8%	7.6%	56.2%	24.3%	5.9%	2.2%	100.0%	30.3%	
(3)-③ 緑と水のネットワーク軸の形成	4	17	96	52	15	1	185		
	2.2%	9.2%	51.9%	28.1%	8.1%	0.5%	100.0%	36.2%	
(4)-① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	8	29	102	37	6	3	185		
	4.3%	15.7%	55.1%	20.0%	3.2%	1.6%	100.0%	23.2%	
(4)-② 賑わいのある商店街の形成	12	54	87	25	4	3	185		
	6.5%	29.2%	47.0%	13.5%	2.2%	1.6%	100.0%	15.7%	
(4)-③ 防犯まちづくりの推進	6	19	103	46	8	3	185		
	3.2%	10.3%	55.7%	24.9%	4.3%	1.6%	100.0%	29.2%	
(5)-① 身近なまち並み景観の形成	14	23	91	46	9	2	185		
	7.6%	12.4%	49.2%	24.9%	4.9%	1.1%	100.0%	29.7%	
(5)-② まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	8	16	104	46	8	3	185		
	4.3%	8.6%	56.2%	24.9%	4.3%	1.6%	100.0%	29.2%	
(6)-① 災害に強いまちづくりの推進	9	29	101	34	9	3	185		
	4.9%	15.7%	54.6%	18.4%	4.9%	1.6%	100.0%	23.2%	
(6)-② 災害時の避難対策の推進	7	34	99	30	10	5	185		
	3.8%	18.4%	53.5%	16.2%	5.4%	2.7%	100.0%	21.6%	
(6)-③ 総合的な治水・雨水対策の推進	7	18	113	36	8	3	185		
	3.8%	9.7%	61.1%	19.5%	4.3%	1.6%	100.0%	23.8%	

## ② 区の実施の各項目に対する期待度

- ・「(2) -①歩行・自転車利用の～」及び「(6) -①「災害に強い～」など防災関連の実施に対する期待度が特に高かった。
- ・区民意識調査と比べ、おおむね同様の傾向であった。

### ■ 区の実施の各項目に対する期待度



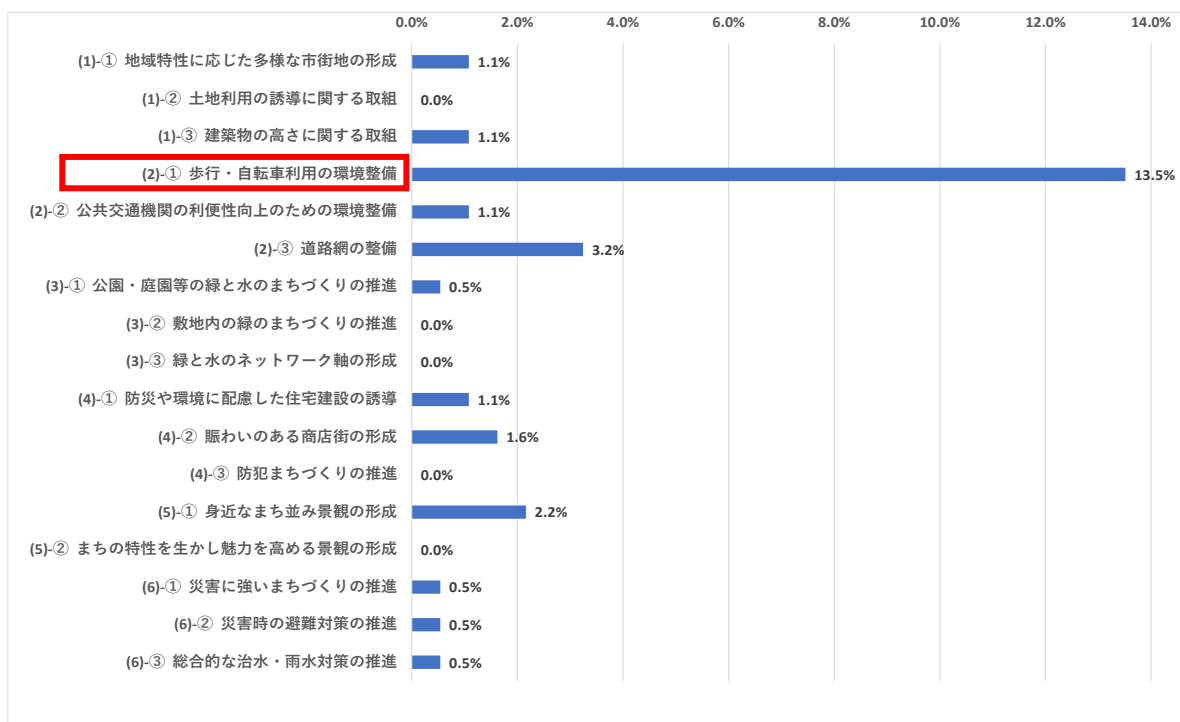
区の取組の項目	期待度							
	力を入れなくてよい	どちらかといえば力を入れなくてよい	どちらともいえない	どちらかといえば力を入れて欲しい	力を入れて欲しい	無回答	合計	プラス評価
(1)-① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	4 2.2%	2 1.1%	90 48.6%	51 27.6%	28 15.1%	10 5.4%	185 100.0%	42.7%
(1)-② 土地利用の誘導に関する取組	8 4.3%	7 3.8%	86 46.5%	52 28.1%	23 12.4%	9 4.9%	185 100.0%	40.5%
(1)-③ 建築物の高さに関する取組	8 4.3%	6 3.2%	82 44.3%	49 26.5%	28 15.1%	12 6.5%	185 100.0%	41.6%
(2)-① 歩行・自転車利用の環境整備	5 2.7%	6 3.2%	32 17.3%	72 38.9%	64 34.6%	6 3.2%	185 100.0%	73.5%
(2)-② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	5 2.7%	8 4.3%	52 28.1%	68 36.8%	46 24.9%	6 3.2%	185 100.0%	61.6%
(2)-③ 道路網の整備	5 2.7%	8 4.3%	57 30.8%	60 32.4%	47 25.4%	8 4.3%	185 100.0%	57.8%
(3)-① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	5 2.7%	5 2.7%	49 26.5%	74 40.0%	45 24.3%	7 3.8%	185 100.0%	64.3%
(3)-② 宅地内の緑のまちづくりの推進	5 2.7%	7 3.8%	70 37.8%	60 32.4%	35 18.9%	8 4.3%	185 100.0%	51.4%
(3)-③ 緑と水のネットワーク軸の形成	5 2.7%	2 1.1%	61 33.0%	76 41.1%	35 18.9%	6 3.2%	185 100.0%	60.0%
(4)-① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	5 2.7%	3 1.6%	45 24.3%	75 40.5%	50 27.0%	7 3.8%	185 100.0%	67.6%
(4)-② 賑わいのある商店街の形成	6 3.2%	4 2.2%	48 25.9%	68 36.8%	53 28.6%	6 3.2%	185 100.0%	65.4%
(4)-③ 防犯まちづくりの推進	4 2.2%	3 1.6%	53 28.6%	60 32.4%	58 31.4%	7 3.8%	185 100.0%	63.8%
(5)-① 身近なまち並み景観の形成	4 2.2%	6 3.2%	56 30.3%	64 34.6%	48 25.9%	7 3.8%	185 100.0%	60.5%
(5)-② まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	5 2.7%	3 1.6%	64 34.6%	64 34.6%	40 21.6%	9 4.9%	185 100.0%	56.2%
(6)-① 災害に強いまちづくりの推進	3 1.6%	4 2.2%	36 19.5%	75 40.5%	61 33.0%	6 3.2%	185 100.0%	73.5%
(6)-② 災害時の避難対策の推進	4 2.2%	3 1.6%	41 22.2%	59 31.9%	68 36.8%	10 5.4%	185 100.0%	68.6%
(6)-③ 総合的な治水・雨水対策の推進	3 1.6%	3 1.6%	45 24.3%	65 35.1%	61 33.0%	8 4.3%	185 100.0%	68.1%

③ 特に不満を感じる取組（区が取組 17 項目で特に不満を感じる項目があれば番号で記載）

- ・「(2) -①歩行・自転車利用の環境整備」に対する不満が高かった。
- ・記述意見としては、自転車レーンに関するもの（狭い、路上駐車により利用できない 等）、自転車の運転マナーに関するもの（歩道を走行する 等）が多く見られた。

■特に不満を感じる取組

番号	選択肢	回答者数	割合
1-1	地域特性に応じた多様な市街地の形成	2	1.1%
1-2	土地利用の誘導に関する取組	0	0.0%
1-3	建築物の高さに関する取組	2	1.1%
2-1	歩行・自転車利用の環境整備	25	13.5%
2-2	公共交通機関の利便性向上のための環境整備	2	1.1%
2-3	道路網の整備	6	3.2%
3-1	公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	1	0.5%
3-2	敷地内の緑のまちづくりの推進	0	0.0%
3-3	緑と水のネットワーク軸の形成	0	0.0%
4-1	防災や環境に配慮した建設の誘導	2	1.1%
4-2	賑わいのある商店街の形成	3	1.6%
4-3	防犯まちづくりの推進	0	0.0%
5-1	身近なまち並み景観の形成	4	2.2%
5-2	まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	0	0.0%
6-1	災害に強いまちづくりの推進	1	0.5%
6-2	災害時の避難対策の推進	1	0.5%
6-3	総合的な治水・雨水対策の推進	1	0.5%
99	無回答等	135	73.0%
合計		185	100.0%

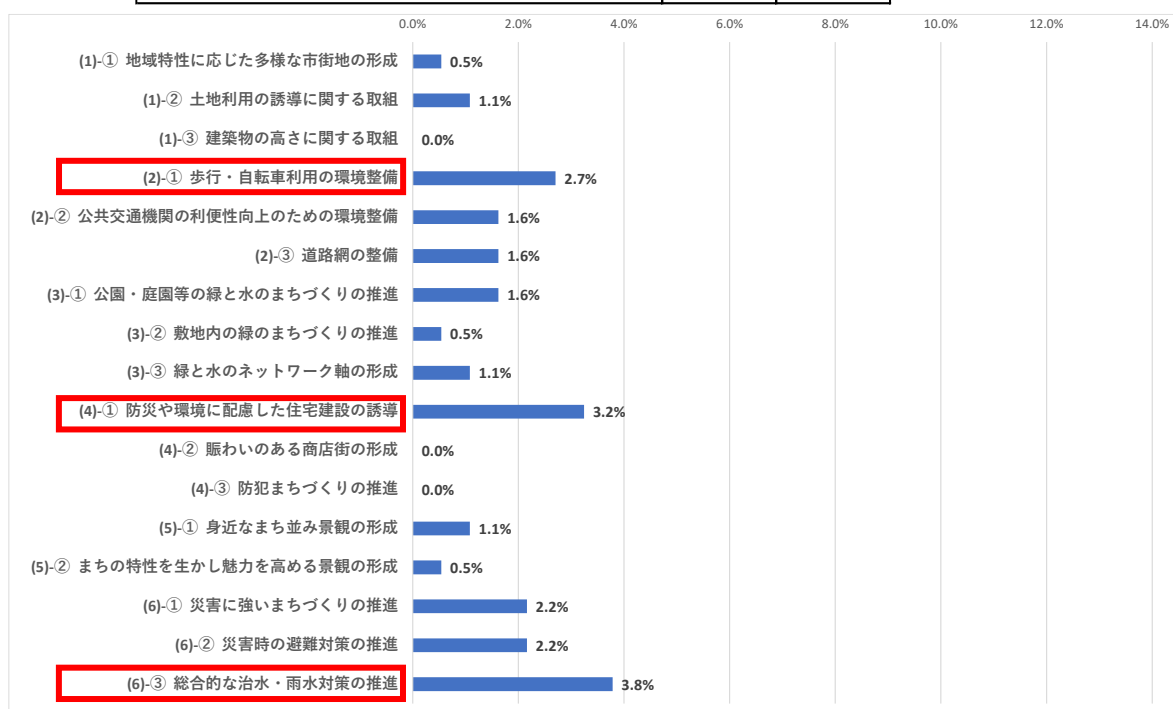


④ 特に力を入れてほしい取組（区が取組 17 項目で特に力を入れてほしい項目があれば番号で記載）

・回答が分散したが、「(6) -③総合的な治水～」 「(4) -1 防災や環境に配慮した～」 「(2) -①歩行・自転車利用の～」 の回答が比較的多かった。

■特に力を入れてほしい取組

番号	選択肢	回答者数	割合
1-1	地域特性に応じた多様な市街地の形成	1	0.5%
1-2	土地利用の誘導に関する取組	2	1.1%
1-3	建築物の高さに関する取組	0	0.0%
2-1	歩行・自転車利用の環境整備	5	2.7%
2-2	公共交通機関の利便性向上のための環境整備	3	1.6%
2-3	道路網の整備	3	1.6%
3-1	公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	3	1.6%
3-2	敷地内の緑のまちづくりの推進	1	0.5%
3-3	緑と水のネットワーク軸の形成	2	1.1%
4-1	防災や環境に配慮した建設の誘導	6	3.2%
4-2	賑わいのある商店街の形成	0	0.0%
4-3	防犯まちづくりの推進	0	0.0%
5-1	身近なまち並み景観の形成	2	1.1%
5-2	まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	1	0.5%
6-1	災害に強いまちづくりの推進	4	2.2%
6-2	災害時の避難対策の推進	4	2.2%
6-3	総合的な治水・雨水対策の推進	7	3.8%
99	無回答等	141	76.2%
合計		185	100.0%



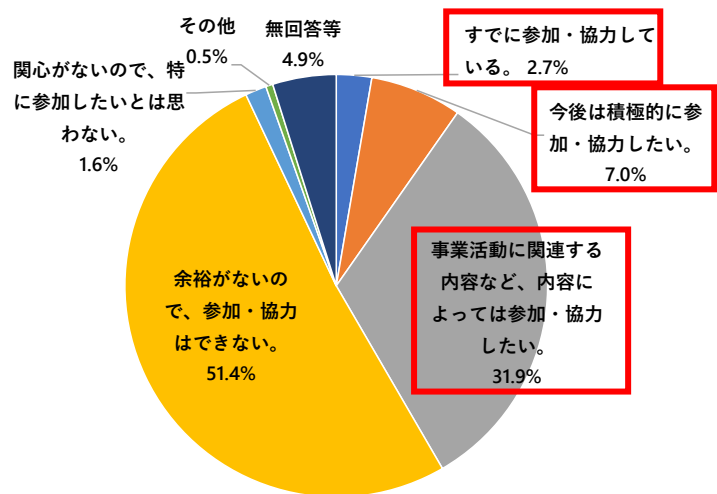
## 6) 問6 文京区へのまちづくりに関する活動への参加・協力について

### ① 参加・協力への意向

- ・半数は参加に消極的だが、「内容によっては参加・協力したい」とする回答が31.9%など、参加・協用に積極的な回答が約4割に上った。

#### ■参加・協力への意向

番号	選択肢	回答者数	割合
1	すでに参加・協力している。	5	2.7%
2	今後は積極的に参加・協力したい。	13	7.0%
3	事業活動に関連する内容など、内容によっては参加・協力したい。	59	31.9%
4	余裕がないので、参加・協力はできない。	95	51.4%
5	関心がないので、特に参加したいとは思わない。	3	1.6%
6	その他	1	0.5%
99	無回答等	9	4.9%
合計		185	100.0%



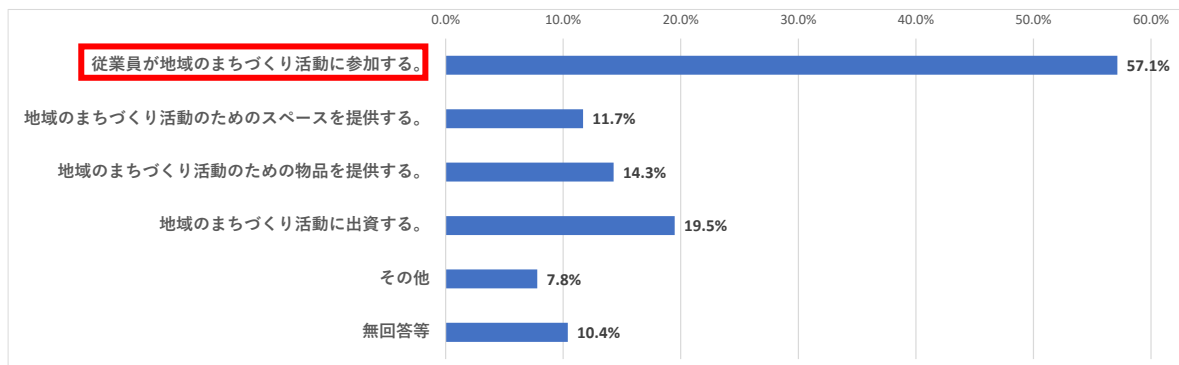


## ② 参加・協力の内容（①で1～3を答えた方）

・「従業員が地域のまちづくり活動に参加」とする回答が約6割に上った。

### ■参加・協力の内容

番号	選択肢	回答者数	割合
1	従業員が地域のまちづくり活動に参加する。	44	57.1%
2	地域のまちづくり活動のためのスペースを提供する。	9	11.7%
3	地域のまちづくり活動のための物品を提供する。	11	14.3%
4	地域のまちづくり活動に出資する。	15	19.5%
5	その他	0	0.0%
99	無回答等	8	10.4%
合計		77	100.0%



## 7) クロス集計

事業所アンケートについては、地域別集計及び業種別集計を行った。

### 7) - 1 地域別集計

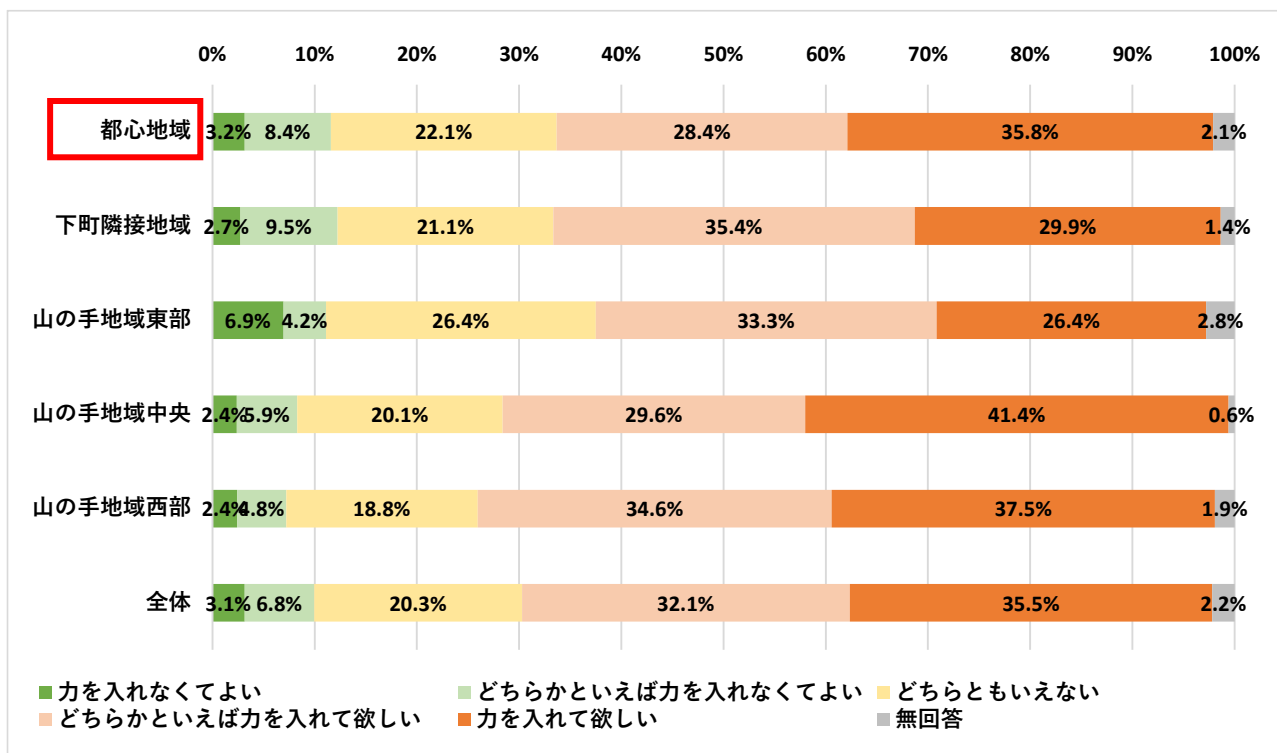
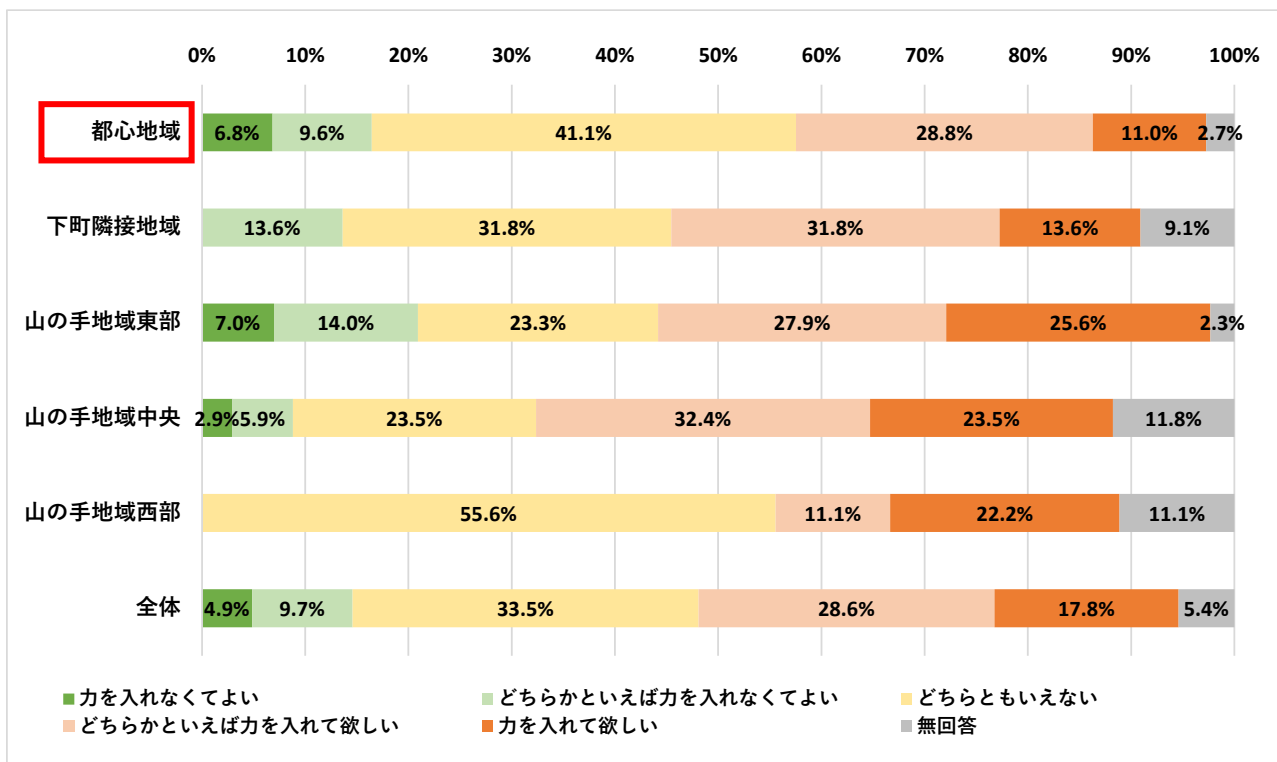
- ・問1・事業所の住所を基に現行都市マスタープランにおける地域区分（3地域、5区分）ごとの集計を行った。
- ・クロス集計は、問2「区の魅力に関する満足度・期待度」、問3「文京区で事業を営む上での現状・課題等について」、問4「今後の事業の展開について」、問5「区の実施に対する満足度・期待度」について行い、同内容の質問に対する区民意識調査結果と比較した。
- ・なお、事業者アンケートにおける山の手地域西部地域の回答者は9件と少なかったため、分析の対象から外した。

## ① 問2 区の魅力に関する満足度・期待度

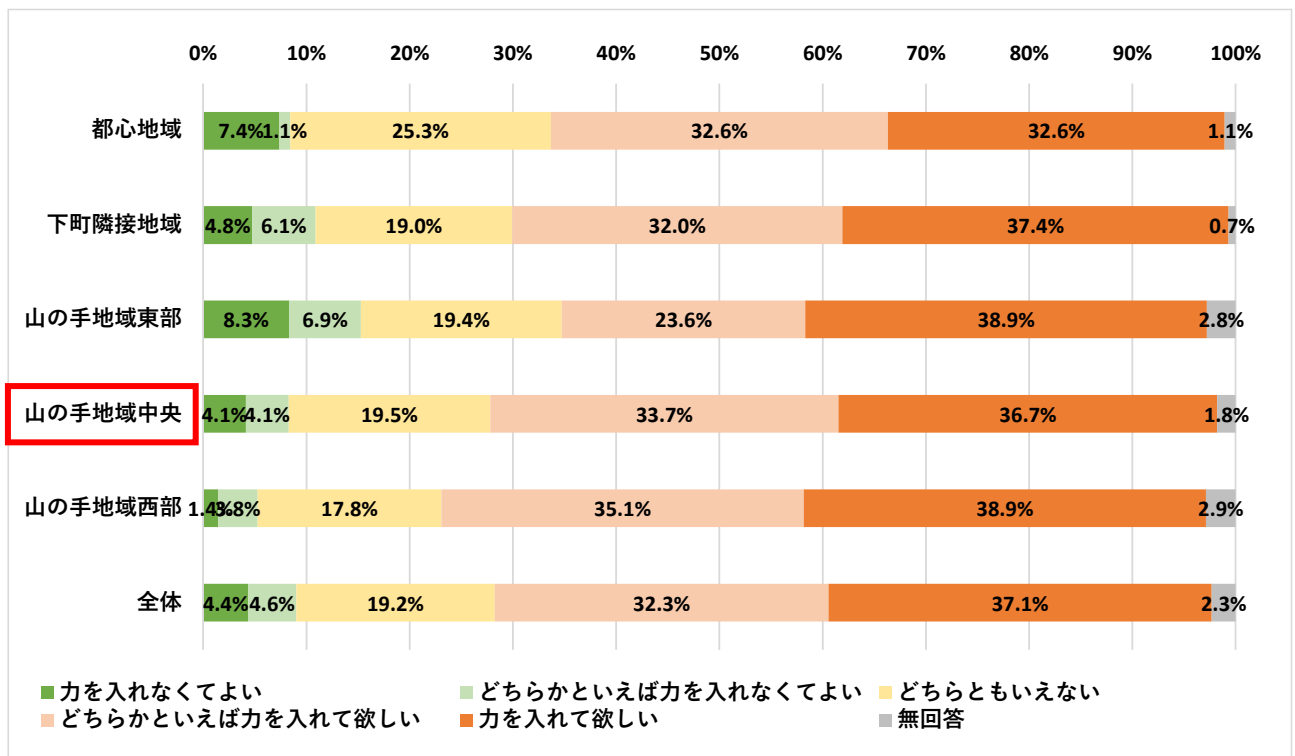
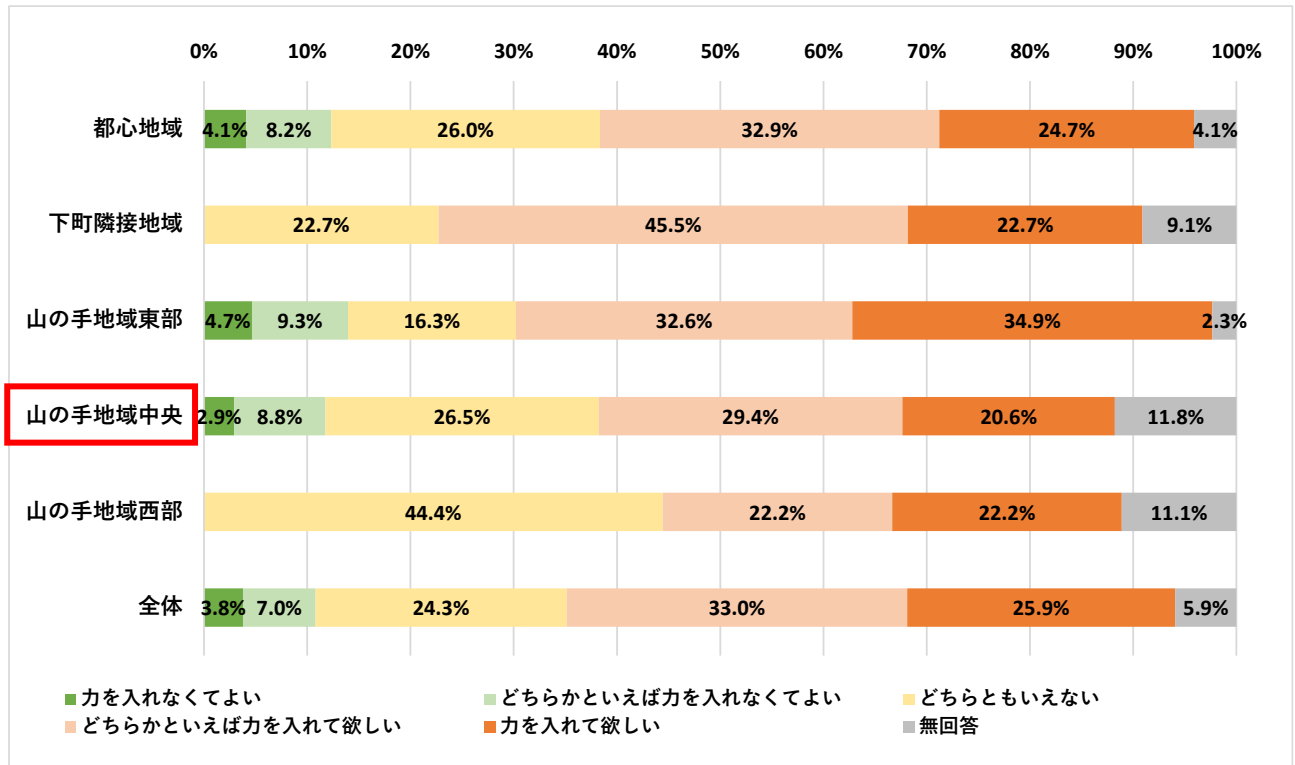
- ・「閑静な住宅地」の期待度について、事業者の「力を入れてほしい」「どちらかといえば力を入れてほしい」の割合は、各地域とも区民意識調査結果より10ポイント以上低い結果となった。特に都心地域では約25ポイントと差が大きくなった。
- ・「緑と川」の期待度について、山の手地域中央における「力を入れてほしい」「どちらかといえば力を入れてほしい」の割合は、区民意識調査結果より約20ポイント低く、他地域より差が大きかった。
- ・「坂」の期待度について、山の手地域東部における「力を入れてほしい」「どちらかといえば力を入れてほしい」の割合は、区民意識調査結果より16ポイント高かった。

■問2 区の魅力に関する満足度・期待度（抜粋）

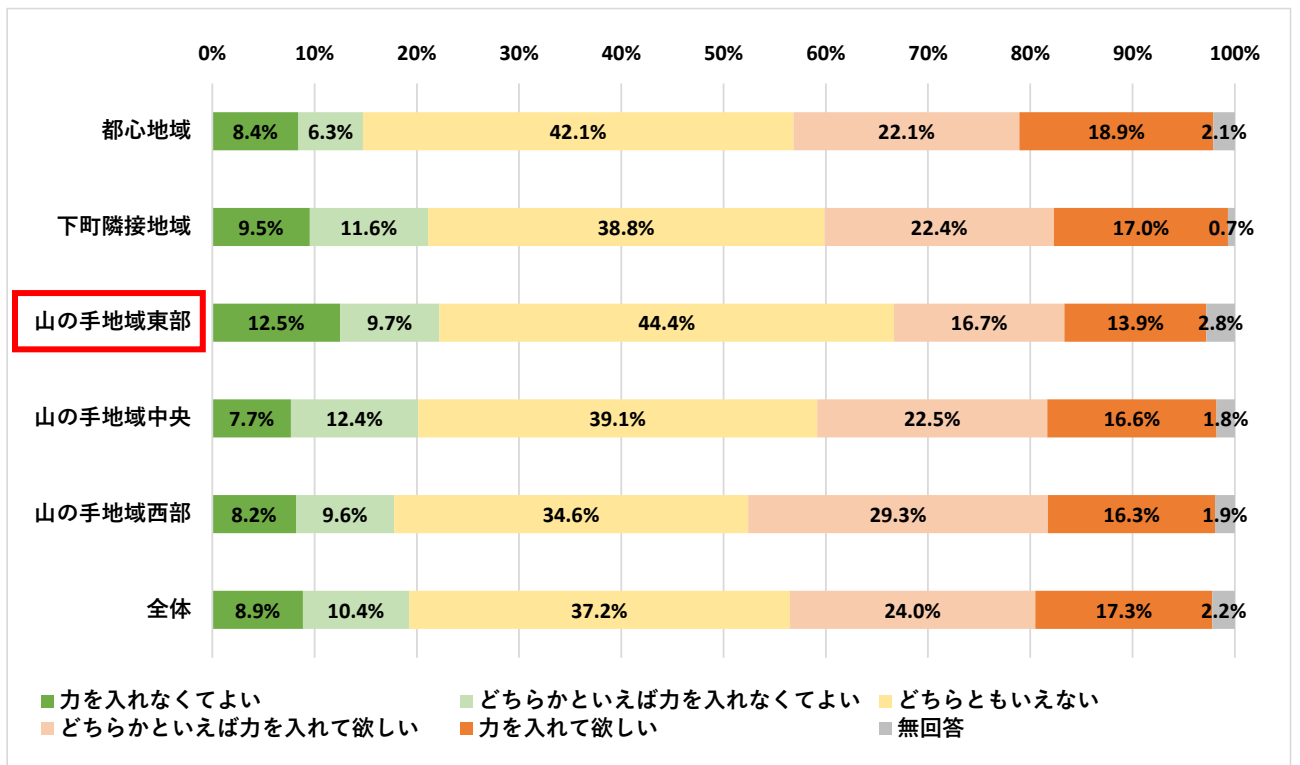
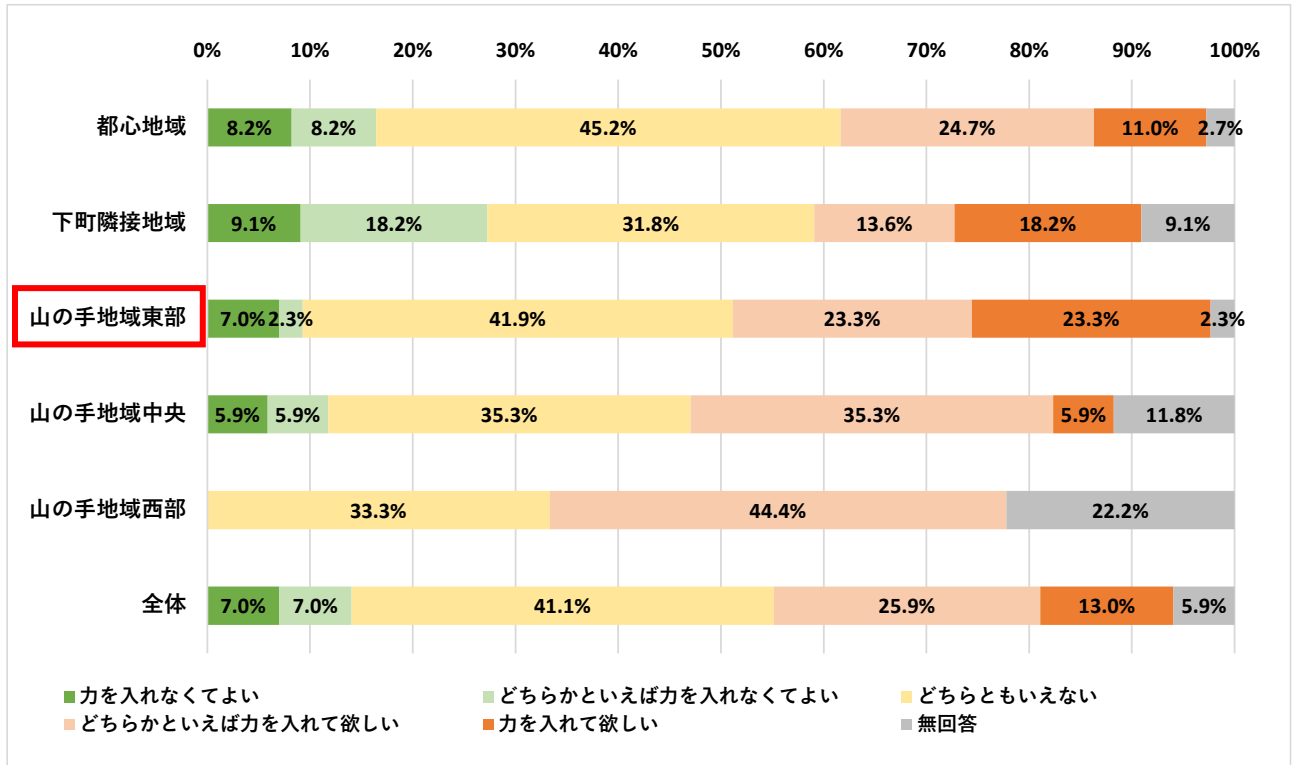
【2 閑静な住宅地・期待度 上段・事業者、下段・文京区民（再掲）】



【3 緑と川・期待度 上段・事業者、下段・文京区民（再掲）】



【6 坂・期待度 上段・事業者、下段・文京区民（再掲）】

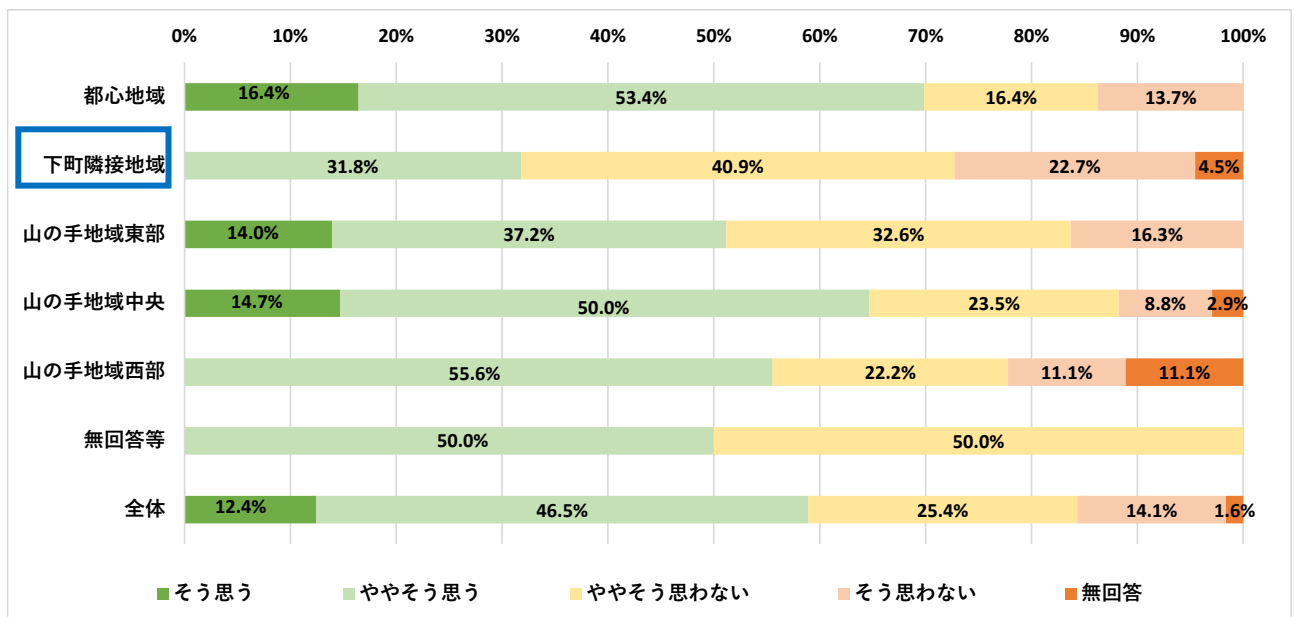


## ② 問3 文京区で事業を営む上での現状・課題等について

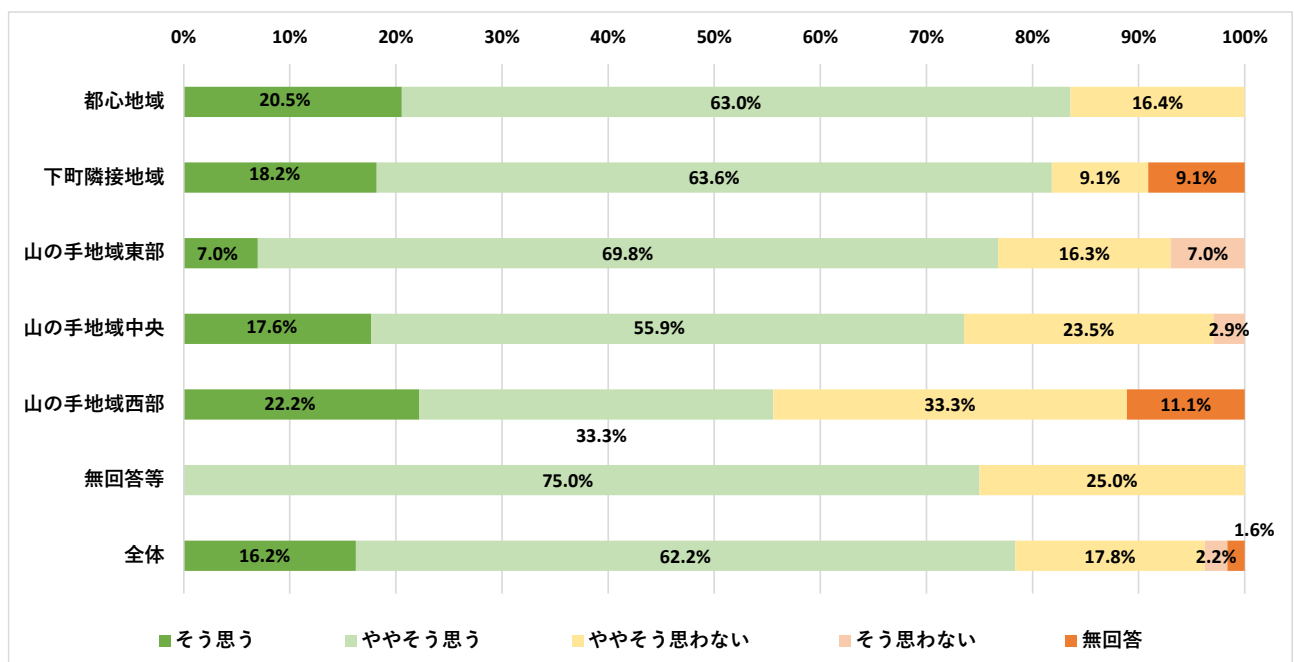
- ・「従業員の確保がしやすい」に関して、「そう思う」「ややそう思う」の合計の割合は下町隣接地域が他地域より 20~30 ポイント低かった。
- ・その他の項目については、地域別の大きな差は見られなかった。
- ・「事業活動がしやすい」に関して、「そう思う」「ややそう思う」の合計の割合が各地域とも 70% 超と高かった（山の手地域西部を除く）。

### ■問3 文京区で事業を営む上での現状・課題等について（抜粋）

#### 【1 従業員の確保がしやすい】



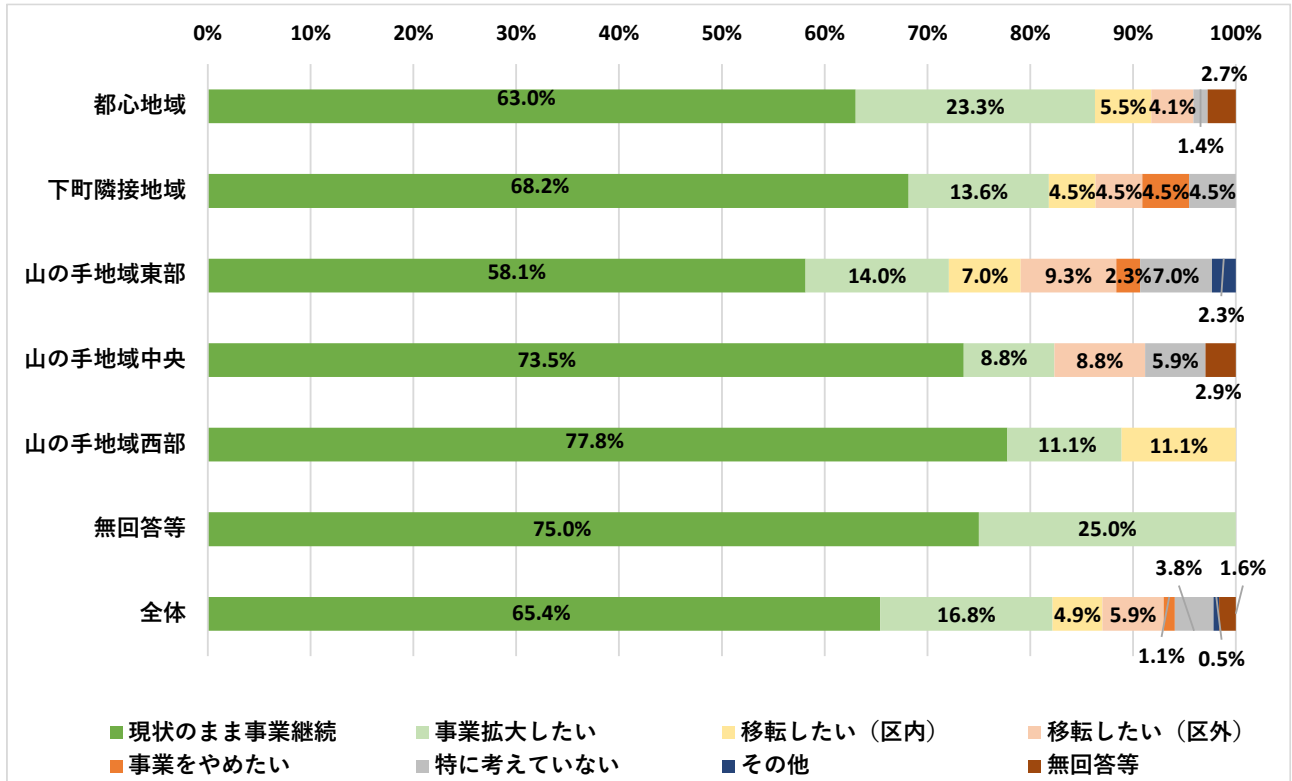
#### 【10 全体として、事業活動がしやすい】



### ③ 問4 今後の事業の展開について

・各地域とも「現状のまま、事業を続けていきたい」または「事業拡大したい」との回答が多く、合計の割合が最も低い山の手地域東部でも72%にのぼった。

#### ■問4 今後の事業の展開について



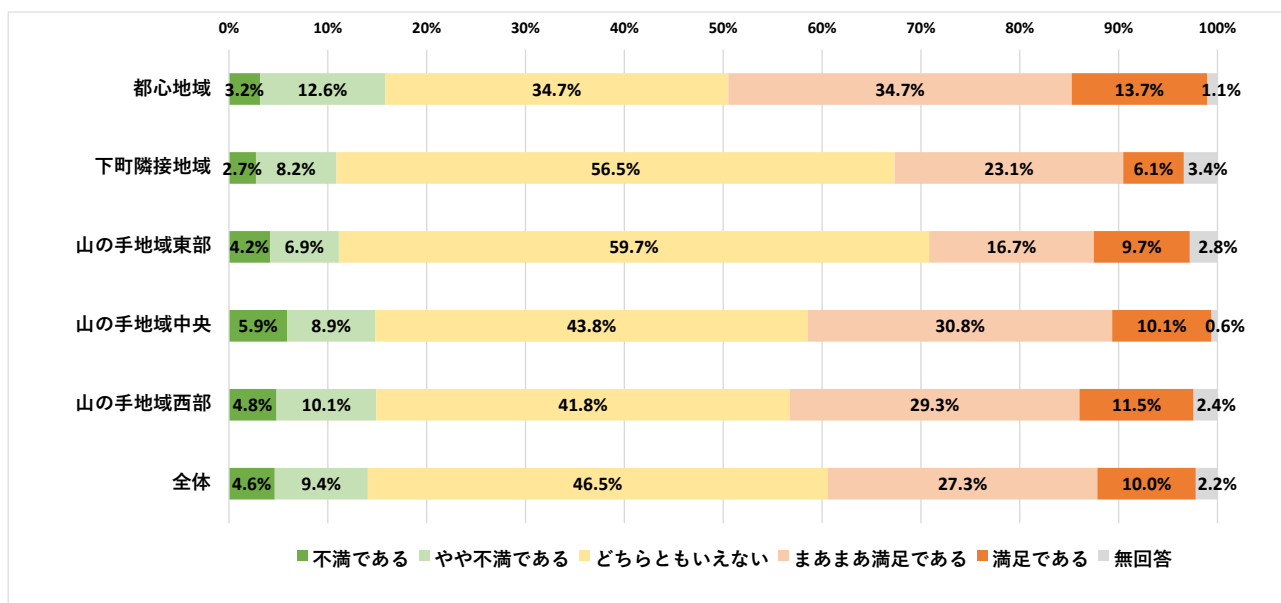
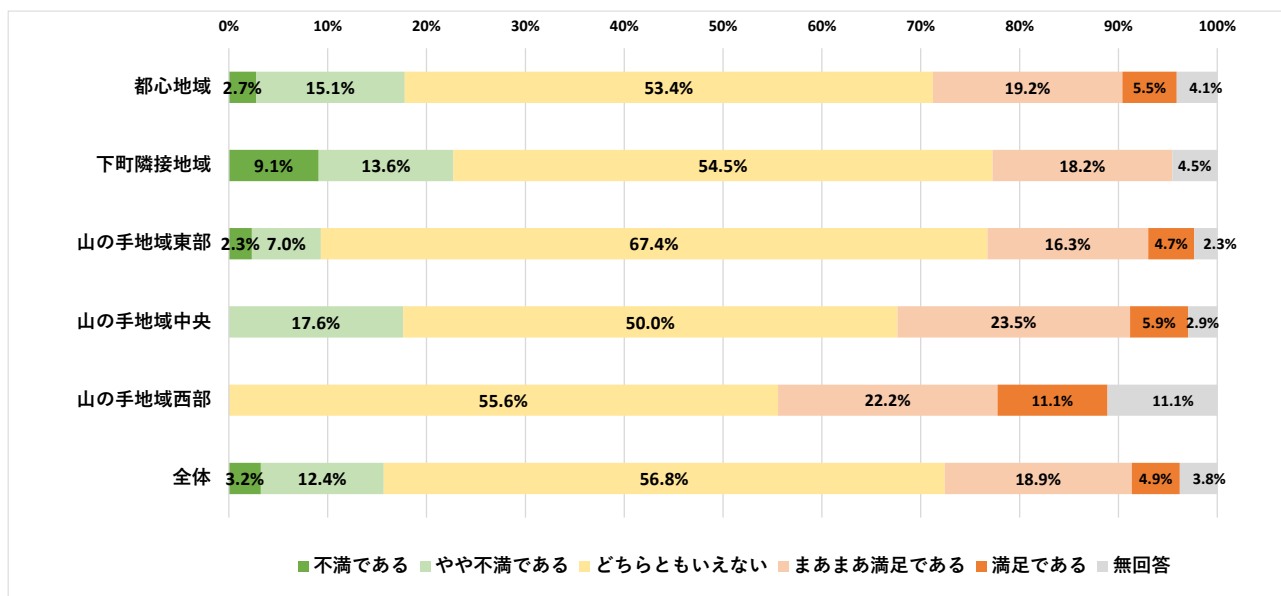


#### ④ 問5 区の実施に関する満足度・期待度

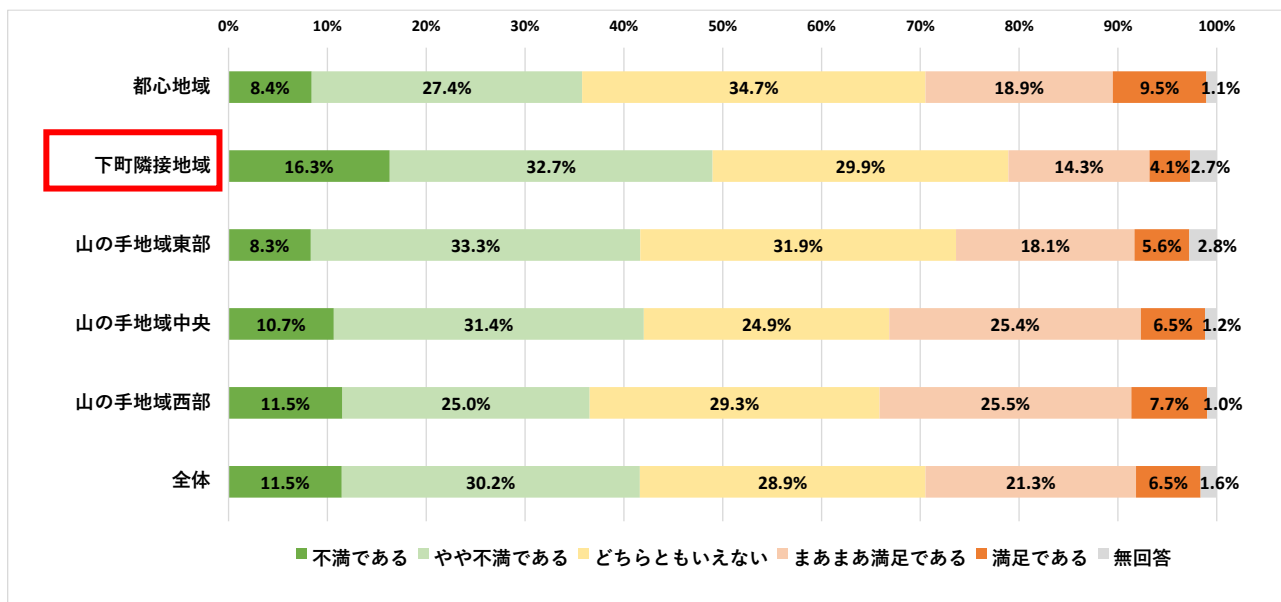
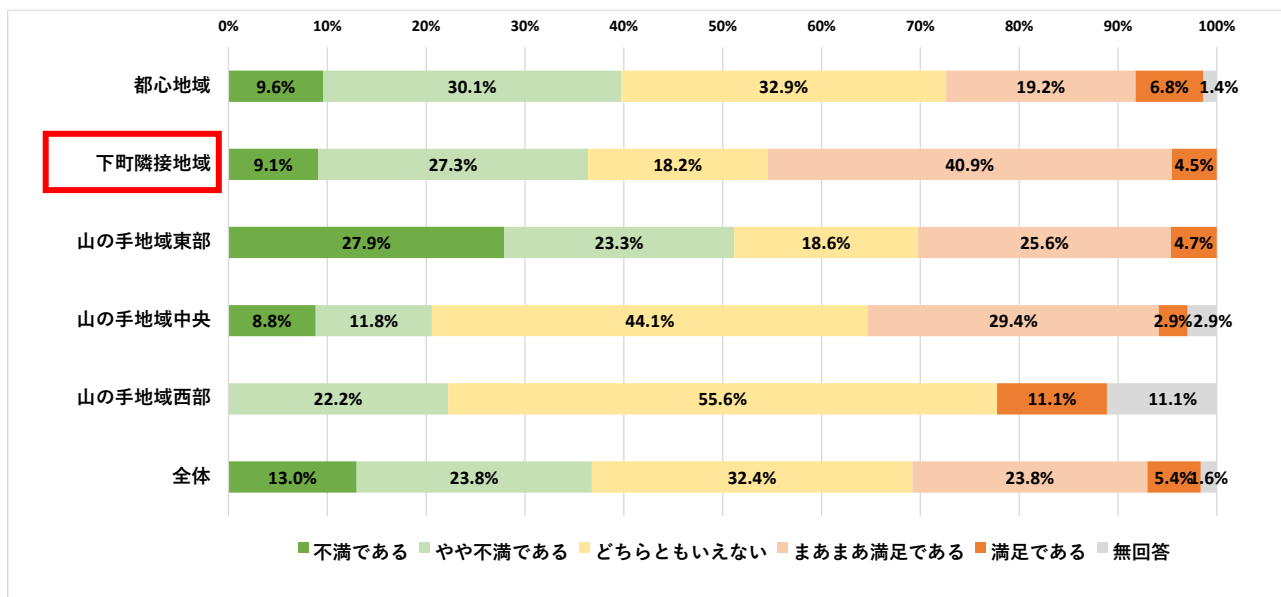
- ・「(1)-②土地利用の誘導に関する取組」の満足度が、各地域とも事業者における「満足である」「まあまあ満足である」の割合の合計が区民意識調査結果より 10~20 ポイント低い結果となった。
- ・「(2)-①歩行・自転車利用の環境整備」の満足度は、下町隣接地域において「満足である」「まあまあ満足である」の割合の合計が区民意識調査結果より約 30 ポイント高かった。
- ・「(4)-②賑わいのある商店街の形成」の満足度が、都心地域、下町隣接地域、山の手地域東部に於いて「不満である」「やや不満である」の割合の合計が区民意識調査結果より 10~15 ポイント高く、他地域より大きな差となった。

#### ■問5 区の実施に関する満足度・期待度（抜粋）

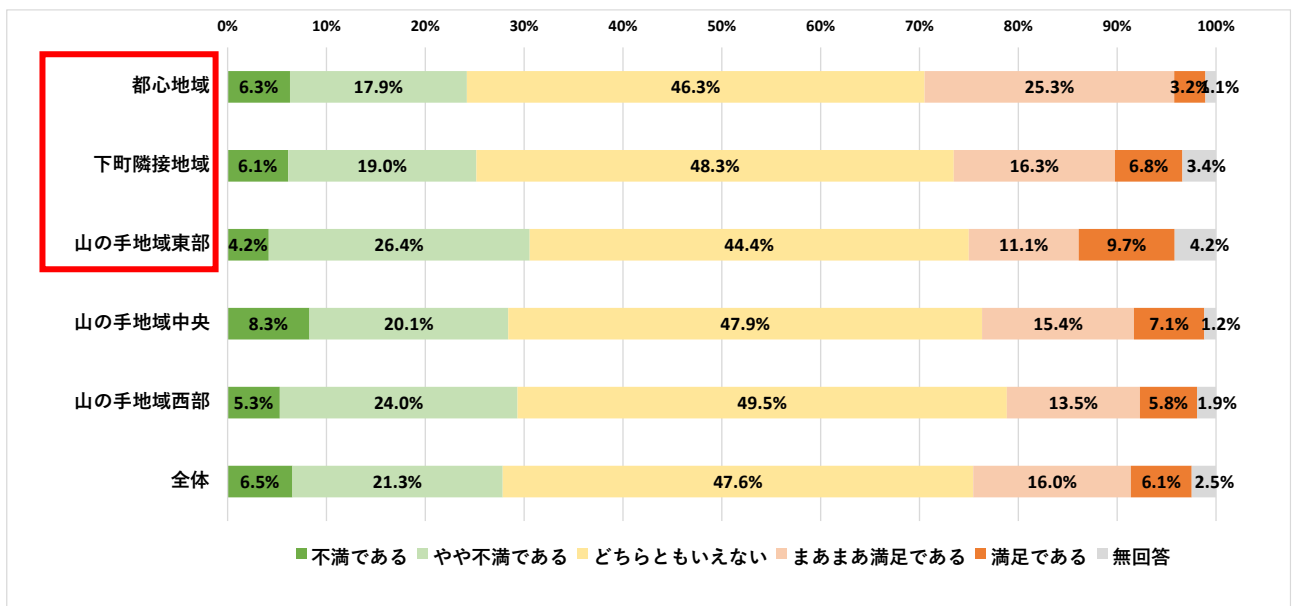
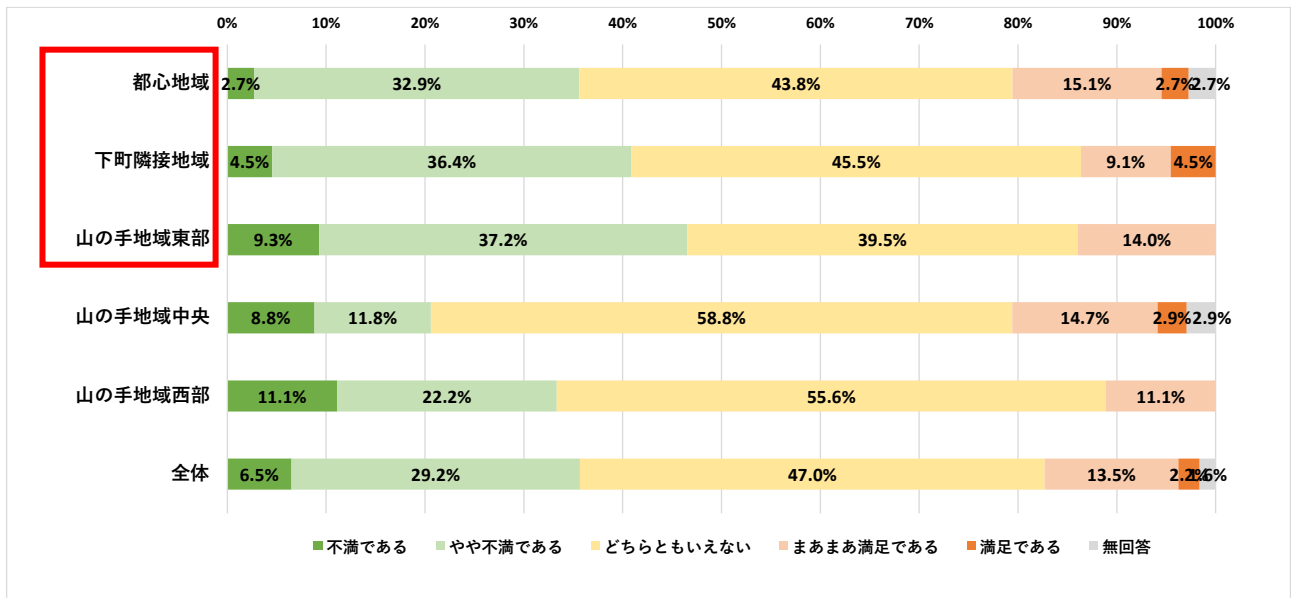
##### 【(1)-② 土地利用の誘導に関する取組・満足度 上段・事業者、下段・文京区民（再掲）】



【(2)-① 歩行・自転車利用の環境整備・満足度 上段・事業者、下段・文京区民（再掲）】



【(4)-② 賑わいのある商店街の形成・満足度 上段・事業者、下段・文京区民（再掲）】



## 7) - 2 業種別集計

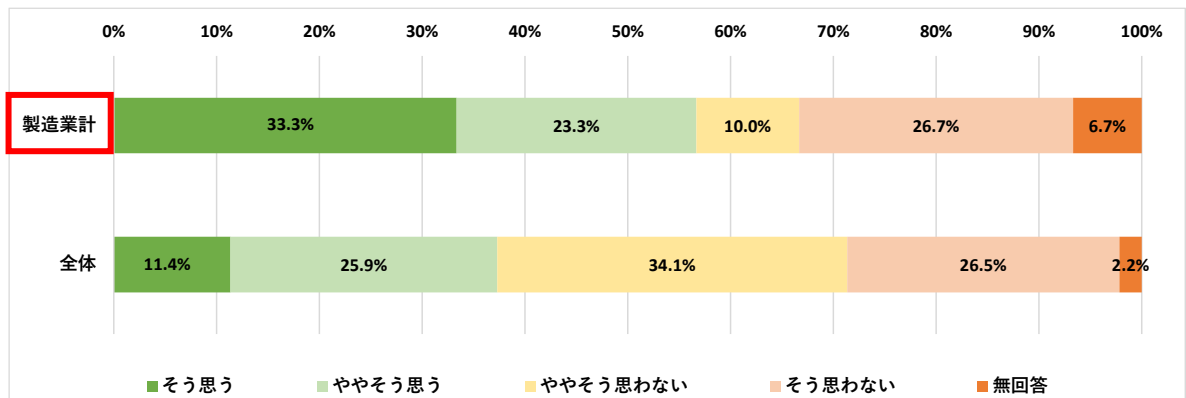
- ・問1・1（業種）の回答に基づくクロス集計を行った。
- ・回答した事業者のうち、操業における周辺環境との関連が特に深いとみられる製造業に携わる事業者について、問3「事業を営む上での現状・課題等について」及び問4「今後の事業の展開について」の集計を行った。
- ・具体的には、問1・1（業種）の回答において「製造業（印刷関連業）」または「製造業（その他）」と答えた回答（回答数 30）について集計し、全体の回答と比較を行った。

### ① 問3 文京区で事業を営む上での現状・課題等について

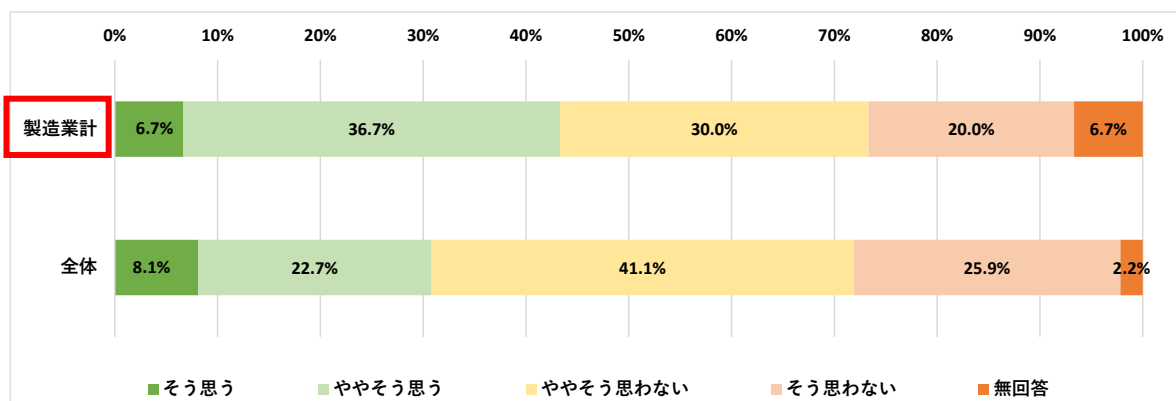
- ・「2 関連企業が集積している」について、製造業では「そう思う」「ややそう思う」の回答が全体に比べ約20ポイント高かった。
- ・「6 周辺に住宅が増えたため、住環境への影響に配慮が求められるようになり、事業がしづらくなっている」について、製造業では「そう思う」「ややそう思う」の回答が全体に比べ12.6ポイント高かった。
- ・「8 規制等により、思うように工場・事業所の操業ができない」について、製造業では「そう思う」「ややそう思う」の回答が全体に比べ8.4ポイント高かった。
- ・上記の通り操業のしにくさを回答する割合が全体より高い一方、「10 全体として事業活動がしやすい」に関して「そう思う」「ややそう思う」の回答は83.3%と高い割合となった。

### ■問3 文京区で事業を営む上での現状・課題等について（抜粋）

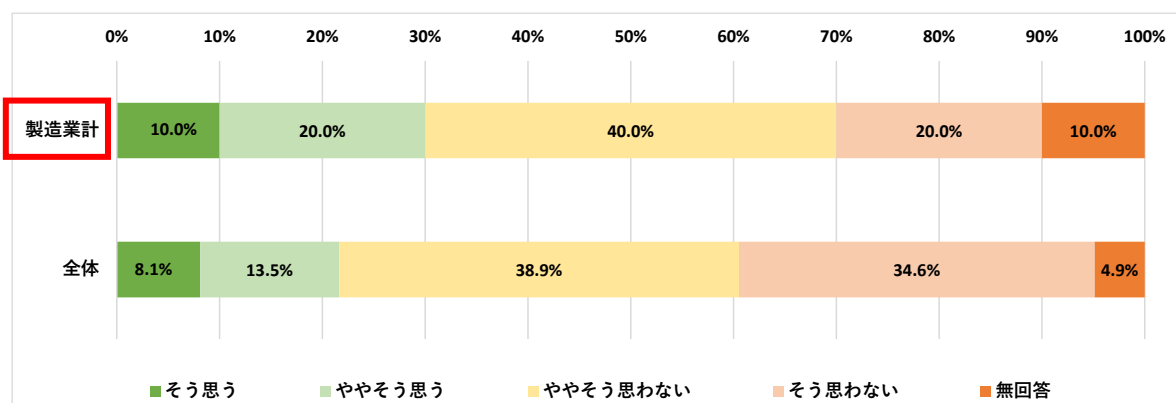
#### 【2 関連企業が集積している】



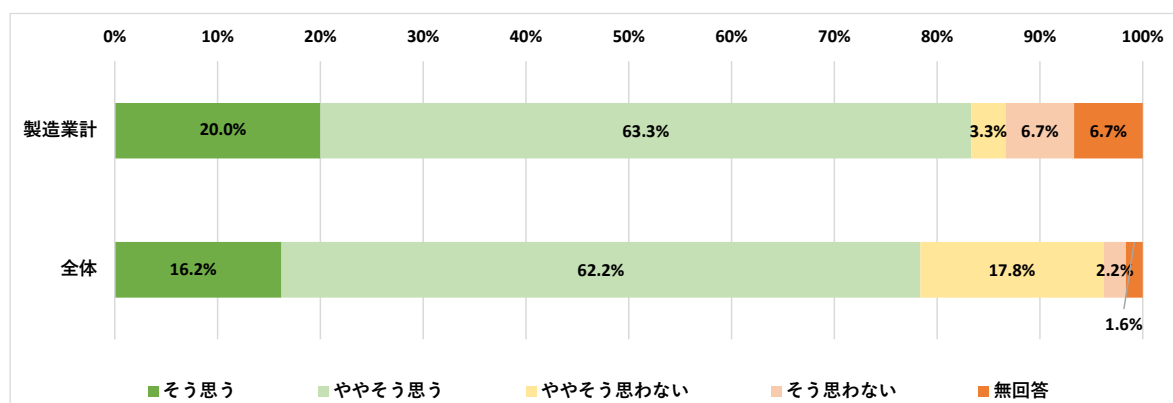
【6 周辺に住宅が増えたため、住環境への影響に配慮が求められるようになり、事業がしづらくなっている】



【8 規制等により、思うように工場・事業所の操業ができない】



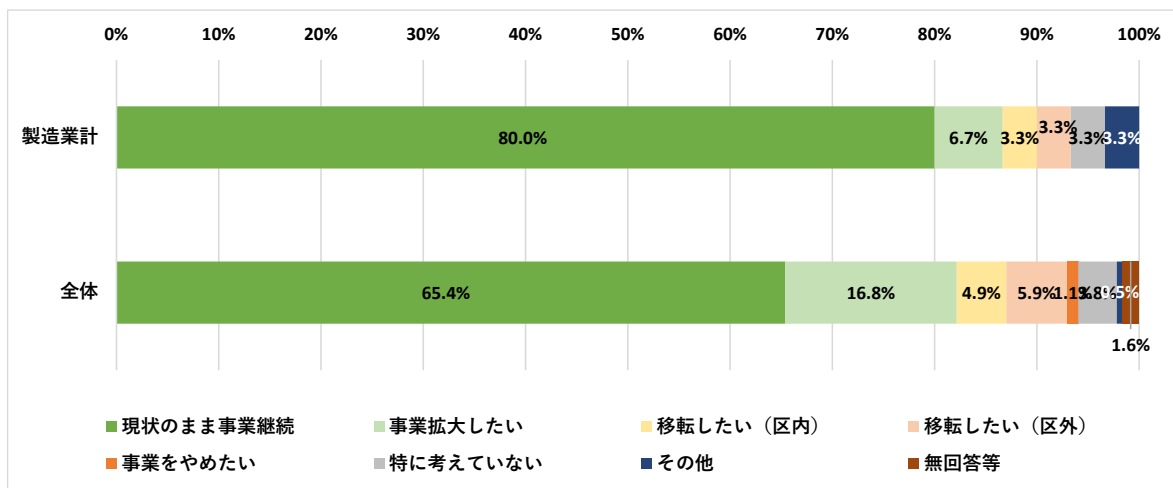
【10 全体として、事業活動がしやすい】



## ② 問4 今後の事業の展開について

- ・「現状のまま、事業を続けていきたい」との回答が、全体より約 15 ポイント高い 80%を占めた。

### ■問4 今後の事業の展開について



## 4 就業者アンケート

### (1) 企画

就業者アンケートを、以下の内容にて実施した。

#### 1) 目的

就業者の周辺環境評価、働く場としてのまちへの要望、企業としてまちづくりに参加する可能性を把握する。

#### 2) 対象・実施方法

調査の対象及び実施方法は下表のとおり。

##### ■対象及び実施方法

区分	内容	備考
対象	区内事業所の就業者	事業者アンケート対象の1社につき3名、3,000人を対象に実施
回答方法	1. 回答用紙による回答	6ページ（両面3枚）の左側を2か所ホッチキス止めしたものとする。 事業者アンケートに調査票3通同封し、事業所から就業者に手交により配布
	2. WEBによる回答	回答率を上げるため、WEBによる回答を取り入れた。また、アンケート依頼票のレイアウトをWEBによる回答を促すように工夫をする。なお、今回は同一のデバイスから複数回回答ができないように設定した。



### 3) 調査項目

調査項目は、下表のとおり。

区分		各問を問く意味／狙い
<b>1 回答者自身及び回答者の勤める事業所について</b>		
問1 問2	問1 回答者について <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢</li> <li>・居住地</li> <li>・通勤時の交通手段</li> <li>・通勤時利用駅</li> <li>・通勤時間</li> </ul> 問2 回答者の勤める事業所について <ul style="list-style-type: none"> <li>・業種</li> <li>・事業所の住所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問3以降の設問とクロス集計することにより、各属性別の回答の傾向を把握する。</li> <li>・特に事業所の住所に基づく地域ごとの集計は、<u>地域別方針</u>に反映できる。</li> <li>・特に通勤時の交通手段、通勤時利用駅、通勤時間については、<u>交通上の課題把握</u>に用いる。</li> <li>・なお業種の集計は、区統計による全体の傾向との相違がないかの確認にも用いる。</li> </ul>
<b>2 文京区のまちのことについて</b>		
問3	就業者の働く場としての周辺環境の評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通利便性</li> <li>・就業上の利便性</li> <li>・防災安全性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業者の立場からの都市環境への評価を把握することにより、都市マスタープラン見直しにあたっての<u>基礎的な知見</u>とする</li> <li>・評価から都市整備上の課題を抽出することで、<u>現行都市マスタープラン各施策項目の見直し</u>に用いる。</li> </ul>
問4	文京区の魅力について <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力の項目ごとのあてはまる度合い</li> <li>・特にあてはまらないものの理由</li> <li>・特に魅力が高まってほしいものの理由</li> <li>・ほかに文京区のまちの魅力として感じているもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行都市マスタープランのまちの魅力の項目ごとに、就業者がどの程度満足しているのか、今後どういった魅力を高めていってほしいと考えているのかを問う。</li> <li>・他の質問とのバランスをとるため選択肢は簡素化したが、各項目は区民意向調査と同一とし、<u>区民と就業者の意識の違いを比較</u>することで、<u>魅力の高めるための方策や方策の対象を検討</u>する上での参考とする。</li> <li>・さらに、<u>現行都市マスタープランのまちの魅力以外に文京区の魅力として感じているもの</u>を把握する。</li> <li>・以上により、<u>魅力の項目それに紐づく方針、記述内容の見直し</u>の材料とする。</li> </ul>
<b>4 文京区の今後のまちづくりについて</b>		
問5	文京区の今後のまちづくりにおいて特に重視してほしいもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業者の立場から見た、都市施策の重要度・優先度の大きさを把握し、<u>現行都市マスタープランの各施策項目の見直し</u>に用いる。</li> </ul>
問6 問7	従業員としてまちづくりに参加について <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のまちづくり活動参加の可能性</li> <li>・参加・協力の具体的内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業者のまちづくりの担い手としての可能性を把握することで、<u>施策の実施スキーム検討</u>に用いる。</li> </ul>

区分		各問を聞く意味／狙い
5 文京区の今後のまちづくりについてのご意見		
	文京区の今後のまちづくりに関するご意見（自由記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問項目以外に関するまちづくりへの意見を把握する。</li> <li>・ 特に重要であると考えられる項目については、改定時に今後力を入れるべき新しい項目として記載を検討する。</li> </ul>

## (2) 実施

就業者アンケートの実施概要は以下のとおり。

### ■実施概要

対象	区内就業者（事業者アンケート対象の1社につき3名、計3,000人）
実施日時	令和4年5月20日（金）～令和4年6月3日（金）（15日間） ※調査票を令和4年5月18日（水）に発送（事業者アンケート配布時に同封）
配布物	①～③を④に封入し、配布した。 ① 依頼票 ② 調査票 ③ 返信用封筒 ④ 送付用封筒

### (3) 回答概要

回収率は、10.9%であった。

#### ■回答概要

回答方法	郵送回収	WEB回答
回答数	238件 (3,000件の内7.9%)	89件 (3,000件の内3.0%)
	合計 327件 (回収率:10.9%)	

## (4) 集計結果

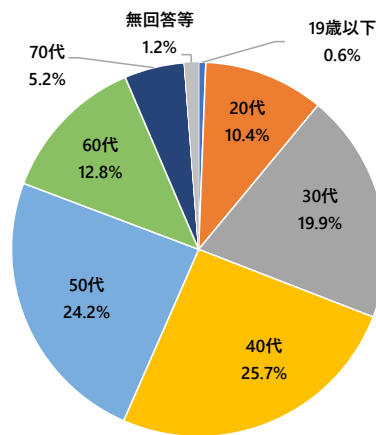
### 1) 問1 回答者及び回答者の勤める事業所について

#### ① 回答者の年齢

- ・概ね様々な年齢からの回答がまんべんなく寄せられた。

#### ■回答者の年齢

番号	選択肢	回答者数	割合
1	19歳以下	2	0.6%
2	20代	34	10.4%
3	30代	65	19.9%
4	40代	84	25.7%
5	50代	79	24.2%
6	60代	42	12.8%
7	70代	17	5.2%
8	80代以上	0	0.0%
99	無回答等	4	1.2%
合計		327	100.0%

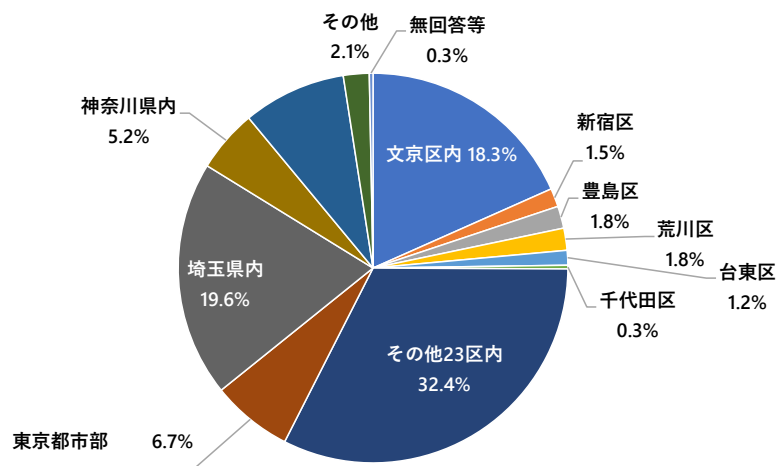


## ② 回答者の居住地

- ・文京区内が18.3%、文京区以外の23区内が合わせて39.1%に上った。
- ・文京区内の居住者のうちでは、山の手地域東部が約3割を占めた。

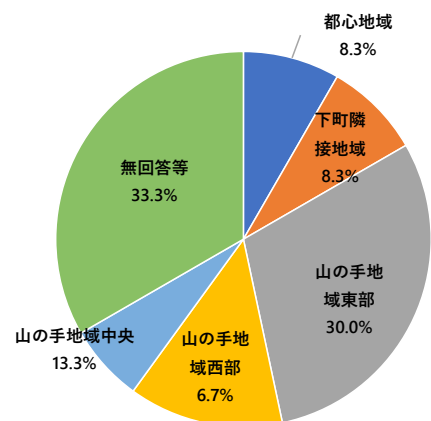
### ■回答者の居住地

番号	選択肢	回答者数	割合
1	文京区内	60	18.3%
2	新宿区	5	1.5%
3	豊島区	6	1.8%
4	荒川区	6	1.8%
5	台東区	4	1.2%
6	千代田区	1	0.3%
7	その他23区内	106	32.4%
8	東京都市部	22	6.7%
9	埼玉県内	64	19.6%
10	神奈川県内	17	5.2%
11	千葉県内	28	8.6%
12	その他	7	2.1%
99	無回答等	1	0.3%
合計		327	100.0%



### ■回答者の居住地（文京区内の方の居住地域）

番号	選択肢	回答者数	割合
1	都心地域	5	8.3%
2	下町隣接地域	5	8.3%
3	山の手地域東部	18	30.0%
4	山の手地域中央	8	13.3%
5	山の手地域西部	4	6.7%
99	無回答等	20	33.3%
合計		60	100.0%

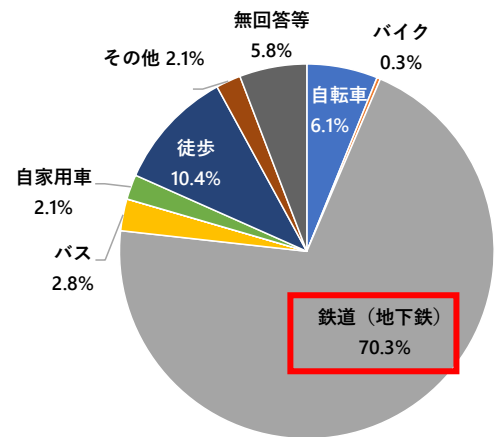


### ③ 回答者の通勤時の交通手段

- ・鉄道による通勤が約7割を占めた。

#### ■回答者の通勤時の交通手段

番号	選択肢	回答者数	割合
1	自転車	20	6.1%
2	バイク	1	0.3%
3	鉄道（地下鉄）	230	70.3%
4	バス	9	2.8%
5	タクシー	0	0.0%
6	自家用車	7	2.1%
7	徒歩	34	10.4%
8	その他	7	2.1%
99	無回答等	19	5.8%
	合計	327	100.0%

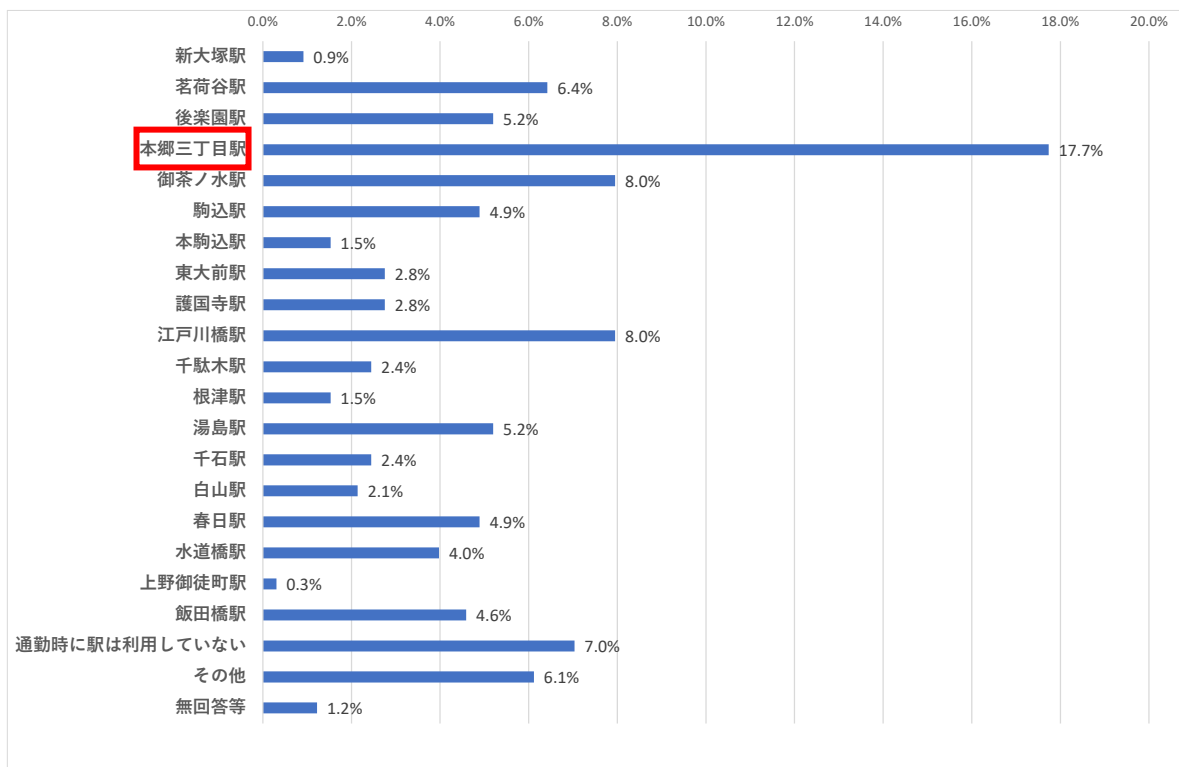
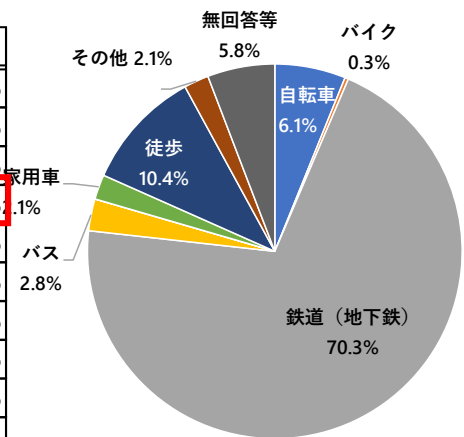


#### ④ 通勤時の事業所最寄り駅

- ・本郷三丁目駅を事業所最寄り駅とする回答が最も多かった。

#### ■通勤時の事業所最寄り駅

番号	選択肢	回答者数	割合
1	新大塚駅	3	0.9%
2	茗荷谷駅	21	6.4%
3	後楽園駅	17	5.2%
4	本郷三丁目駅	58	17.7%
5	御茶ノ水駅	26	8.0%
6	駒込駅	16	4.9%
7	本駒込駅	5	1.5%
8	東大前駅	9	2.8%
9	護国寺駅	9	2.8%
10	江戸川橋駅	26	8.0%
11	千駄木駅	8	2.4%
12	根津駅	5	1.5%
13	湯島駅	17	5.2%
14	千石駅	8	2.4%
15	白山駅	7	2.1%
16	春日駅	16	4.9%
17	水道橋駅	13	4.0%
18	上野御徒町駅	1	0.3%
19	飯田橋駅	15	4.6%
20	通勤時に駅は利用していない	23	7.0%
21	その他	20	6.1%
99	無回答等	4	1.2%
合計		327	100.0%



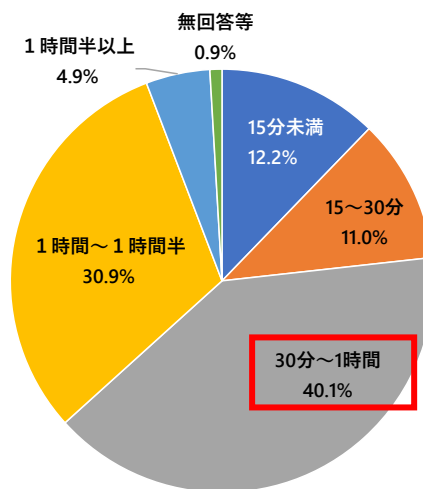


## ⑤ 通勤時間

- ・ 30分～1時間とする回答が約40%と最も多かった。

### ■通勤時間

番号	選択肢	回答者数	割合
1	15分未満	40	12.2%
2	15～30分	36	11.0%
3	30分～1時間	131	40.1%
4	1時間～1時間半	101	30.9%
5	1時間半以上	16	4.9%
99	無回答等	3	0.9%
合計		327	100.0%

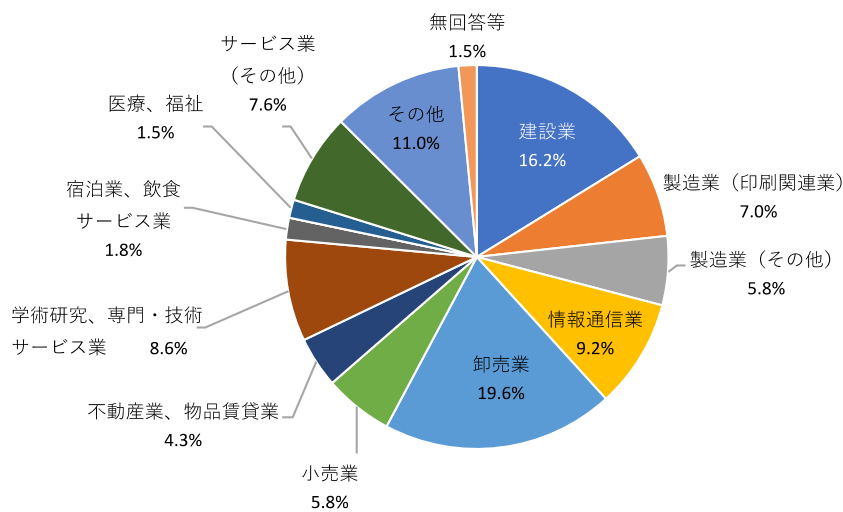


## ⑥ 回答者の勤務先の業種

・「卸売業」が最も多く、回答者全体の19.6%を占めた。

### ■回答者の勤務先の業種

番号	選択肢	回答者数	割合
1	建設業	53	16.2%
2	製造業（印刷関連業）	23	7.0%
3	製造業（その他）	19	5.8%
4	情報通信業	30	9.2%
5	卸売業	64	19.6%
6	小売業	19	5.8%
7	不動産業、物品賃貸業	14	4.3%
8	学術研究、専門・技術サービス業	28	8.6%
9	宿泊業、飲食サービス業	6	1.8%
10	生活関連サービス業、娯楽業	0	0.0%
11	医療、福祉	5	1.5%
12	サービス業（その他）	25	7.6%
13	その他	36	11.0%
99	無回答等	5	1.5%
合計		327	100.0%

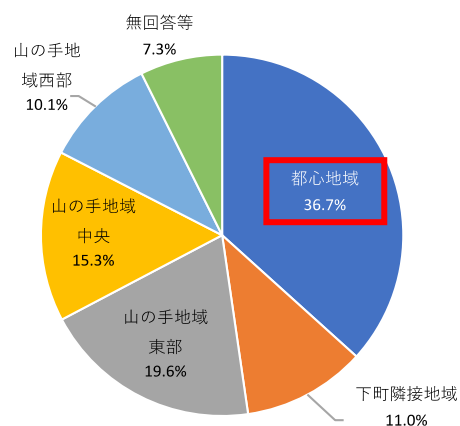


### ⑦ 回答者の勤務先の住所

・事業者アンケートと同様、都心地域が最も多かった。

#### ■回答者の勤務先の住所

番号	選択肢	回答者数	割合
1	都心地域	120	36.7%
2	下町隣接地域	36	11.0%
3	山の手地域東部	64	19.6%
4	山の手地域中央	50	15.3%
5	山の手地域西部	33	10.1%
99	無回答等	24	7.3%
合計		327	100.0%

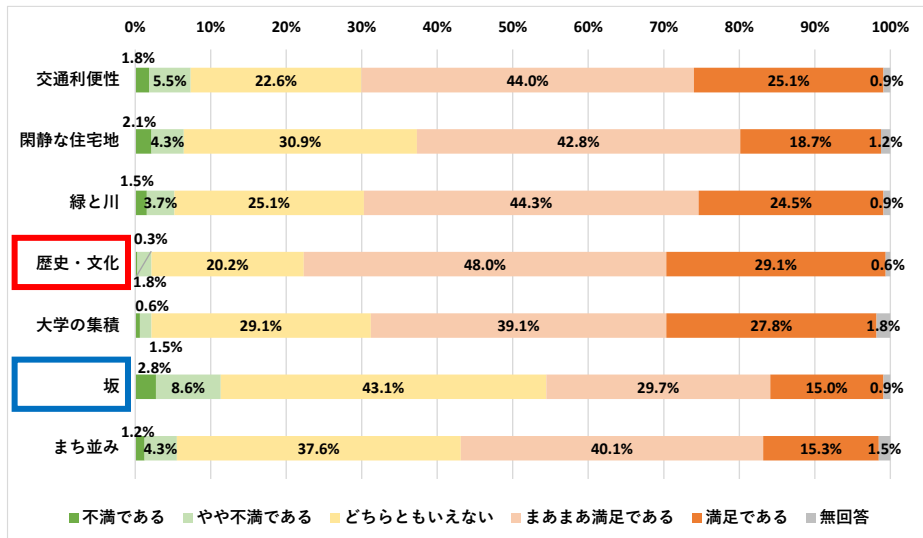


## 2) 問2 区の魅力に関する満足度・期待度

### ① 区の魅力の各項目に対する満足度

- ・「歴史・文化」の満足度が最も高い結果となった。
- ・不満度の特に高い項目はないが、「坂」のみ「不満である」「やや不満である」の合計が10%をこえている。

#### ■区の魅力の各項目に対する満足度

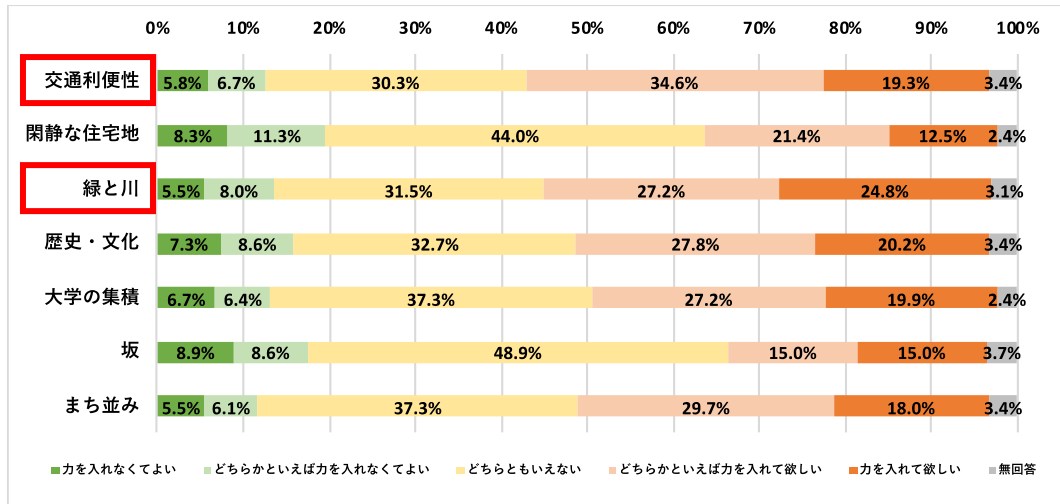


区の魅力の項目	満足度						合計	プラス評価
	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあまあ満足である	満足である	無回答		
交通利便性	6	18	74	144	82	3	327	
	1.8%	5.5%	22.6%	44.0%	25.1%	0.9%	100.0%	69.1%
閑静な住宅地	7	14	101	140	61	4	327	
	2.1%	4.3%	30.9%	42.8%	18.7%	1.2%	100.0%	61.5%
緑と川	5	12	82	145	80	3	327	
	1.5%	3.7%	25.1%	44.3%	24.5%	0.9%	100.0%	68.8%
歴史・文化	1	6	66	157	95	2	327	
	0.3%	1.8%	20.2%	48.0%	29.1%	0.6%	100.0%	77.1%
大学の集積	2	5	95	128	91	6	327	
	0.6%	1.5%	29.1%	39.1%	27.8%	1.8%	100.0%	67.0%
坂	9	28	141	97	49	3	327	
	2.8%	8.6%	43.1%	29.7%	15.0%	0.9%	100.0%	44.6%
まち並み	4	14	123	131	50	5	327	
	1.2%	4.3%	37.6%	40.1%	15.3%	1.5%	100.0%	55.4%

## ② 区の魅力の各項目に対する期待度

- ・「交通利便性」「緑と川」について期待度が特に高い。
- ・区民意識調査と比べ、全体としては期待度が低い。とくに、「閑静な住宅地」のプラス評価（①に同じ、33.9%）は、区民意識調査（67.5%）に比べ30ポイント以上低い。

### ■区の魅力の各項目に対する期待度



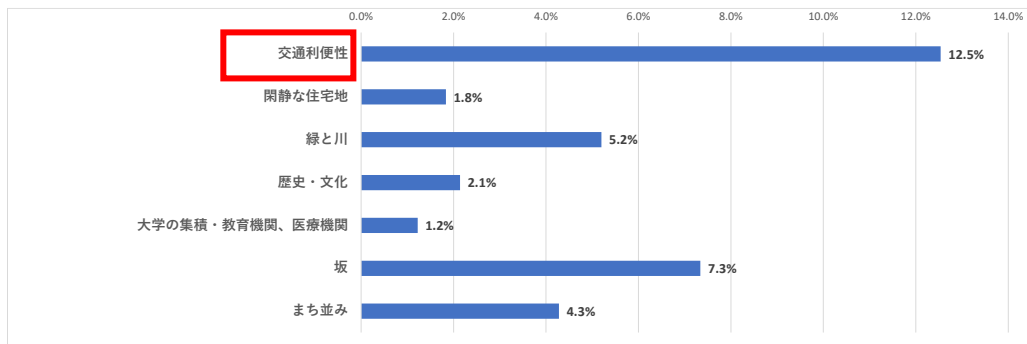
区の魅力の項目	期待度					無回答	合計	プラス評価
	力を入れなくてよい	どちらかといえば力を入れなくてよい	どちらともいえない	どちらかといえば力を入れて欲しい	力を入れて欲しい			
交通利便性	19	22	99	113	63	11	327	53.8%
閑静な住宅地	27	37	144	70	41	8	327	33.9%
緑と川	18	26	103	89	81	10	327	52.0%
歴史・文化	24	28	107	91	66	11	327	48.0%
大学の集積	22	21	122	89	65	8	327	47.1%
坂	29	28	160	49	49	12	327	30.0%
まち並み	18	20	122	97	59	11	327	47.7%

③ 特に不満を感じる項目（区の魅力7項目で特に不満を感じる項目があれば番号で記載）

・未回答が多いが、回答の中では「交通利便性」への不満度が特に高い。

■特に不満を感じる項目

番号	選択肢	回答者数	割合
1	交通利便性	41	12.5%
2	閑静な住宅地	6	1.8%
3	緑と川	17	5.2%
4	歴史・文化	7	2.1%
5	大学の集積・教育機関、医療機関	4	1.2%
6	坂	24	7.3%
7	まち並み	14	4.3%
99	無回答等	214	65.4%
合計		327	100.0%

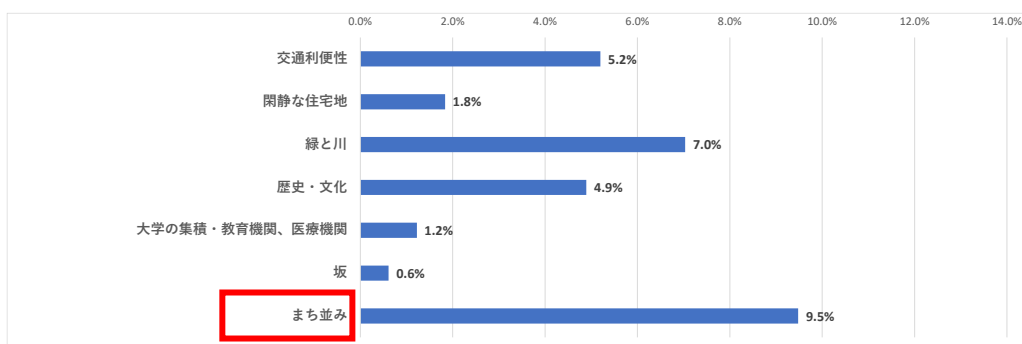


④ 特に力を入れてほしい項目（区の魅力7項目で特に力を入れてほしい項目があれば番号で記載）

・未回答が7割にのぼるが、回答の中では「まち並み」への期待度が高い。

■特に力を入れてほしい項目

番号	選択肢	回答者数	割合
1	交通利便性	17	5.2%
2	閑静な住宅地	6	1.8%
3	緑と川	23	7.0%
4	歴史・文化	16	4.9%
5	大学の集積・教育機関、医療機関	4	1.2%
6	坂	2	0.6%
7	まち並み	31	9.5%
99	無回答等	228	69.7%
合計		327	100.0%



⑤ その他、文京区のまちの魅力と感じていること（記述）

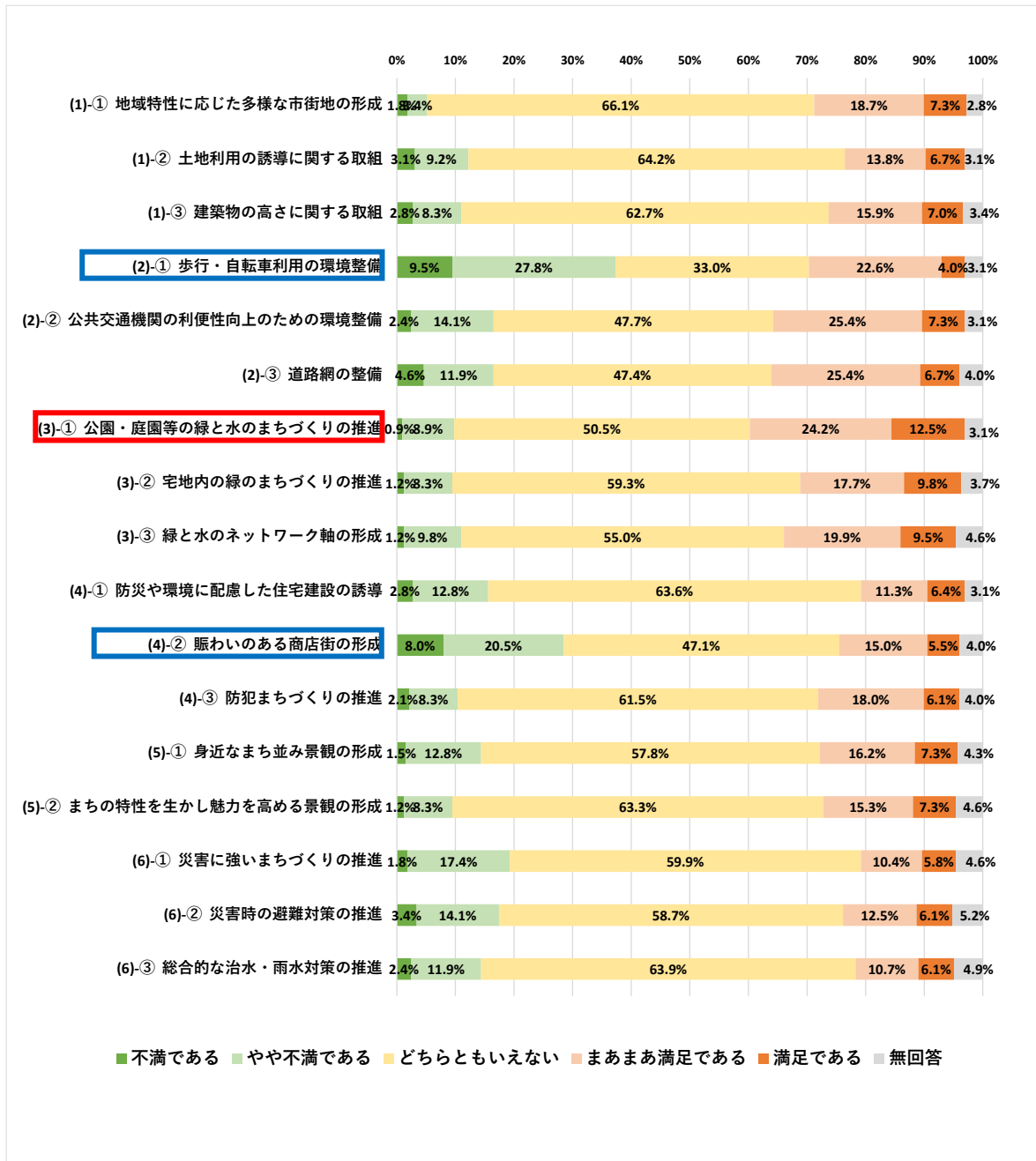
・区の魅力7項目以外の魅力として、「治安の良さ」「まちが落ち着いている」を挙げる回答が複数見られた。

### 3) 問3 区の実施に関する満足度・期待度

#### ① 区の実施の各項目に対する満足度

- ・「(3) -①公園・庭園等の緑と～」の満足度が高く、「(2) -①歩行・自転車利用の～」 「(4) -②」賑わいある商店街の～」の満足度が低い。
- ・区民意識調査と比べ、おおむね同様の傾向であった。

#### ■ 区の実施の各項目に対する満足度





区の取組の項目	満足度							
	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあまあ満足である	満足である	無回答	合計	プラス評価
(1)-① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	6 1.8%	11 3.4%	216 66.1%	61 18.7%	24 7.3%	9 2.8%	327 100.0%	26.0%
(1)-② 土地利用の誘導に関する取組	10 3.1%	30 9.2%	210 64.2%	45 13.8%	22 6.7%	10 3.1%	327 100.0%	20.5%
(1)-③ 建築物の高さに関する取組	9 2.8%	27 8.3%	205 62.7%	52 15.9%	23 7.0%	11 3.4%	327 100.0%	22.9%
(2)-① 歩行・自転車利用の環境整備	31 9.5%	91 27.8%	108 33.0%	74 22.6%	13 4.0%	10 3.1%	327 100.0%	26.6%
(2)-② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	8 2.4%	46 14.1%	156 47.7%	83 25.4%	24 7.3%	10 3.1%	327 100.0%	32.7%
(2)-③ 道路網の整備	15 4.6%	39 11.9%	155 47.4%	83 25.4%	22 6.7%	13 4.0%	327 100.0%	32.1%
(3)-① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	3 0.9%	29 8.9%	165 50.5%	79 24.2%	41 12.5%	10 3.1%	327 100.0%	36.7%
(3)-② 宅地内の緑のまちづくりの推進	4 1.2%	27 8.3%	194 59.3%	58 17.7%	32 9.8%	12 3.7%	327 100.0%	27.5%
(3)-③ 緑と水のネットワーク軸の形成	4 1.2%	32 9.8%	180 55.0%	65 19.9%	31 9.5%	15 4.6%	327 100.0%	29.4%
(4)-① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	9 2.8%	42 12.8%	208 63.6%	37 11.3%	21 6.4%	10 3.1%	327 100.0%	17.7%
(4)-② 賑わいのある商店街の形成	26 8.0%	67 20.5%	154 47.1%	49 15.0%	18 5.5%	13 4.0%	327 100.0%	20.5%
(4)-③ 防犯まちづくりの推進	7 2.1%	27 8.3%	201 61.5%	59 18.0%	20 6.1%	13 4.0%	327 100.0%	24.2%
(5)-① 身近なまち並み景観の形成	5 1.5%	42 12.8%	189 57.8%	53 16.2%	24 7.3%	14 4.3%	327 100.0%	23.5%
(5)-② まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	4 1.2%	27 8.3%	207 63.3%	50 15.3%	24 7.3%	15 4.6%	327 100.0%	22.6%
(6)-① 災害に強いまちづくりの推進	6 1.8%	57 17.4%	196 59.9%	34 10.4%	19 5.8%	15 4.6%	327 100.0%	16.2%
(6)-② 災害時の避難対策の推進	11 3.4%	46 14.1%	192 58.7%	41 12.5%	20 6.1%	17 5.2%	327 100.0%	18.7%
(6)-③ 総合的な治水・雨水対策の推進	8 2.4%	39 11.9%	209 63.9%	35 10.7%	20 6.1%	16 4.9%	327 100.0%	16.8%

## ② 区の実施の各項目に対する期待度

- ・「(2) -①歩行・自転車利用の～」及び「(6) -①「災害に強い～」など防災関連の実施に対する期待度が特に高かった。
- ・区民意識調査／事業者アンケートと比べ、おおむね同様の傾向であった。

### ■ 区の実施の各項目に対する期待度



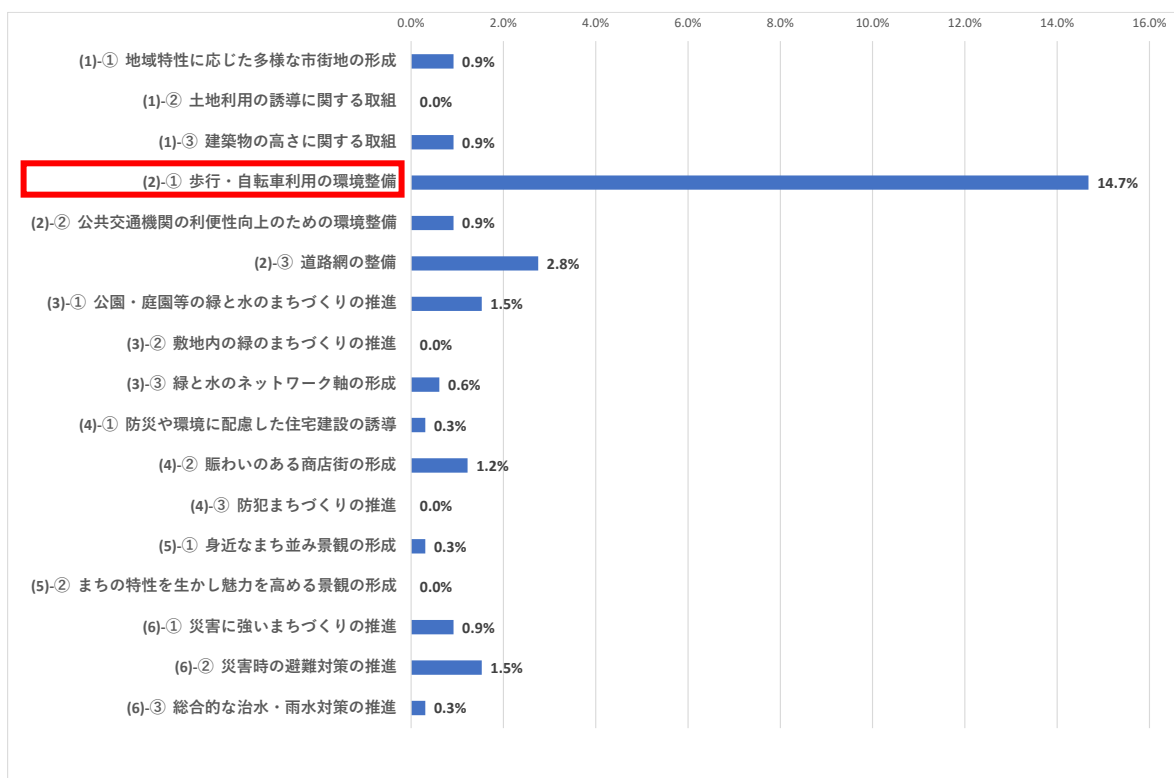
区の取組の項目	期待度							プラス評価
	力を入れて なくてよい	どちらか いば力を入 れなくて よい	どちらとも いえない	どちらか いば力を入 れて欲しい	力を入れて 欲しい	無回答	合計	
(1)-① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	11 3.4%	15 4.6%	171 52.3%	74 22.6%	42 12.8%	14 4.3%	327 100.0%	35.5%
(1)-② 土地利用の誘導に関する取組	16 4.9%	27 8.3%	155 47.4%	74 22.6%	39 11.9%	16 4.9%	327 100.0%	34.6%
(1)-③ 建築物の高さに関する取組	18 5.5%	14 4.3%	154 47.1%	83 25.4%	42 12.8%	16 4.9%	327 100.0%	38.2%
(2)-① 歩行・自転車利用の環境整備	9 2.8%	15 4.6%	70 21.4%	111 33.9%	108 33.0%	14 4.3%	327 100.0%	67.0%
(2)-② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	7 2.1%	16 4.9%	93 28.4%	109 33.3%	84 25.7%	18 5.5%	327 100.0%	59.0%
(2)-③ 道路網の整備	9 2.8%	18 5.5%	105 32.1%	100 30.6%	79 24.2%	16 4.9%	327 100.0%	54.7%
(3)-① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	11 3.4%	10 3.1%	114 34.9%	95 29.1%	82 25.1%	15 4.6%	327 100.0%	54.1%
(3)-② 宅地内の緑のまちづくりの推進	8 2.4%	16 4.9%	123 37.6%	86 26.3%	76 23.2%	18 5.5%	327 100.0%	49.5%
(3)-③ 緑と水のネットワーク軸の形成	9 2.8%	14 4.3%	121 37.0%	93 28.4%	77 23.5%	13 4.0%	327 100.0%	52.0%
(4)-① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	11 3.4%	12 3.7%	106 32.4%	90 27.5%	92 28.1%	16 4.9%	327 100.0%	55.7%
(4)-② 賑わいのある商店街の形成	9 2.8%	17 5.2%	92 28.1%	93 28.4%	99 30.3%	17 5.2%	327 100.0%	58.7%
(4)-③ 防犯まちづくりの推進	9 2.8%	10 3.1%	92 28.1%	89 27.2%	112 34.3%	15 4.6%	327 100.0%	61.5%
(5)-① 身近なまち並み景観の形成	10 3.1%	11 3.4%	120 36.7%	95 29.1%	73 22.3%	18 5.5%	327 100.0%	51.4%
(5)-② まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	10 3.1%	13 4.0%	128 39.1%	87 26.6%	66 20.2%	23 7.0%	327 100.0%	46.8%
(6)-① 災害に強いまちづくりの推進	5 1.5%	10 3.1%	76 23.2%	106 32.4%	110 33.6%	20 6.1%	327 100.0%	66.1%
(6)-② 災害時の避難対策の推進	5 1.5%	6 1.8%	83 25.4%	92 28.1%	120 36.7%	21 6.4%	327 100.0%	64.8%
(6)-③ 総合的な治水・雨水対策の推進	6 1.8%	6 1.8%	91 27.8%	98 30.0%	108 33.0%	18 5.5%	327 100.0%	63.0%

③ 特に不満を感じる取組（区が取組 17 項目で特に不満を感じる項目があれば番号で記載）

- ・「(2) -①歩行・自転車利用の環境整備」に対する不満が特に高かった。
- ・記述意見としては、自転車レーンに関するもの（狭い、路上駐車により利用できない 等）、自転車の運転マナーに関するもの（歩道を走行する 等）が多く見られた。

■特に不満を感じる取組

番号	選択肢	回答者数	割合
1-1	地域特性に応じた多様な市街地の形成	3	0.9%
1-2	土地利用の誘導に関する取組	0	0.0%
1-3	建築物の高さに関する取組	3	0.9%
2-1	歩行・自転車利用の環境整備	48	14.7%
2-2	公共交通機関の利便性向上のための環境整備	3	0.9%
2-3	道路網の整備	9	2.8%
3-1	公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	5	1.5%
3-2	敷地内の緑のまちづくりの推進	0	0.0%
3-3	緑と水のネットワーク軸の形成	2	0.6%
4-1	防災や環境に配慮した建設の誘導	1	0.3%
4-2	賑わいのある商店街の形成	4	1.2%
4-3	防犯まちづくりの推進	0	0.0%
5-1	身近なまち並み景観の形成	1	0.3%
5-2	まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	0	0.0%
6-1	災害に強いまちづくりの推進	3	0.9%
6-2	災害時の避難対策の推進	5	1.5%
6-3	総合的な治水・雨水対策の推進	1	0.3%
99	無回答等	239	73.1%
合計		327	100.0%

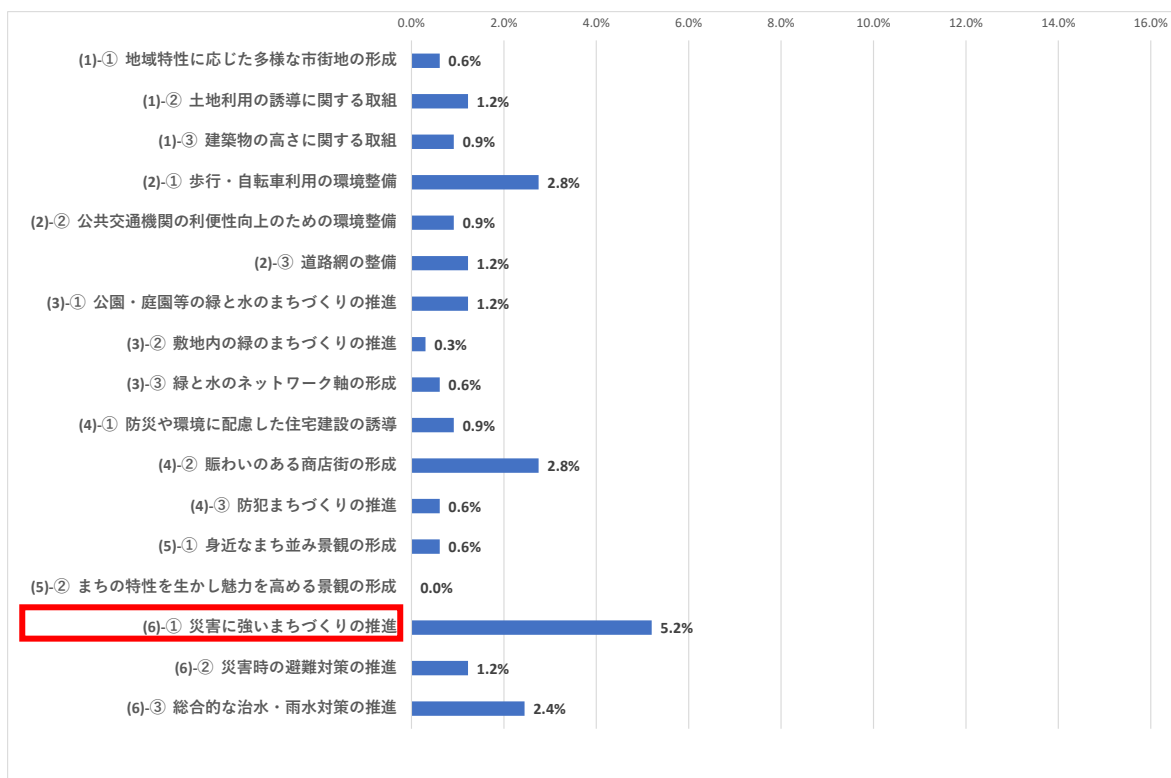


④ 特に力を入れてほしい取組（区が取組 17 項目で特に力を入れてほしい項目があれば番号で記載）

・約4分の3が未回答だが、「(6) -①「災害に強いまちづくりの推進」の回答が最も多かった。

■特に力を入れてほしい取組

番号	選択肢	回答者数	割合
1-1	地域特性に応じた多様な市街地の形成	2	0.6%
1-2	土地利用の誘導に関する取組	4	1.2%
1-3	建築物の高さに関する取組	3	0.9%
2-1	歩行・自転車利用の環境整備	9	2.8%
2-2	公共交通機関の利便性向上のための環境整備	3	0.9%
2-3	道路網の整備	4	1.2%
3-1	公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	4	1.2%
3-2	敷地内の緑のまちづくりの推進	1	0.3%
3-3	緑と水のネットワーク軸の形成	2	0.6%
4-1	防災や環境に配慮した建設の誘導	3	0.9%
4-2	賑わいのある商店街の形成	9	2.8%
4-3	防犯まちづくりの推進	2	0.6%
5-1	身近なまち並み景観の形成	2	0.6%
5-2	まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	0	0.0%
6-1	災害に強いまちづくりの推進	17	5.2%
6-2	災害時の避難対策の推進	4	1.2%
6-3	総合的な治水・雨水対策の推進	8	2.4%
99	無回答等	250	76.5%
合計		327	100.0%



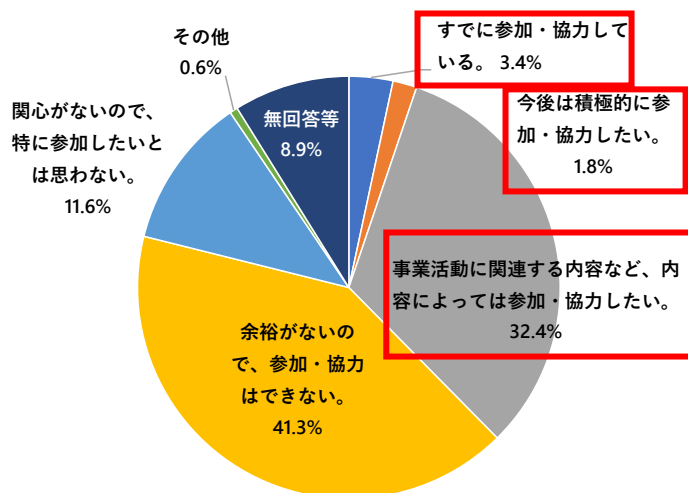
#### 4) 問4 文京区へのまちづくりに関する活動への参加・協力について

##### ① 参加・協力への意向

・「内容によっては参加・協力したい」とする回答が 32.4%など、参加・協りに積極的な回答が約4割に上った。

##### ■参加・協力への意向

番号	選択肢	回答者数	割合
1	すでに参加・協力している。	11	3.4%
2	今後は積極的に参加・協力したい。	6	1.8%
3	事業活動に関連する内容など、内容によっては参加・協力したい。	106	32.4%
4	余裕がないので、参加・協力はできない。	135	41.3%
5	関心がないので、特に参加したいとは思わない。	38	11.6%
6	その他	2	0.6%
99	無回答等	29	8.9%
合計		327	100.0%

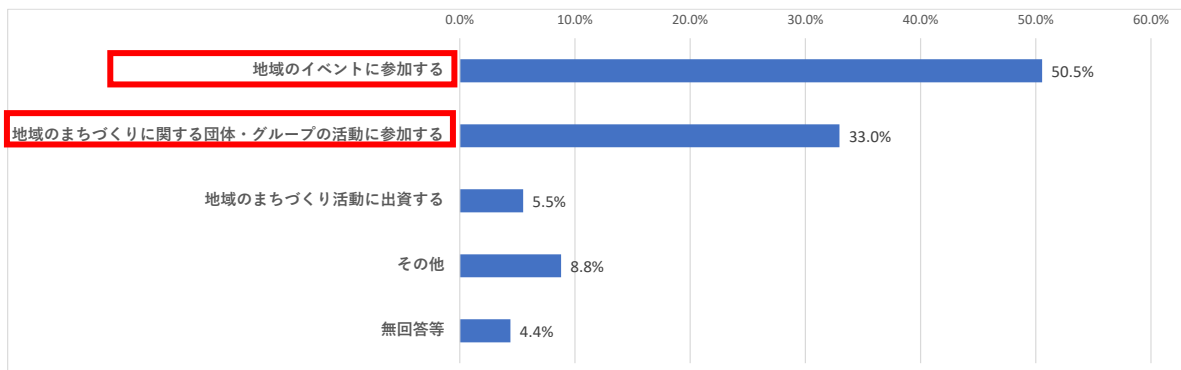


## ② 参加・協力の内容（①で1～3を答えた方）

- ・前問で参加に積極的な回答をした方のうち、約半数が内容として「地域のイベントに参加する」、約3割が「地域のまちづくりに関する団体・グループの活動に参加する」と回答した。
- ・なお、Web 回答では設定の不備により有効な回答が得られなかったため、郵送回答のみの集計を行った。

### ■参加・協力の内容 ※郵送回答のみ・複数回答

番号	選択肢	回答者数	割合
1	地域のイベントに参加する	46	50.5%
2	地域のまちづくりに関する団体・グループの活動に参加する	30	33.0%
3	地域のまちづくり活動に出資する	5	5.5%
4	その他	8	8.8%
99	無回答等	4	4.4%
合計		91	100.0%



## 5) クロス集計

就業者アンケートについては、就業者の居住地別集計を行った。

- ・問1 (1) 2 「就業者の居住地」の回答を基に、「文京区外かつ23区内」「23区外」ごとの集計を行った。
- ・クロス集計は、問2「区の魅力に関する満足度・期待度」、問3「区の実施に対する満足度・期待度」について行い、同内容の質問に対する区民意識調査結果と比較した。

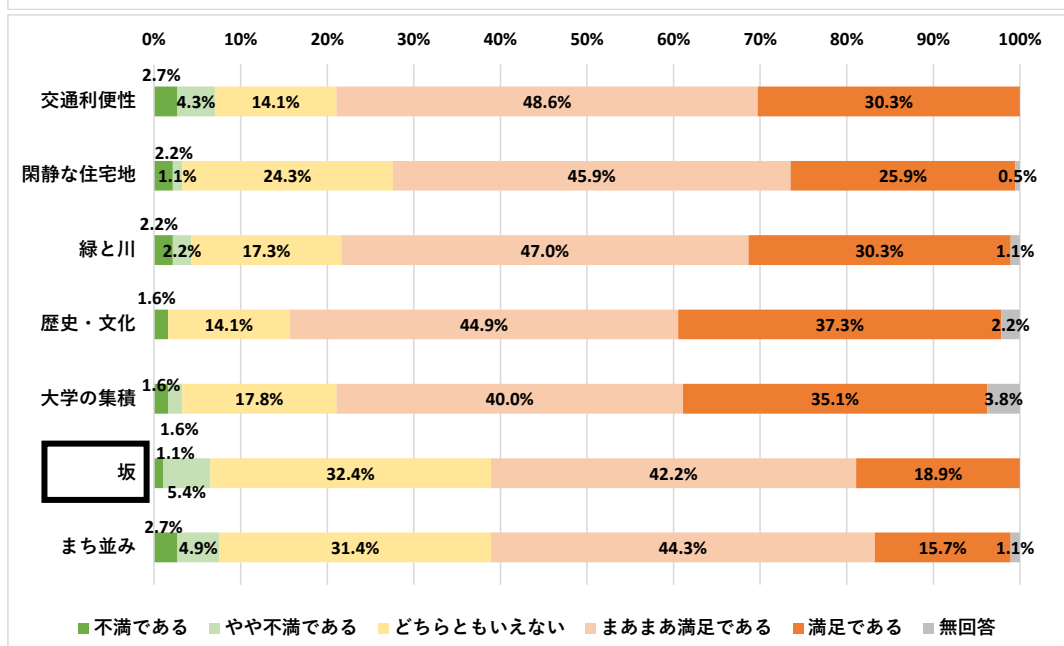
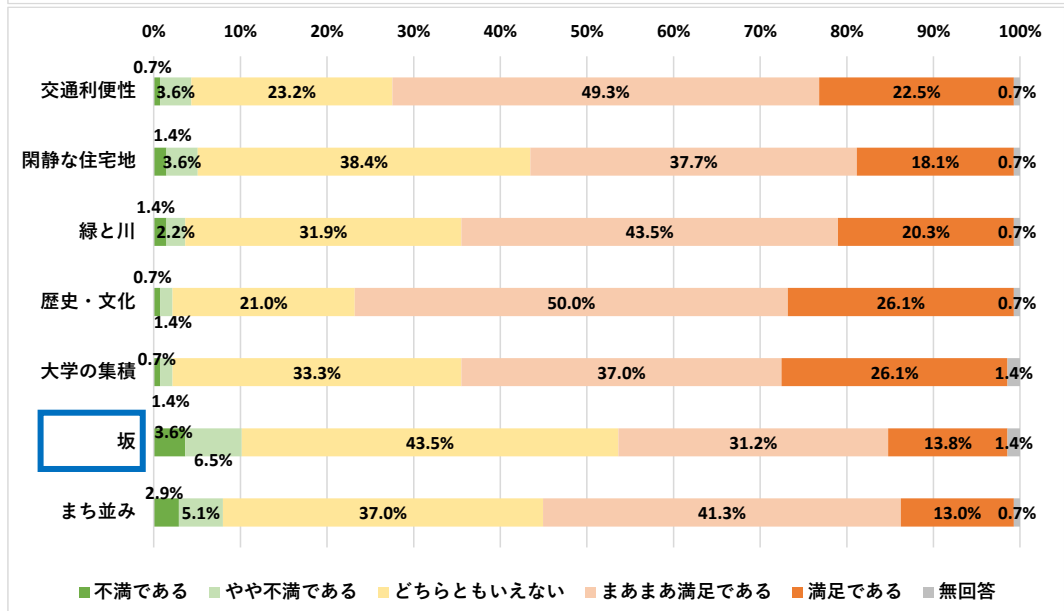
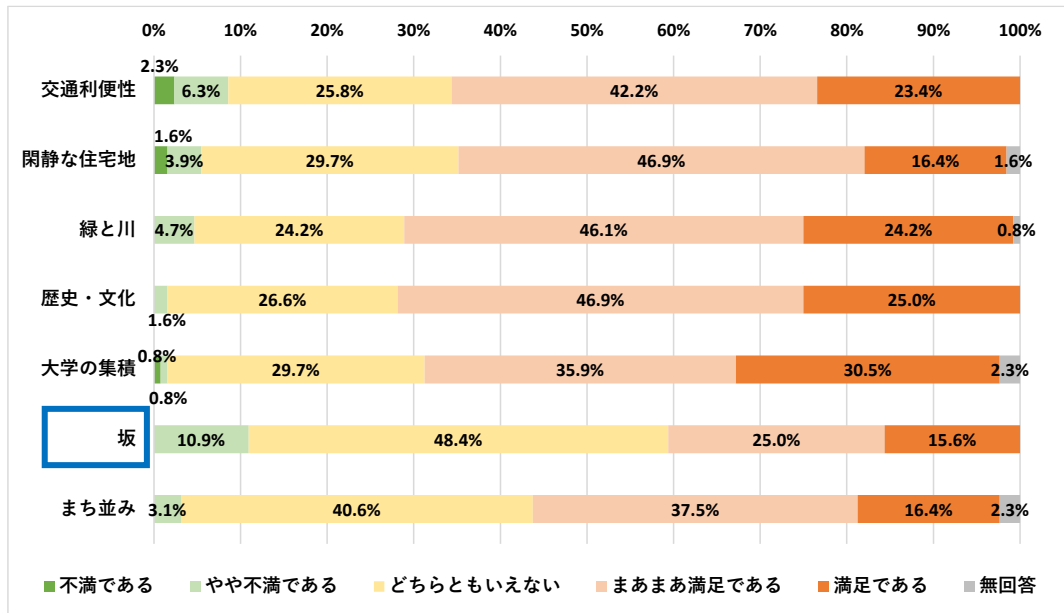


### ① 問2 区の魅力に関する満足度・期待度

- ・「坂」について、文京区外在住者は23区内外を問わず、満足度・期待度とも文京区民による回答より10~20ポイント低い傾向が見られた。
- ・「閑静な住宅地」について、文京区外在住者は23区内外を問わず、期待度が文京区民による回答より約15ポイント低い傾向が見られた。
- ・その他の項目については、文京区外在住者は23区内外を問わず、満足度・期待度とも文京区民による回答より若干低い傾向があるが、属性による大きな差は見られなかった。

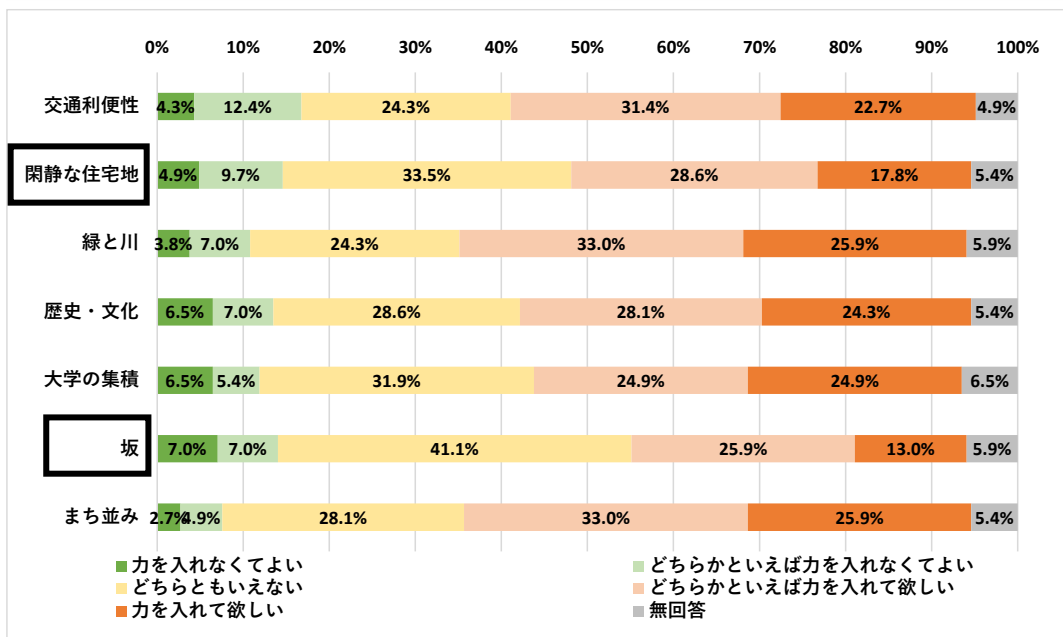
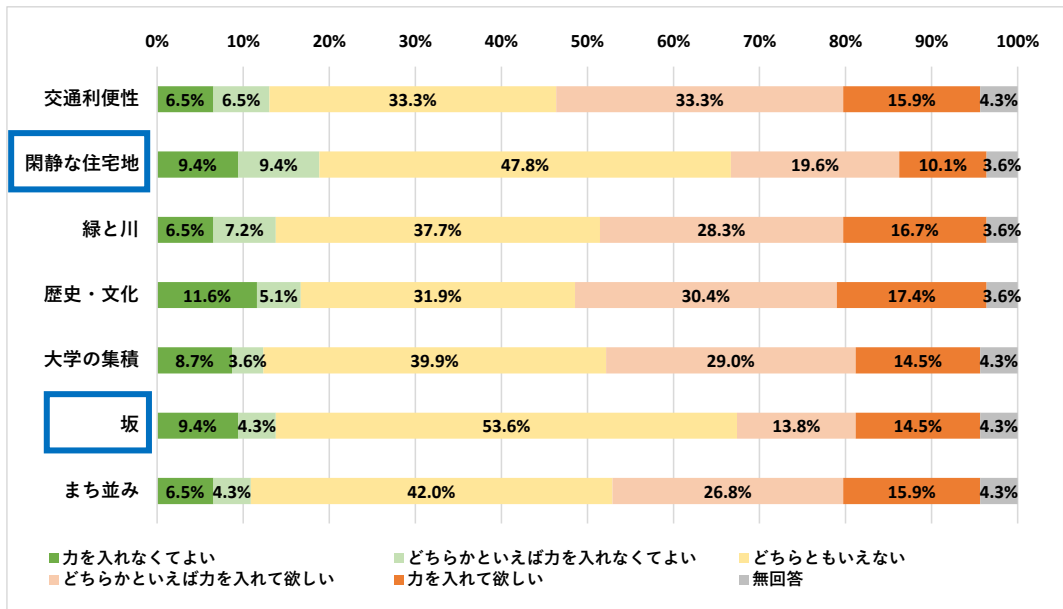
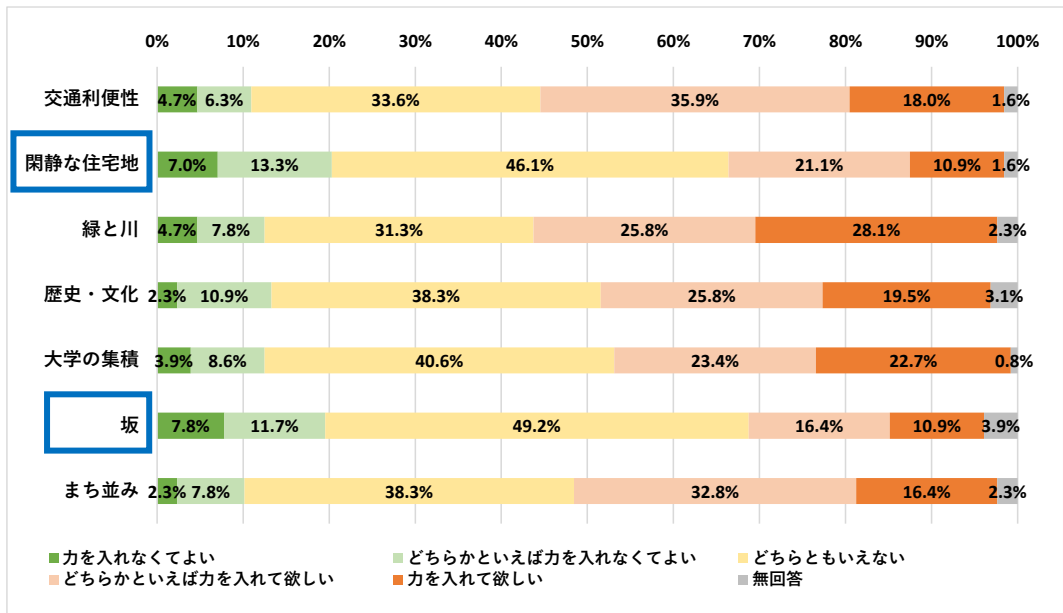
■問2 区の魅力に関する満足度

上段・文京区外かつ23区内、中段・23区外、下段・文京区民（再掲）



■問2 区の魅力に関する期待度

上段・文京区外かつ23区内、中段・23区外、下段・文京区民（再掲）

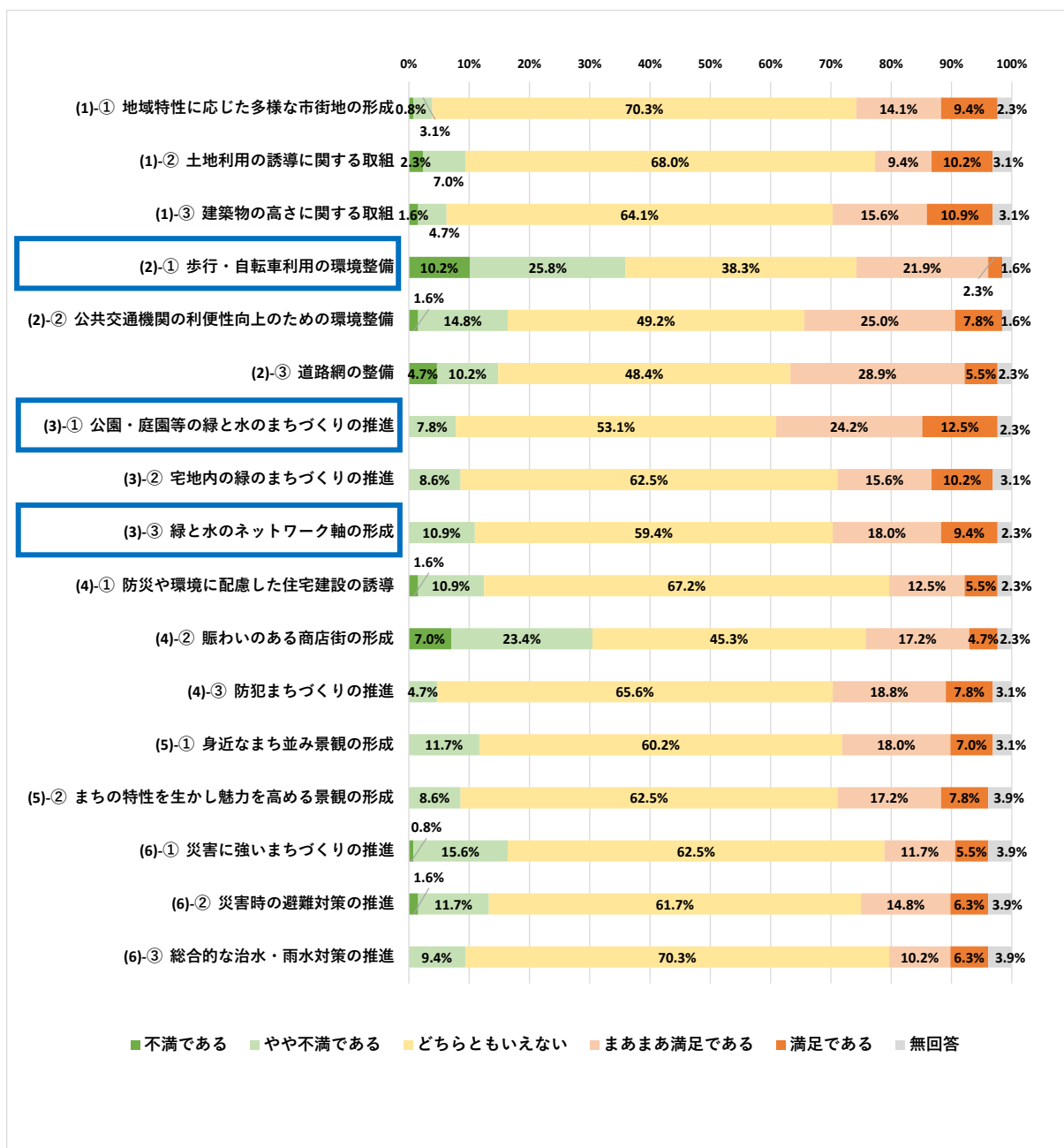


## ② 問3 区の実施に関する満足度・期待度

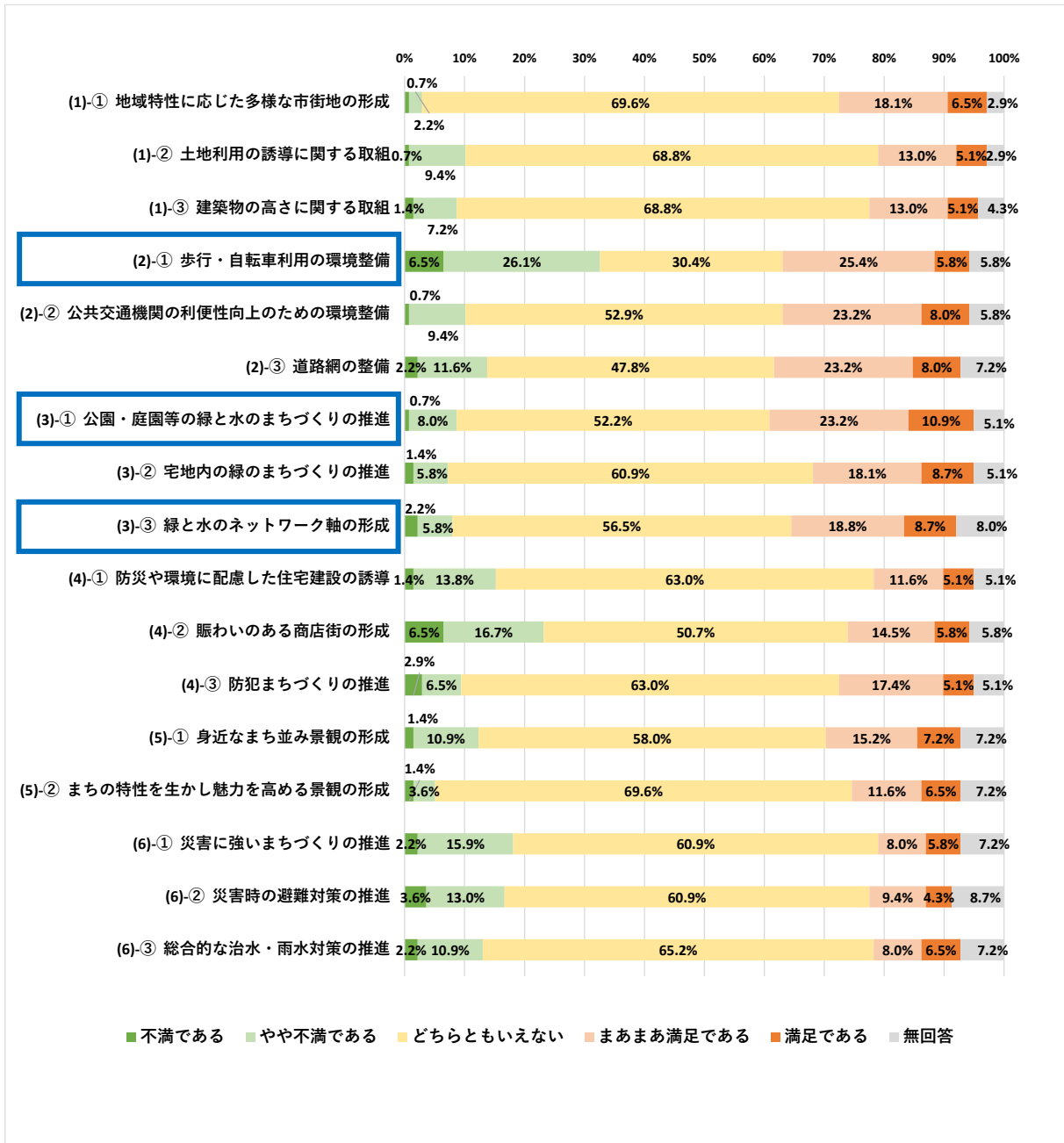
- ・満足度について、「(3)-①公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進」「(3)-③緑と水のネットワーク軸の形成」については区外居住者が区民に比べ満足度が約 10 ポイント低い結果となった。
- ・「(2)-①歩行・自転車利用の環境整備」については、区内外在住を問わず、満足度が低く、期待度が高い結果となった。
- ・上記以外の項目については、特に大きな差は見られなかった。

### ■問3 区の実施に関する満足度・期待度

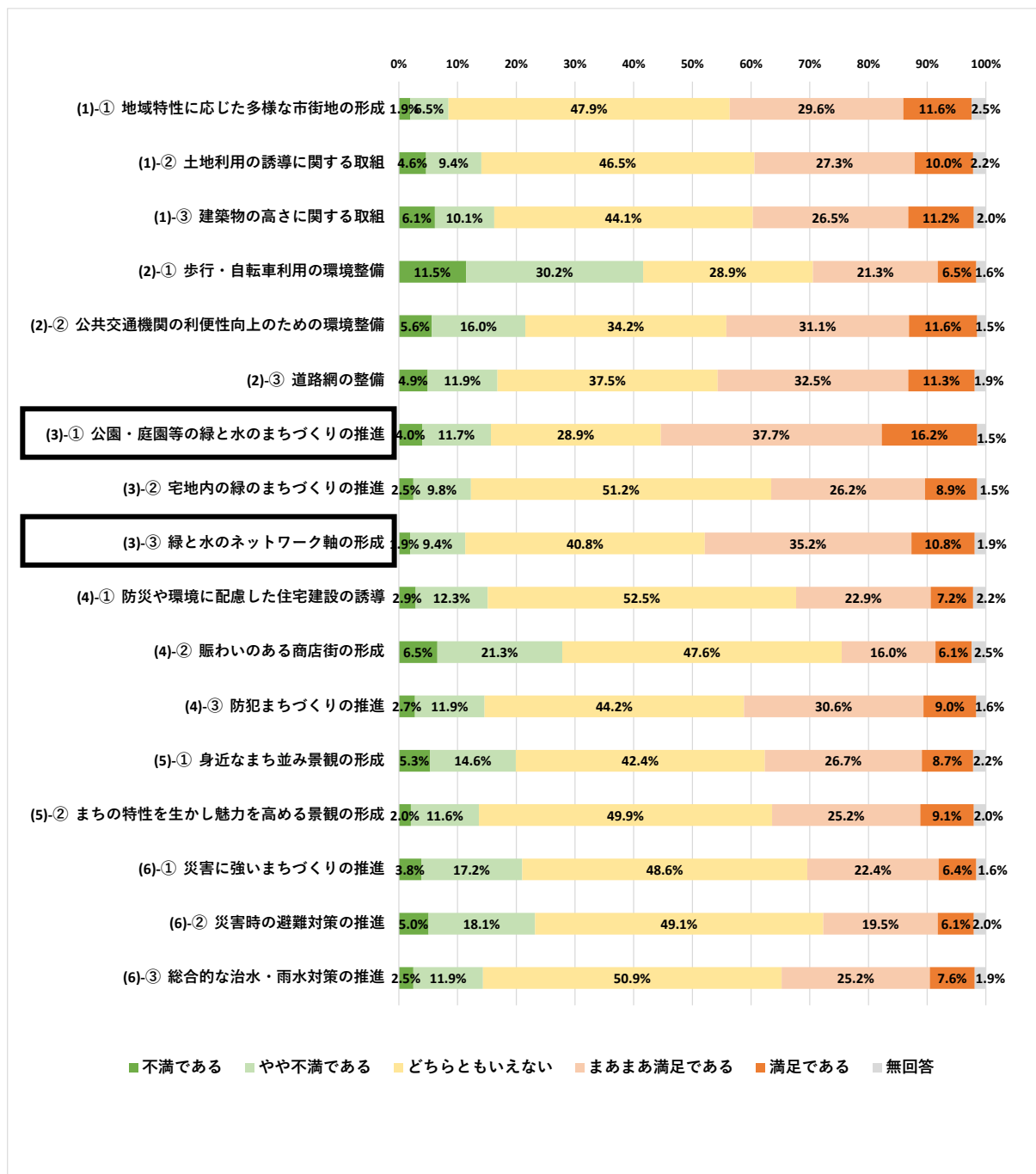
【満足度 文京区外かつ 23 区内】



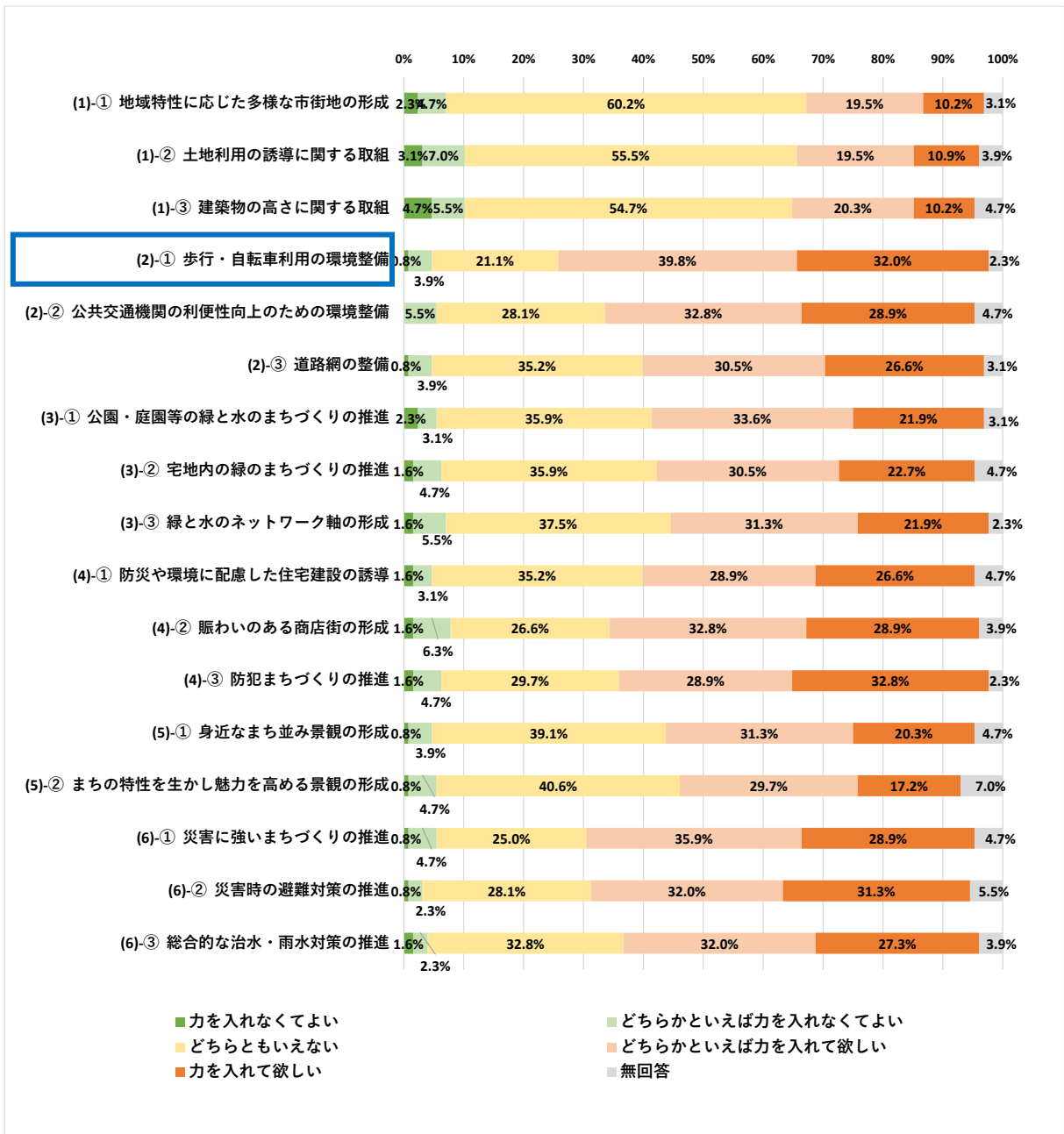
【満足度 23 区外】



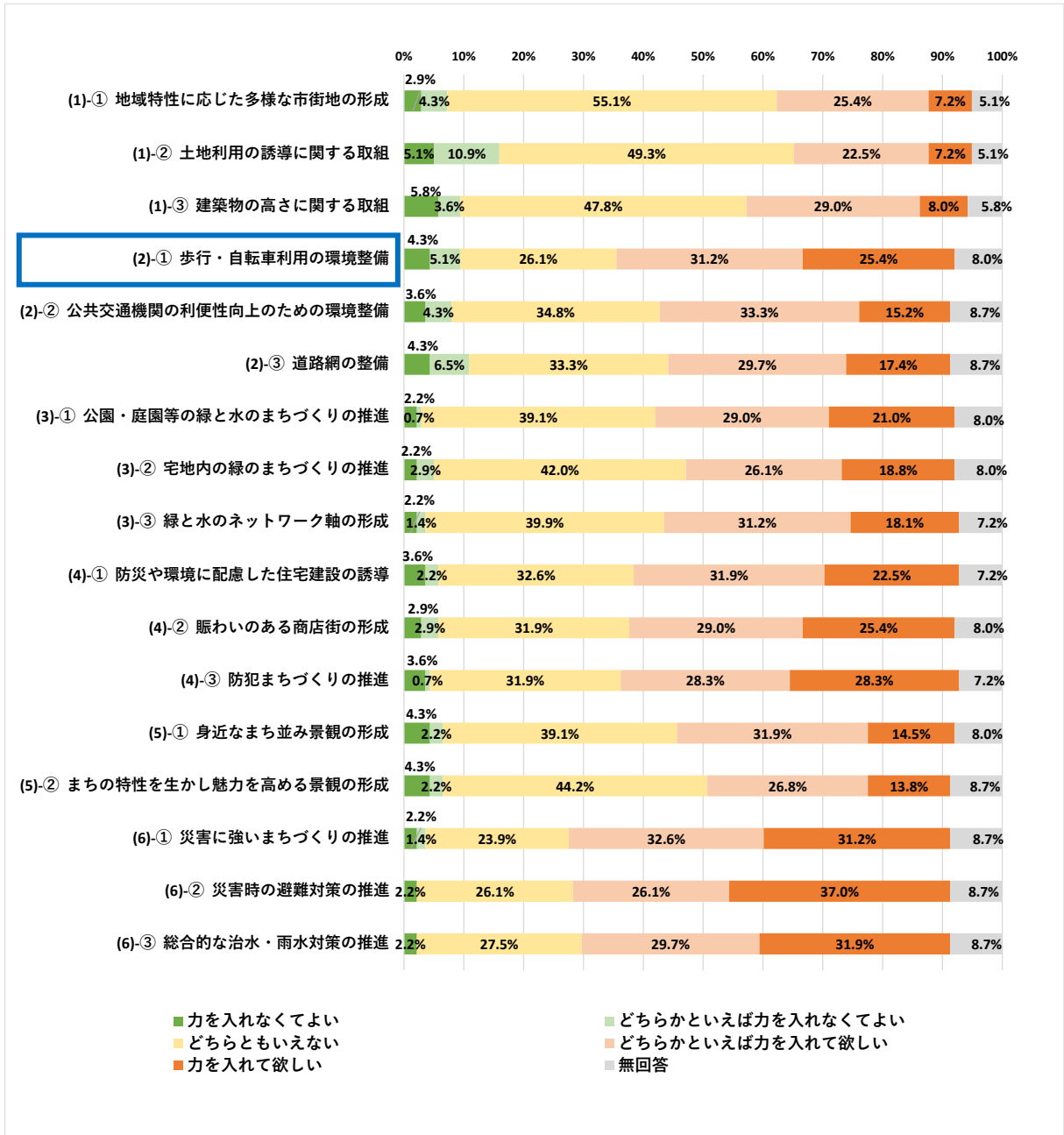
## 【満足度 文京区民（再掲）】



【期待度 文京区外かつ23区内】

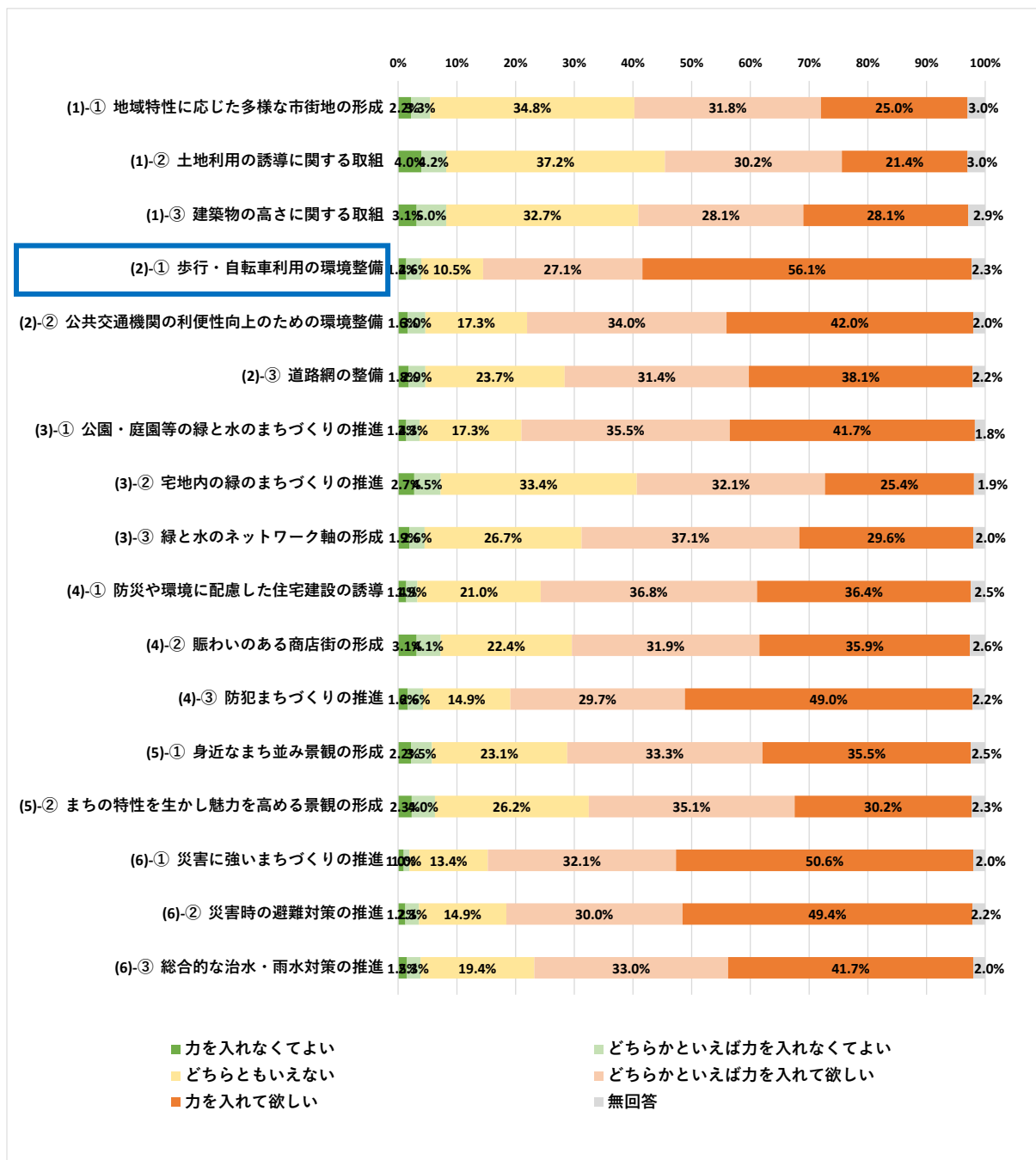


【期待度 23 区外】





## 【期待度 文京区民（再掲）】



## 5 大学アンケート

### (1) 企画

大学アンケートを、以下の内容にて実施した。

#### 1) 目的

区内に多く立地し、文京区の魅力の一端を担う大学及び大学通う学生に対して、そのまちづくりニーズの把握、まちづくりの面での連携の可能性を把握する。

#### 2) 対象・実施方法

調査の対象及び実施方法は下表のとおり。

なお、大学アンケートについては記名式で実施した。

##### ■対象及び実施方法

区分	内容	備考
対象	区内大学・短期大学	区内に立地する 19 大学・短期大学の事務局に送付
回答方法	1. 回答用紙による回答	6 ページ（両面 3 枚）の左側を 2 か所ホッチキス止めしたものとする。
	2. WEB による回答	回答率を上げるため、WEB による回答を取り入れた。また、アンケート依頼票のレイアウトを WEB による回答を促すように工夫をする。なお、今回は同一のデバイスから複数回回答ができないように設定した。

### 3) 調査項目

調査項目は、下表のとおり。

区分		各問を聞く意味／狙い
<b>1 大学について</b>		
問1	当該大学について ・区内キャンパスの学生数 ・区内キャンパスの教職員数	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内で重要な位置を占める大学について、学生数/教職員数の規模、そのうちの区内居住者の割合からマスとしての規模を把握し、都市マスタープラン見直しにあたっての<u>基礎的な知見</u>とする。</li> <li>交通手段別割合を把握することで、<u>交通上の課題把握</u>に用いる。</li> </ul>
問2	文京区内にお住まいの方の割合 ・文京区内在住の学生数の割合 ・文京区内在住の教職員数の割合	
問3	文京区内のキャンパスに通う学生及び教職員が通勤・通学に使う交通手段別割合	
<b>2 文京区のまちのことにについて</b>		
問4	大学立地としての文京区の周辺環境の評価 ・交通利便性 ・大学周辺の利便性 ・防災安全性 ・その他（自由記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の立場からの都市環境への評価を把握することにより、都市マスタープラン見直しにあたっての<u>基礎的な知見</u>とする</li> <li>事業者・就業者アンケートの同様の質問と比較することで、<u>立場の違いによる意識の差を分析し、課題把握</u>に用いる。</li> <li>評価から都市整備上の課題を抽出することで、<u>現行都市マスタープラン各施策項目の見直し</u>に用いる。</li> </ul>
<b>3 文京区の今後のまちづくりについて</b>		
問5	文京区の今後のまちづくりにおいて特に重視してほしいもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の立場から見た、都市施策の重要度・優先度の<b>大枠</b>を把握し、<u>現行都市マスタープランの各施策項目の見直し</u>に用いる。</li> </ul>
問6 問7 問8	大学としてのまちづくりに参加について ・地域のまちづくり活動参加の可能性 ・参加・協力の具体的内容 ・参加・協力を縮小させたい/参加・協力の予定がない理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの担い手として区内大学生が大きく期待される中、担い手としての可能性を把握することで、<u>施策の実施スキーム検討</u>に用いる。</li> <li>あわせて、参加に消極的な大学にその理由を聞くことで、<u>参加・協力に際しての課題</u>を把握する。</li> </ul>

## (2) 実施

大学アンケートの実施概要は以下のとおり。

### ■実施概要

対象	区内に立地する 19 の大学・短期大学
実施日時	令和4年5月20日（金）～令和4年6月3日（金）（15日間） ※調査票を令和4年5月18日（水）に発送
配布物	①～③を④に封入し、配布した。 ① 依頼票 ② 調査票 ③ 返信用封筒 ④ 送付用封筒

### (3) 回答概要

区内 19 大学のうち、14 大学より回答が寄せられた。

#### ■回答概要

回答方法	郵送回収	WEB回答
回答数	5 大学	9 大学
	合計 14 大学 (回収率 : 73.7%)	

## (4) 集計結果

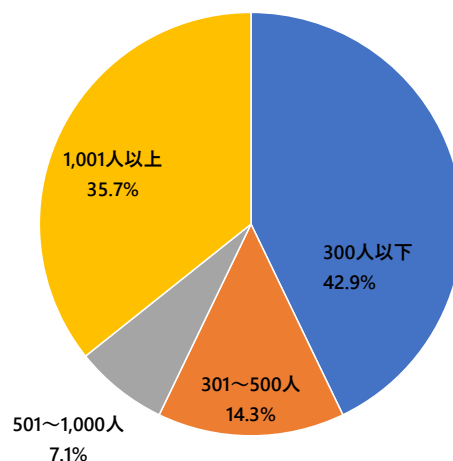
### (1) 問1 大学に通う学生及び教職員について

#### ① 文京区内キャンパスの学生数・教職員数

- ・300人以下の小さな大学から2万人超の大規模な大学まで、区内には様々な規模の大学が分布している。
- ・学生・教職員をあわせると、その数は数万人規模となることが想定される。

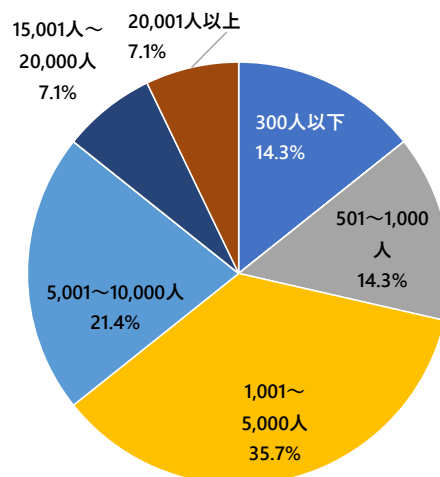
#### ■学生数

番号	選択肢	回答者数	割合
1	300人以下	2	14.3%
2	301～500人	0	0.0%
3	501～1,000人	2	14.3%
4	1,001～5,000人	5	35.7%
5	5,001～10,000人	3	21.4%
6	10,001～15,000人	0	0.0%
7	15,001人～20,000人	1	7.1%
8	20,001人以上	1	7.1%
99	無回答等	0	0.0%
合計		14	100.0%



#### ■教職員数

番号	選択肢	回答者数	割合
1	300人以下	6	42.9%
2	301～500人	2	14.3%
3	501～1,000人	1	7.1%
4	1,001人以上	5	35.7%
99	無回答等	0	0.0%
合計		14	100.0%



## ② 学生・教職員の交通手段

### 【学生】

- ・回答のあった大学では、70～90%と大部分が鉄道による通学であった。
- ・「わからない」とする大学が半数の7大学あった。

### 【教職員】

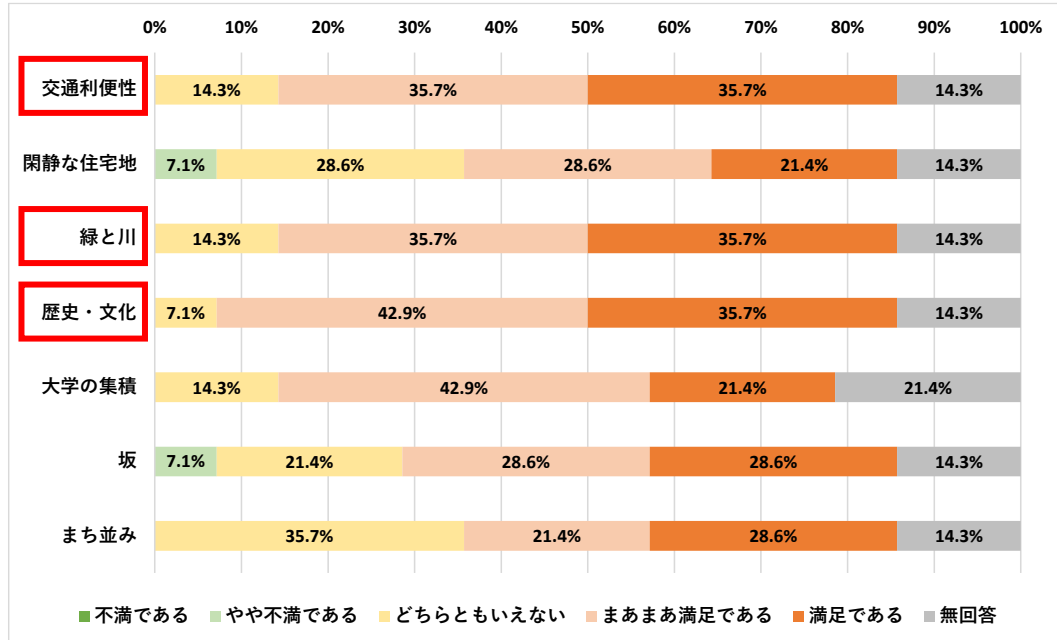
- ・回答のあった大学では、70～90%と大部分が鉄道による通学であった。
- ・「わからない」とする大学が半数の4大学あった。

## 2) 問2 区の魅力に関する満足度・期待度

### ① 区の魅力の各項目に対する満足度

・「歴史・文化」「交通利便性」「緑と川」の満足度が最も高い結果となった。

#### ■区の魅力の各項目に対する満足度



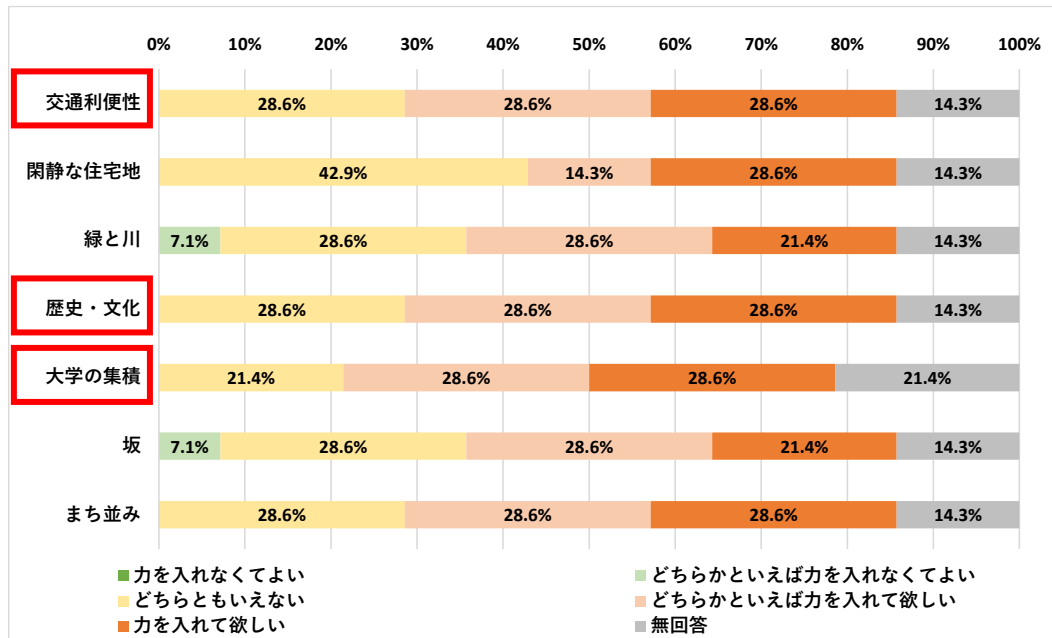
区の魅力の項目	満足度						合計	プラス評価
	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあまあ満足である	満足である	無回答		
交通利便性	0	0	2	5	5	2	14	71.4%
閑静な住宅地	0	1	4	4	3	2	14	50.0%
緑と川	0	0	2	5	5	2	14	71.4%
歴史・文化	0	0	1	6	5	2	14	78.6%
大学の集積	0	0	2	6	3	3	14	64.3%
坂	0	1	3	4	4	2	14	57.1%
まち並み	0	0	5	3	4	2	14	50.0%



## ② 区の魅力の各項目に対する期待度

- ・「交通利便性」「緑と川」「大学の集積」について期待度が特に高い。
- ・区民意識調査と比べ、全体としては期待度が低い。とくに、「閑静な住宅地」のプラス評価（①に同じ、42.9%）は、区民意識調査（67.5%）に比べ20ポイント以上低い。

### ■区の魅力の各項目に対する期待度



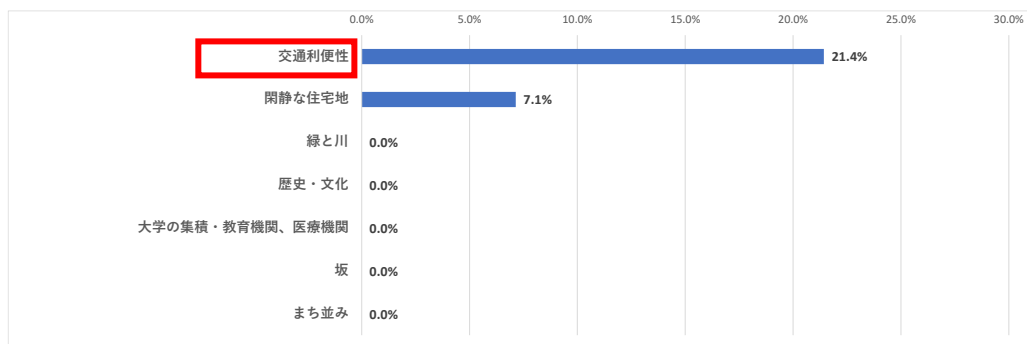
区の魅力の項目	期待度						合計	プラス評価
	力を入れなくてよい	どちらかといえば力を入れなくてよい	どちらともいえぬ	どちらかといえば力を入れて欲しい	力を入れて欲しい	無回答		
交通利便性	0	0	4	4	4	2	14	57.1%
閑静な住宅地	0	0	6	2	4	2	14	42.9%
緑と川	0	1	4	4	3	2	14	50.0%
歴史・文化	0	0	4	4	4	2	14	57.1%
大学の集積	0	0	3	4	4	3	14	57.1%
坂	0	1	4	4	3	2	14	50.0%
まち並み	0	0	4	4	4	2	14	57.1%

③ 特に不満を感じる項目（区の魅力7項目で特に不満を感じる項目があれば番号で記載）

・未回答が多いが、回答の中では「交通利便性」への不満度が特に高い。

■特に不満を感じる項目

番号	選択肢	回答者数	割合
1	交通利便性	3	21.4%
2	閑静な住宅地	1	7.1%
3	緑と川	0	0.0%
4	歴史・文化	0	0.0%
5	大学の集積・教育機関、医療機関	0	0.0%
6	坂	0	0.0%
7	まち並み	0	0.0%
99	無回答等	10	71.4%
合計		14	100.0%

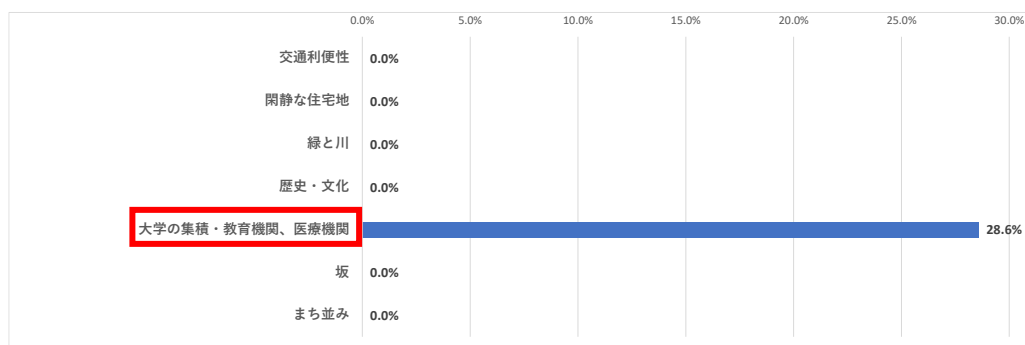


④ 特に力を入れてほしい項目（区の魅力7項目で特に力を入れてほしい項目があれば番号で記載）

・未回答が7割にのぼるが、回答の中では「大学の集積～」への期待度が高い。

■特に力を入れてほしい項目

番号	選択肢	回答者数	割合
1	交通利便性	0	0.0%
2	閑静な住宅地	0	0.0%
3	緑と川	0	0.0%
4	歴史・文化	0	0.0%
5	大学の集積・教育機関、医療機関	4	28.6%
6	坂	0	0.0%
7	まち並み	0	0.0%
99	無回答等	10	71.4%
合計		14	100.0%

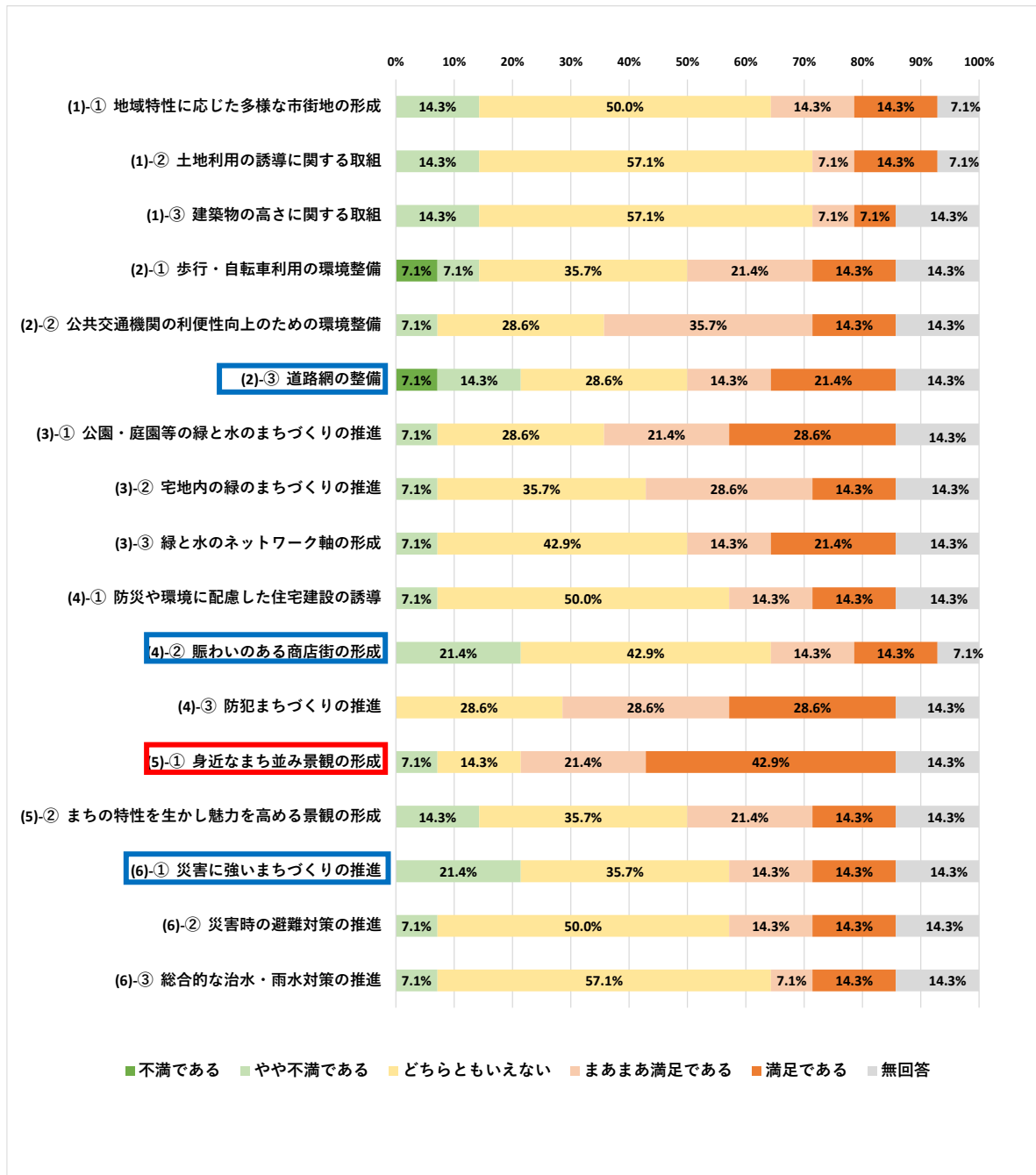


### 3) 問3 区の実施に関する満足度・期待度

#### ① 区の実施の各項目に対する満足度

・「(5) -①身近な街並み景観の形成」の満足度が高く、「(2) -③道路網の整備」「(4) -②」賑わいある商店街の～」「(6) -①災害に強いまちづくりの～」の満足度が低い。

#### ■区の実施の各項目に対する満足度

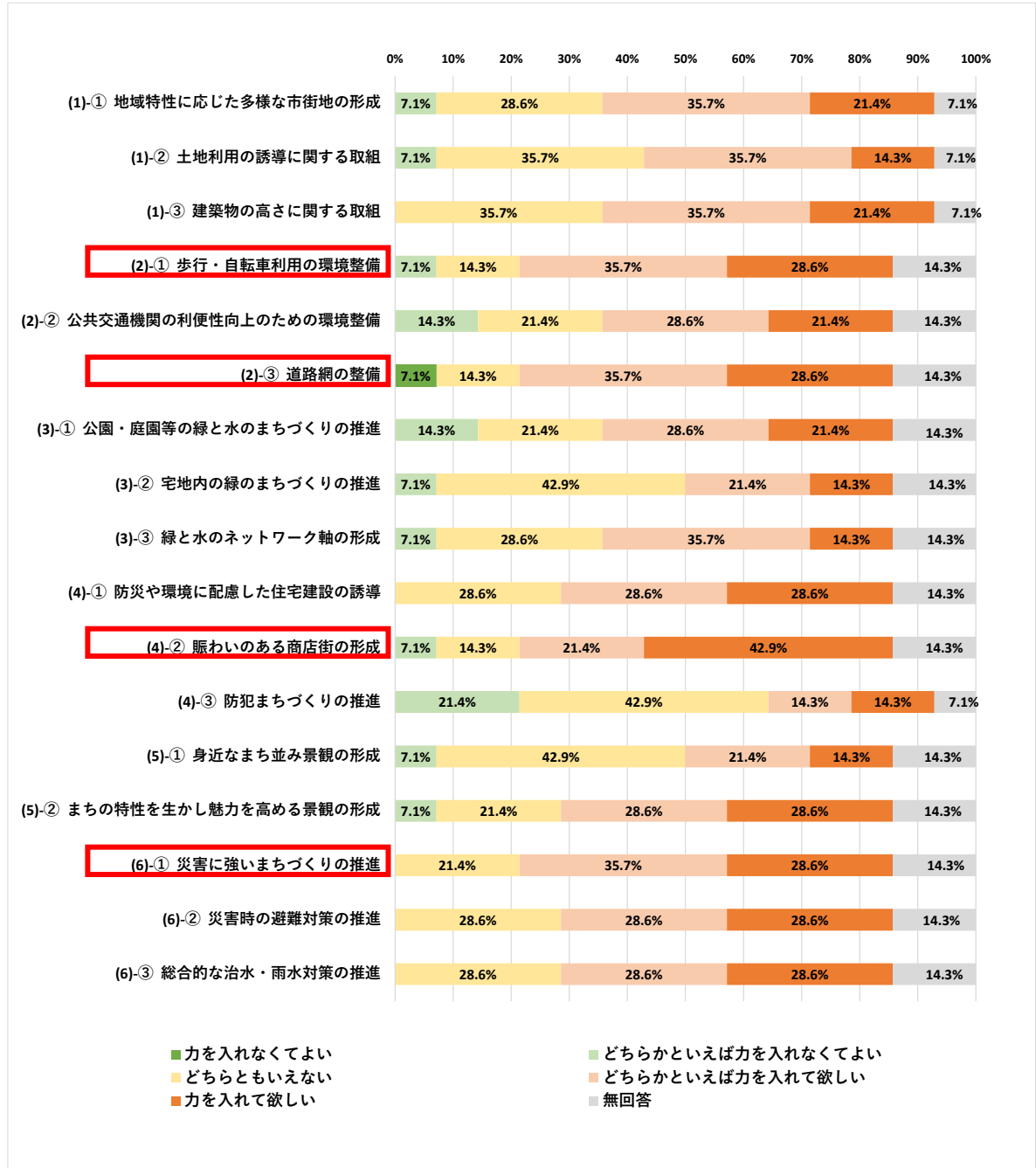


区の取組の項目	満足度							合計	プラス評価
	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあまあ満足である	満足である	無回答			
(1)-① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	0	2	7	2	2	1	14		
	0.0%	14.3%	50.0%	14.3%	14.3%	7.1%	100.0%	28.6%	
(1)-② 土地利用の誘導に関する取組	0	2	8	1	2	1	14		
	0.0%	14.3%	57.1%	7.1%	14.3%	7.1%	100.0%	21.4%	
(1)-③ 建築物の高さに関する取組	0	2	8	1	1	2	14		
	0.0%	14.3%	57.1%	7.1%	7.1%	14.3%	100.0%	14.3%	
(2)-① 歩行・自転車利用の環境整備	1	1	5	3	2	2	14		
	7.1%	7.1%	35.7%	21.4%	14.3%	14.3%	100.0%	35.7%	
(2)-② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	0	1	4	5	2	2	14		
	0.0%	7.1%	28.6%	35.7%	14.3%	14.3%	100.0%	50.0%	
(2)-③ 道路網の整備	1	2	4	2	3	2	14		
	7.1%	14.3%	28.6%	14.3%	21.4%	14.3%	100.0%	35.7%	
(3)-① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	0	1	4	3	4	2	14		
	0.0%	7.1%	28.6%	21.4%	28.6%	14.3%	100.0%	50.0%	
(3)-② 宅地内の緑のまちづくりの推進	0	1	5	4	2	2	14		
	0.0%	7.1%	35.7%	28.6%	14.3%	14.3%	100.0%	42.9%	
(3)-③ 緑と水のネットワーク軸の形成	0	1	6	2	3	2	14		
	0.0%	7.1%	42.9%	14.3%	21.4%	14.3%	100.0%	35.7%	
(4)-① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	0	1	7	2	2	2	14		
	0.0%	7.1%	50.0%	14.3%	14.3%	14.3%	100.0%	28.6%	
(4)-② 賑わいのある商店街の形成	0	3	6	2	2	1	14		
	0.0%	21.4%	42.9%	14.3%	14.3%	7.1%	100.0%	28.6%	
(4)-③ 防犯まちづくりの推進	0	0	4	4	4	2	14		
	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	100.0%	57.1%	
(5)-① 身近なまち並み景観の形成	0	1	2	3	6	2	14		
	0.0%	7.1%	14.3%	21.4%	42.9%	14.3%	100.0%	64.3%	
(5)-② まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	0	2	5	3	2	2	14		
	0.0%	14.3%	35.7%	21.4%	14.3%	14.3%	100.0%	35.7%	
(6)-① 災害に強いまちづくりの推進	0	3	5	2	2	2	14		
	0.0%	21.4%	35.7%	14.3%	14.3%	14.3%	100.0%	28.6%	
(6)-② 災害時の避難対策の推進	0	1	7	2	2	2	14		
	0.0%	7.1%	50.0%	14.3%	14.3%	14.3%	100.0%	28.6%	
(6)-③ 総合的な治水・雨水対策の推進	0	1	8	1	2	2	14		
	0.0%	7.1%	57.1%	7.1%	14.3%	14.3%	100.0%	21.4%	

## ② 区の実施の各項目に対する期待度

・「(2) -①歩行・自転車利用の～」 「(6) -①「災害に強い～」 など4項目に対する期待度が特に高かった。

### ■ 区の実施の各項目に対する期待度



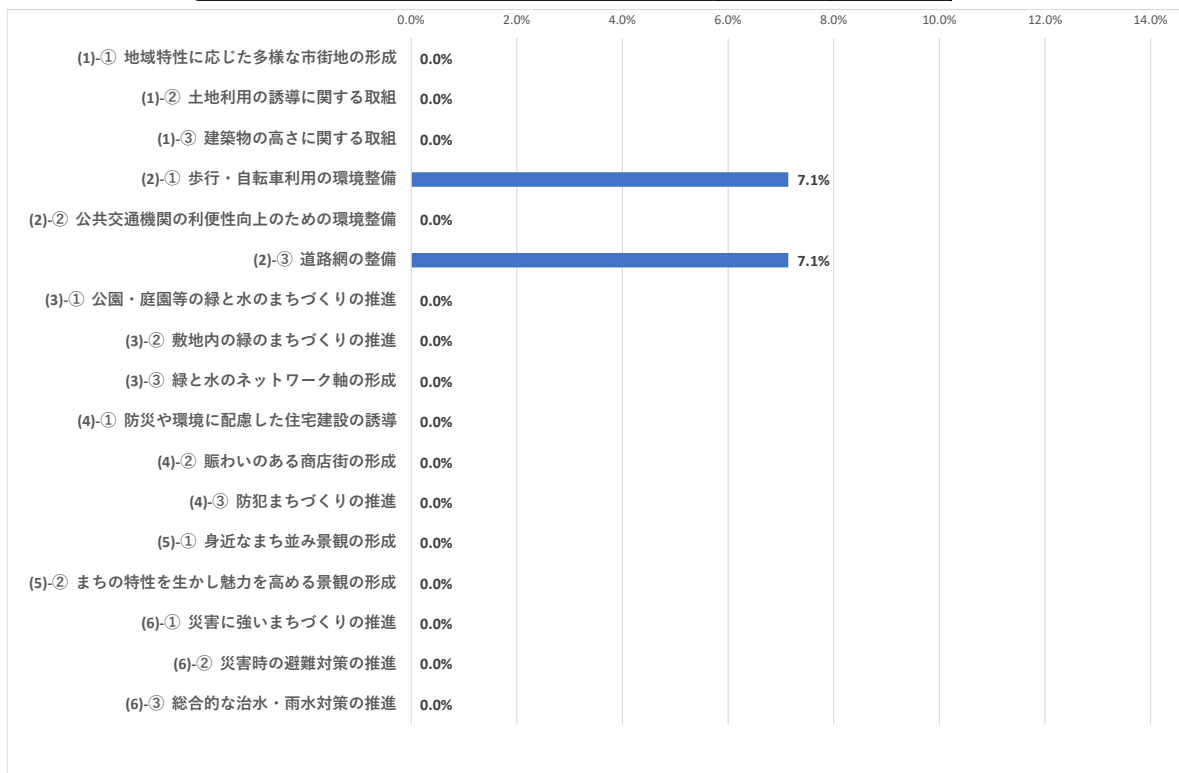
区の取組の項目	期待度							合計	プラス評価
	力を入れてよ くてよい	どちらかとい えば力を入 れなくてよ い	どちらとも いえない	どちらかとい えば力を入 れて欲しい	力を入れて 欲しい	無回答			
(1)-① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	0	1	4	5	3	1	14		
	0.0%	7.1%	28.6%	35.7%	21.4%	7.1%	100.0%	57.1%	
(1)-② 土地利用の誘導に関する取組	0	1	5	5	2	1	14		
	0.0%	7.1%	35.7%	35.7%	14.3%	7.1%	100.0%	50.0%	
(1)-③ 建築物の高さに関する取組	0	0	5	5	3	1	14		
	0.0%	0.0%	35.7%	35.7%	21.4%	7.1%	100.0%	57.1%	
2)-① 歩行・自転車利用の環境整備	0	1	2	5	4	2	14		
	0.0%	7.1%	14.3%	35.7%	28.6%	14.3%	100.0%	64.3%	
(2)-② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	0	2	3	4	3	2	14		
	0.0%	14.3%	21.4%	28.6%	21.4%	14.3%	100.0%	50.0%	
2)-③ 道路網の整備	1	0	2	5	4	2	14		
	7.1%	0.0%	14.3%	35.7%	28.6%	14.3%	100.0%	64.3%	
(3)-① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	0	2	3	4	3	2	14		
	0.0%	14.3%	21.4%	28.6%	21.4%	14.3%	100.0%	50.0%	
(3)-② 宅地内の緑のまちづくりの推進	0	1	6	3	2	2	14		
	0.0%	7.1%	42.9%	21.4%	14.3%	14.3%	100.0%	35.7%	
(3)-③ 緑と水のネットワーク軸の形成	0	1	4	5	2	2	14		
	0.0%	7.1%	28.6%	35.7%	14.3%	14.3%	100.0%	50.0%	
(4)-① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	0	0	4	4	4	2	14		
	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	100.0%	57.1%	
4)-② 賑わいのある商店街の形成	0	1	2	3	6	2	14		
	0.0%	7.1%	14.3%	21.4%	42.9%	14.3%	100.0%	64.3%	
(4)-③ 防犯まちづくりの推進	0	3	6	2	2	1	14		
	0.0%	21.4%	42.9%	14.3%	14.3%	7.1%	100.0%	28.6%	
(5)-① 身近なまち並み景観の形成	0	1	6	3	2	2	14		
	0.0%	7.1%	42.9%	21.4%	14.3%	14.3%	100.0%	35.7%	
(5)-② まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	0	1	3	4	4	2	14		
	0.0%	7.1%	21.4%	28.6%	28.6%	14.3%	100.0%	57.1%	
6)-① 災害に強いまちづくりの推進	0	0	3	5	4	2	14		
	0.0%	0.0%	21.4%	35.7%	28.6%	14.3%	100.0%	64.3%	
(6)-② 災害時の避難対策の推進	0	0	4	4	4	2	14		
	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	100.0%	57.1%	
(6)-③ 総合的な治水・雨水対策の推進	0	0	4	4	4	2	14		
	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	100.0%	57.1%	

③ 特に不満を感じる取組（区が取組 17 項目で特に不満を感じる項目があれば番号で記載）

・回答が2大学のみとなったため、特に傾向は認められなかった。

■特に不満を感じる取組

番号	選択肢	回答者数	割合
1-1	地域特性に応じた多様な市街地の形成	0	0.0%
1-2	土地利用の誘導に関する取組	0	0.0%
1-3	建築物の高さに関する取組	0	0.0%
2-1	歩行・自転車利用の環境整備	1	7.1%
2-2	公共交通機関の利便性向上のための環境整備	0	0.0%
2-3	道路網の整備	1	7.1%
3-1	公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	0	0.0%
3-2	敷地内の緑のまちづくりの推進	0	0.0%
3-3	緑と水のネットワーク軸の形成	0	0.0%
4-1	防災や環境に配慮した建設の誘導	0	0.0%
4-2	賑わいのある商店街の形成	0	0.0%
4-3	防犯まちづくりの推進	0	0.0%
5-1	身近なまち並み景観の形成	0	0.0%
5-2	まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	0	0.0%
6-1	災害に強いまちづくりの推進	0	0.0%
6-2	災害時の避難対策の推進	0	0.0%
6-3	総合的な治水・雨水対策の推進	0	0.0%
99	無回答等	12	85.7%
合計		14	100.0%



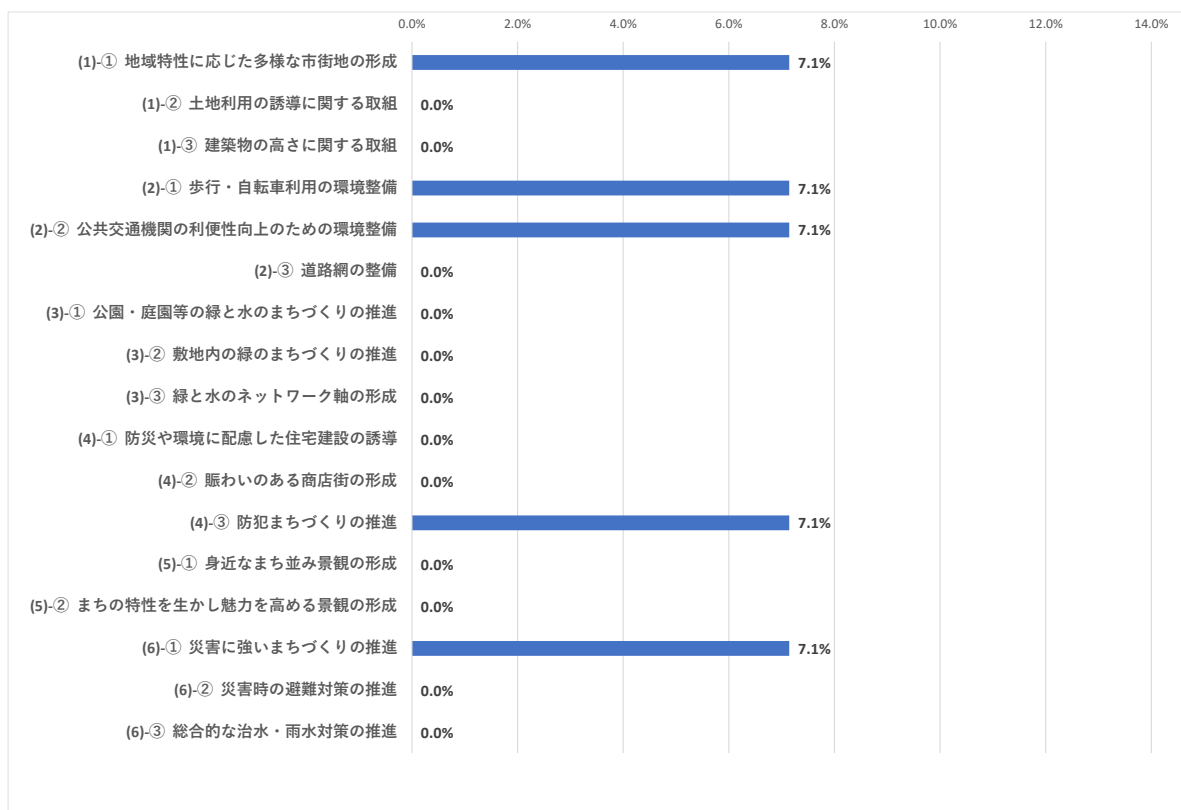


④ 特に力を入れてほしい取組（区が取組 17 項目で特に力を入れてほしい項目があれば番号で記載）

・回答した5大学の内容は分散した。

■特に力を入れてほしい取組

番号	選択肢	回答者数	割合
1-1	地域特性に応じた多様な市街地の形成	1	7.1%
1-2	土地利用の誘導に関する取組	0	0.0%
1-3	建築物の高さに関する取組	0	0.0%
2-1	歩行・自転車利用の環境整備	1	7.1%
2-2	公共交通機関の利便性向上のための環境整備	1	7.1%
2-3	道路網の整備	0	0.0%
3-1	公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	0	0.0%
3-2	敷地内の緑のまちづくりの推進	0	0.0%
3-3	緑と水のネットワーク軸の形成	0	0.0%
4-1	防災や環境に配慮した建設の誘導	0	0.0%
4-2	賑わいのある商店街の形成	0	0.0%
4-3	防犯まちづくりの推進	1	7.1%
5-1	身近なまち並み景観の形成	0	0.0%
5-2	まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	0	0.0%
6-1	災害に強いまちづくりの推進	1	7.1%
6-2	災害時の避難対策の推進	0	0.0%
6-3	総合的な治水・雨水対策の推進	0	0.0%
99	無回答等	9	64.3%
合計		14	100.0%



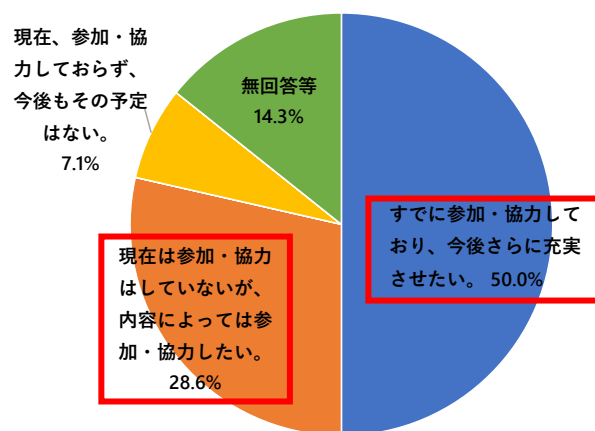
#### 4) 問4 文京区へのまちづくりに関する活動への参加・協力について

##### ① 参加・協力への意向

- ・11大学が「すでに参加・協力している」または「内容によっては参加・協力したい」回答した。
- ・一方、参加・協力の予定はないと回答した大学が1大学あった。

##### ■参加・協力への意向

番号	選択肢	回答者数	割合
1	すでに参加・協力しており、今後さらに充実させたい。	7	50.0%
2	現在は参加・協力はしていないが、内容によっては参加・協力したい。	4	28.6%
3	現在、参加・協力しているが、今後は縮小・廃止させたい	0	0.0%
4	現在、参加・協力しておらず、今後その予定はない。	1	7.1%
5	その他	0	0.0%
99	無回答等	2	14.3%
合計		14	100.0%

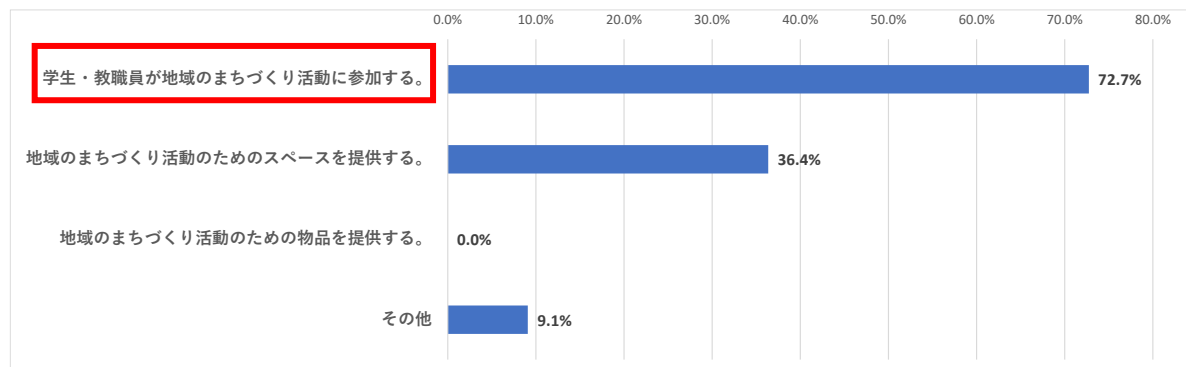


## ② 参加・協力の内容（①で1、2を答えた11大学）

- ・まちづくりに関する活動への参加・協力を回答した11大学のうち8大学が、学生・教職員が地域のまちづくり活動に参加すると回答した。

### ■参加・協力の内容

番号	選択肢	回答者数	割合
1	学生・教職員が地域のまちづくり活動に参加する。	8	72.7%
2	地域のまちづくり活動のためのスペースを提供する。	4	36.4%
3	地域のまちづくり活動のための物品を提供する。	0	0.0%
4	その他	1	9.1%
99	無回答等	0	0.0%
合計		11	100.0%



## ③ 参加・協力できない理由（①で4を答えた1大学）

- ・当該回答の大学は、まちづくり活動に参加・協力できない理由として、人手・資金の不足を挙げた。